

府中市公共施設マネジメント白書 (平成24年度版)

府 中 市

目次

第1章 公共施設マネジメント及び公共施設マネジメント白書について	1
1 公共施設マネジメントとは	
2 公共施設マネジメント白書について	
(1) 目的	
(2) 公共施設マネジメント白書で対象とする施設について	
(3) 作成における前提・備考	
(4) 記載内容の説明	
第2章 市の概要について	6
1 市の概況・沿革	
2 人口の状況	
3 財政状況	
4 施設の築年度別整備状況	
5 施設の更新コストの試算	
第3章 各施設の状況について	
1 市民文化系施設	14
(市民会館、府中グリーンプラザ、府中グリーンプラザ分館、府中の森芸術劇場)	
2 社会教育系施設	
2-1 図書館	28
2-2 美術館、博物館	40
(美術館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館)	
2-3 生涯学習センター	50
3 文化センター	54
4 スポーツ施設	
4-1 体育館	75
4-2 プール	84
4-3 その他のスポーツ施設（野球場、陸上競技場、サッカー場、庭球場）	92
5 学校教育系施設	
5-1 小学校、中学校	102
5-2 給食センター、教育センター	111
6 子育て支援系施設	
6-1 子ども家庭支援センター「たち」	117
6-2 保育所	121
6-3 幼稚園	129
6-4 学童クラブ	135
7 福祉・保健施設	

7-1	福祉施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・	141
	(特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター、介護予防推進センター、心身障害者福祉センター「きずな」、ふれあい会館)	
7-2	保健センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・	147
8	市営住宅・・・・・・・・・・・・・・・・・・	152
9	宿泊施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・	158
	(市民保養所「やちほ」、八ヶ岳府中山荘)	
10	行政系施設	
10-1	庁舎・・・・・・・・・・・・・・・・・・	162
10-2	その他行政系施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・	171
	(市政情報センター、女性センター、中央防災センター、水防・防災ステーション)	
10-3	リサイクルプラザ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	179
10-4	観光情報センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・	182
11	その他	
11-1	府中の森市民聖苑・・・・・・・・・・・・・・・・・・	187
11-2	駐車場、自転車駐車場・・・・・・・・・・・・・・・・・・	192

第1章 公共施設マネジメント及び公共施設マネジメント白書について

1 公共施設マネジメントとは

本市だけでなく、国及び地方自治体は、高度経済成長期以降の人口増加などに伴って大量の公共施設及びインフラ施設を整備してきました。一般的に公共施設の耐用年数は50年から60年程度と言われ、高度経済成長期に整備された施設は一斉に更新時期を迎えようとしています。一方で、地方自治体の財政状況は、人口減少や少子高齢化に伴う社会保障関係費の増大などにより、厳しいものとなっています。このようななか、公共施設及びインフラ施設の老朽化に備えた適切な維持管理や再編などを行っていく必要があります。

公共施設マネジメントは、市民共有の財産である公共施設をより良い状態で未来に引き継いでいくため、総合的かつ長期的な視点に立った施設の維持管理及び活用を図っていく取組です。単なる施設の削減やサービスの低下ではなく、様々な課題を見渡したなかで次世代に向けて何ができるかを考え、取り組んでいくことが重要となります。

2 公共施設マネジメント白書について

(1) 目的

公共施設を計画的に管理し、社会状況やニーズにも柔軟に対応していくためには、まず、現在の公共施設がどのような状態にあるかを知る必要があります。公共施設マネジメント白書は、今後の公共施設のあり方を検討する前提として、現状を正確に把握することを目的としています。具体的には、

- ①建物の構造（建物状況）
- ②どのように施設を運営しているか（運営状況）
- ③各公共施設がどのように利用されているか（利用状況）
- ④経費が適切か（コスト状況）

という視点から各施設の現状を分析しています。

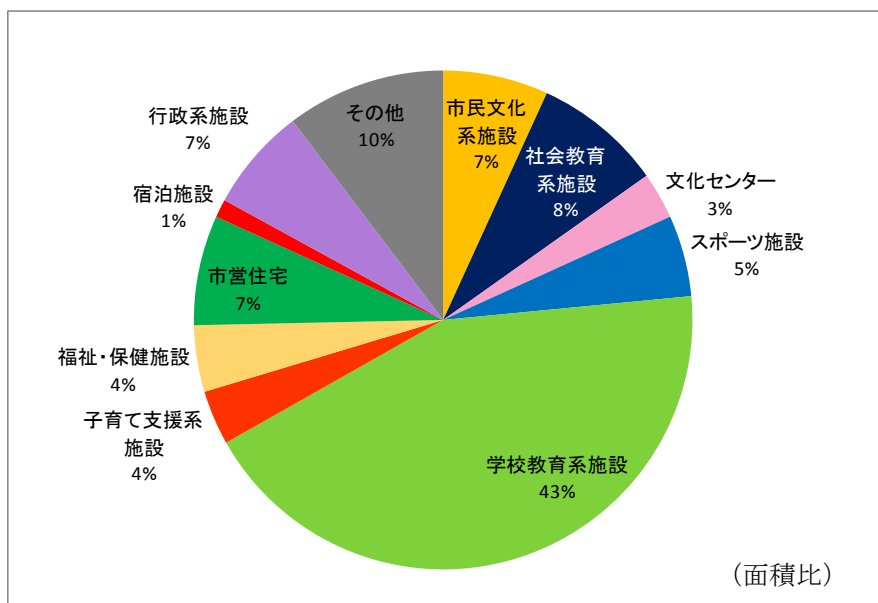
(2) 公共施設マネジメント白書で対象とする施設について

公共施設マネジメント白書では、「市が使用している」または「市が所有している」公共施設のうち主に建物を対象としており、道路、下水道、公園等のインフラは除いています。また、延床面積が原則50㎡以下の小規模施設や市民利用のない公用財産については対象から除いています。

【建物の使用について】

		市が使用している	市以外が使用している
【建物の所有について】	市の所有	市の所有でかつ市が維持管理している施設 例：庁舎、文化センター等	市の所有で、市以外へ貸し付けている施設 例：府中グリーンプラザの一部等
	市以外の所有	市が借用し、市が使用・維持管理している施設 例：一部の保育所等	市以外の所有で、市以外が使用・維持管理している施設 公共施設マネジメント白書の対象外

【市が所有または管理する建物の内訳】



市民文化系施設	7%	福祉・保健施設	4%
社会教育系施設	8%	市営住宅	7%
文化センター	3%	宿泊施設	1%
スポーツ施設	5%	行政系施設	7%
学校教育系施設	43%	その他	10%
子育て支援系施設	4%		

【公共施設マネジメント白書で対象とする施覧一覧】

市民文化系施設		市民会館、府中グリーンプラザ（府中NPO・ボランティア活動センター含む。）、府中グリーンプラザ分館（リサちゃんショップけやき含む。）、府中の森芸術劇場
社会教育系施設	図書館	中央図書館、白糸台図書館、西府図書館、武蔵台図書館、新町図書館、住吉図書館、是政図書館、紅葉丘図書館、押立図書館、四谷図書館、片町図書館、宮町図書館、生涯学習センター図書館
	美術館、博物館	美術館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館
	生涯学習	生涯学習センター
文化センター		中央文化センター、白糸台文化センター、西府文化センター、武蔵台文化センター、新町文化センター、住吉文化センター、是政文化センター、紅葉丘文化センター、押立文化センター、四谷文化センター、片町文化センター
スポーツ施設	体育館	総合体育館、朝日体育館、白糸台体育館、押立体育館、栄町体育館、本宿体育館、四谷体育館、日吉体育館
	プール	市民総合プール（郷土の森総合プール）、市民プール、小柳プール、白糸台プール、西府プール、武蔵台プール、新町プール、美好水遊び広場
	野球場、陸上競技場、サッカー場、庭球場	市民球場、市民第一野球場（郷土の森第一野球場）、市民第二野球場（郷土の森第二野球場）、市民陸上競技場、グラウンド管理所、市民サッカー場（郷土の森サッカー場）、朝日サッカー場、市民庭球場（郷土の森庭球場）、寿町庭球場、押立庭球場、四谷庭球場、栄町庭球場、住吉庭球場、若松庭球場、日新庭球場、日新第二庭球場、紅葉丘庭球場、紅葉丘第二庭球場、平和の森庭球場、小柳庭球場、西府庭球場、武蔵台庭球場
学校教育系施設	小学校	第一小学校、第二小学校、第三小学校、第四小学校、第五小学校、第六小学校、第七小学校、第八小学校、第九小学校、第十小学校、武蔵台小学校、住吉小学校、新町小学校、本宿小学校、白糸台小学校、矢崎小学校、若松小学校、小柳小学校、南白糸台小学校、四谷小学校、南町小学校、日新小学校
	中学校	第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校、第六中学校、第七中学校、第八中学校、第九中学校、第十中学校、浅間中学校
	教育系施設	第一学校給食センター、第二学校給食センター、教育センター
子育て支援系施設		子ども家庭支援センター「たっち」
	保育所	南保育所、北保育所、東保育所、西保育所、中央保育所、北山保育所、住吉保育所、朝日保育所、小柳保育所、四谷保育所、八幡保育所、本町保育所、三本木保育所、西府保育所、美好保育所、高倉保育所
	幼稚園	矢崎幼稚園、みどり幼稚園、小柳幼稚園
	学童クラブ	第一学童クラブ、第二学童クラブ、第三学童クラブ、第四学童クラブ、第五学童クラブ、第六学童クラブ、第七学童クラブ、第八学童クラブ、第九学童クラブ、第十学童クラブ、武蔵台学童クラブ、住吉学童クラブ、新町学童クラブ、本宿学童クラブ、白糸台学童クラブ、矢崎学童クラブ、若松学童クラブ、小柳学童クラブ、南白糸台学童クラブ、四谷学童クラブ、南町学童クラブ、日新学童クラブ
保健・福祉施設	福祉施設	特別養護老人ホームよつや苑、特別養護老人ホームあさひ苑、しみずがおか高齢者在宅サービスセンター、介護予防推進センター、心身障害者福祉センター「きずな」、ふれあい会館
	保健施設	保健センター、保健センター分館
市営住宅		第一武蔵台住宅、第二矢崎町住宅、第二の二本町住宅、第三本町住宅、第四栄町住宅、第五是政住宅、第六若松町住宅、第七西府町住宅、第八新町住宅、第九新町住宅、第十南町住宅、第十一美好町住宅、第十二北山町住宅、第十三四谷住宅、第十四分梅町住宅、第十五四谷住宅、第十六小柳町住宅、第十七小柳町住宅、第十八小柳町住宅、第十九分梅町住宅、第二十是政住宅
宿泊施設		市民保養所「やちほ」、ハヶ岳府中山荘
行政系施設	庁舎	本庁舎、府中駅北第2庁舎（国際交流サロン、工業技術情報センター含む。）
	その他行政系	市政情報センター、女性センター、中央防災センター、水防・防災ステーション
		リサイクルプラザ
		観光情報センター、郷土の森観光情報センター（郷土の森観光物産館）
その他		府中の森市民聖苑
	駐車場、自転車駐車場	府中駅南口市営駐車場、平和島モーターボート競走場立体駐車場、府中駅北自転車駐車場、東府中駅南自転車駐車場、西府駅北自転車駐車場、西府駅南自転車駐車場、多磨霊園駅北自転車駐車場

（３）作成における前提・備考

- ・本書では、特に注記がない限り、平成 24 年度（2012 年度）の各種データを用いています。ただし、施設の所管については、平成 26 年 4 月 1 日時点での施設所管課を記載しています。
- ・本書が掲載する数値、金額などは、一定の条件のもとに対象施設を限定し集計等を行っているため、既に公表されている数値等と一致しない場合があります。
- ・本書では、「億円」、「万㎡」など表示単位によってデータ数値の端数処理を行っているため、個々の数値の合計やグラフ等の数値と一致しない場合があります。
- ・事業運営に係る経費のうち、職員人件費の算出に当たっては、職員の平均給与に業務割合を乗じて算出する人数分を掛け合わせた概算であるため、実際の決算額とは異なります。
- ・将来の改修及び更新費用の推計は、一定の条件を設定して試算した概算結果です。
- ・複合施設では、施設毎の専有面積を記載しているため、施設毎の延床面積の合計が建物全体の延床面積と一致しない場合があります。
- ・作成に用いたデータは、特に記載のない限り、「府中市統計書」、「事務報告書」、「施策の成果」及び各施設の所管課から提供を受けた資料を用いています。

(4) 記載内容の説明

・「第3章 各施設の状況」では、各施設の概要やコストについて記載しています。内容は、次のとおりです。

【施設一覧に係る用語説明】

	建築年度	建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
							土地	建物		
施設名を記載する。	複数棟で構成される施設の場合は、原則最も古く、主たる用途で使用している棟の建築年度を記載する。	平成24年度末まで時点の経過年数を記載する。(平成24年度中に建てられた施設は1年と記載する。)	複合施設(建物内に複数の施設がある場合は、建物全体の面積を別途記載する。)	建物の主たる構造を記載する。	耐震診断及び耐震補強の実施状況を記載する。		土地および建物の所有者を市、国、都、民で記載する。		直営(一部業務委託を含む。)や指定管理者などの運営体制を記載する。	併設施設などを記載する。

【コストに係る用語説明】

【収益の部】

(千円)

使用料	使用料収入を記載する。
利用料	利用料収入を記載する。
その他	その他収入(補助金等)を記載する。
収益 計	使用料収入、利用料収入及びその他収入の合計

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	使用料(会議室や端末機器等の使用料)や土地以外の賃借料を記載する。
	施設修繕費	施設の修繕に係る費用(維持補修工事費等)を記載する。
	光熱水費	光熱水費を記載する。
	建物管理委託費	建物管理(建物のメンテナンスや清掃等)に係る委託費用について記載する。
	管理に係るコスト 計	使用料及び賃借料(土地を除く)、施設修繕費、光熱水費及び建物管理委託費の合計を管理に係るコストとして記載する。
事業運営に係るコスト	人件費	施設運営に係る職員人件費について記載する。
	業務運営等委託費	施設の業務運営に係る委託費用について記載する。
	負担金、補助及び交付金	負担金や市からの補助金等について記載する。
	その他物件費	上記以外の物件費(報償費、消耗品費、役務費、備品購入費等)について記載する。
	運営に係るコスト 計	人件費、業務運営等委託費、負担金、補助及び交付金およびその他物件費の合計を事業運営に係るコストとして記載する。
現金収支を伴うコスト 計		施設管理に係るコスト及び事業運営に係るコストの合計を記載する。

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	白書作成に際して対象とした全ての公共施設取得価格(建築価格及び大規模修繕費用等の合計額)を全ての公共施設の延床面積で除した単価(千円/㎡)に各施設又は複合施設であれば施設内の機能毎の延床面積を乗じて算出(耐用年数は一律60年を採用)
----------	--

III. 総括

合計(トータルコスト)	施設管理に係るコスト、事業運営に係るコスト及び減価償却相当額の合計を記載する。
-------------	---

【収支差額】

収益－コスト	収益からコストを引いた額を記載する。
--------	--------------------

第2章 府中市の概要について

1 市の概況・沿革

府中市は、東京都のほぼ中央に位置し、新宿から西方約22kmの距離にあります。調布市、小金井市、国分寺市、国立市、多摩市、日野市、稲城市に接しており、市の面積は29.34㎢、人口は25万1,858人（平成25年1月1日現在）です。

■地形条件

府中市は国分寺崖線及び府中崖線により武蔵野段丘、立川段丘、多摩川低地の三つの平らな土地に区分されており、市の南端には多摩川が流れています。

市の中心には府中駅があり大型商業施設が集積している一方、ケヤキ並木や大國魂神があるなど緑豊かな地域となっています。市内には複数の大規模な事業場や昔ながらの住宅地や団地があり、また武蔵野公園、浅間山公園、府中の森公園、崖線周辺などの緑地が広がっています。

■市の沿革

大化元年、大化の改新により武蔵国の国府が置かれたことに伴い道路網が放射状に整備され、府中は早くから政治、経済、文化の中心地でした。鎌倉時代末期は合戦の舞台となり、江戸時代には甲州街道沿いに宿場町が形成され、物流及び交通の拠点として栄えました。明治以降は郡役所が置かれ、昭和29年4月、府中町、多磨村、西府村が合併し、府中市が発足しました。平成26年4月1日で、市制施行60周年を迎えました。

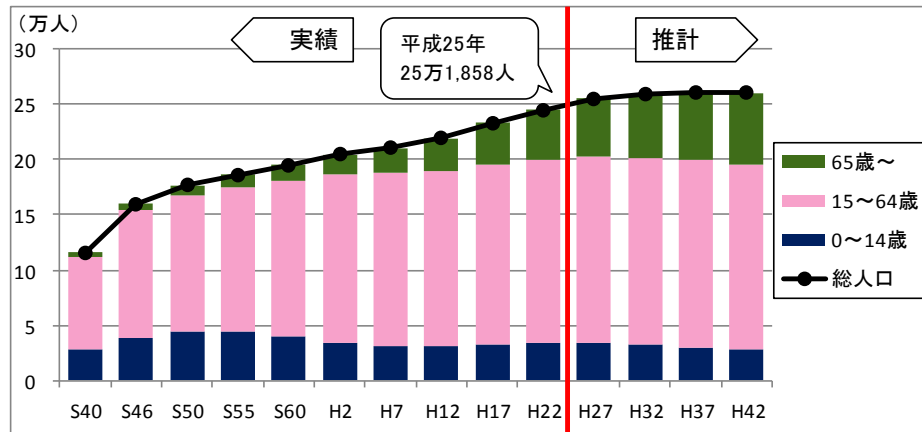
2 人口の状況

府中市の人口は、市が発足した昭和29年以降一貫して増加を続けています。昭和29年当時の人口は、約5万人でしたが、平成25年の人口は約25.2万人で、昭和29年の約5倍になっています。

今後の人口に関する見込みでは、平成22年の24万4,834人から平成37年には26万537人まで増加（約6.4%増）します。しかし、その後は少しずつではありますが減少し、平成42年には、26万339人になると見込まれています。

年齢別では、65歳以上の高齢人口が平成22年の4万4,775人（全人口の18.3%）から平成42年には6万5,051人（全人口の25.0%）まで増加します。それに対し、年少人口は、3万3,947人（全人口の13.9%）から2万8,159人（全人口の10.8%）まで減少すると見込まれています。

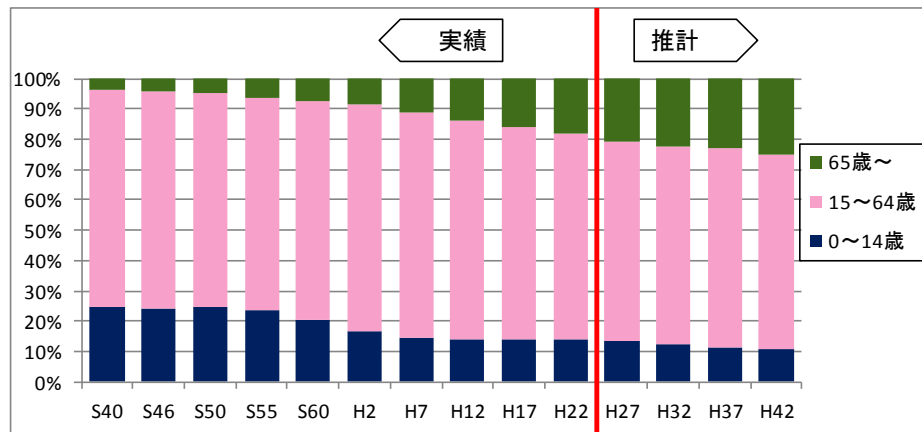
【人口の推移】



【年齢別】	S40	S46	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
65歳～	4,186	6,449	8,376	11,321	14,072	17,805	23,239	29,868	36,975	44,775
15～64歳	83,081	114,661	124,306	130,868	141,483	152,636	157,074	158,750	163,772	166,112
0～14歳	28,557	39,102	43,992	43,836	39,857	33,882	30,478	30,455	32,431	33,947
総人口	115,824	160,212	176,674	186,025	195,412	204,323	210,791	219,073	233,178	244,834

【年齢別】	H27	H32	H37	H42
65歳～	53,077	57,447	60,195	65,051
15～64歳	168,394	169,402	170,622	167,129
0～14歳	34,122	32,143	29,720	28,159
総人口	255,593	258,992	260,537	260,339

【年齢階層別人口割合の推移】



【年齢別】	S40	S46	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
65歳～	3.6%	4.0%	4.7%	6.1%	7.2%	8.7%	11.0%	13.6%	15.9%	18.3%
15～64歳	71.7%	71.6%	70.4%	70.3%	72.4%	74.7%	74.5%	72.5%	70.2%	67.8%
0～14歳	24.7%	24.4%	24.9%	23.6%	20.4%	16.6%	14.5%	13.9%	13.9%	13.9%

【年齢別】	H31	H32	H37	H42
65歳～	20.8%	22.2%	23.1%	25.0%
15～64歳	65.9%	65.4%	65.5%	64.2%
0～14歳	13.4%	12.4%	11.4%	10.8%

3 財政状況

(1) 歳入

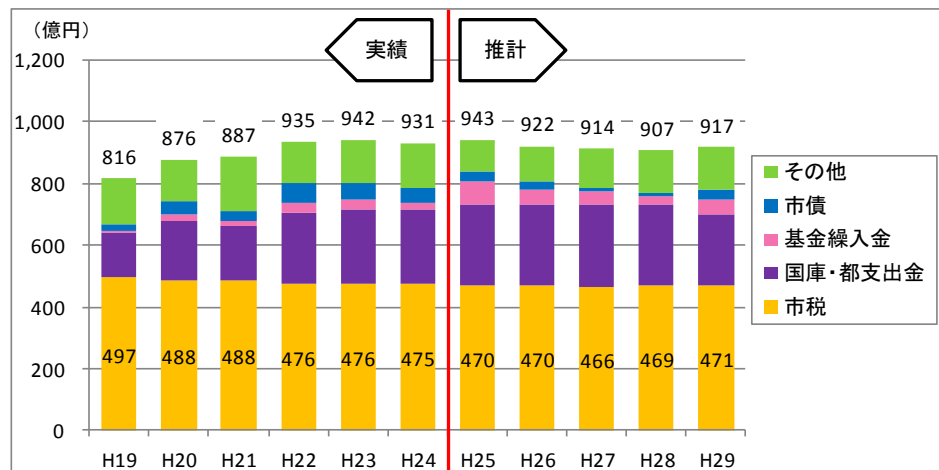
府中市の歳入は平成 24 年度決算（普通会計ベース）で、約 931 億円です。

歳入の推移をみると、平成 19 年度以降は増加が続いていましたが、平成 24 年度は減少に転じました。歳入の約半分を占める市税に関しては、平成 20 年のリーマンショック以降は減少傾向にあります。平成

19年度には、市税収入が約497億円で、歳入総額の約60%を占めていましたが、その後は減少し平成24年度には、約475億円で、約51%となっています。

なお、第6次府中市総合計画（前期基本計画）では、景気の先行きが不透明なことから、市税などの自主財源の大幅な増収は見込めない状況にあると見通しています。

【普通会計歳入の推移】

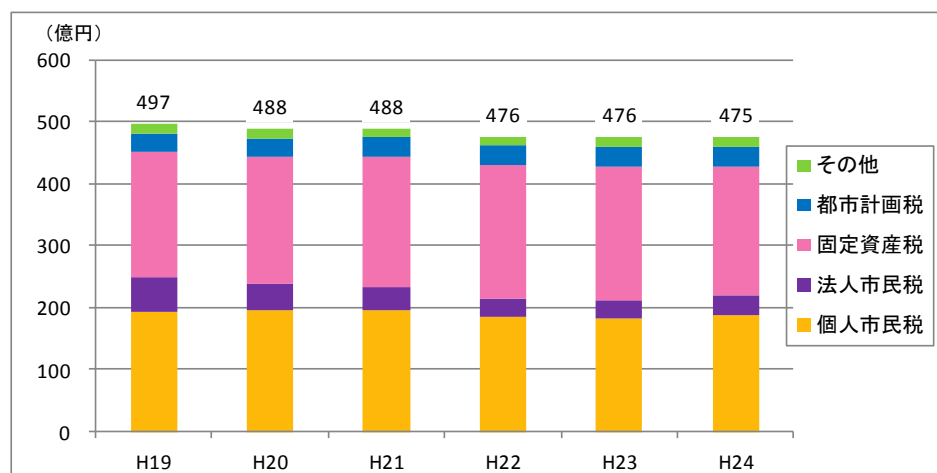


	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
歳入	816億円	876億円	887億円	935億円	942億円	931億円
市税	497億円	488億円	488億円	476億円	476億円	475億円
国庫・都支出金	145億円	189億円	174億円	227億円	239億円	242億円
基金繰入金	3億円	21億円	18億円	36億円	35億円	23億円
市債	22億円	44億円	29億円	65億円	51億円	47億円
その他	149億円	134億円	178億円	131億円	141億円	144億円

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳入	943億円	922億円	914億円	907億円	917億円
市税	470億円	470億円	466億円	469億円	471億円
国庫・都支出金	263億円	262億円	266億円	261億円	231億円
基金繰入金	72億円	49億円	42億円	27億円	45億円
市債	33億円	26億円	11億円	12億円	31億円
その他	105億円	115億円	129億円	138億円	139億円

出典：第6次府中市総合計画、総務省市町村別決算状況調

【自主財源の推移】



出典：第6次府中市総合計画、総務省市町村別決算状況調

(2) 歳出

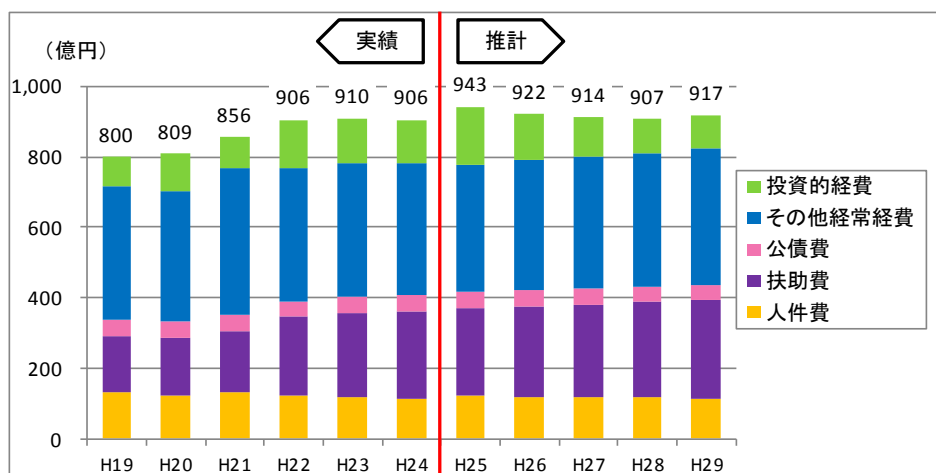
① 歳出の推移

府中市の平成24年度歳出（普通会計ベース）は、約906億円です。

近年は、増加を続けていましたが、平成24年度に歳入と同様減少に転じました。歳出のうち、人件費・扶助費・公債費の合計からなる義務的経費が増加傾向にあります。

義務的経費のうち、職員の削減など、行財政改革により人件費や公債費は減少傾向にありますが、子ども医療費助成や生活保護費などを中心とした扶助費が顕著な伸びを示しており、平成19年度から平成24年度までの間に約89億円増加しています。平成19年には約160億円で歳出全体の約20%を占めていた扶助費は、今後も増加し、平成29年度には約279億円で歳出全体の約30%を占めるようになると予想されます。

【歳出の推移（普通会計）】



	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
歳 出	800億円	809億円	856億円	906億円	910億円	906億円
義務的経費	336億円	333億円	352億円	391億円	402億円	410億円
人件費	130億円	122億円	131億円	122億円	116億円	114億円
扶助費	160億円	165億円	176億円	224億円	240億円	249億円
公債費	46億円	46億円	45億円	45億円	46億円	47億円
その他経常経費	380億円	368億円	416億円	377億円	378億円	374億円
投資的経費	84億円	108億円	88億円	138億円	130億円	122億円

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳 出	943億円	922億円	914億円	907億円	917億円
義務的経費	419億円	421億円	428億円	432億円	438億円
人件費	122億円	118億円	119億円	117億円	115億円
扶助費	248億円	255億円	263億円	271億円	279億円
公債費	49億円	48億円	46億円	44億円	44億円
その他経常経費	357億円	370億円	371億円	377億円	387億円
投資的経費	167億円	131億円	115億円	98億円	92億円

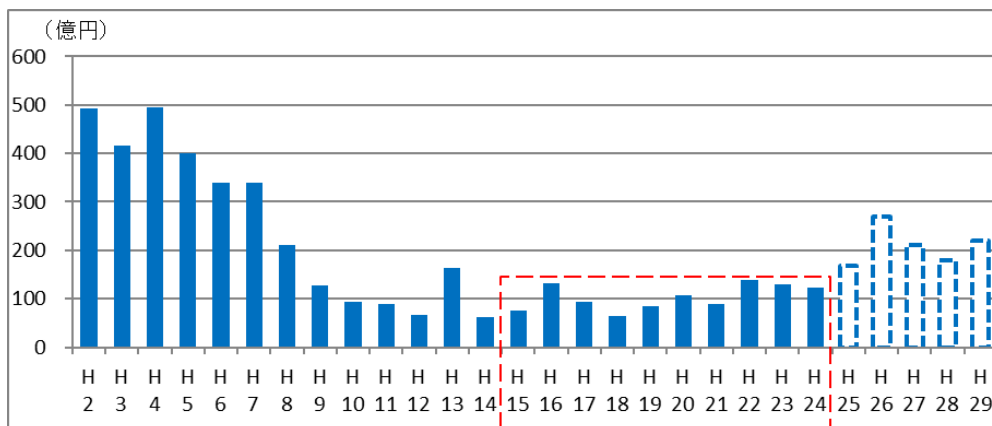
出典：第6次府中市総合計画、総務省市町村別決算状況調

② 投資的経費の推移

平成2年度から平成5年度にかけて年間400～500億円近くの高額の投資が集中しています。具体的には、府中の森芸術劇場や府中駅・中河原駅の再開発などの都市基盤整備事業のための投資です。これらの資産は、整備から30年程度経過すると老朽化による不具合が多くみられるようになるため、将来の維持更新・改修費用の増大が予想されます。

投資的経費は、平成13年以降、減少傾向にありましたが、近年は学校などの耐震改修等を集中的に行ったため、再び増加傾向にあり、今後も増加が見込まれます。

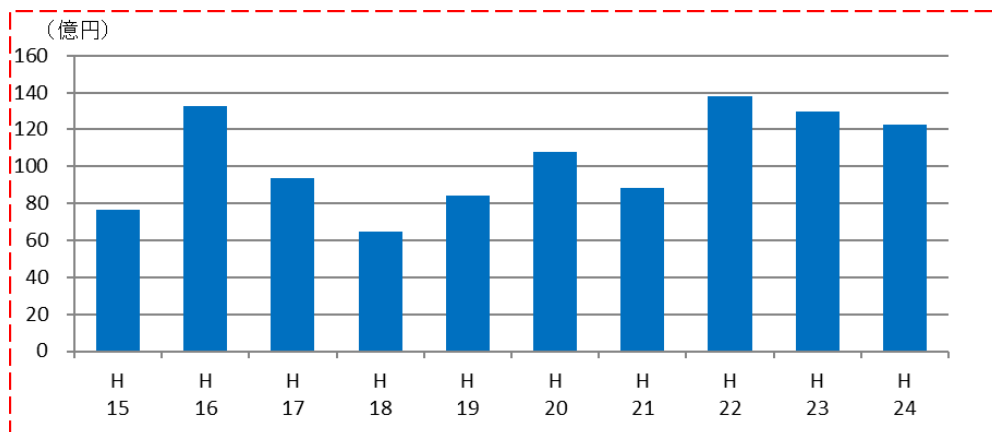
【投資的経費の推移と見込み】



出典：総務省市町村別決算状況調

投資的経費から災害復旧事業費を除いた事業費を普通建設事業費と言います。最近10年の普通建設事業費の推移は次のとおりです。

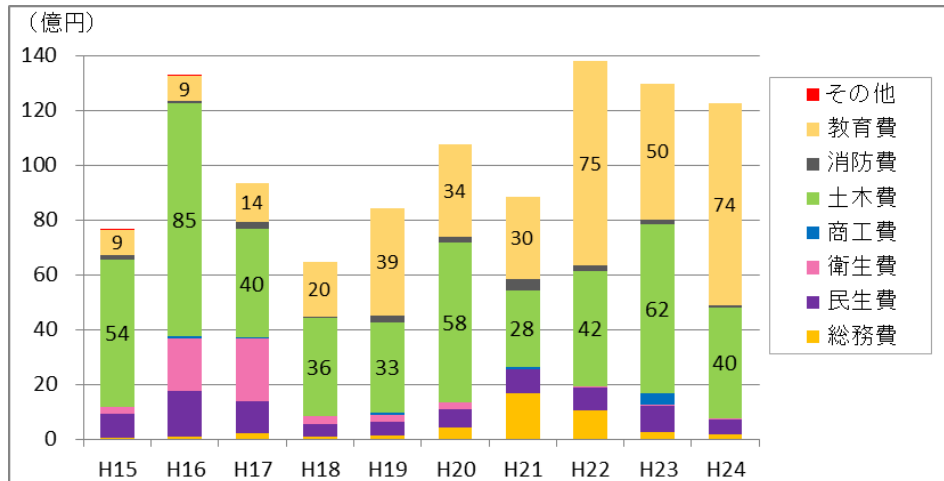
【普通建設事業費の推移】



出典：総務省市町村別決算状況調

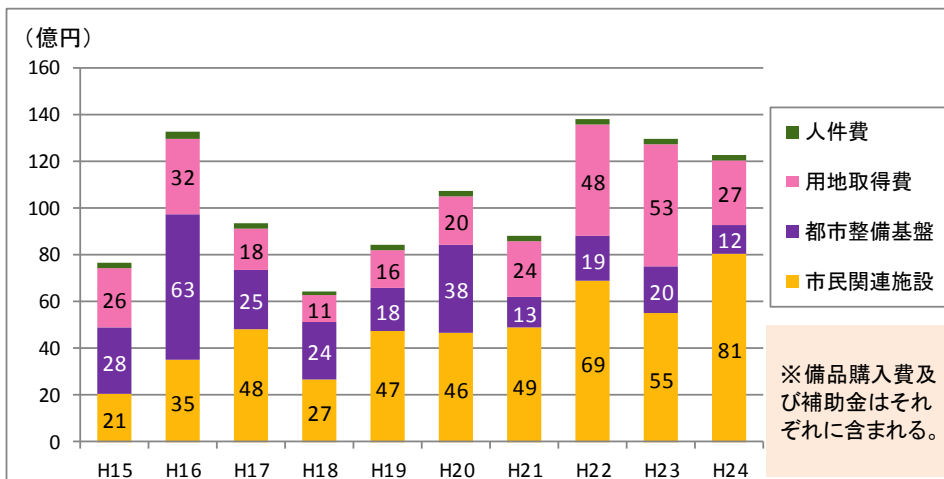
普通建設事業費の推移について、内訳を性質別及び用途別にみると、近年では、教育費の割合が増加しています。これは、小中学校の耐震化に関する費用が多くを占めていると考えられます。平成25年度には全ての小中学校の耐震化が完了しました。今後、府中駅南口再開発事業、新給食センター建設事業、市役所新庁舎建設などの施設整備が検討されていることから、普通建設事業費の増加が見込まれます。

【普通建設事業費の性質別内訳及び推移】



出典：総務省市町村別決算状況調

【普通建設事業費の用途別内訳及び推移】



出典：総務省市町村別決算状況調

平成 24 年度普通会計における普通建設事業費の決算額は約 122 億円ですが、このうち、人件費が約 2.2 億円、用地取得費が約 27 億円です。さらに、都市基盤整備に関する経費、約 12 億円を控除した約 81 億円が、府中市の市民関連施設に関する整備や改修等に使用している経費となります。

4 施設の築年度別整備状況

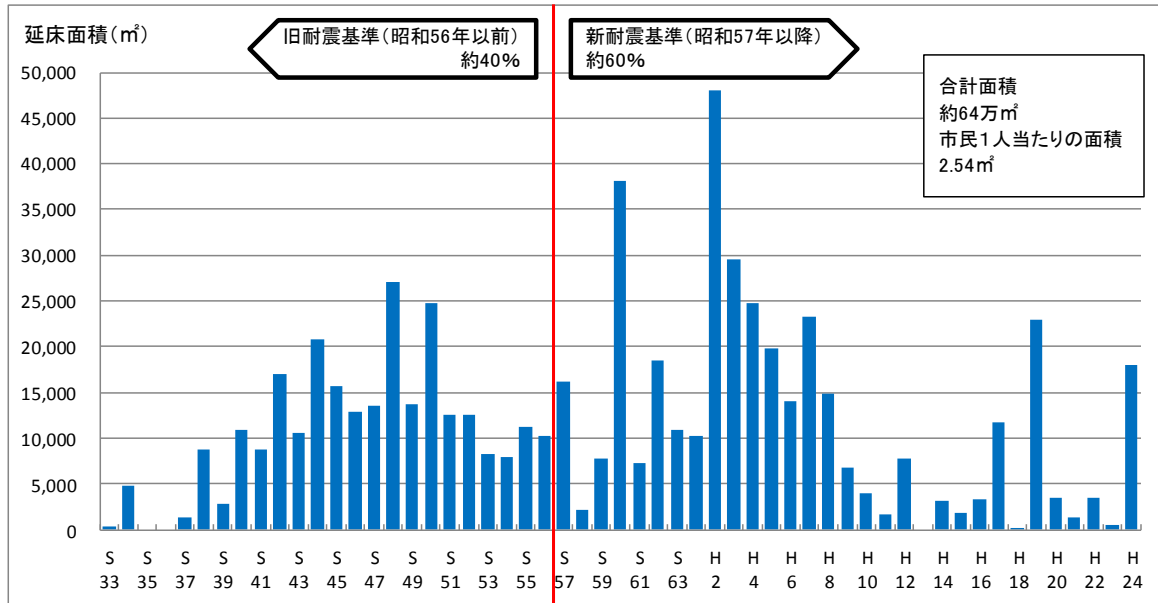
(1) 保有する施設の築年別整備状況

■築年別整備状況

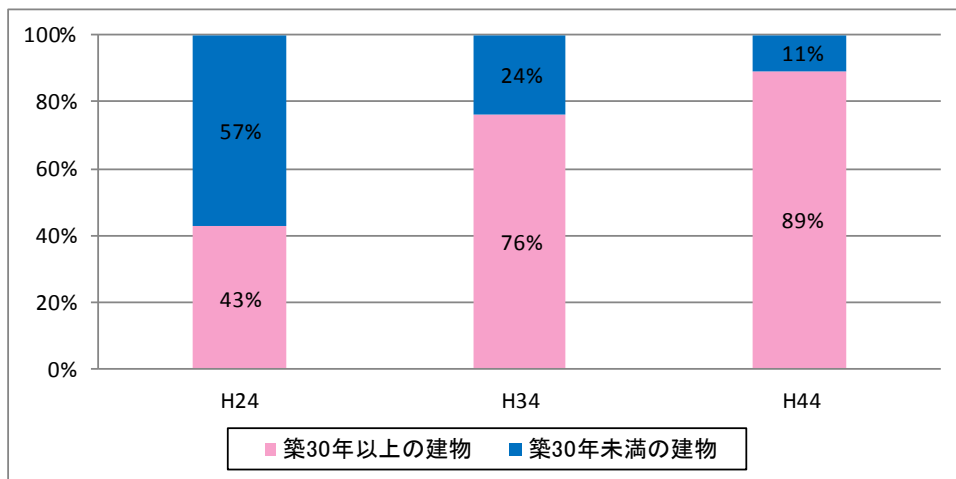
市が保有する建物約 64 万㎡のうち、約 40% (約 26 万㎡) の建物が旧耐震基準で建設され、約 60% (約 39 万㎡) が新耐震基準で建設された建物です。

築年度別にみると、老朽化対策に一定の費用が必要となる築 30 年以上の建物は約 27 万㎡で、全施設に占める割合は 43%です。その割合は今後急速に増加し、10 年後には約 75%、20 年後には約 90%を占める状況となります。市が保有する施設は人口増加が急速に進んだ昭和 40～50 年代前半にかけて建設された施設が多く、建物の安全性の確保、大規模改修、建替え等に今後莫大なコストがかかることが予測されます。

【築年度別整備状況】



【建築後 30 年以上経過する施設の割合】



5 施設の更新コストの試算

<共通試算条件>

- 建替え予算は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、3年間に分けて予算計上する。
- 現状施設を維持することを前提としている（建替え時の面積増加分は含まない）。
- 大規模修繕の予算は、これまでの各施設の修繕対応に差があり、一律に算出することが困難なため、修繕費用に含むものとする。

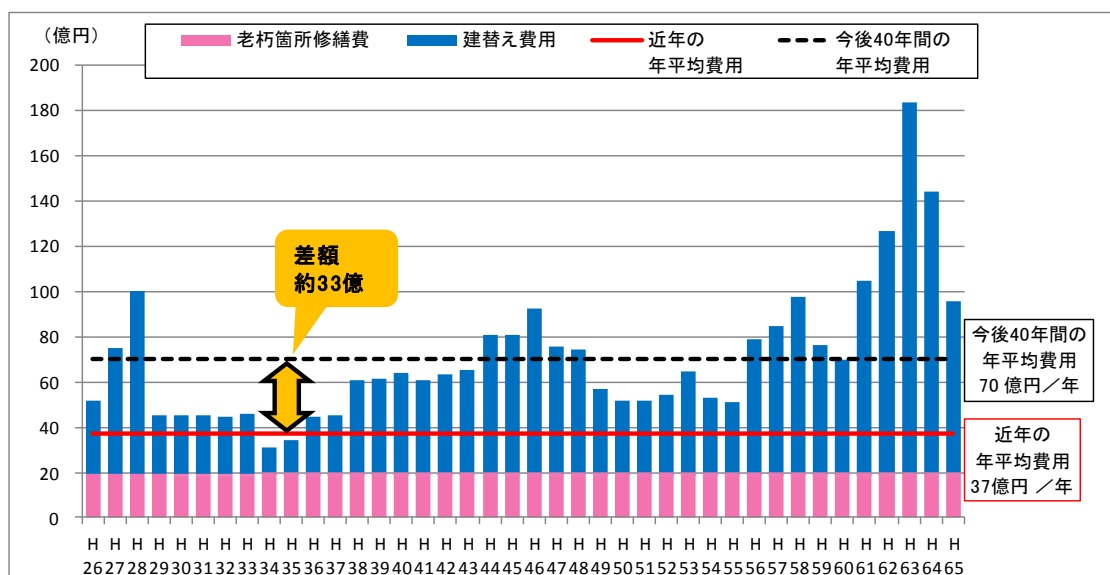
<今後、建替え・改修にかかるコスト試算シミュレーション>

- 現存の施設（平成24年度末時点で建設済みの施設※）
⇒建築後、60年が経過したものから全て建替え
※建替え中もしくは、建替えを予定している施設（押立文化センター、庁舎、給食センター）は、対象外
- 建て替えた施設（耐用年数80年と仮定）
⇒建替え後、30年経過したら大規模改修
※建替え中もしくは、建替えを予定している施設（押立文化センター、庁舎、給食センター）も対象
- 全施設対象
⇒毎年3,000円/㎡ 老朽箇所修繕を実施
※建替え中もしくは、建替えを予定している施設（押立文化センター、庁舎、給食センター）も対象

<シミュレーション結果>

平成26年から平成65年の40年間では、年平均約70億円のコストが必要になると見込まれます。

平成13年度から平成22年度までの10年間の公共施設に係る投資的経費は、年平均約37億円です。
今後見込む約70億円と比較すると年間約33億円の不足が生じます。



第3章 主な施設の実態把握

1 市民文化系施設（市民会館、府中グリーンプラザ、府中グリーンプラザ分館、府中の森芸術劇場）

（1）概要

- ・市民文化系施設として、市民会館、府中グリーンプラザ、府中グリーンプラザ分館、府中の森芸術劇場の4施設があります。
- ・市民会館は、新たな文化・情報・コミュニティ推進の拠点を目指し、市民会館と中央図書館の複合施設として建設された「ルミエール府中」の1、2階に設置されています。
- ・府中グリーンプラザは、市民の文化・コミュニティ活動の場として、ホールや展示室、各種会議室などが整備された施設で、会議だけでなく、発表会や展示会、懇親会などにも利用できます。また、施設内には市内のNPO・ボランティア団体などの活動及び交流の拠点である「府中NPO・ボランティア活動センター」もあります。施設は京王線府中駅前にあり、スカイナードを通してそのまま館内に入ることができます。
- ・府中グリーンプラザ分館は、ギャラリーのほか、府中のリサイクル推進の拠点施設として不用になった衣料品や雑貨、家庭用品などの展示販売、また粗大ごみの中から再生した家具を販売する「リサちゃんショップけやき」、福祉交流の場である「は～もにい（ショップ、喫茶）」も設置されている施設です。京王線高架下にあります、けやき並木通りに面しています。
- ・府中の森芸術劇場は、収容人員 2,000 人を超える多目的ホールの「どりーむホール」、パイプオルガンを備えたクラシック音楽の演奏と鑑賞を目的とした「ウィーンホール」、伝統芸能や演劇に適した「ふるさとホール」の3つのホールを持つ大規模施設で、主催事業や各種公演事業を開催しています。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	運営	併設施設・備考
市民会館	H19	2007	6年	2,864㎡ (建物全体 14,190㎡)	RC造	不要	不要	※	中央図書館
府中グリーンプラザ	S55	1980	33年	6,729㎡	SRC造	実施	不要	指定 管理	府中NPO・ボランティア活動センター
府中グリーンプラザ分館	H8	1996	17年	1,350㎡	S造	不要	不要	指定 管理	ギャラリー、リサちゃんショップけやき、 は～もにい(ショップ、喫茶)
府中の森芸術劇場	H2	1990	23年	31,088㎡	RC造	不要	不要	指定 管理	

※市民会館は、指定管理者による運営ですが、施設の維持管理などの業務はPFI事業者が担っています。

【保有機能一覧】

	ホール※			練習室・ リハーサル室	会議・集会機能			音楽室 (練習室含む)	調理室	展示室	保育室 託児室
	大	中	小		大会議室	研修室等	和室				
市民会館	-	●※	●※	●	-	●	-	●	●	-	-
府中グリーンプラザ	-	-	●	-	●	●	●	●	-	●	●
府中グリーンプラザ分館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
府中の森芸術劇場	●	●	-	●	●	●	-	●	-	-	-

※ホール：大ホール…定員 1,000 人以上、中ホール…定員 500 人以上 1,000 人未満、小ホール…定員 500 人未満

※市民会館のホール「コンベンションホール飛鳥」は、定員 700 人程度の中ホールを 4 つに分割して使用することも可能です。

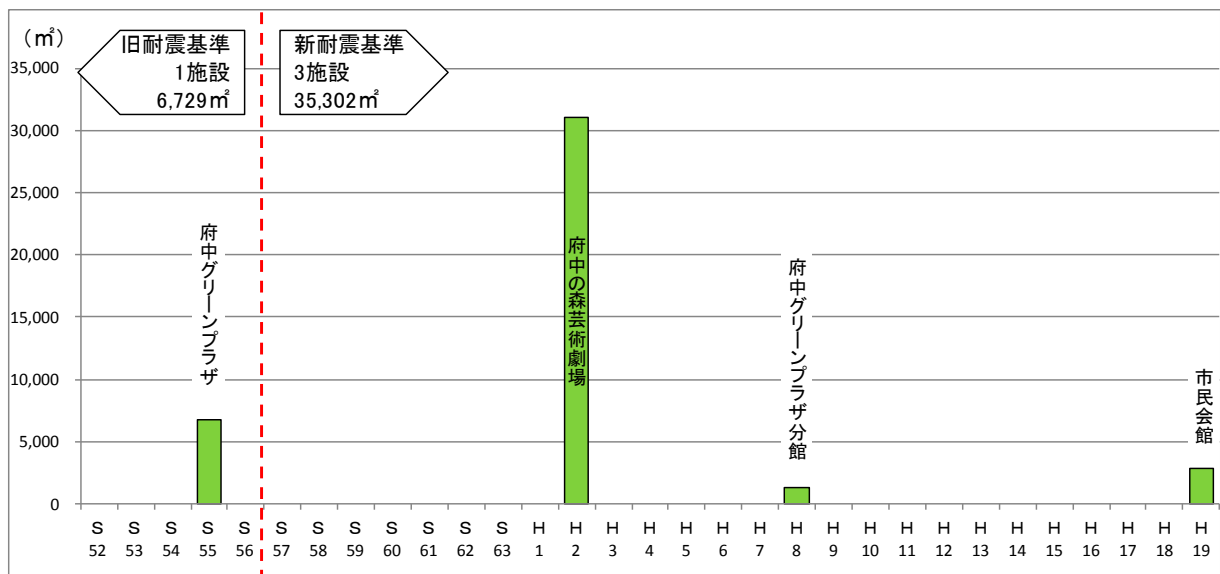
【施設配置図】



(2) 施設状況

- ・市民文化系施設は、昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設が 6,729 m² (1 施設)、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設が 3 万 5,302 m² (3 施設) と、新耐震基準の施設が約 85% を占めます。
- ・旧耐震基準で建築された府中グリーンプラザは、平成 22 年度に耐震診断調査を行い、耐震性を有しているとの結果が出ています。

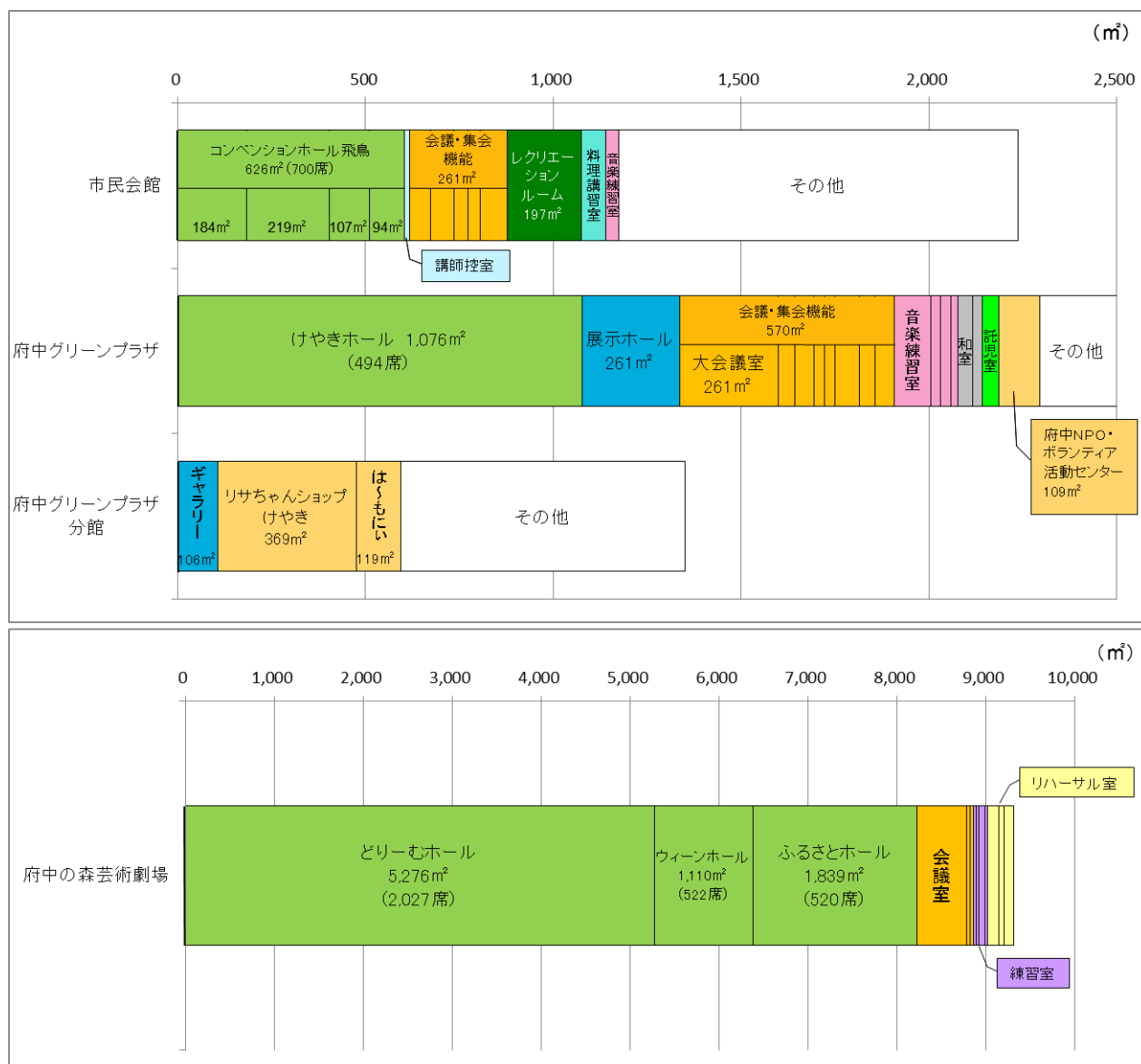
【築年度別整備状況】



(3) スペース構成

- ・市民文化系施設4施設の施設規模は、府中グリーンプラザ分館の1,350 m²から府中の森芸術劇場の3万1,088 m²まで、非常に差があります。
- ・最も規模の大きい府中の森芸術劇場は、市内最大となる2,027席のホール及び約500席の2つのホール、合計3つのホールを中心とした構成となっています。
- ・市民会館は、フレキシブルな活用が可能なコンベンションホール飛鳥とレクリエーションルームを中心に、会議室や料理講習室などで構成されています。
- ・府中グリーンプラザは、約500席のけやきホールや展示ホール、また会議室や音楽練習室などで構成されています。
- ・府中グリーンプラザ分館は、ギャラリーのほか、リサちゃんショップけやき、は～もにい（ショップ、喫茶）などで構成されています。

【スペース構成】



(4) 運営状況

①運営形態

- ・市民会館は、施設の受付業務などを指定管理者である公益財団法人府中文化振興財団が、施設の維持管理などについてはPFI事業者であるPFI府中市民会館・中央図書館株式会社が行っています。
- ・府中グリーンプラザ、府中グリーンプラザ分館及び府中の森芸術劇場は、公益財団法人府中文化振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。
- ・府中NPO・ボランティア活動センターの運営は、NPO法人府中市民活動支援センターに委託しています。
- ・リサちゃんショップけやきの運営は、NPO法人府中リサイクル推進協会に委託しています。

②運営日数・運営時間

- ・年間運営日数は、市民会館は322日、府中グリーンプラザ（分館含む。）は337日、府中の森芸術劇場は310日でした。
- ・運営時間は、全施設とも9:00～22:00です。基本的な利用時間区分は、午前、午後及び夜間の3区分ですが、午前＋午後や午後＋夜間、全日といった形での利用も可能です。

【運営日数】

	(日)		
	平日	土日・祝日	計
市民会館	208	114	322
府中グリーンプラザ(分館含む)	223	114	337
府中の森芸術劇場	196	114	310

③運営人員

- ・いずれの施設にも、市の職員は配置されていません。
- ・各施設には、指定管理事業者が5～10名の人員を配置しています。このほか、委託業務員や舞台スタッフなどが運営にあたっています。

【運営人員（指定管理事業者）】

	(人)	
	平日	土日・休日
市民会館	5	5
府中グリーンプラザ	6	6
府中グリーンプラザ分館	0	0
府中の森芸術劇場	10	9

(5) 施設別利用状況

①市民会館

・市民会館全体の年間利用コマ数は7,599コマでした。機能別の稼働率では、音楽練習室が最も高くなっています。市民会館では、諸室以外のエントランスやロビーの貸出も行っており、利用者は4,680人でした。

【市民会館利用状況】

	利用者数	利用 可能日数	利用可能 コマ数	利用コマ数	稼働率
コンベンションホール飛鳥A	26,389	319	945	644	68%
コンベンションホール飛鳥B	23,717	320	892	582	65%
コンベンションホール飛鳥C	14,508	320	912	541	59%
コンベンションホール飛鳥D	11,584	320	901	476	53%
講師控室	689	321	961	267	28%
第1会議室	10,266	321	963	685	71%
第2会議室	8,719	321	963	633	66%
第3会議室	6,060	322	964	688	71%
第4会議室	6,465	321	963	644	67%
講習会議室	11,830	322	964	554	57%
レクリエーションルーム	16,963	321	963	561	58%
料理講習室	5,830	322	963	457	47%
音楽練習室	6,833	322	965	867	90%

②府中グリーンプラザ

・府中グリーンプラザ全体の年間利用コマ数は1万3,256コマでした。機能別の稼働率では、市民会館と同様に音楽練習室が高く、90%を超えています。

【府中グリーンプラザ利用状況】

	利用者数	利用 可能日数	利用可能 コマ数	利用コマ数	稼働率
けやきホール	61,139	323	968	553	57%
展示ホール	11,613	337	1,011	440	44%
大会議室	41,165	337	1,009	688	68%
第1会議室	8,035	337	1,009	867	86%
第2会議室	7,607	337	1,009	840	83%
第3会議室	5,015	337	1,011	841	83%
第4会議室	6,181	337	1,011	907	90%
第5会議室	11,109	337	1,011	753	74%
講習室	6,505	337	1,011	731	72%
集会室	9,452	337	1,011	898	89%
第1音楽練習室	16,374	337	1,010	987	98%
第2音楽練習室	4,885	337	1,011	931	92%
第3音楽練習室	4,959	337	1,011	969	96%
第4音楽練習室	2,562	337	1,011	999	99%
第1和室	4,421	337	1,010	605	60%
第2和室	3,414	337	1,011	653	65%
託児室	6,173	337	1,010	594	59%

- ・府中NPO・ボランティア活動センター内のミーティングスペースの年間利用コマ数は、506コマでした。
- ・ミーティングスペースの利用状況によって、事務室スペースの一部を打ち合わせスペースとして貸し出しており、その利用者数は680人でした。
- ・ボランティアなどの市民活動の進め方や、NPO法人の設立などについての相談を実施しており、相談件数は2,413件でした。

【府中NPO・ボランティア活動センター利用状況】

	利用者数	利用 可能日数	利用可能 コマ数	利用コマ数	稼働率
ミーティングスペース	3,588	337	1,011	506	50%

③府中グリーンプラザ分館

- ・府中グリーンプラザ分館の年間利用コマ数は704コマでした。また、稼働率は70%、利用者数は1万1,270人でした。

【府中グリーンプラザ分館利用状況】

	利用者数	利用 可能日数	利用可能 コマ数	利用コマ数	稼働率
ギャラリー	11,270	337	1,011	704	70%

- ・リサちゃんショップけやきの来場者数は、7万9,719人でした。また、展示販売を受け付けた預かり品のうち、78%が売却されました。

【リサちゃんショップけやき利用状況】

	来場者数	預かり品 受付件数	預かり品 売却件数	情報紹介コーナー 掲示件数	再生家具 売却点数
リサちゃんショップけやき	79,719	121,041	94,887	492	596

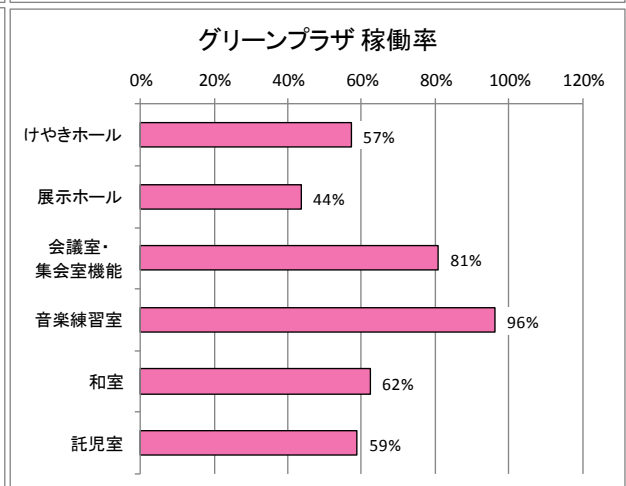
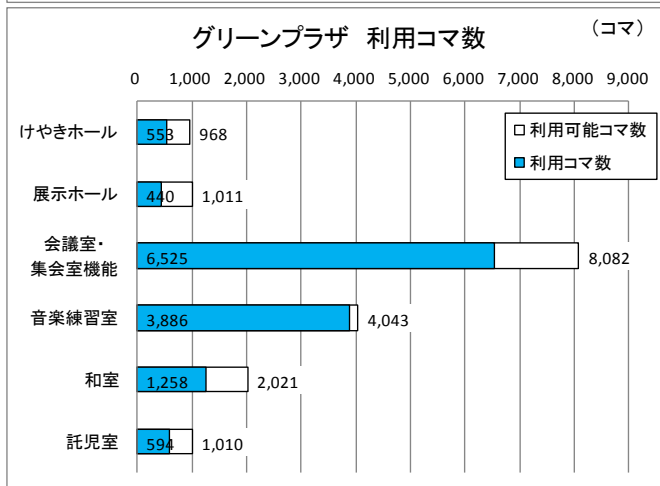
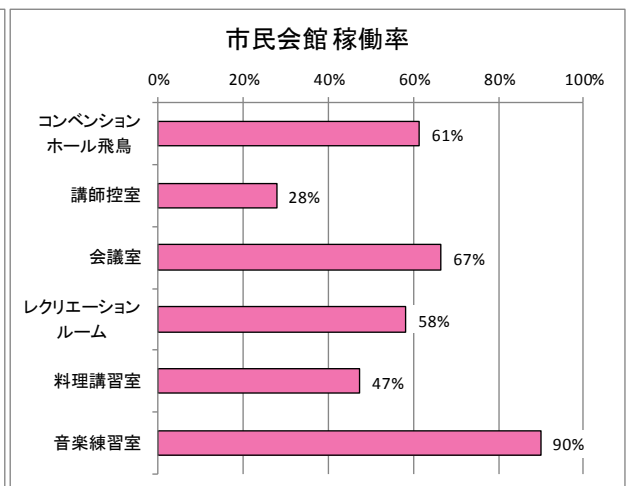
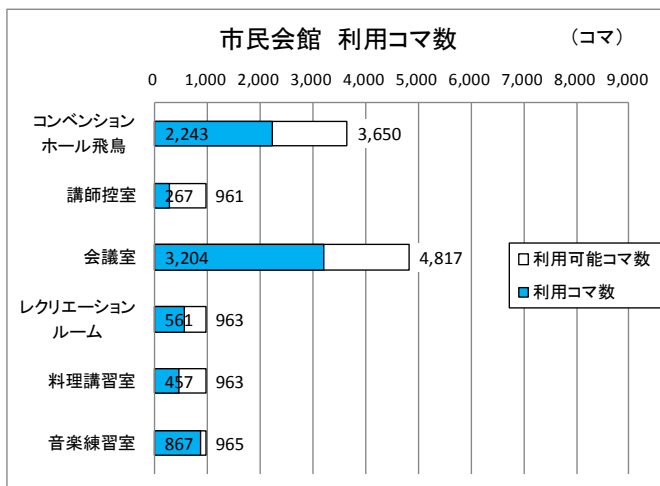
④府中の森芸術劇場

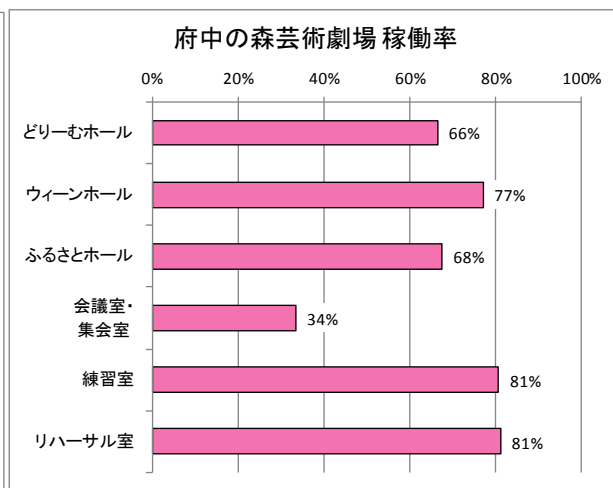
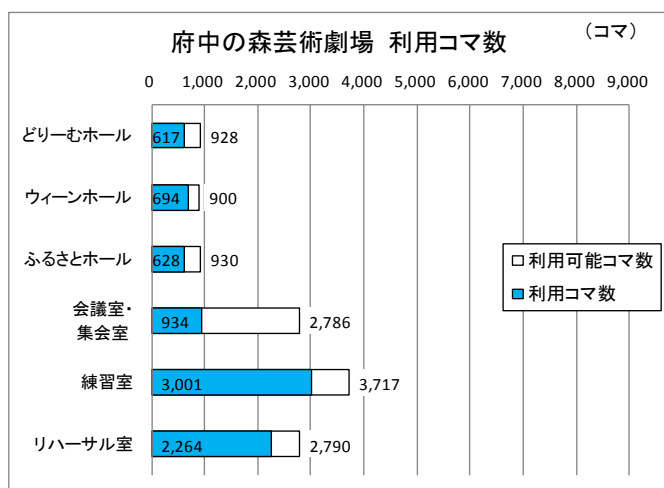
- ・府中の森芸術劇場全体の年間利用コマ数は8,138コマでした。機能別の稼働率では、練習室とリハーサル室が高くなっています。ただし、リハーサル室がいずれの部屋も80%前後の稼働率なのに対して、練習室は部屋によって稼働率に若干の差があります。

【府中の森芸術劇場利用状況】

	利用者数	利用 可能日数	利用可能 コマ数	利用コマ数	稼働率
どリーむホール	351,248	310	928	617	66%
ウィーンホール	55,197	307	900	694	77%
ふるさとホール	65,962	310	930	628	68%
平成の間	29,111	309	926	453	49%
梅の間	-	310	930	178	19%
櫺の間	-	310	930	303	33%
第1練習室	-	310	927	643	69%
第2練習室	-	310	930	874	94%
第3練習室	-	310	930	700	75%
第4練習室	-	310	930	784	84%
第1リハーサル室	-	310	930	779	84%
第2リハーサル室	-	310	930	739	79%
第3リハーサル室	-	310	930	746	80%

【施設別利用状況】

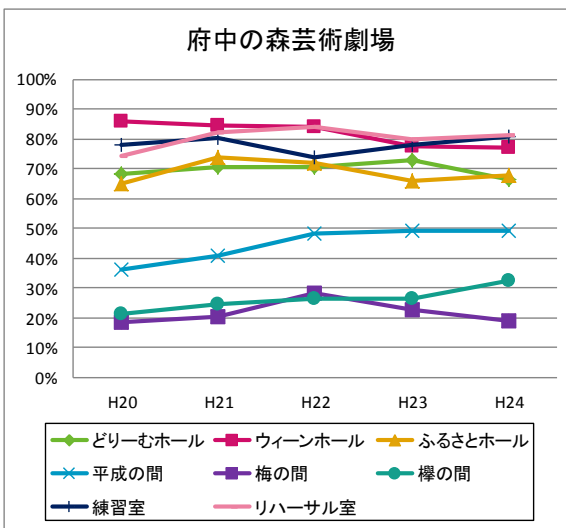
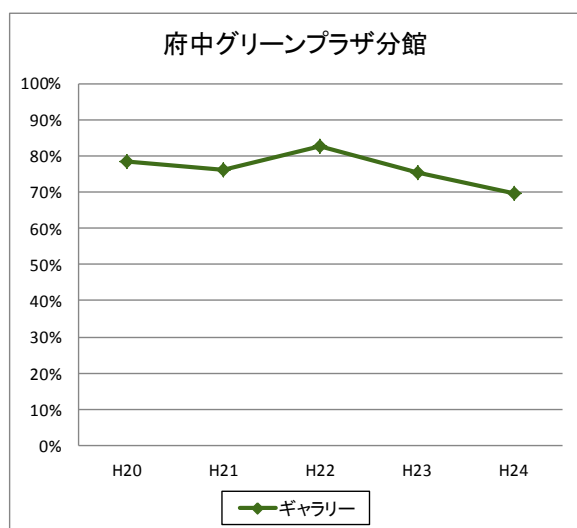
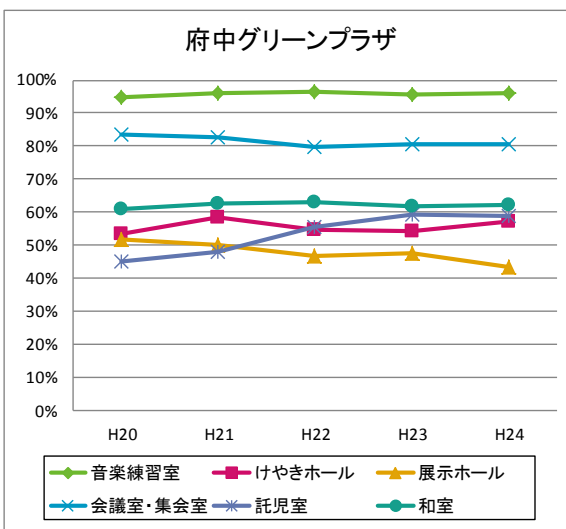
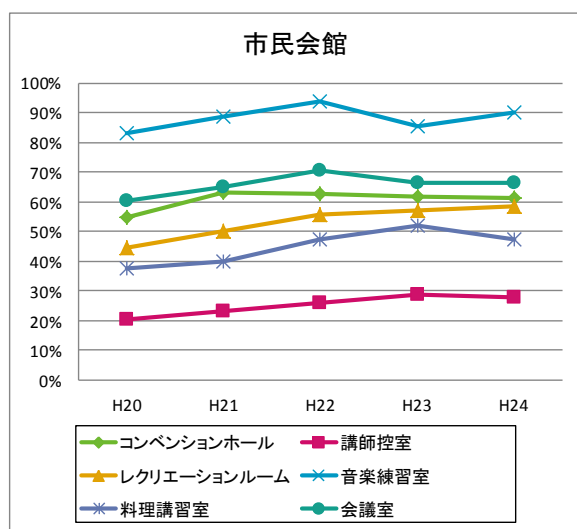




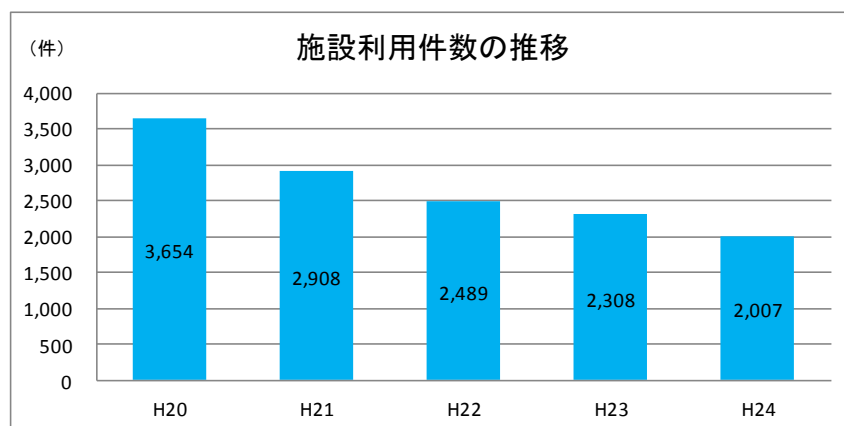
(6) 施設別の利用状況の推移

- ・ 市民文化系施設の貸館機能については、稼働率の推移にあまり大きな変化はありません。

【稼働率の推移】

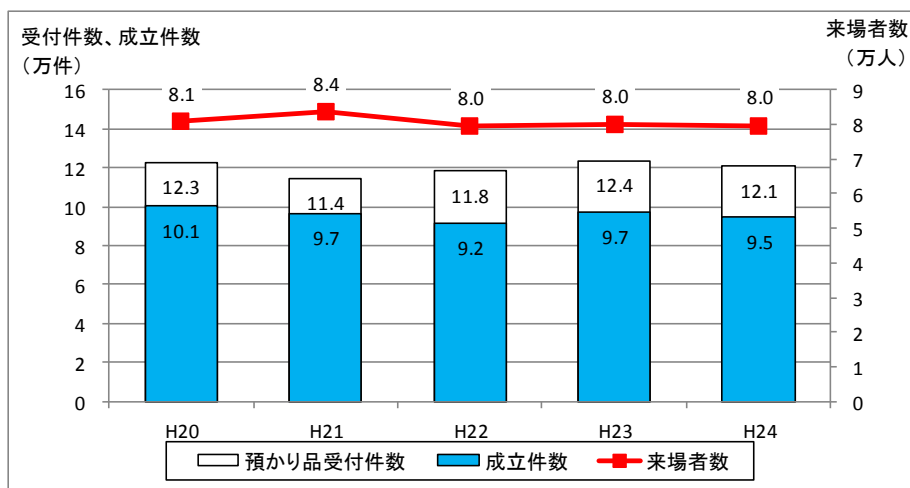


- ・府中NPO・ボランティア活動センターのミーティングスペースの利用件数は、減少傾向となっています。



- ・リサちゃんショップけやきの来場者数や預かり品受付件数などは、横ばいの状況です。

	H20	H21	H22	H23	H24
預かり品受付件数(件)	123,021	114,416	118,311	123,829	121,041
成立件数(件)	100,527	96,550	91,778	97,158	94,887
成立率	82%	84%	78%	78%	78%
来場者数(人)	80,825	83,714	79,535	80,241	79,719



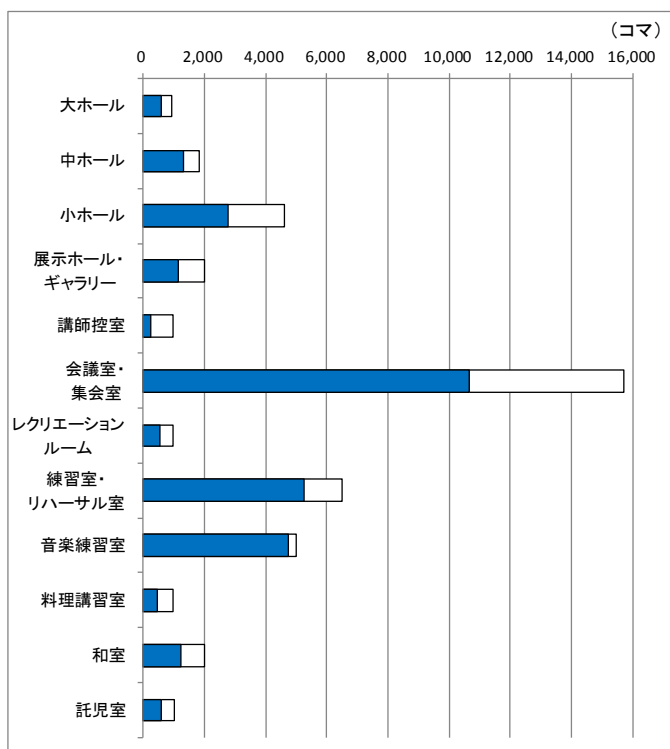
(7) 機能別の稼働率

・市民文化系施設（4 施設）における同種の機能で稼働率を集計してみると、音楽練習室などの音楽機能の稼働率が最も高くなっています。また、規模の大きなホール機能はいずれも稼働率が70%程度でした。

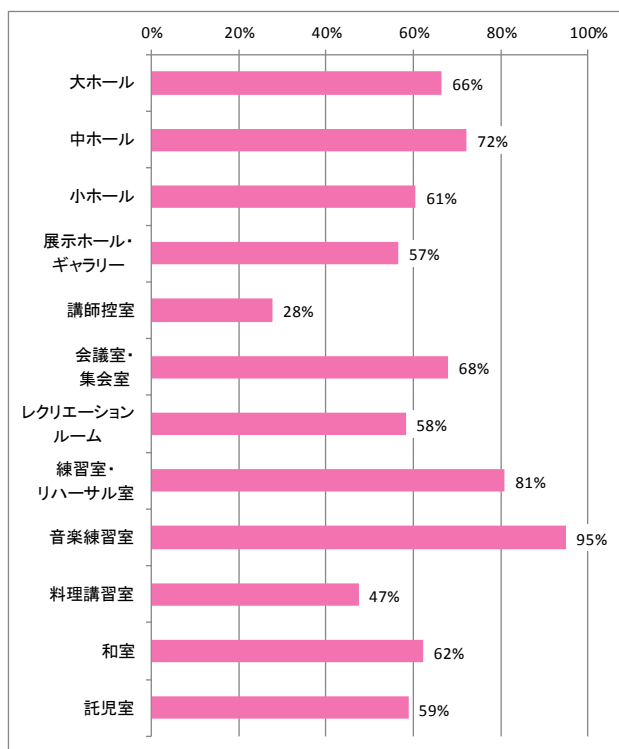
【機能別利用状況】

	利用可能コマ数	利用コマ数	稼働率
大ホール	928	617	66%
中ホール	1,830	1,322	72%
小ホール	4,618	2,796	61%
展示ホール・ギャラリー	2,022	1,144	57%
講師控室	961	267	28%
会議室・集会室	15,685	10,663	68%
レクリエーションルーム	963	561	58%
練習室・リハーサル室	6,507	5,265	81%
音楽練習室	5,008	4,753	95%
料理講習室	963	457	47%
和室	2,021	1,258	62%
託児室	1,010	594	59%

【利用コマ数】



【稼働率】



(8) コスト状況

・市民会館のコストは約8,397万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約3,473万円(41%)、事業運営にかかるコストは約3,149万円(37%)、減価償却費相当額は約1,776万円(21%)です。なお、利用料金制度を導入しているため、駐車場を除く施設使用料は歳入の項目には含まれていません。

・府中グリーンプラザ(分館含む。)のコストは約1億8,468万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約300万円(2%)、事業運営にかかるコストは約1億3,160万円(71%)、減価償却費相当額は約5,008万円(27%)です。なお、利用料金制度を導入しているため、施設使用料は歳入の項目には含まれていません。

・府中NPO・ボランティア活動センターのコストは約1,047万円でした。そのうち、業務の運営の委託に係る費用が約968万円(92%)です。施設機能の一部であることから、施設管理に係るコストはほとんどありません。

・リサちゃんショップけやきのコストは約857万円でした。施設機能の一部であることから、施設管理に係るコストはなく、全て事業運営に係るコストです。

・府中の森芸術劇場のコストは、6億6,479万円でした。そのうち、事業運営にかかるコストは約4億7,207万円(71%)、減価償却費相当額は約1億9,272万円(29%)です。なお、利用料金制度を導入しているため、施設使用料は歳入の項目には含まれていません。

【施設別コスト一覧表：文化系施設】

【収益の部】

(千円)

	市民会館	府中グリーンプラザ (分館含む。)	府中NPO・ ボランティア 活動センター	リサちゃんショップ けやき	府中の森芸術劇場
使用料	13,841	0	0	0	0
その他	0	0	183	0	0
収益 計	13,841	0	183	0	0

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に 係る コスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	0	0	795	0	0
	施設修繕費	0	3,000	0	0	0
	光熱水費	0	0	0	0	0
	建物管理委託費	34,728	0	0	0	0
	管理に係るコスト 計	34,728	3,000	795	0	0
事業運営に 係る コスト	人件費	7,947	4,335	0	2,474	7,947
	業務運営等委託費	23,518	127,258	9,065	6,100	278,167
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	185,939
	その他物件費	22	7	614	0	15
	運営に係るコスト 計	31,486	131,600	9,679	8,574	472,068
現金収支を伴うコスト 計		66,215	134,600	10,474	8,574	472,068

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	17,755	50,084	0	0	192,721
----------	--------	--------	---	---	---------

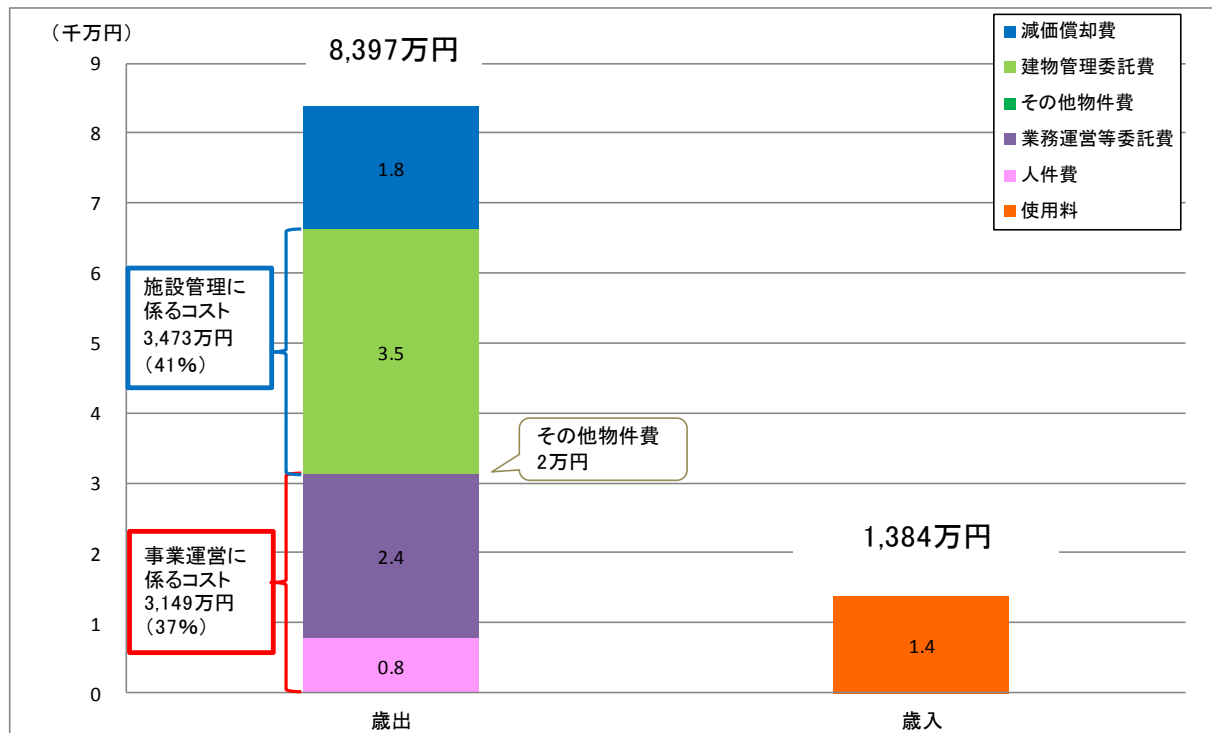
III. 総括

合計(トータルコスト)	83,969	184,683	10,474	8,574	664,788
-------------	--------	---------	--------	-------	---------

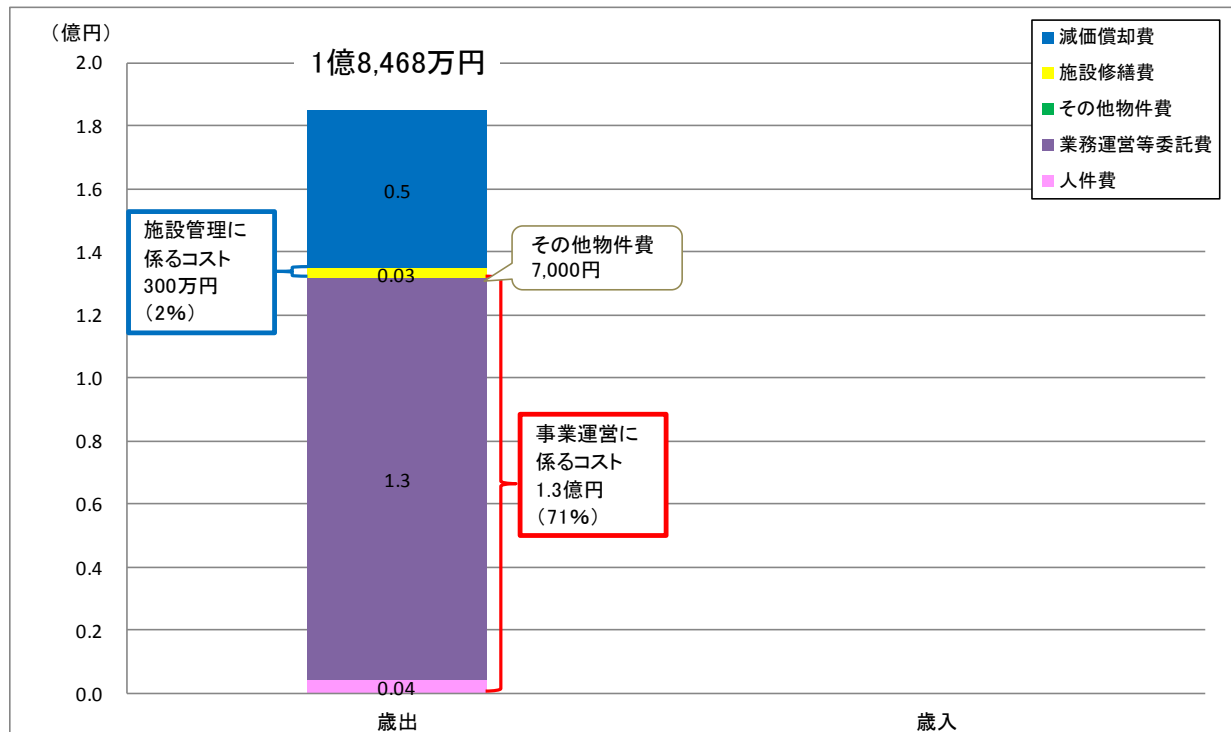
【収支差額】

収益ーコスト	-70,128	-184,683	-10,291	-8,574	-664,788
--------	---------	----------	---------	--------	----------

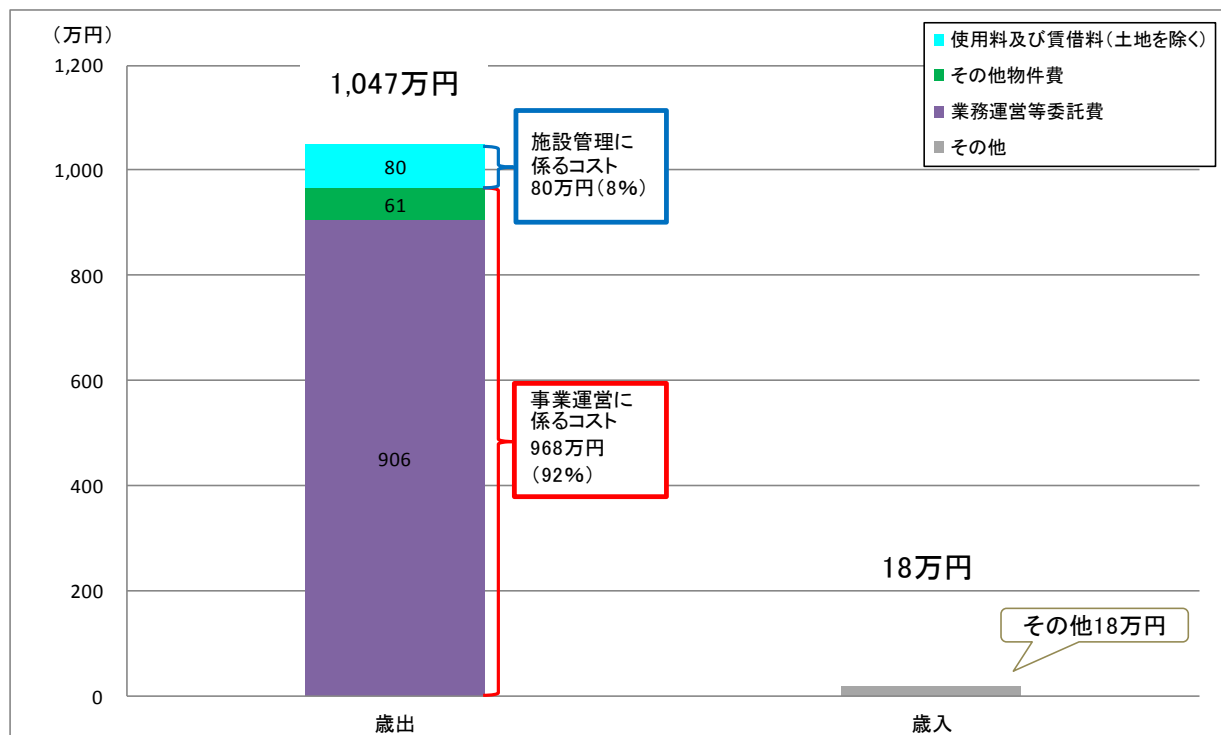
【施設別コスト：市民会館】



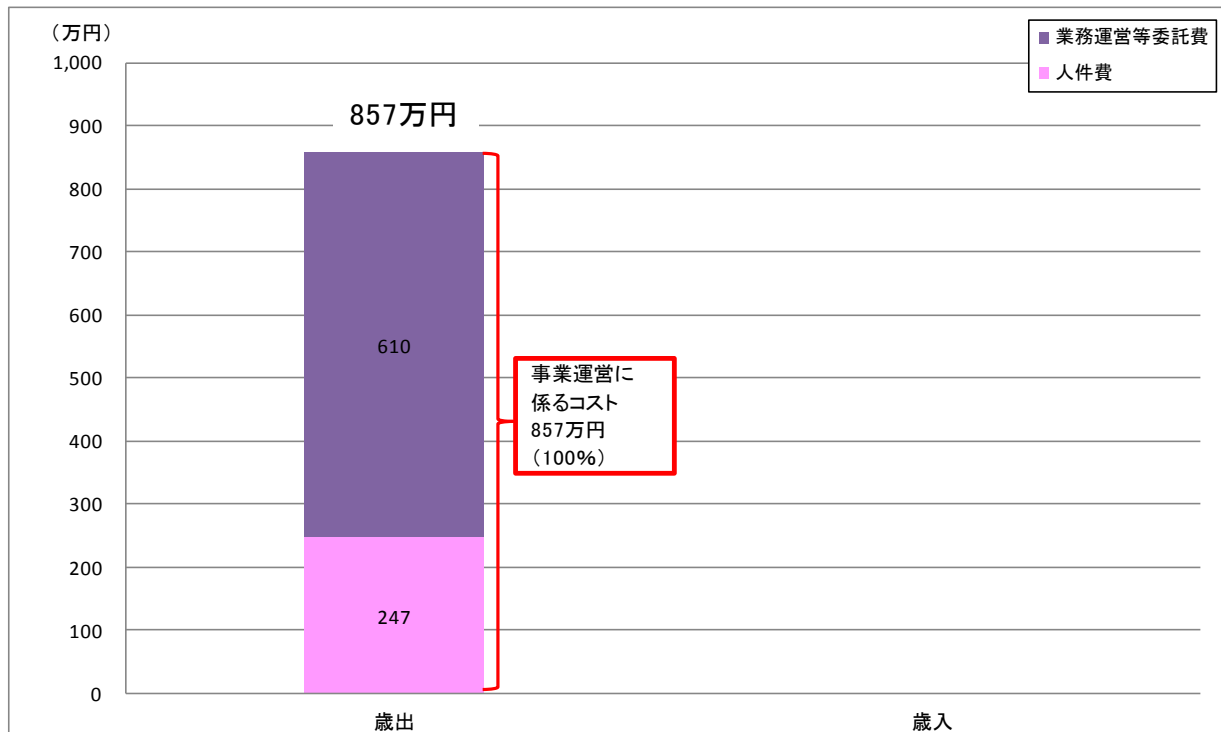
【施設別コスト：府中グリーンプラザ（分館含む。）】



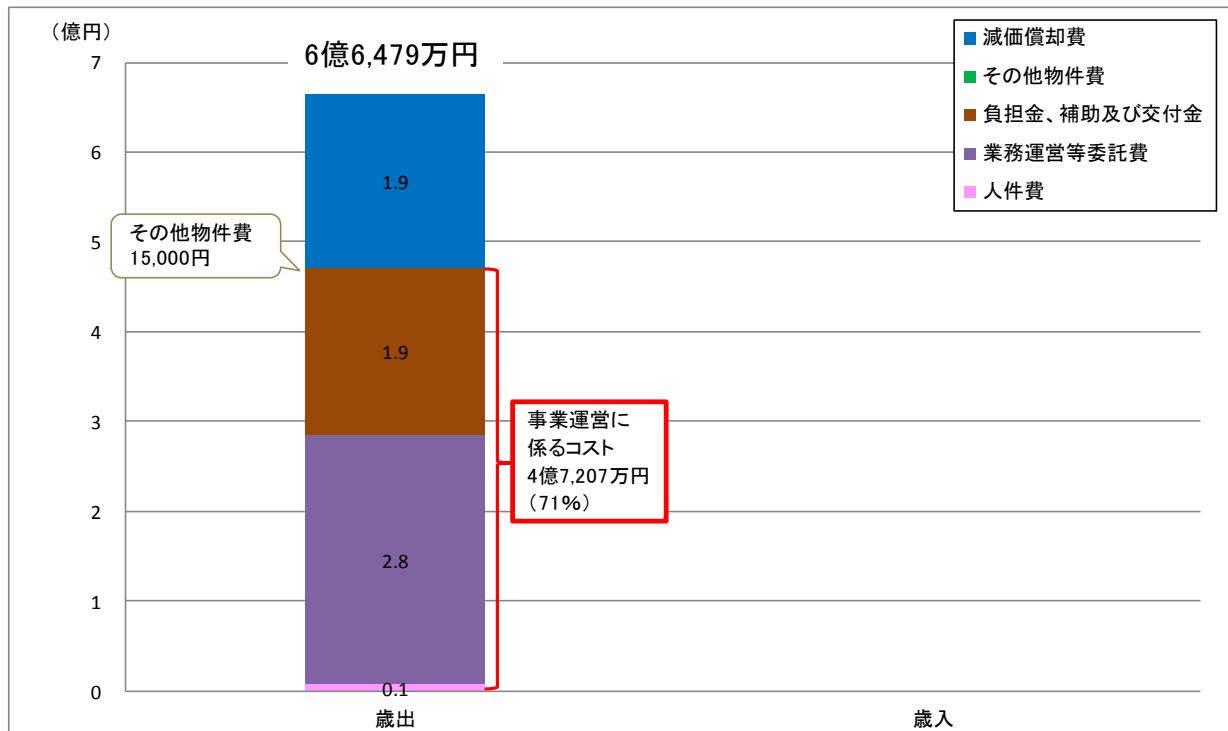
【施設別コスト：府中NPO・ボランティア活動センター】



【施設別コスト：リサちゃんショップけやき】



【施設別コスト：府中の森芸術劇場】



※指定管理者制度導入施設については、指定管理料の中に「光熱水費」、「建物管理委託費」などを含んでいます。

※府中グリーンプラザ（分館含む。）、芸術劇場及び市民会館（駐車場を除く。）は利用料金制のため、施設使用料は指定管理者の収入となっています。

2-1 図書館

(1) 概要

- 中央図書館のほか、12の地区図書館があります。図書館は全て単独の建物ではなく、他の施設との複合施設となっています。
- 中央図書館は、延床面積及び蔵書数が全図書館の約60%を占めています。一般図書だけでなく専門図書も多く、開館時間も地区図書館より長くなっています。このことから、地区図書館の書庫としての役割を果たしており、中央図書館を中心とした有機的ネットワークを構成して、全市域の住民に広く図書サービスを提供しています。
- 地区図書館は、文化センター、ふるさと府中歴史館及び生涯学習センター内に設置されています。地域に密着した小規模な図書館ですが、図書館相互の取り寄せサービス（リクエストサービス）を通じ、利用者は地区図書館でも中央図書館所蔵の蔵書を借りることができます。
- 図書館を利用できるのは、府中市に居住、通勤及び通学している方のほか、相互利用を実施している市の市民の方です。（相互利用：八王子市・調布市・町田市・日野市・多摩市・稲城市・国分寺市・国立市・小金井市）

図書館	
設置目的・根拠法	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は、「社会教育のための機関（社会教育法第9条1項）であり、国民が自ら実際生活に即する文化的教養を高め得る場である。 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。 市民が、文化、教養その他社会教育の向上を図るため。 （社会教育法第3条第1項）（図書館法第3条）【府中市立図書館条例】
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 図書、記録、視聴覚教育の資料、その他必要な資料（＝図書館資料）を収集し、一般公衆の利用に供すること。 図書館資料の分類配列を適切にし、及びその目録を整備すること。 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。 他の図書館と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。 【図書館法第3条各号】
所管	文化スポーツ部図書館

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積 (共用部除く)	建物全体の 延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
									土地	建物		
中央図書館	H19	2007	6年	6,076㎡	14,190㎡	SRC造	不要	不要	市	市	※	市民会館
白糸台図書館	S45	1970	43年	207㎡	1,951㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	白糸台文化センター
西府図書館	S46	1971	42年	246㎡	1,923㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	西府文化センター
武蔵台図書館	S48	1973	40年	237㎡	1,902㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	武蔵台文化センター
新町図書館	S48	1973	40年	223㎡	1,964㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	新町文化センター
住吉図書館	S48	1973	40年	255㎡	1,962㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	住吉文化センター
是政図書館	S49	1974	39年	246㎡	1,937㎡	RC造	実施	実施	一部民	市	直営	是政文化センター
紅葉丘図書館	S50	1975	38年	208㎡	1,975㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	紅葉丘文化センター
押立図書館	S52	1977	36年	48㎡	638㎡	RC造	実施	建替	市	市	直営	押立文化センター
四谷図書館	S52	1977	36年	180㎡	1,394㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	四谷文化センター
片町図書館	S62	1987	26年	228㎡	2,317㎡	RC造	不要	不要	一部民	市	直営	片町文化センター
宮町図書館	S41	1966	47年	242㎡	2,376㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	ふるさと府中歴史館
生涯学習センター 図書館	H4	1992	21年	1,107㎡	20,383㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	生涯学習センター

※中央図書館の運営は、市が直接運営していますが、図書の貸出などの業務はPFI事業者が担っています。

【施設配置図】

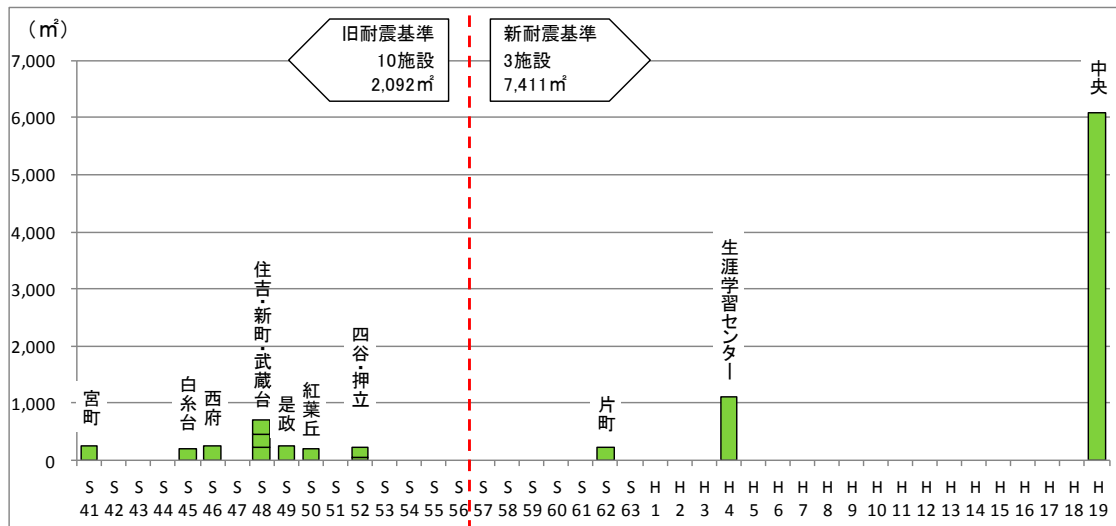


(2) 概要

①施設規模

- 中央図書館の延床面積は 6,076 m²で、全図書館の延床面積の 64%を占めています。
- 中央図書館と生涯学習センター図書館以外は、200 m²程度の規模ですが、押立図書館は 48 m²です。
- 昭和 56 年以前の旧耐震基準で建築された施設の延床面積は、2,092 m² (10 施設) です。
- 昭和 57 年以降の新耐震基準で建築された施設の延床面積は、7,411 m² (3 施設) です。

【築年度別整備状況】



②スペース構成

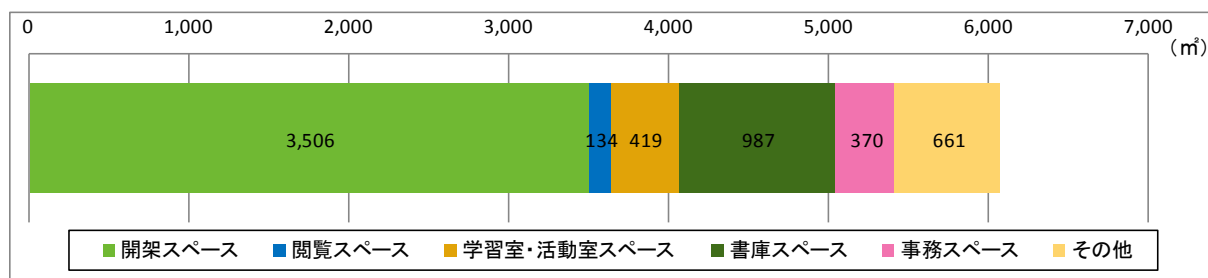
・中央図書館は市民会館との複合施設「ルミエール府中」の3～5階にありますが、利用者が多い一般向け図書やハンディキャップ資料、児童室などは低層階に用意されています。また、閉架書庫を自動化し地下に設置することで、限られたスペースで多くの蔵書スペースを確保しています。

・地区図書館の一部では、事務スペースが閉架書庫や倉庫、打合せ場所などを兼ねている場所もあります。

【中央図書館の構成①】

5階	学習室、事務室
4階	地域・行政資料、一般資料、視聴覚コーナー、YA(ヤングアダルト)、しごと情報、ウィーンコーナー、特別文庫、外国語、参考図書、研究個室・グループ研究室、多目的ルーム
3階	総合受付カウンター、一般図書、雑誌・新聞、読書室、予約本コーナー、対面朗読室、じどうしつ、ハンディキャップ資料、ボランティア活動室

【中央図書館の構成②】



【地区図書館の構成】

	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター
事務室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
図書室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
閲覧室・読書室	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
閉架書庫	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○

(3) 運営体制

①運営形態

・中央図書館は市とPFI事業者が役割分担をして運営を行っています。具体的には、市は利用者登録やレファレンス事業、児童サービス、ハンディキャップサービス、購入資料の選定などを担当しています。一方、PFI事業者は図書の貸出や返却、書架整理、146席ある学習室の管理、施設管理などを担当しています。

・ハンディキャップサービスには多くのボランティアが参加しており、視覚障害者への対面朗読や録音図書の作成などを行っています。

・地区図書館は市が直接運営しています。

②運営日数・運営時間

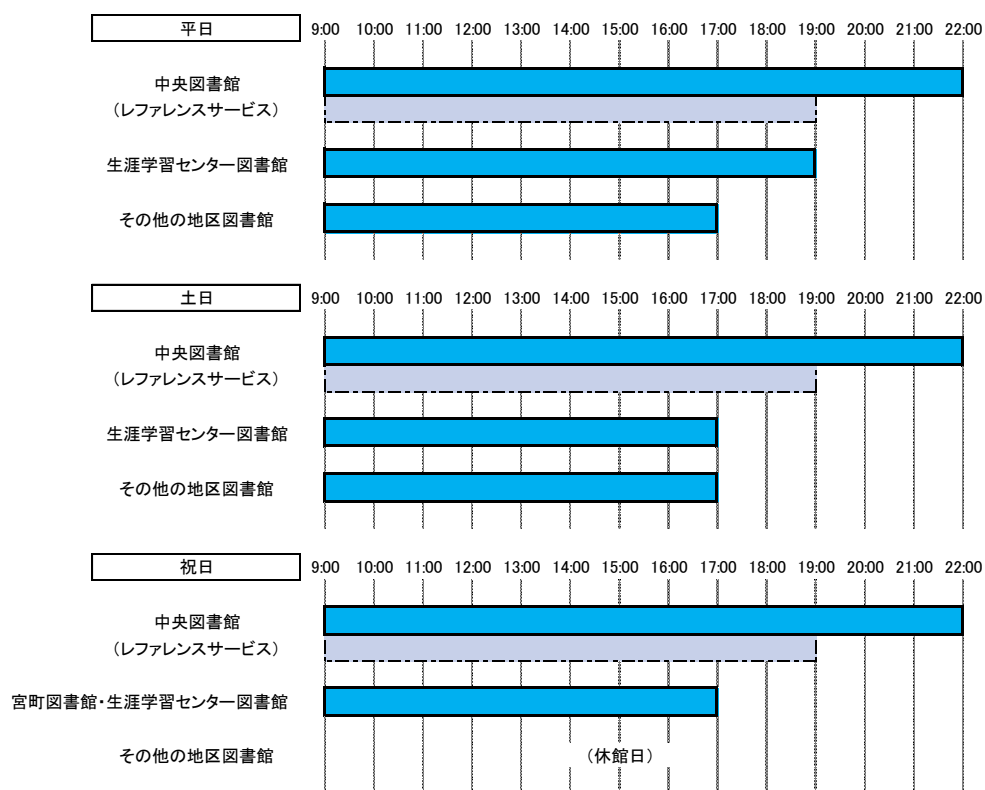
・運営日数は、宮町図書館を除き 310 日前後でした。全ての施設が複合施設であり、図書館だけでなく、同じ建物内にある他の施設の休館日も運営日数に影響を与えています。なお、各図書館が一斉に休館とならないよう、休館日が設定されています。

【運営日数】

平成24年度	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	平均
平日	201	212	212	211	212	211	212	211	213	212	212	186	200	208.1
土日・祝日	111	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	107	109	99.8
合計	312	309	309	308	309	308	309	308	310	309	309	293	309	307.8

- ・中央図書館の運営時間は、曜日に関わらず 9:00～22:00 で、会社員などを含む幅広い層に利用されています。
- ・生涯学習センター図書館の運営時間は、平日が 9:00～19:00、土日・祝日が 9:00～17:00 です。
- ・宮町図書館の運営時間は、曜日に関わらず 9:00～17:00 です。
- ・上記以外の地区図書館の運営時間は、平日・土日の 9:00～17:00 です。

【運営時間】



③人員体制

- ・中央図書館では、市の職員のほか、PFI事業者の社員が勤務しています。PFI事業者の社員は、10人程度が1日3交代制で勤務しています。
- ・地区図書館には嘱託職員や臨時職員を配置しています。

(4) 利用状況

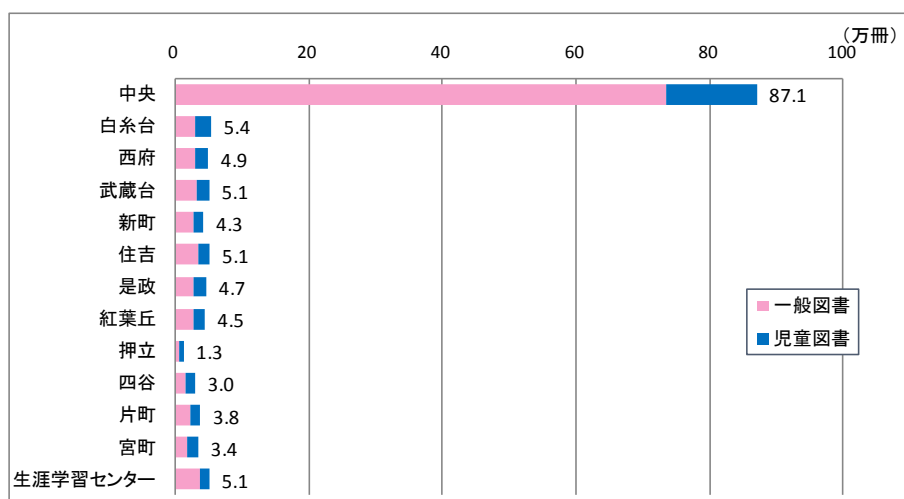
①所蔵資料数

- ・図書資料は約 138 万冊で、そのうち中央図書館が 63%にあたる約 87 万冊を所蔵しています。また、新聞及び雑誌の種類についても、地区図書館より中央図書館の方が多くなっています。
- ・中央図書館が備えている自動書庫は、人が通るスペースをとる必要がなく、多数の蔵書を保管することが可能です。
- ・地区図書館の所蔵図書は平均 4.2 万冊です。そのうち 40%近くが児童図書となっています。

【所蔵図書資料数】

(冊)

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
一般図書	726,700	30,765	30,100	33,341	27,167	33,944	28,280	27,435	6,494	16,486	21,918	18,685	36,717	1,038,032
児童図書	134,753	22,972	19,298	17,561	15,453	17,498	18,388	17,134	6,166	13,298	15,813	15,754	14,100	328,188
外国語一般図書	7,718	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,718
外国語児童図書	1,534	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,534
図書資料 計	870,705	53,737	49,398	50,902	42,620	51,442	46,668	44,569	12,660	29,784	37,731	34,439	50,817	1,375,472



【所蔵雑誌・新聞タイトル数】

(種類)

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター
雑誌	36	7	8	7	7	7	7	7	6	6	7	7	8
新聞	491	72	71	72	67	71	73	72	33	32	68	56	91

- ・中央図書館には、視聴覚資料やマイクロフィルム、ハンディキャップサービスのための点字図書などもあります。

【中央図書館の他所蔵資料数】

カセットテープ	CD	DVD	ビデオテープ	レーザーディスク	録音図書	マイクロフィルム	大活字本	点字一般図書	点字児童図書	布の絵本・さわる絵本
8,497点	42,588点	6,827点	12,613点	3,220点	818点	3,987点	2,664冊	607冊	20冊	87冊

②登録者数

- ・貸出登録者数（他市民含む。）は15万8,585人です。

（人）

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
登録者数	95,757	7,834	3,977	5,541	3,622	6,304	4,472	4,583	1,896	3,539	4,607	5,514	10,939	158,585
内新規登録者数	7,347	363	222	278	211	309	227	247	96	190	281	351	452	10,574

③貸出点数・貸出者数

・図書館全体の貸出点数は246万891点、貸出者数は82万7,358人でした。貸出者1人当たり年間3点借りていることになります。貸出点数・貸出者数ともに全体の約60%を中央図書館が占めています。

・中央図書館の来館者数は94万9,915人でした。このうち貸出者数は48.6万人と、来館者数全体の約50%で、貸出以外の来館者（閲覧や学習室利用など）と同じくらいの割合となっています。

・地区図書館では、貸出点数、貸出者数ともに、白糸台図書館が最も多く、次いで住吉図書館、生涯学習センター図書館が多くなっています。

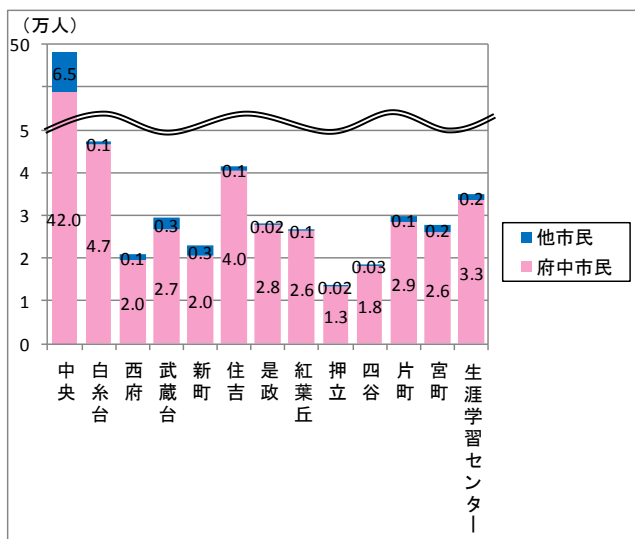
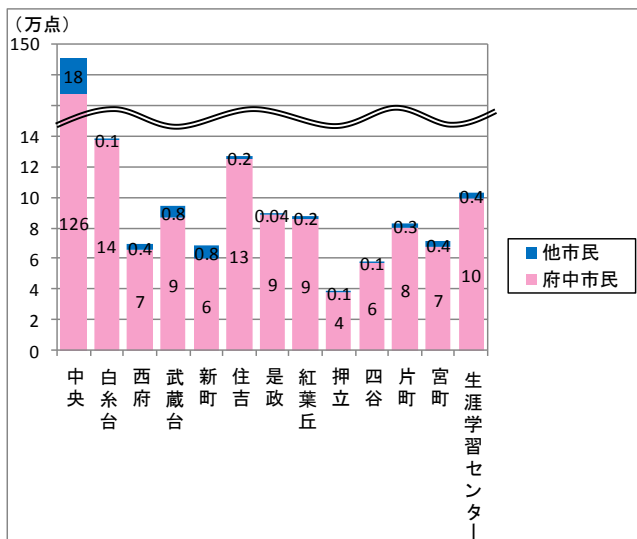
・中央図書館、武蔵台図書館、新町図書館及び西府図書館は、他市民の利用の割合が比較的高くなっています。

・中央図書館の他市市民の利用の割合が高いのは、アクセスの良さや豊富な蔵書のためと考えられます。一方、新町図書館、武蔵台図書館及び西府図書館において他市市民の利用の割合が高い要因は、他市に近い（武蔵台図書館は国分寺市、新町図書館は小金井市、西府図書館は国立市）ことなどが考えられます。

【貸出点数・貸出者数】

年間貸出点数	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
府中市民（点）	1,256,992	137,068	65,946	86,553	60,117	125,193	88,521	85,935	38,136	57,340	80,157	67,513	99,487	2,248,958
（割合）	88%	99%	95%	92%	88%	98%	100%	98%	99%	98%	97%	94%	96%	91%
他市民（点）	175,032	1,044	3,528	7,650	7,974	2,109	440	1,601	547	1,037	2,900	4,177	3,894	211,933
（割合）	12%	1%	5%	8%	12%	2%	0%	2%	1%	2%	3%	6%	4%	9%
合計	1,432,024	138,112	69,474	94,203	68,091	127,302	88,961	87,536	38,683	58,377	83,057	71,690	103,381	2,460,891

年間貸出者数	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
府中市民（人）	420,275	46,602	19,611	26,739	20,403	40,477	27,596	26,229	13,393	18,265	28,557	25,922	33,498	747,567
（割合）	87%	99%	93%	91%	88%	98%	99%	98%	99%	98%	96%	93%	96%	90%
他市民（人）	65,472	507	1,415	2,596	2,710	907	209	631	191	330	1,310	1,952	1,561	79,791
（割合）	13%	1%	7%	9%	12%	2%	1%	2%	1%	2%	4%	7%	4%	10%
合計	485,747	47,109	21,026	29,335	23,113	41,384	27,805	26,860	13,584	18,595	29,867	27,874	35,059	827,358



④貸出点数・貸出者数の推移

・図書館全体では、貸出点数・貸出者数ともに減少傾向です。特に5年前と比較して減少幅が大きいのは、宮町図書館と生涯学習センター図書館です。

・四谷図書館は、平成20年度は建物の工事による長期休館の期間があったため、増減率は高くなっていますが、休館前との比較では、貸出点数・貸出者数ともに若干減少しています。(四谷図書館の平成19年度貸出点数は5万6,649点、貸出利用者数は2万299人)

※ 平成20年11月1日～平成21年6月14日 四谷図書館休館(平日午後リクエスト資料の貸出は実施)

【貸出点数の推移】

【貸出者数の推移】

	(点)							(人)					
	H20	H21	H22	H23	H24	H20～H24 の増減率		H20	H21	H22	H23	H24	H20～H24 の増減率
中央	1,596,730	1,625,096	1,597,259	1,516,432	1,432,024	-10.3%	中央	537,501	544,015	542,449	514,707	485,747	-9.6%
白糸台	144,003	144,476	143,140	143,572	138,112	-4.1%	白糸台	47,890	47,800	48,474	48,903	47,109	-1.6%
西府	72,373	71,414	73,030	73,652	69,474	-4.0%	西府	21,964	22,194	23,042	22,721	21,026	-4.3%
武蔵台	100,999	102,584	95,223	96,752	94,203	-6.7%	武蔵台	32,310	31,877	30,370	30,642	29,335	-9.2%
新町	64,076	66,998	66,460	66,950	68,091	6.3%	新町	21,810	22,550	22,689	22,328	23,113	6.0%
住吉	133,546	131,906	130,233	129,442	127,302	-4.7%	住吉	43,540	43,504	42,516	42,807	41,384	-5.0%
是政	88,557	94,584	95,533	93,995	88,961	0.5%	是政	28,053	29,149	29,530	29,328	27,805	-0.9%
紅葉丘	92,963	94,757	92,533	89,356	87,536	-5.8%	紅葉丘	28,196	28,931	28,582	30,849	26,860	-4.7%
押立	41,435	41,923	39,665	39,582	38,683	-6.6%	押立	13,923	14,163	13,940	14,159	13,584	-2.4%
四谷	42,785	51,371	58,756	57,890	58,377	36.4%	四谷	14,252	16,304	18,788	18,696	18,595	30.5%
片町	82,195	85,813	90,291	84,746	83,057	1.0%	片町	30,029	31,878	33,672	29,836	29,867	-0.5%
宮町	89,001	69,321	11,803	72,865	71,690	-19.5%	宮町	34,796	27,345	5,759	27,964	27,874	-19.9%
生涯学習センター	119,875	116,987	115,470	110,953	103,381	-13.8%	生涯学習センター	40,962	39,451	39,843	37,588	35,059	-14.4%
合計	2,668,538	2,697,230	2,609,396	2,576,187	2,460,891	-7.8%	合計	895,226	899,161	879,654	870,528	827,358	-7.6%

⑤リクエスト件数

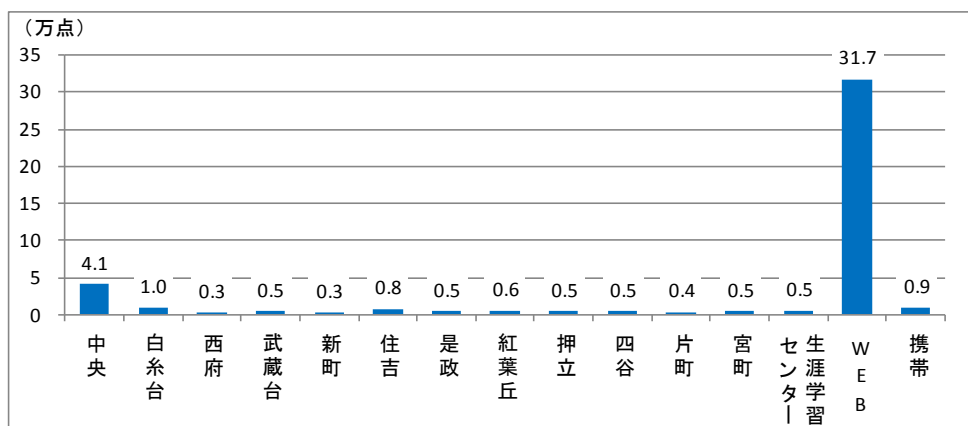
・リクエストサービスは、各図書館やインターネットを通じて、資料を希望する図書館に取り寄せることができるサービスです。

・リクエストを受けて資料を提供した件数(リクエスト件数)は、42万9,984件でした。リクエストを受付した窓口別では、WEDと携帯電話を合わせた件数が全体の76%を占めています。

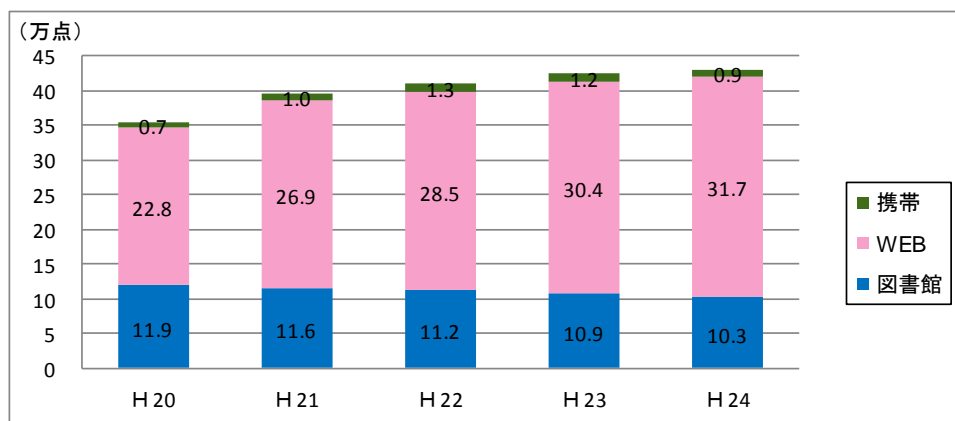
・リクエスト件数は年々増加し、平成20年度から平成24年度の間、20%増加しています。主な

要因は、インターネットからのリクエスト件数が約 30%増加していることにあります。一方で、図書館でのリクエスト件数は、平成 20 年度から平成 24 年度の間に 14%減少しています。

【リクエスト提供件数】



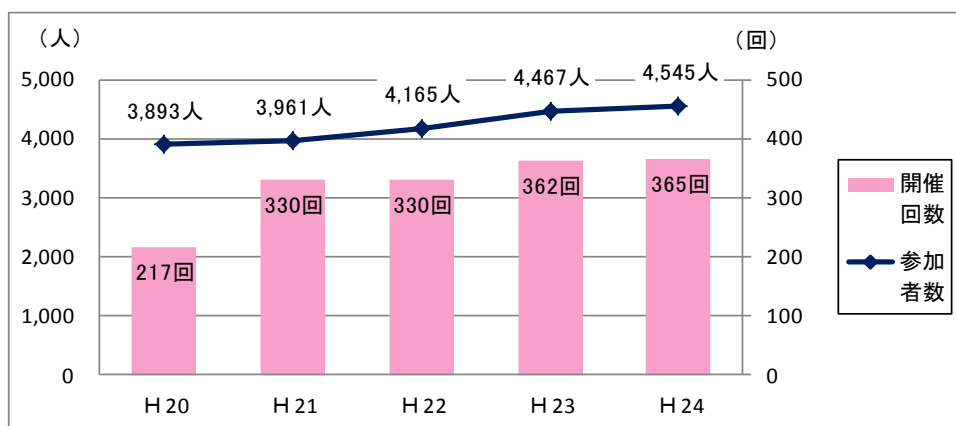
【リクエスト提供数の推移】



⑥主催事業数

- ・中央図書館では、おはなし会、講座、講演会及び講習会が開催されています。また、地区図書館でも、おはなし会が開催されています。
- ・参加者は、5 年間で約 650 人増加しています。

【おはなし会開催数及び参加者数の推移】



(5) コスト状況

①コスト及び収支状況

- ・図書館全体のコストは、約 7 億 7,698 万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約 1 億 763 万円（14%）、事業運営に係るコストは約 6 億 1,044 円（79%）です。
 - ・使用料及びその他の収入は約 175 万円です。
 - ・中央図書館のコストは約 6 億 4,761 万円で、図書館全体の 83%を占めています。
 - ・地区図書館（12 館）のコストの合計は約 1 億 2,937 万円で、1 館の平均は約 1,078 万円です。
- なお、地区図書館分の光熱水費や建物管理委託費などは、図書館のある文化センターなどの施設コストに含めています。
- ・生涯学習センター図書館を除いた各地区図書館では、事業運営に係るコストがコスト全体の 80%以上を占めています。

【施設別コスト一覧表：図書館】

【収益の部】

(千円)

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
使用料	107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107
その他	1,408	25	12	16	10	18	19	9	0	23	17	52	38	1,646
収益 計	1,515	25	12	16	10	18	19	9	0	23	17	52	38	1,754

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料（土地を除く）	215	57	26	59	38	51	46	39	2	44	33	70	1,342	2,021
	施設修繕費	478	18	18	18	18	58	18	58	0	58	18	100	0	860
	光熱水費	31,073	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,073
	建物管理委託費	73,679	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73,679
	管理に係るコスト 計	105,444	75	44	77	56	109	64	97	2	102	51	170	1,342	107,632
事業運営に係るコスト	人件費	178,738	11,883	7,887	8,213	8,211	9,114	8,175	7,732	5,261	5,312	7,895	7,909	15,905	282,234
	業務運営等委託費	320,661	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320,661
	負担金、補助及び交付金	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
	その他物件費	5,078	121	57	76	63	110	68	68	58	61	68	93	1,597	7,519
	運営に係るコスト 計	504,500	12,004	7,944	8,289	8,274	9,223	8,243	7,800	5,319	5,373	7,964	8,002	17,502	610,436
現金収支を伴うコスト 計		609,944	12,079	7,988	8,366	8,330	9,333	8,307	7,897	5,321	5,475	8,014	8,173	18,844	718,069

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	37,667	1,283	1,525	1,469	1,382	1,581	1,525	1,289	298	1,116	1,413	1,500	6,863	58,912
----------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	--------

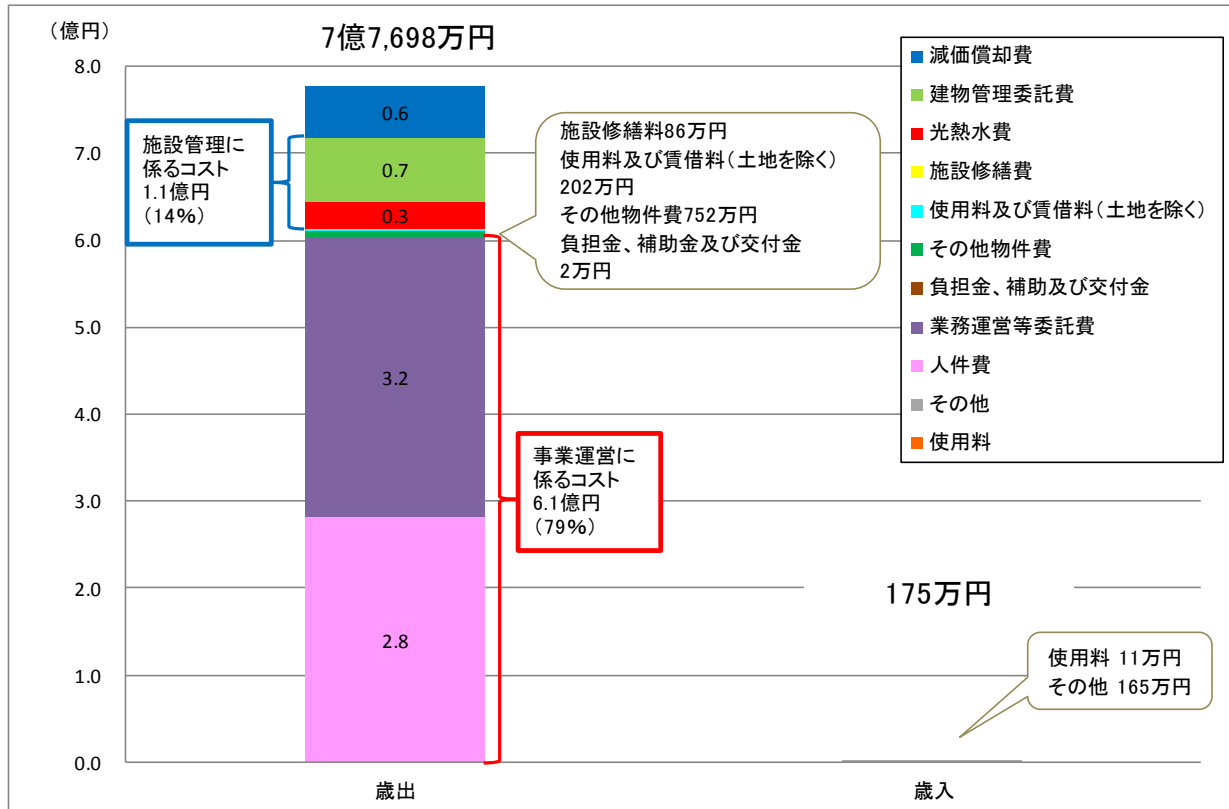
III. 総括

合計(トータルコスト)	647,611	13,362	9,513	9,835	9,712	10,913	9,832	9,186	5,618	6,591	9,428	9,673	25,706	776,981
-------------	---------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	---------

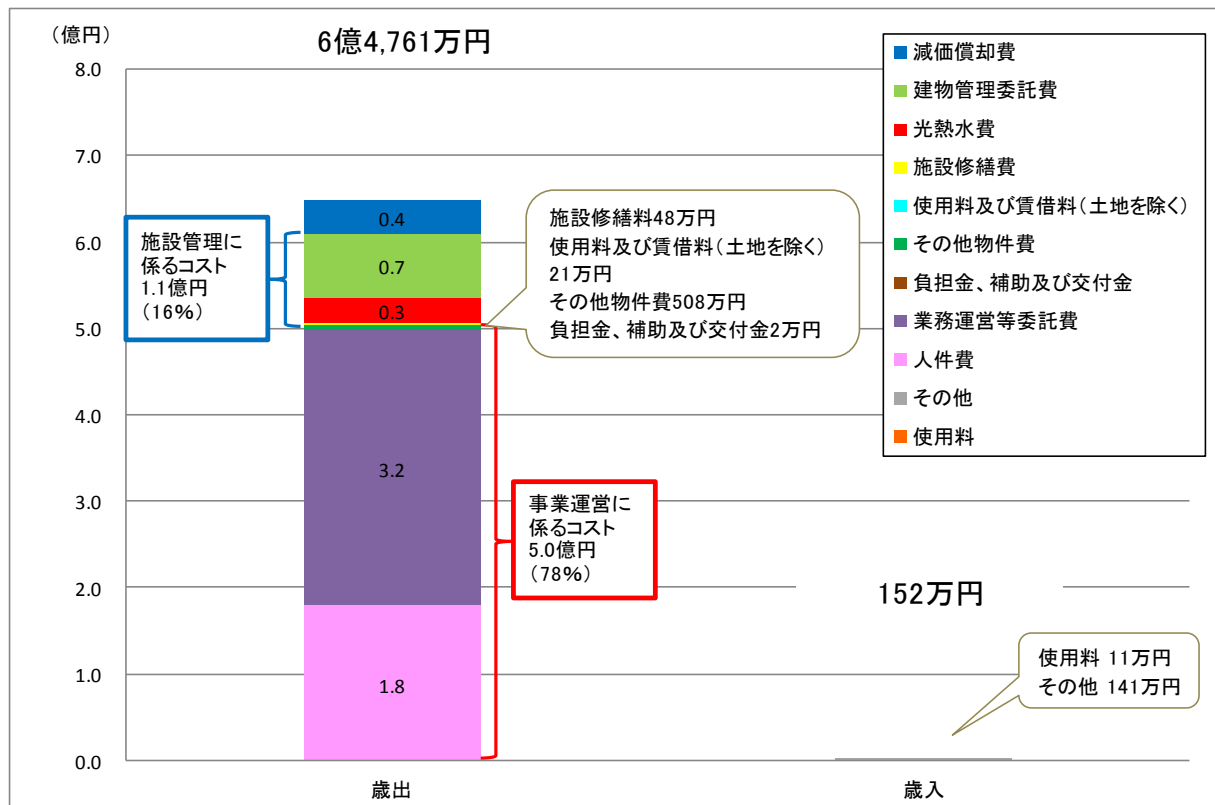
【収支差額】

収益ーコスト	-646,096	-13,337	-9,501	-9,819	-9,702	-10,895	-9,813	-9,178	-5,618	-6,567	-9,410	-9,620	-25,669	-775,227
--------	----------	---------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	----------

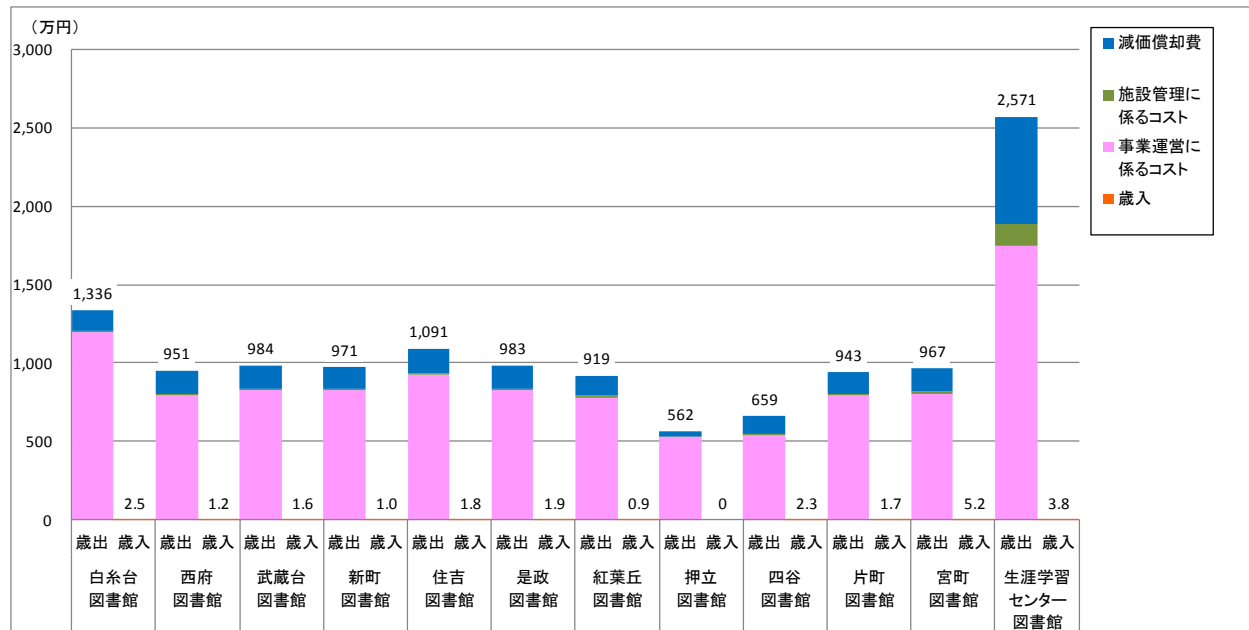
【トータルコスト：図書館】



【施設別コスト：中央図書館】



【施設別コスト：地区図書館】



②利用当たりコスト

- ・中央図書館の貸出に係るコストは、1人当たり1,333円、1点当たり452円です。
- ・地区図書館での貸出に係る平均コストは、1人当たり379円、1点当たり126円です。
- ・全館の貸出に係るコストは、1人当たり939円、1点当たり316円です。
- ・中央図書館は地区図書館の書庫としての役割を果たしていることから、単位当たりのコストが高くなっていると想定されます。

【参考】

他市との相互利用

- ・本市は八王子市、調布市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の京王線沿線の市と相互に図書館の連携を行い、また、国分寺市、国立市、小金井市とも個別に連携して相互利用を実施しています。
- ・本市の図書館は、府中市民のみならず他市民にも広く図書サービスを提供していると言えます。
- ・平成20年4月30日からは、府中市内にある東京外国語大学図書館との相互貸借サービスも開始しています。また、府中市在住、通勤・通学の利用登録者は、リクエストサービスを通じて、国会図書館、都立図書館、他自治体の図書館の資料を借りることができます。

【他市との相互利用状況】

(1)京王線沿線7市図書館連携利用状況

八王子市、府中市、調布市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の7市間の相互利用(平成20年4月1日開始)

	八王子市民		府中市民		調布市民		町田市民		日野市民		多摩市民		稲城市民		合 計	
	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数
八王子市	-	-	20	1,585	14	737	206	23,437	161	18,000	62	9,234	11	530	474	53,523
府中市	171	5,295	-	-	213	7,205	30	1,014	142	9,151	136	7,088	89	5,897	781	35,650
調布市	101	4,017	247	9,676	-	-	15	320	44	1,220	60	2,587	91	4,718	558	22,538
町田市	124	16,937	12	536	8	144	-	-	16	767	50	1,017	22	331	232	19,732
日野市	456	44,745	32	1,037	9	57	9	449	-	-	54	6,612	4	35	564	52,935
多摩市	939	89,939	120	8,969	31	1,409	271	36,755	350	42,972	-	-	167	19,550	1,878	199,594
稲城市	69	6,829	371	59,089	84	9,910	194	31,323	79	6,403	245	44,691	-	-	1,042	158,245
計	1,860	167,762	802	80,892	359	19,462	725	93,298	792	78,513	607	71,229	384	31,061	5,529	542,217

注：稲城市との相互利用は平成14年6月より開始

(2)国分寺市との相互利用(平成15年2月開始)

	国分寺市民		府中市民	
	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数
国分寺市	-	-	128	15,520
府中市	509	32,311	-	-

(3)国立市との相互利用(平成21年10月開始)

	国立市民		府中市民	
	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数
国立市	-	-	135	5,399
府中市	249	16,129	-	-

(4)小金井市との相互利用(平成21年10月開始)

	小金井市民		府中市民	
	登録者	貸出冊数	登録者	貸出冊数
小金井市	-	-	38	3,465
府中市	598	39,459	-	-

(出典：府中市立図書館「平成24年度 府中市立図書館事業概要」)

2-2 美術館、博物館（美術館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館）

（1）概要

- ・美術館は、都立府中の森公園内にあり、平成12年10月に開館しました。武蔵野・多摩地域の公立美術館の中でも規模の大きい美術館となっています。企画展示室や常設展示室のほか、牛島憲之記念館、公開制作室、市民ギャラリーなどを有しており、市内小中学校と協働で実施している美術鑑賞教室やアートスタジオなど、様々な教育普及活動も行っています。
- ・郷土の森博物館は、約14万㎡の敷地全体で府中の自然、地形及び風土の特徴を表現し、その中に昔の農家や町屋、歴史的な建物などを配置することで、野外を含めた「森」全体を博物館として、ふるさと府中の自然と歴史を楽しむことができる施設です。博物館本館（展示室、プラネタリウムなど）のほか、復元建築物や公園などで構成されています。
- ・ふるさと府中歴史館は、昭和41年度に整備した市立図書館及び郷土館を平成23年度にリニューアルし、国府資料展示室や公文書史料室、公文書史料展示室のほか、宮町図書館を併設した複合文化施設です。
- ・国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館は、国史跡である武蔵府中熊野神社古墳について紹介しています。古墳展示館の西側には実物大の石室模型が展示され、石室内を見ることができます。

	美術館	郷土の森博物館	ふるさと府中歴史館	国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館
設置目的・根拠法	市民の心豊かな文化的生活の享受に寄与するとともに、地域社会における美術教育・美術文化の振興を図るため。 【博物館法】【府中市美術館条例】	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため。 【博物館法】 【府中市郷土の森博物館条例】	本市の歴史・文化に関する教育の振興を図ることにより、市民の郷土に対する理解を深め、もって市民のふるさと府中を愛する心をはぐくむため。 【府中市ふるさと府中歴史館条例】	【府中市国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の管理及び運営に関する規則】
事業内容	・美術作品及び美術に関する資料の収集、保管、展示 ・美術に関する調査及び研究 ・美術に関する講演会、講習会等の開催 ・美術に関する指導、助言及び相談	・実物、標本、模写、模型、文献等の博物館資料を豊富に収集、保管、展示 ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究 ・博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の作成、頒布 ・博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催、開催の援助 ・教育活動その他の活動の機会を提供 ・プラネタリウムの放映に関すること	・国史跡武蔵府中熊野神社古墳に関する資料その他の市の歴史等に関する資料の収集 ・資料等の保存、展示及び閲覧に関すること ・資料等に係る説明、助言等 ・資料等の調査及び研究	・国史跡武蔵府中熊野神社古墳を墳丘土層標本、調査中の写真、解説パネル等で紹介
所管	文化スポーツ部 美術館	文化スポーツ部 ふるさと文化財課	文化スポーツ部 ふるさと文化財課	文化スポーツ部 ふるさと文化財課

【施設一覧】

	建築年度		建築後経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる構造	耐震診断	耐震補強	所有		運営	併設施設
								土地	建物		
美術館	H12	2000	13年	7,795㎡	SRC造	不要	不要	市	市	直営	
郷土の森博物館	S62	1987	26年	本館 6,917㎡ (復元建築物との合計 10,994㎡)	SRC造	不要	不要	市	市	指定管理	
ふるさと府中歴史館	S41	1966	47年	2,134㎡ (建物全体 2,376㎡)	RC造	実施	実施	市	市	直営	宮町図書館
国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館	H22	2010	3年	291㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	

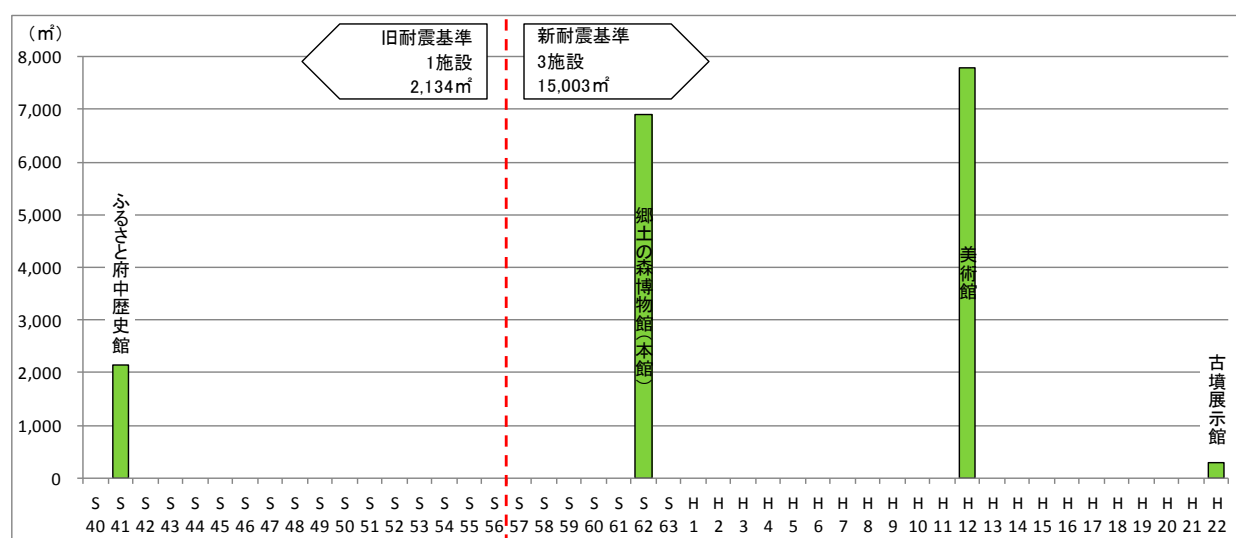


(2) 施設状況

①施設規模

・各施設の延床面積は、美術館が7,795 m²、郷土の森博物館本館が6,917 m²（復元建築物を合わせると1万994 m²）、ふるさと府中歴史館が2,134 m²（建物全体は2,376 m²）、古墳展示館が291 m²です。

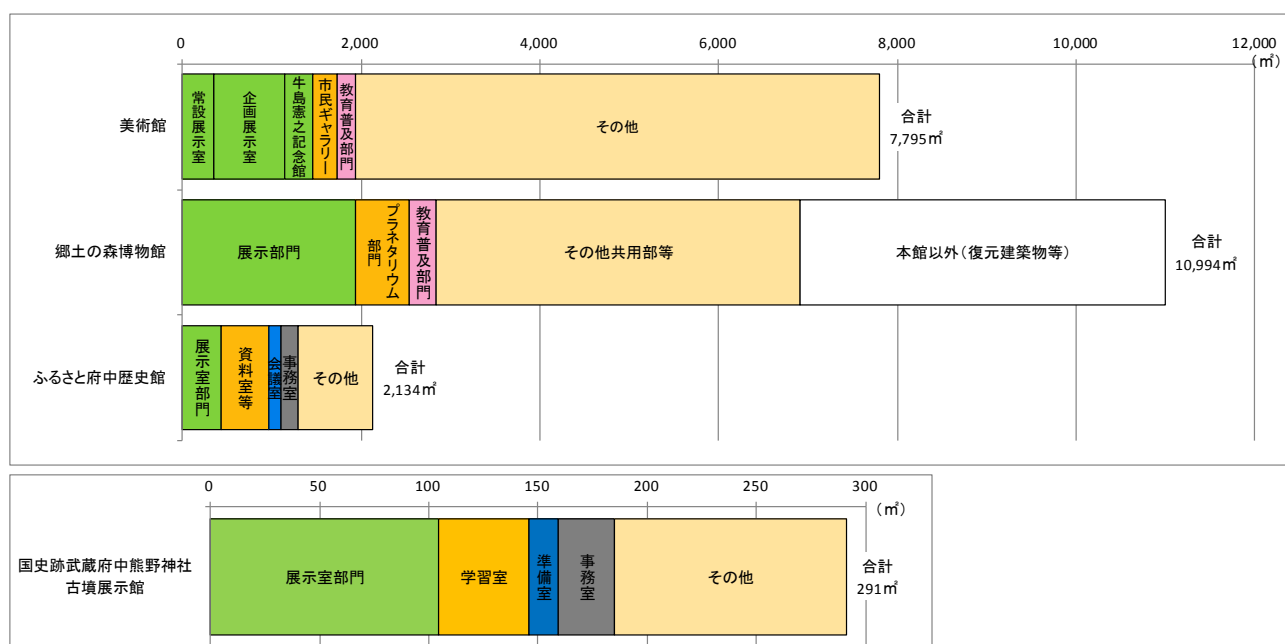
【築年別整備状況】



※郷土の森博物館については、博物館本館のみを記載しています。

- ・美術館には、企画展示室・常設展示室のほか、公開制作室、市民ギャラリー、創作室、近現代美術本や美術関連雑誌などを所蔵している図書室、喫茶室などがあります。
- ・郷土の森博物館には、博物館本館や復元建築物などがあります。博物館本館には、常設展示室のほか、平面床では国内最大級の規模を誇るプラネタリウムや、特別展の会場として利用される特別展示室、会議や講演会・講習会に使用される大会議室があります。復元建築物としては、旧府中町立府中尋常高等小学校、旧府中町役場庁舎、貸出可能な和室を有する旧田中家住宅などがあります。他にも園内施設として、茶室や休憩所などがあります。
- ・ふるさと府中歴史館には、武蔵国府跡やその関連遺跡の発掘調査の成果、市の歴史や文化について紹介する国府資料展示室、主に近代以降の歴史資料を保存及び公開している公文書史料室や公文書史料展示室などがあります。
- ・国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館には、武蔵府中熊野神社古墳に関する展示スペースや学習室などがあります。

【スペース構成】



(3) 運営体制

① 運營形態

- ・美術館、ふるさと府中歴史館及び国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館は、市の直営の施設です。
- ・郷土の森博物館は、公益財団法人府中文化振興財団が指定管理者として管理運営を行っています。

②運営日数、運営人員

- ・各施設の運営日数は、次のとおりです。

【運営日数】

(日)

	平日	土日・祝日	計
美術館	158	104	262
郷土の森博物館	196	114	310
ふるさと府中歴史館	194	114	308
国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館	194	114	308

・郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館及び国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の運営時間は、9：00～17：00 です。

・美術館の運営時間は、10：00～17：00 です。

・郷土の森博物館は、全て指定管理者が運営人員を配置しています。なお、半数の職員が学芸員です。

・ふるさと府中歴史館の運営人員は、管理運営に直接関わる職員数です。

・国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の受付や案内などの業務は、委託事業者が行っており、市の職員は配置されていません。

【運営人員】

(人)

平成24年度	平日	土日・祝日
美術館	12	7
郷土の森博物館	11	11
ふるさと府中歴史館	3～4	3
国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館	0	0

(4) 利用状況

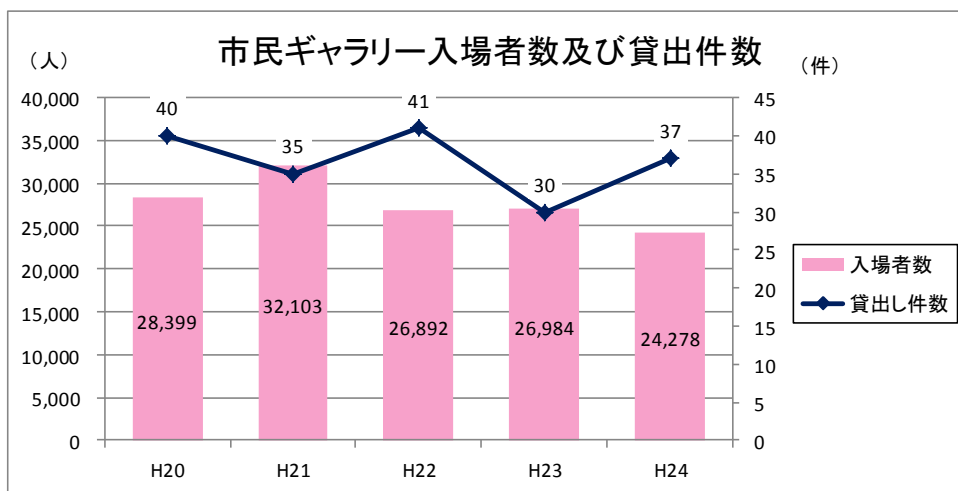
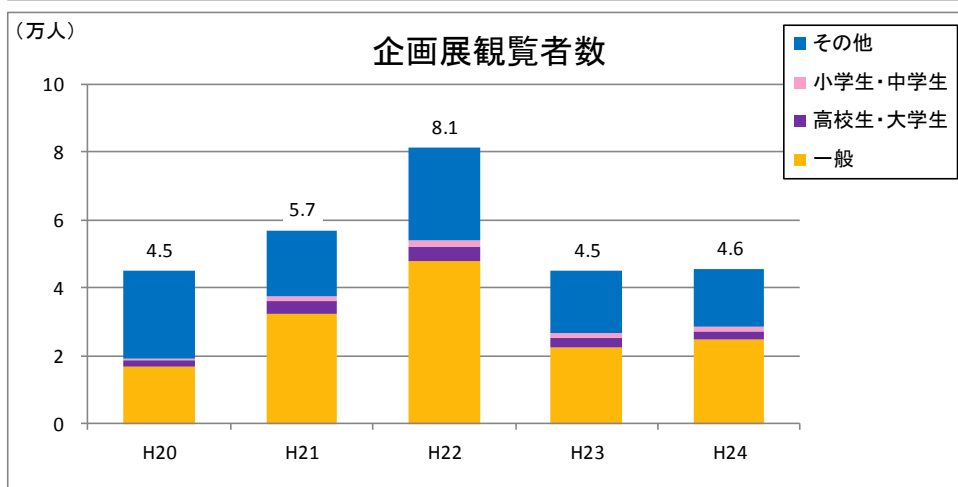
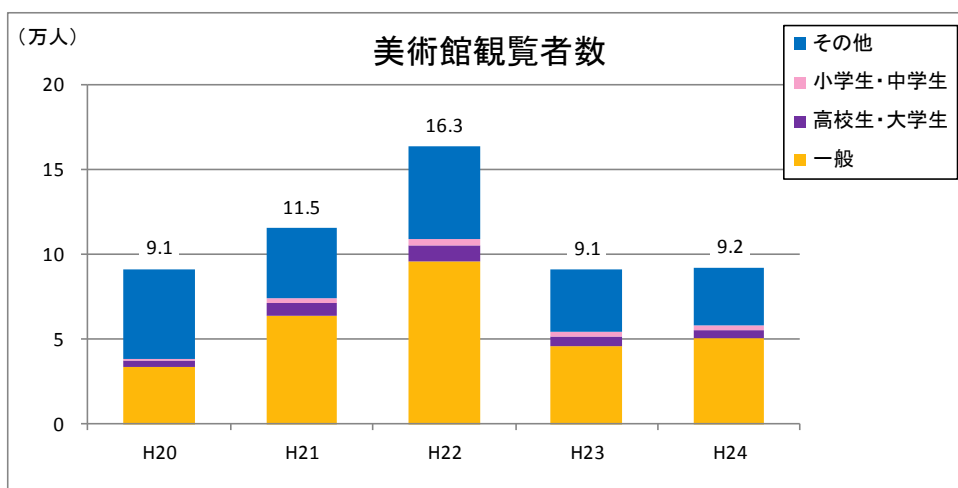
①施設別の利用状況

<美術館>

・来館者数は、平成 22 年度に企画展観覧者数の増加により大幅に増加しました。その後は、平成 21 年度以前程度に減少しています。

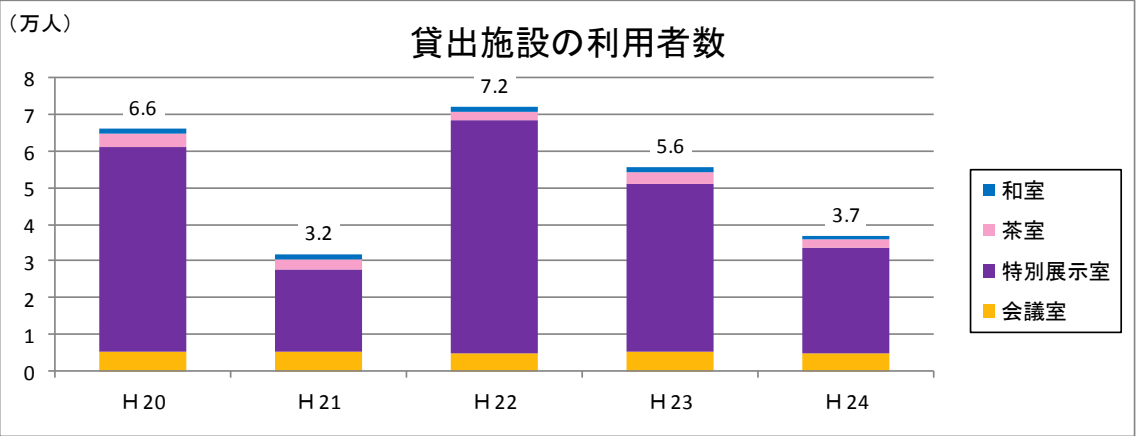
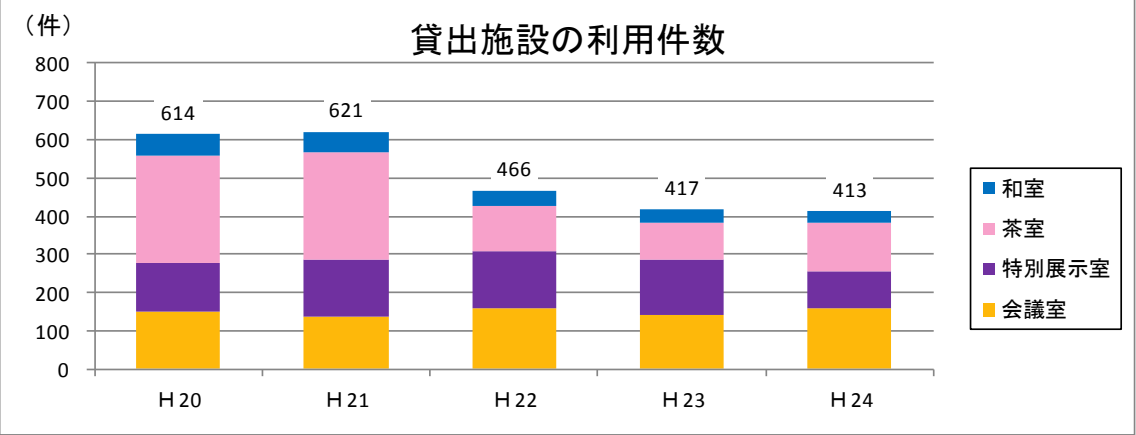
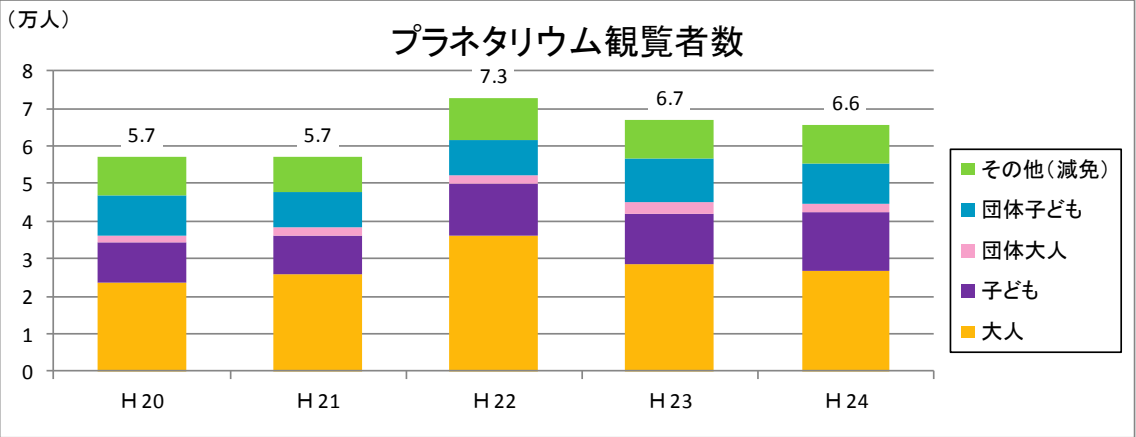
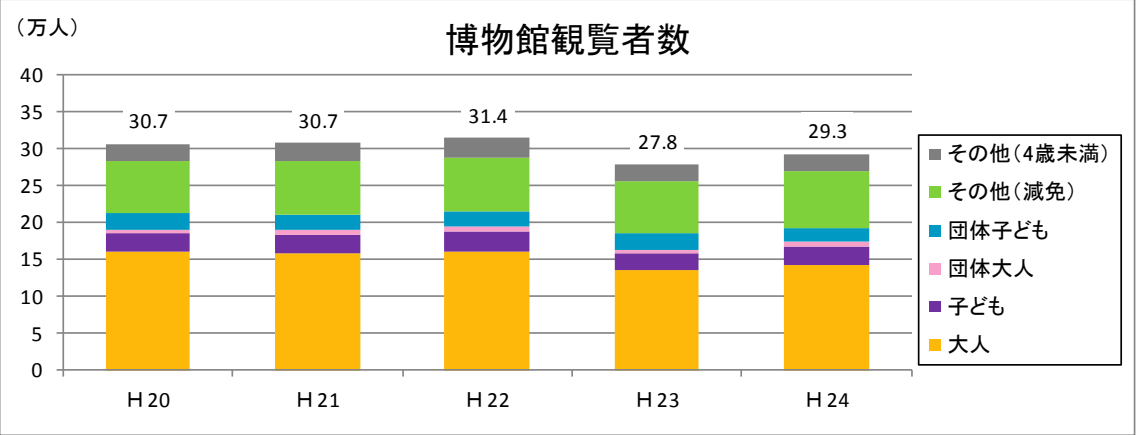
・企画展観覧者数も来館者数と同様の傾向となっています。

・市民ギャラリーの貸出件数は、過去 5 年間 30 件～41 件で推移しています。



<郷土の森博物館>

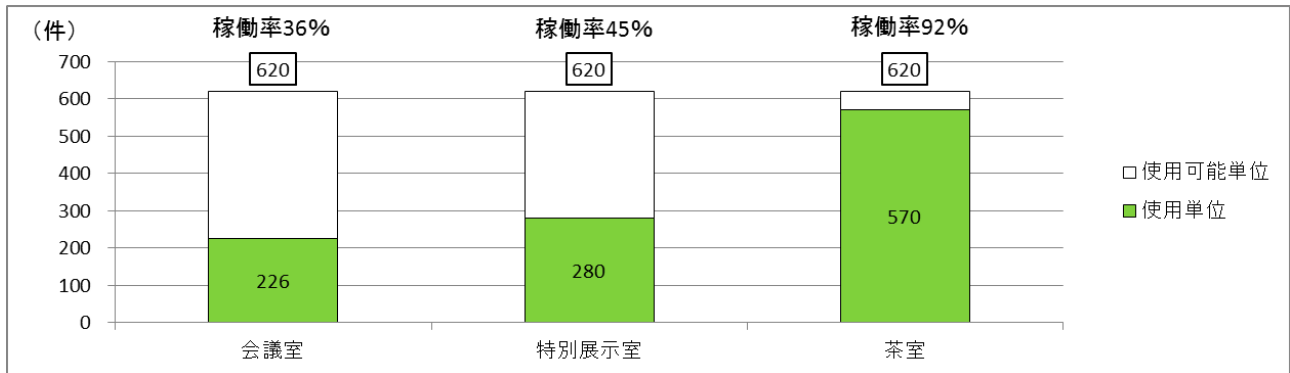
- ・観覧者数は、平成 22 年度に 31 万人を超えましたが、平成 23 年度に減少し、30 万人を下回っています。
- ・プラネタリウム観覧者数は、平成 20 年度と平成 21 年度はほぼ横ばいでしたが、平成 22 年度に大幅に増加しています。その後は若干の減少傾向となっています。
- ・貸出施設の利用件数は平成 22 年度から、利用者数は平成 21 年度から減少傾向にあります。



②貸出機能の稼働率

・郷土の森博物館には貸出機能がいくつかありますが、稼働率をみると、茶室の稼働率が92%と最も高く、次に特別展示室が45%、会議室が36%でした。(和室については、旧田中家住宅内見学施設のため除く。)

【郷土の森博物館稼働率（貸出機能）】



(4) コスト状況

・美術館のコストは、約3億4,712万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約1億1,118万円(32%)、事業運営に係るコスト約1億8,762万円(54%)、減価償却相当額は約4,832万円です。歳入は、約3,183万円(支出の約10%相当)でした。

・郷土の森博物館のコストは、約4億5,846万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約4,085万円(9%)、事業運営に係るコストは約3億4,946万円(76%)、減価償却費相当額は約6,815万円です。歳入は、約15万円でした。

・ふるさと府中歴史館のコストは、約6,631万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約2,519万円(38%)、事業運営に係るコストは約2,789万円(42%)、減価償却費相当額は約1,323万円です。歳入は、約8万円でした。

・国史跡熊野神社古墳展示館のコストは、約1,231万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約352万円(29%)、事業運営に係るコストは約698万円(57%)、減価償却費相当額は約180万円です。使用料などの歳入はありません。

【施設別コスト一覧表：美術館、博物館等】

【収益の部】

(千円)

	美術館	郷土の森博物館	ふるさと 府中歴史館	国史跡武蔵府中 熊野神社古墳展示館
使用料	24,268	0	0	0
その他	7,562	146	78	0
収益 計	31,830	146	78	0

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	4,984	0	1,894	52
	施設修繕費	11,091	22,050	4,501	25
	光熱水費	44,066	0	5,053	871
	建物管理委託費	51,038	18,795	13,745	2,576
	管理に係るコスト 計	111,178	40,845	25,193	3,524
事業運営 に係る コスト	人件費	77,421	7,586	25,337	3,268
	業務運営等委託費	52,978	239,284	999	3,439
	負担金、補助及び交付金	19,265	102,592	0	0
	その他物件費	37,953	0	1,553	272
	運営に係るコスト 計	187,617	349,462	27,888	6,979
現金収支を伴うコスト 計		298,796	390,307	53,082	10,503

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	48,323	68,155	13,229	1,804
----------	--------	--------	--------	-------

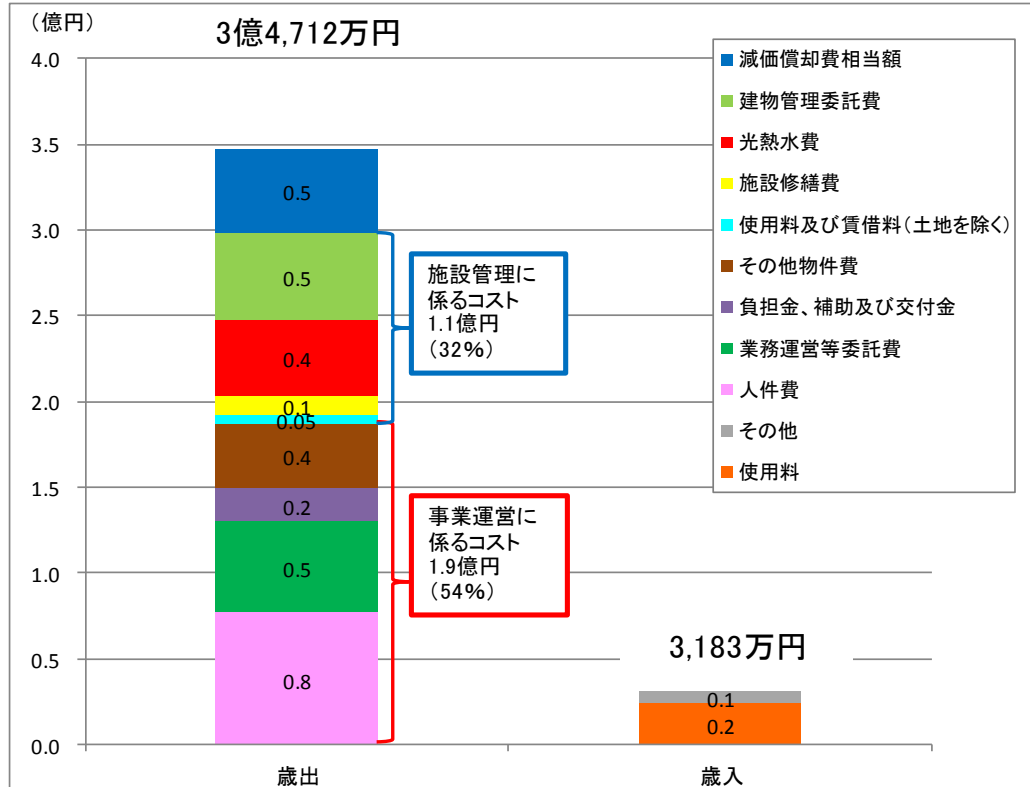
III. 総括

合計(トータルコスト)	347,119	458,462	66,311	12,307
-------------	---------	---------	--------	--------

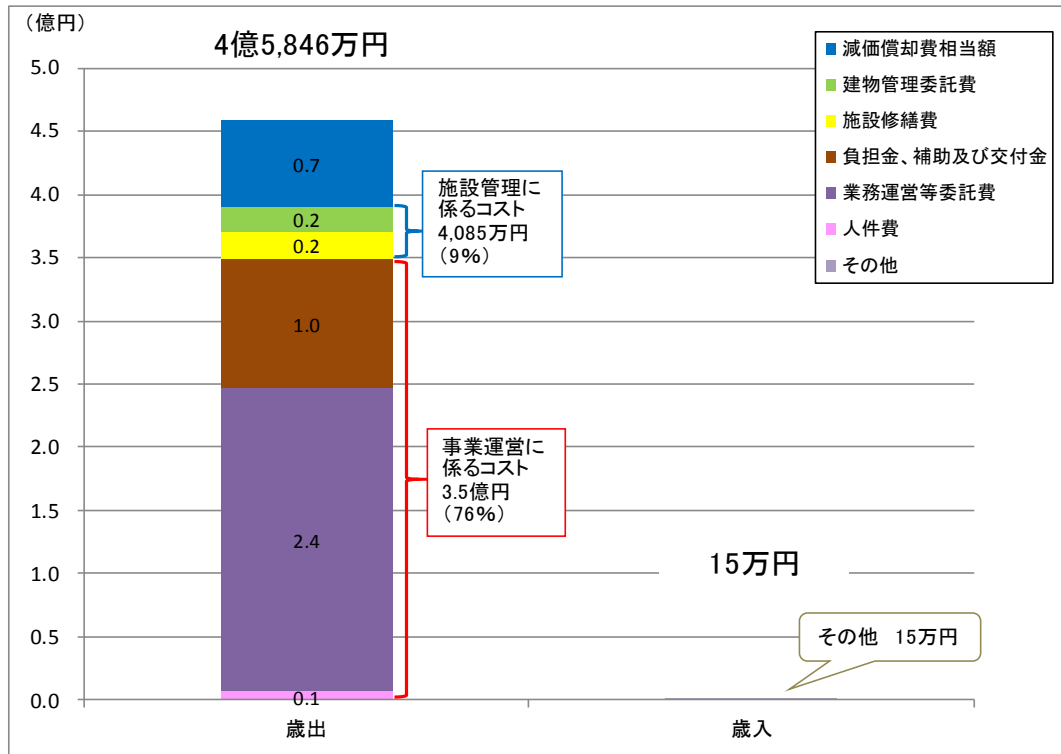
【収支差額】

収益－コスト	-315,289	-458,316	-66,233	-12,307
--------	----------	----------	---------	---------

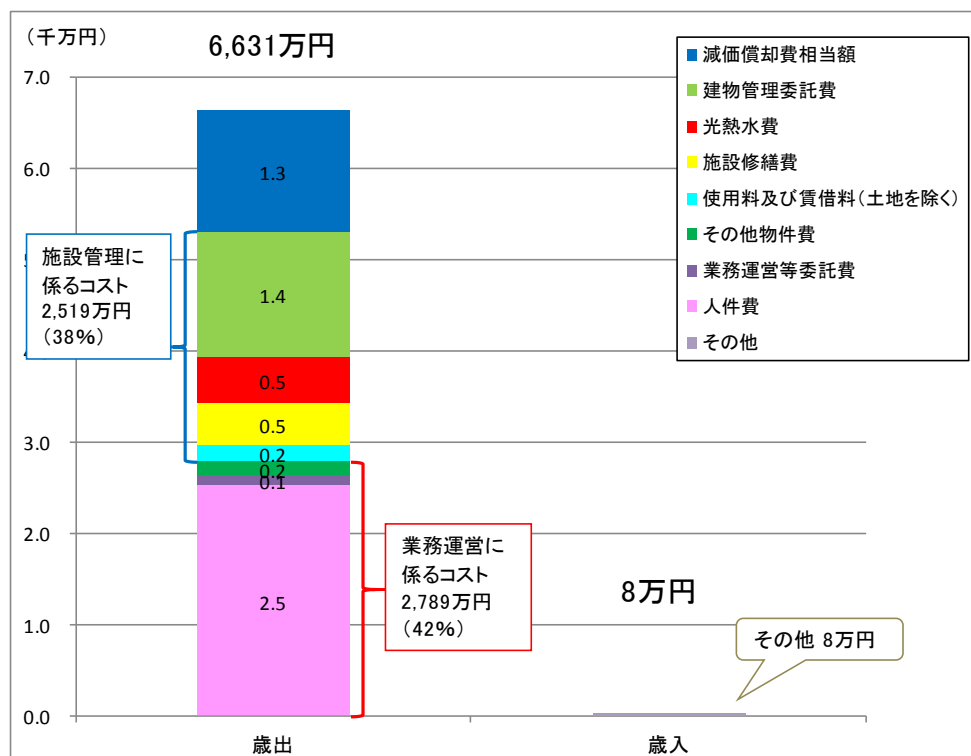
【施設別コスト：美術館】



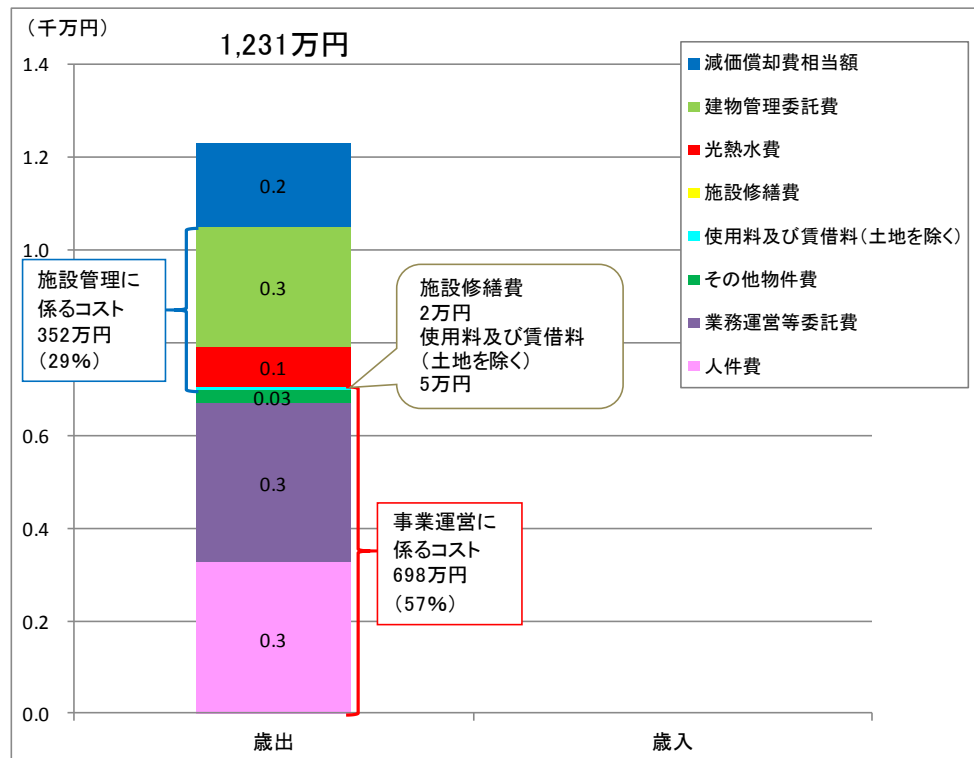
【施設別コスト：郷土の森博物館】



【施設別コスト：ふるさと府中歴史館】



【施設別コスト：国史跡熊野神社古墳展示館】



※指定管理者制度導入施設については、指定管理料の中に、光熱水費及び建物管理委託費などを含んでいます。

※郷土の森博物館は、利用料金制のため、施設使用料は指定管理者の収入となっており、グラフに表れていません。

2-3 生涯学習系センター

(1) 概要

・生涯学習センターは、多種多様な学習機会の提供と、「いつでも、だれもが学習できる環境づくり」を目指す総合学習施設です。音響・映像機器を備えた講堂や、様々な学習ニーズに対応できる研修室や学習室のほか、天井開閉式の温水プールやトレーニング室などの体育施設、宿泊施設を利用することができます。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
生涯学習センター	H4	1992	21年	19,276㎡ (建物全体 20,383㎡)	SRC造	不要	不要	市	市	直営 (※)	図書館、体育室、温水プール

※平成25年度からは、運営形態を変更しています。

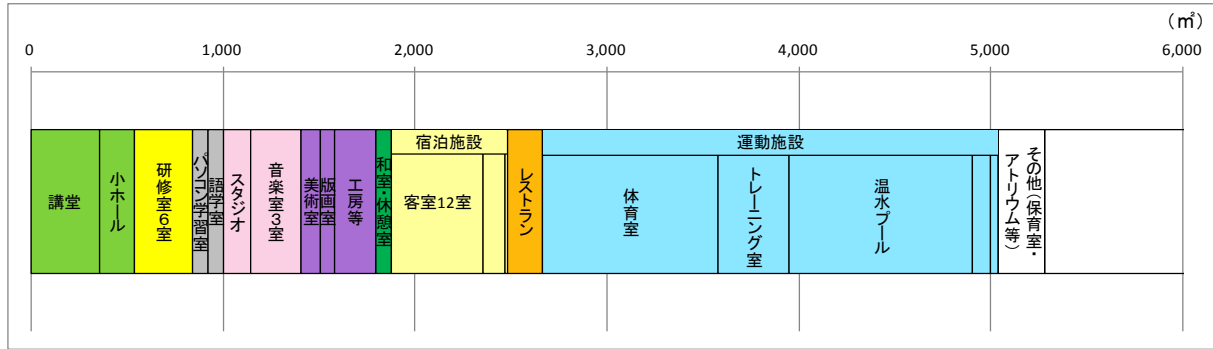
【施設配置図】



(2) 施設状況

- ・生涯学習センターは、新耐震基準の建物です。
- ・生涯学習センターは、音楽施設から運動施設まで、様々な学習ニーズに対応できるスペース構成となっています。

【スペース構成（生涯学習センター）】



（３） 運営状況

- ・生涯学習センターは、市が直接運営していましたが、平成 25 年度より指定管理者による運営へと変わりました。
- ・平成 24 年度は市が直接運営しており、運営人員には生涯学習事業の企画や運営を行う人員、体育室や温水プールなどの管理運営に携わる人員も含まれています。なお、平成 25 年度からは指定管理者による運営に変更しています。
- ・運営日数は、各機能で若干異なりますが、320 日程度でした。運営時間は、9:00～22:00 までです。

(人)

	平日日中	平日夜間・土日休日
市職員	14	
嘱託		
再任用	2	
臨時	2	
その他	14	11～13

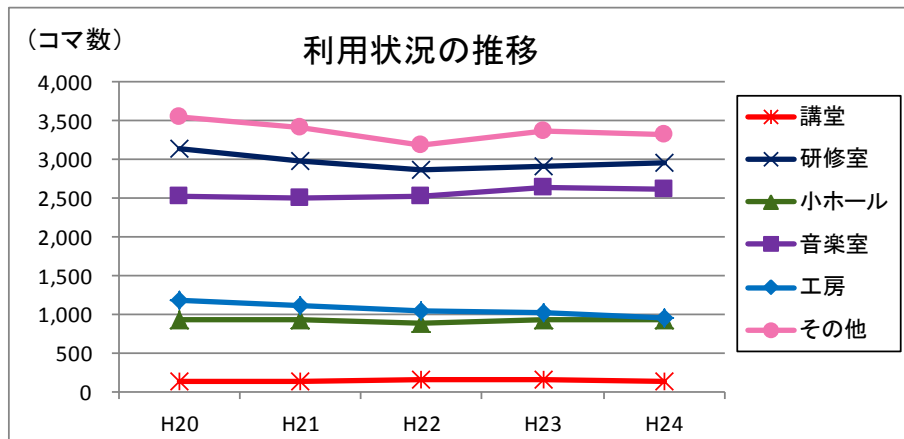
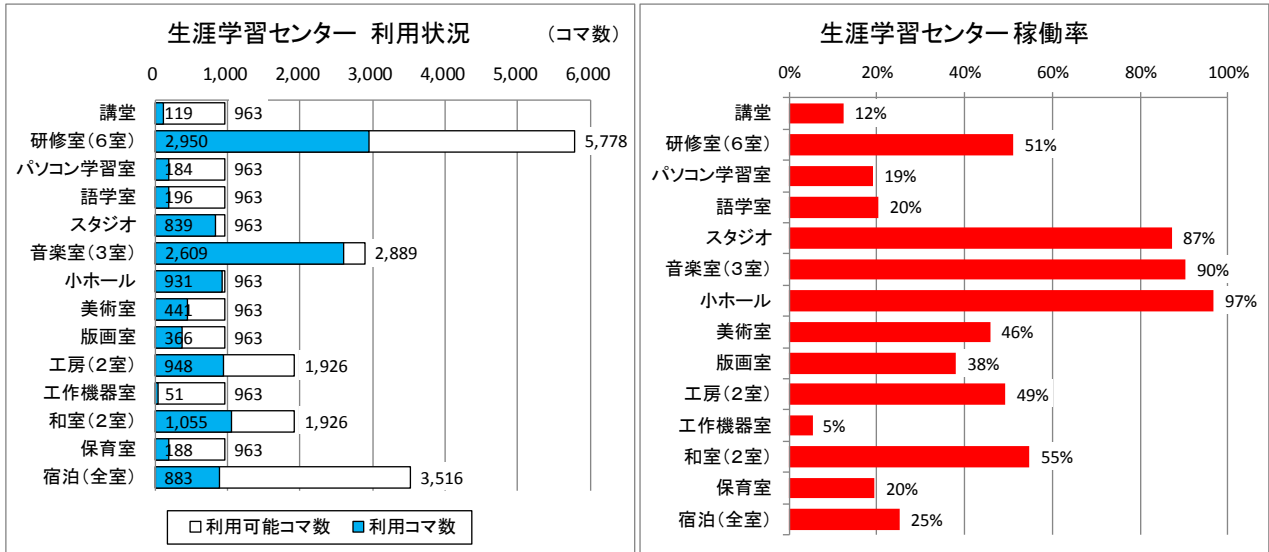
(日)

	平日	土日・祝日	計
体育施設	210	111	321
温水プール	208	111	319
上記以外の学習施設	210	111	322

（４） 利用状況

- ・最も稼働率が高かった機能は、小ホールでした。次いで音楽練習室やスタジオの稼働率が高くなっています。一方、最も稼働率が低かった機能は、工作室でした。次いで講堂、パソコン学習室、語学室の稼働率が低くなっています。なお、利用状況に大幅な変化は見られません。
- ・各種運動施設（体育室、トレーニング室及び温水プール）の中では、毎年温水プールの利用者が最も多くなっています。利用者数全体としては微減傾向となっています。

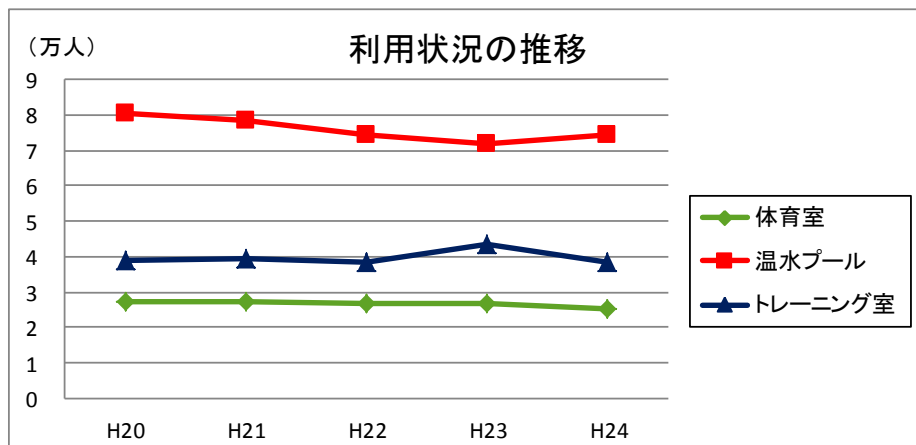
【学習施設の利用状況】



【運動施設の利用状況】

(人)

	H20	H21	H22	H23	H24
体育室	27,142	27,226	26,750	26,761	25,338
温水プール	80,317	78,396	74,285	72,128	74,642
トレーニング室	38,667	39,529	38,409	43,566	38,453



(5) コスト状況

・生涯学習センターのコストは、約5億6,131万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約2億481万円（36%）、施設に係るコストが約2億3,701万円（42%）、減価償却費相当額が約1億1,950万円（21%）です。

・生涯学習センターの歳入は、約7,180万円でした。

【施設別コスト一覧表：生涯学習センター】

【収益の部】

(千円)

	生涯学習センター
使用料	60,641
その他	11,155
収益 計	71,795

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	12,314
	施設修繕費	12,330
	光熱水費	66,590
	建物管理委託費	145,776
	管理に係るコスト 計	237,009
事業運営に係るコスト	人件費	65,178
	業務運営等委託費	98,122
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	41,508
	運営に係るコスト 計	204,807
現金収支を伴うコスト 計		441,817

II. 現金収支を伴わないもの

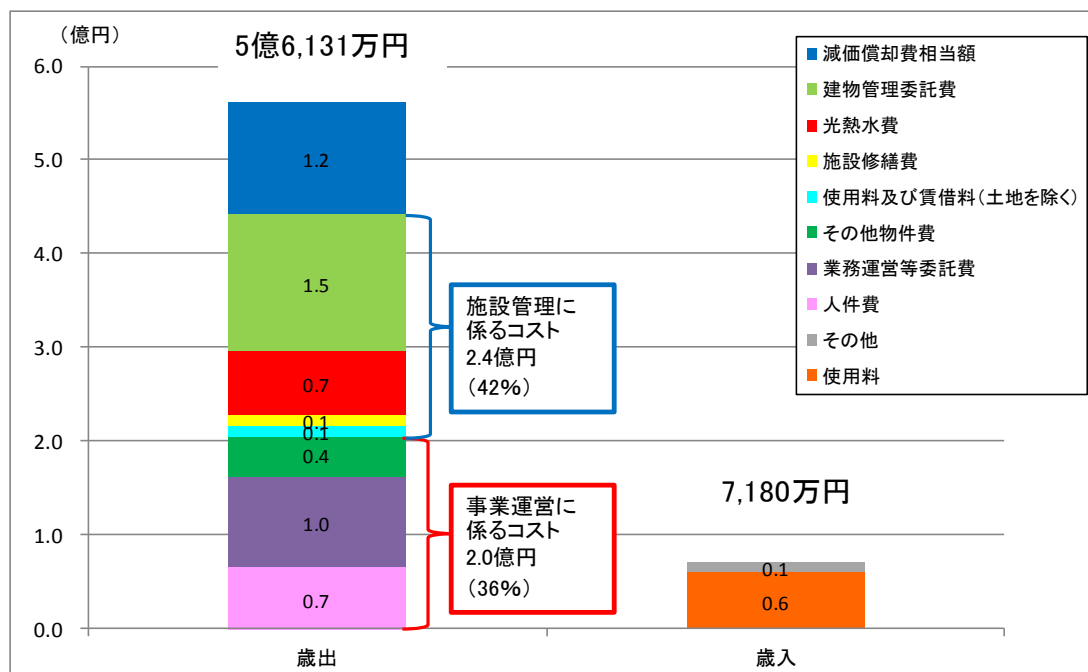
減価償却費相当額	119,497
----------	---------

III. 総括

合計(トータルコスト)	561,314
-------------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-489,519
--------	----------



3 文化センター

(1) 概要

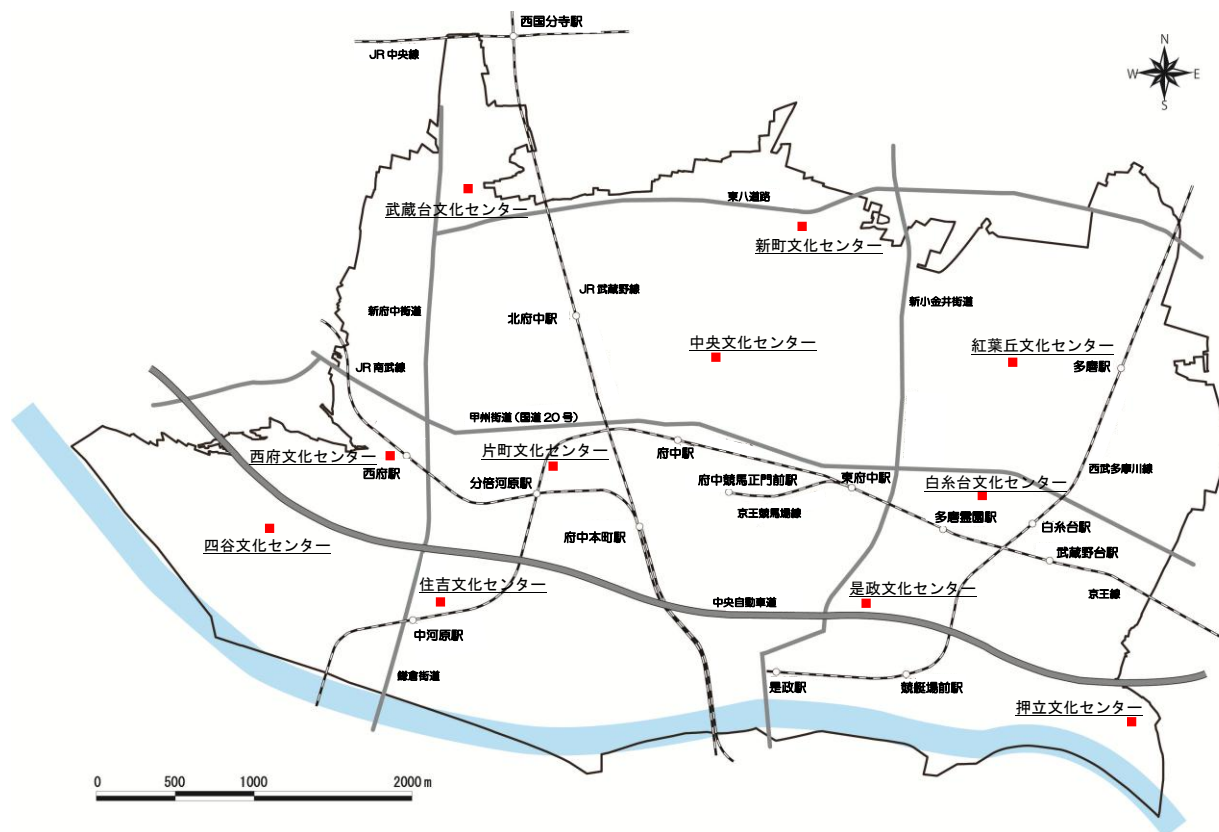
- ・文化センターは、昭和 60 年に「面積約 4 ㎥未満、人口 3 万人未満」という基準で設定された 11 のコミュニティ圏域ごとに、市役所窓口（出張所）、公民館、高齢者福祉館、児童館及び図書館が併設された複合施設であり、個性的な地域文化を創造するコミュニティ施設です。
- ・全ての文化センターの窓口では、戸籍や住民票の写しなど各種証明書の発行や、交通災害共済、保養所などの申込み受付、粗大ごみシールの販売などを行っています。また、白糸台文化センターと西府文化センターは市役所出張所として、窓口業務のほか、戸籍や住民登録などに関する届出の受付業務や公金の収納業務も行っています。
- ・公民館は、社会教育法及び府中市立公民館条例に基づき、市民の生活文化の振興を図るとともに社会福祉の増進に寄与するための施設として設置され、会議室や和室などを原則無料で使用することができます。
- ・高齢者福祉館は、高齢者の健康増進や娯楽に関する事業を行う施設として設置され、60 歳以上の登録した市民は浴場や健康コーナーなどを原則無料で使用することができます。
- ・児童館は、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進または情操を豊かにするための施設として設置され、遊戯室や集会室などを原則無料で使用することができます。中央児童館には、発表会などに使用できる定員 160 名のひばりホールがあります。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (平成24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設						
								土地	建物		出張所	窓口	公民館	高齢者 福祉館	児童館	図書館	その他
中央文化センター	S43	1968	45年	3,420㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	-	●	●	●	●	-	振興会館
白糸台文化センター	S45	1970	43年	1,951㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	●	-	●	●	●	●	-
西府文化センター	S46	1971	42年	1,923㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	●	-	●	●	●	●	-
武蔵台文化センター	S48	1973	40年	1,902㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	-	●	●	●	●	●	-
新町文化センター	S48	1973	40年	1,964㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	-	●	●	●	●	●	-
住吉文化センター	S48	1973	40年	1,962㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	-	●	●	●	●	●	-
是政文化センター	S49	1974	39年	1,937㎡	RC造	実施	実施	一部民	市	直営	-	●	●	●	●	●	-
紅葉丘文化センター	S50	1975	38年	1,975㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	-	●	●	●	●	●	-
押立文化センター	S52	1977	36年	638㎡	RC造	実施	建替	市	市	直営	-	●	●	●	●	●	-
四谷文化センター	S52	1977	36年	1,394㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	-	●	●	●	●	●	-
片町文化センター	S62	1987	26年	2,317㎡	RC造	実施	実施	一部民	市	直営	-	●	●	●	●	●	-

※中央文化センターに併設されている振興会館は、関連団体が事務室として使用している施設。

【施設配置図】



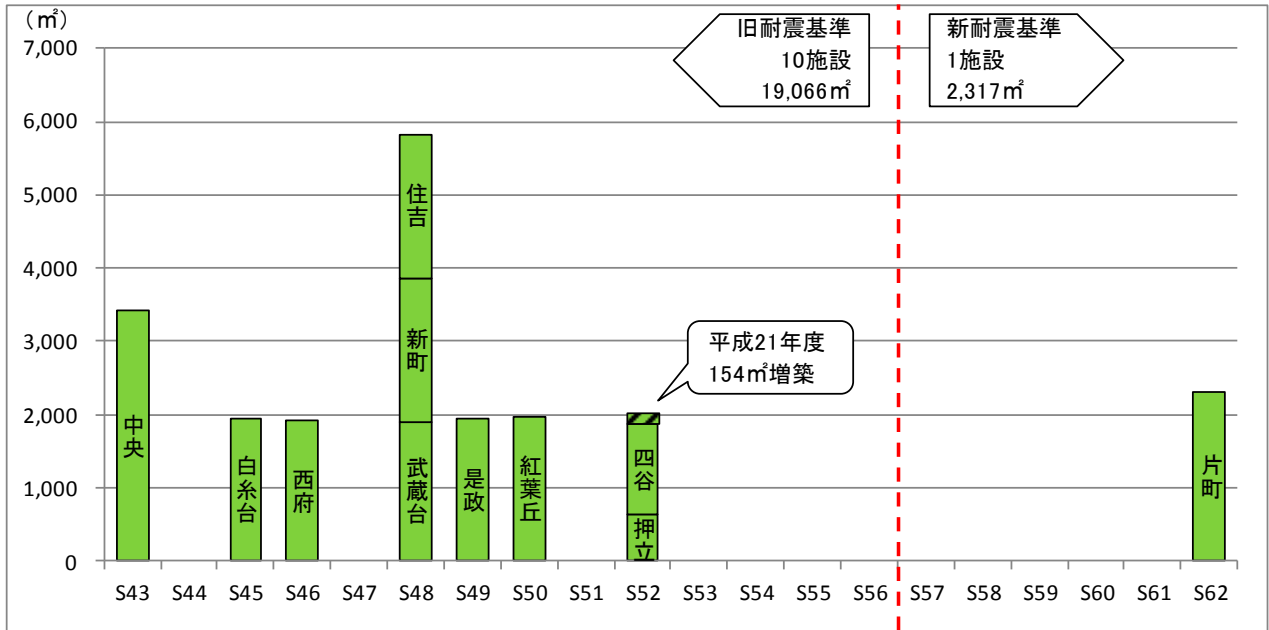
(2) 施設状況

①施設規模

・ほとんどの施設が築 30 年以上を経過しています。昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設が 1 万 9,066 m^2 (10 施設)、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設が 2,317 m^2 (1 施設) です。なお、耐震化は順次進めており、平成 26 年度には全ての文化センターで耐震化が終了する予定です。

・延床面積では、中央文化センターが約 3,420 m^2 と最も大きく、昭和 45 年度から 50 年度までに整備された白糸台、西府、武蔵台、新町、住吉、是政及び紅葉丘の各文化センターは、約 2,000 m^2 で同規模の施設となっています。一方、文化センターを補完する地域センターとして整備され、後に文化センターに位置づけられた押立と四谷の各文化センターは他の施設と比較して小さい規模となっています。なお、四谷は大規模改修の際に増築されており、押立も耐震化に伴う改築工事により、延床面積は 1,276 m^2 まで増加する予定です。

【築年度別整備状況】

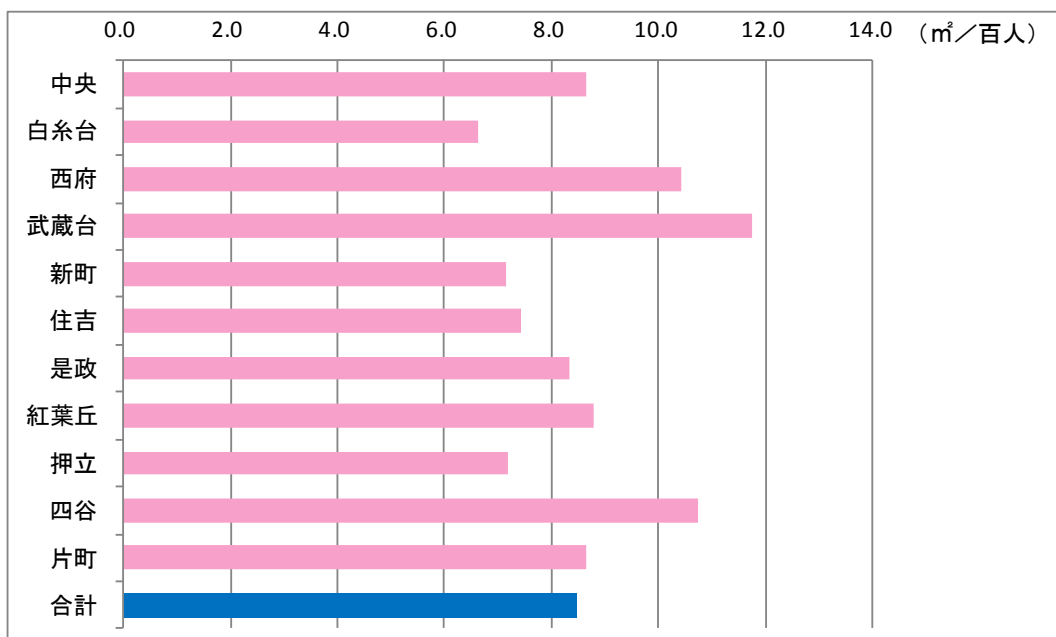


・人口 100 人当たりの延床面積は、平均 8.5 m²となっています。平均よりも特に大きな値となっているのは、武蔵台、西府及び四谷の各文化センターです。一方、平均よりも特に小さな値となっているのは、白糸台、新町、押立及び住吉の各文化センターです。

【コミュニティ圏域の人口・世帯（平成 25 年 1 月 1 日）】

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	合計
人口(人)	39,606	29,482	18,436	16,176	27,446	26,378	23,239	22,469	8,873	12,977	26,776	251,858
世帯数(世帯)	19,978	14,161	8,335	7,477	12,057	12,005	10,380	10,369	3,695	5,406	13,517	117,380
延床面積(m ²)	3,420	1,951	1,923	1,902	1,964	1,962	1,937	1,975	638	1,394	2,317	21,383
m ² /100人	8.6	6.6	10.4	11.8	7.2	7.4	8.3	8.8	7.2	10.7	8.7	8.5

【人口当たりの面積（コミュニティ圏域別）】

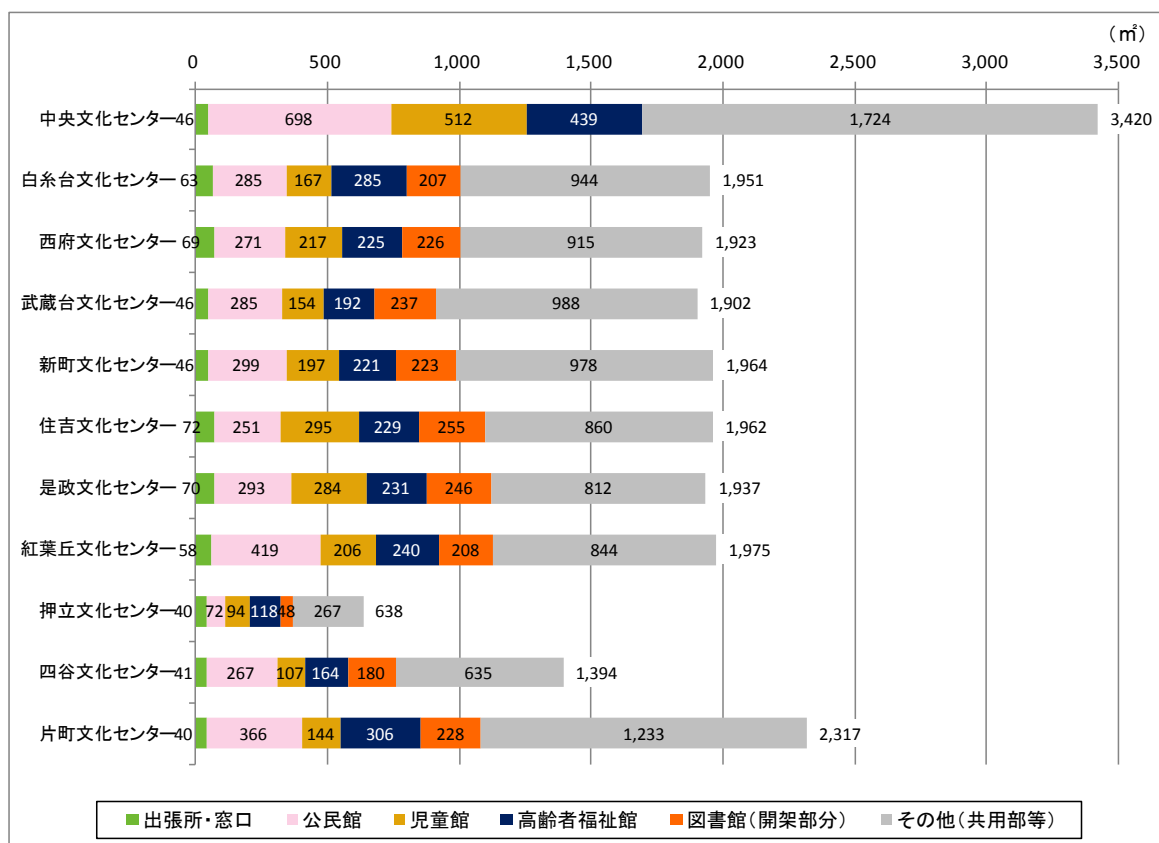


②スペース構成

・中央文化センターは最も大きく、公民館、高齢者福祉館及び児童館の各機能の面積も他の施設の1.5倍から2倍までの規模となっています。なお、併設されている振興会館をその他に計上しているため、その他の割合が大きくなっています。

・片町文化センターは、各機能の面積は他の施設とほぼ同じですが、共用部などの面積が大きく、比較的規模が大きくなっています。

【スペース構成（機能別の延床面積）】



(3) 運営体制

①運営日数・運営時間

・運営日数は、出張所及び窓口が244日、曜日に関係なく運営している公民館、高齢者福祉館及び児童館が339日でした。耐震改修工事のため休館していた中央文化センターを除き、各文化センターで運営日数は同じです。なお、祝日は休館となります。

【運営日数（中央文化センター以外）】

	(日)		
	平日	土日	合計
出張所	244	—	244
窓口	244	—	244
公民館、高齢者福祉館、児童館	244	95	339

【運営日数（中央文化センター）】

	(日)		
	平日	土日	合計
窓口	156	-	156
公民館、高齢者福祉館、児童館	156	70	226

【運営時間帯】



②人員体制

・文化センターは、直営で管理運営を行っています。人員体制は、各機能で役割を分けるのではなく、各職員が複数業務を担うことにより管理を一元的に行っています。なお、施設の清掃や警備などの業務は外部に委託しています。

・平日夜間（17：00～）及び土日については業務員2名体制で運営しています。

【人員体制】

	(人)					
	市職員	嘱託	再任用	臨時	その他	合計
中央文化センター	4	0	1	1	2	8
白糸台文化センター	6	0	2	0	2	10
西府文化センター	4	0	1	1	2	8
武蔵台文化センター	4	0	0	1	2	7
新町文化センター	4	0	0	1	2	7
住吉文化センター	4	0	0	1	2	7
是政文化センター	4	0	0	1	2	7
紅葉丘文化センター	4	0	0	1	2	7
押立文化センター	2	1	0	1	2	6
四谷文化センター	3	0	0	1	2	6
片町文化センター	4	0	0	1	2	7
平均	3.9	0.1	0.4	0.9	2.0	7.3
合計	43	1	4	10	22	80

(4) 利用状況

①文化センター全体

・文化センター全体の利用者数は、約125万人でした。施設別では、白糸台が約16.2万人で最も多く、次いで片町が約14.0万人、紅葉丘が約13.8万人となっています。中央文化センターの利用人数が減少しているのは、平成23年度から平成24年度にかけて行った耐震改修工事に伴い、

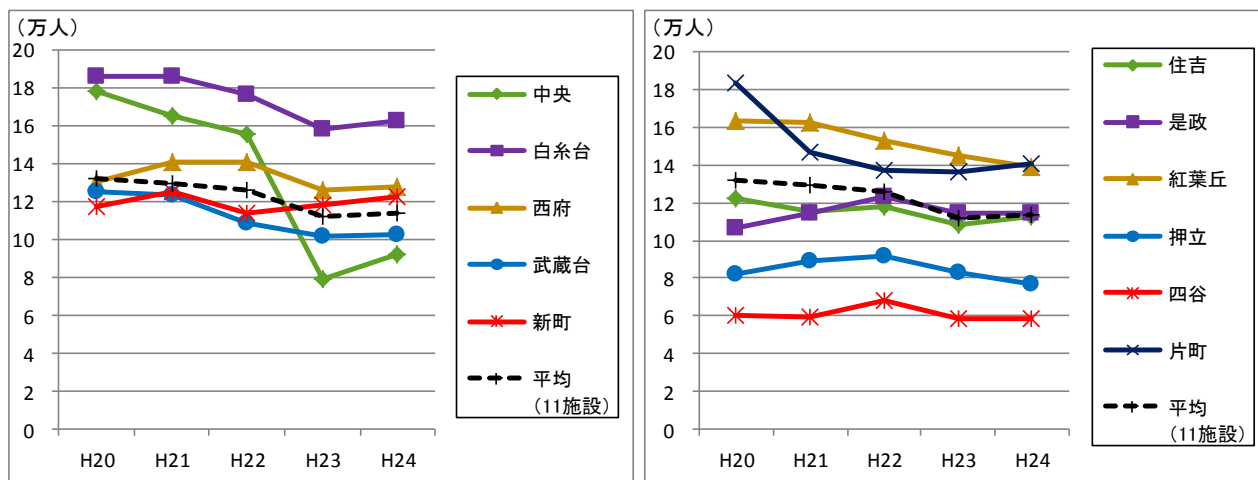
休館日が増加したことによるものと考えられます。

・文化センター全体では、近年、利用者数は減少傾向となっています。ただし、中央、住吉、是政、紅葉丘及び四谷の各文化センターは、耐震改修工事などに伴う休館日の増加の影響も考慮する必要があります。

【利用者数（文化センター全体）】

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
中央文化センター	177,811	165,097	155,586	79,475	92,420
白糸台文化センター	185,533	185,767	176,202	158,323	162,597
西府文化センター	130,110	140,638	140,427	125,916	127,319
武蔵台文化センター	125,311	122,894	108,743	101,809	102,139
新町文化センター	116,955	124,942	113,850	118,213	122,499
住吉文化センター	121,868	115,710	118,162	108,331	112,774
是政文化センター	106,299	114,175	122,891	114,369	114,394
紅葉丘文化センター	163,731	162,044	152,962	144,712	138,473
押立文化センター	82,058	89,304	91,691	83,441	77,287
四谷文化センター	60,257	59,470	68,424	58,928	58,406
片町文化センター	183,244	146,516	136,811	136,527	140,731
平均	132,107	129,687	125,977	111,822	113,549
合計	1,453,177	1,426,557	1,385,749	1,230,044	1,249,039

【利用者数の推移】



(5) 主催事業の利用状況

・各文化センターで様々なコミュニティ事業を実施しています。主催事業は、年 350～550 回程度開催しており、各種サークルの結成や活動の推進を図る自主活動推進事業が大半を占めています。

・コミュニティ事業の運営は、コミュニティ協議会に委託するなど地域住民の参加が進んでいます。コミュニティ協議会とは、地域の自治会や文化センターの登録団体、PTAなどを構成員とする協議会であり、文化センターからの委託を受けて、文化センターと協働して地域のイベントの企画・運営を行っています。

(6) コスト状況（文化センター全体）

①コスト及び収支状況

・文化センター11施設のコストの合計は、約11億3,239万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約6億5,463万円（58%）、事業運営に係るコスト（人件費や運営委託費など）は約3億5,810万円（32%）です。

・11施設の歳入の合計は、約1億2,232万円（コストの10%相当）でした。その中には、各部屋の使用料のほか、文化センターにおける証明書発行や粗大ごみシールの販売などの手数料、補助金などが含まれます。

・中央文化センターは耐震改修工事を行ったため、他の文化センターよりも施設修繕費が高くなっています。

【施設別コスト一覧表：文化センター】

【収益の部】

	中央 文化センター	白糸台 文化センター	西府 文化センター	武蔵台 文化センター	新町 文化センター	住吉 文化センター	是政 文化センター	紅葉丘 文化センター	押立 文化センター	四谷 文化センター	片町 文化センター	合計
使用料	6,740	1,194	1,052	314	324	891	850	1,123	211	276	1,056	14,032
手数料	9,030	14,144	6,689	8,368	10,302	10,697	5,948	9,741	3,505	4,438	8,491	91,354
その他	14,532	231	251	217	382	251	319	280	91	128	251	16,932
収益 計	30,302	15,569	7,992	8,900	11,008	11,839	7,116	11,144	3,807	4,843	9,797	122,318

【コストの部】

I 現金収支を伴うもの

1. 現金収支を伴うもの													
施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	1,058	1,108	1,106	1,102	5,086	1,105	1,105	1,094	1,068	1,083	1,111	16,027
	施設修繕費	327,591	1,545	21,723	9,676	1,718	12,055	1,625	1,464	293	790	2,440	380,919
	光熱水費	6,517	5,978	5,047	5,741	6,321	5,008	5,177	5,370	2,091	3,456	6,575	57,283
	建物管理委託費	28,959	16,118	14,554	13,224	15,726	15,231	19,500	15,162	31,368	14,021	16,534	200,397
	管理に係るコスト 計	364,125	24,749	42,430	29,744	28,852	33,398	27,407	23,090	34,820	19,351	26,661	654,626
事業運営 に係る コスト	人件費	33,145	50,663	33,524	28,994	29,819	29,857	29,320	29,800	19,122	22,650	29,859	336,752
	業務運営等委託費	1,696	296	264	291	340	268	284	276	230	265	301	4,510
	負担金、 補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	4,775	2,352	2,656	783	1,477	1,182	685	758	852	778	538	16,837
	運営に係るコスト 計	39,617	53,311	36,444	30,068	31,635	31,307	30,289	30,834	20,204	23,692	30,697	358,099
現金収支を伴うコスト 計		403,741	78,060	78,874	59,812	60,487	64,705	57,697	53,923	55,025	43,043	57,358	1,012,725

II 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	21,202	10,810	10,393	10,321	10,790	10,580	10,480	10,953	3,658	7,527	12,949	119,662
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	--------	---------

III 総括

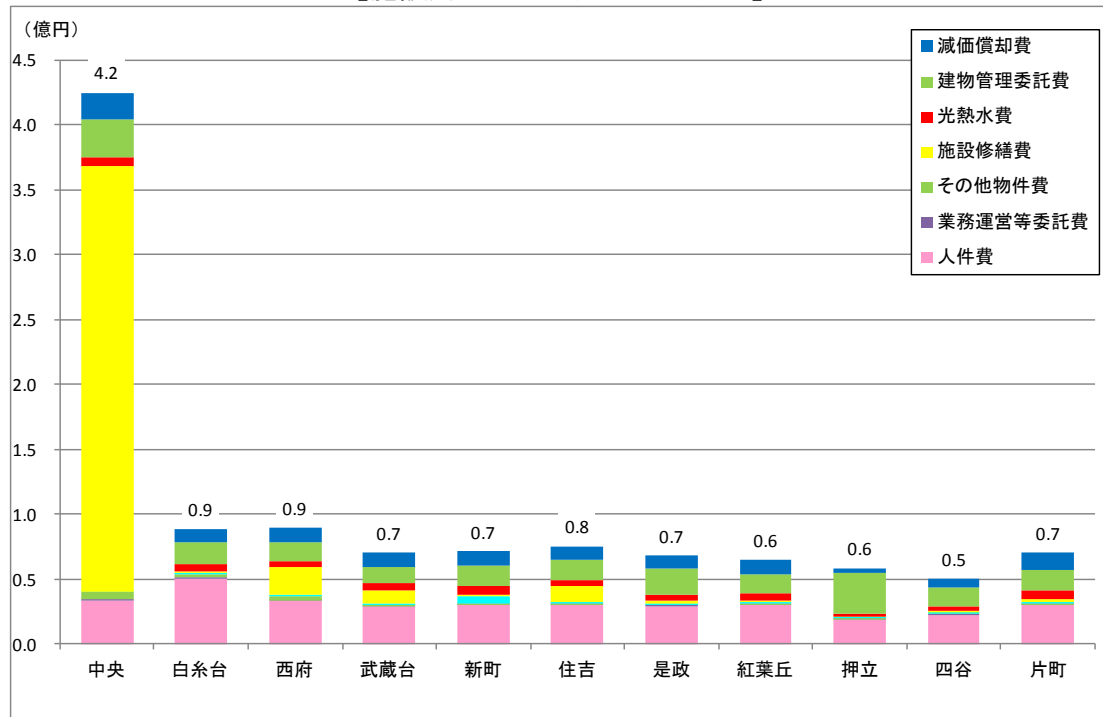
合計(トータルコスト)	424,943	88,870	89,267	70,133	71,277	75,285	68,177	64,876	58,682	50,569	70,307	1,132,387
-------------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-----------

【収支差額】

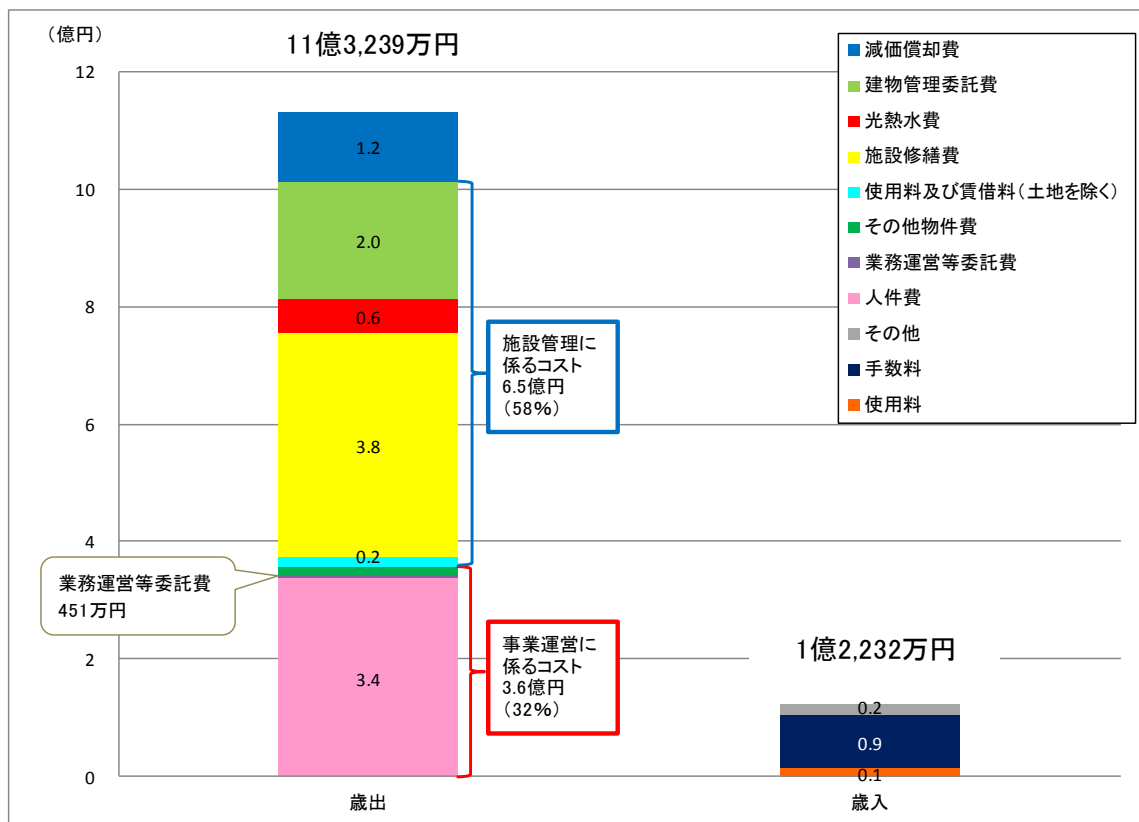
収益-コスト	-394,641	-73,301	-81,275	-61,233	-60,269	-63,446	-61,060	-53,732	-54,875	-45,726	-60,510	-1,010,068
--------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	------------

※ 文化センター内図書館にかかる施設修繕費以外の施設管理費（光熱水費など）も含めています。

【施設別コスト：文化センター】



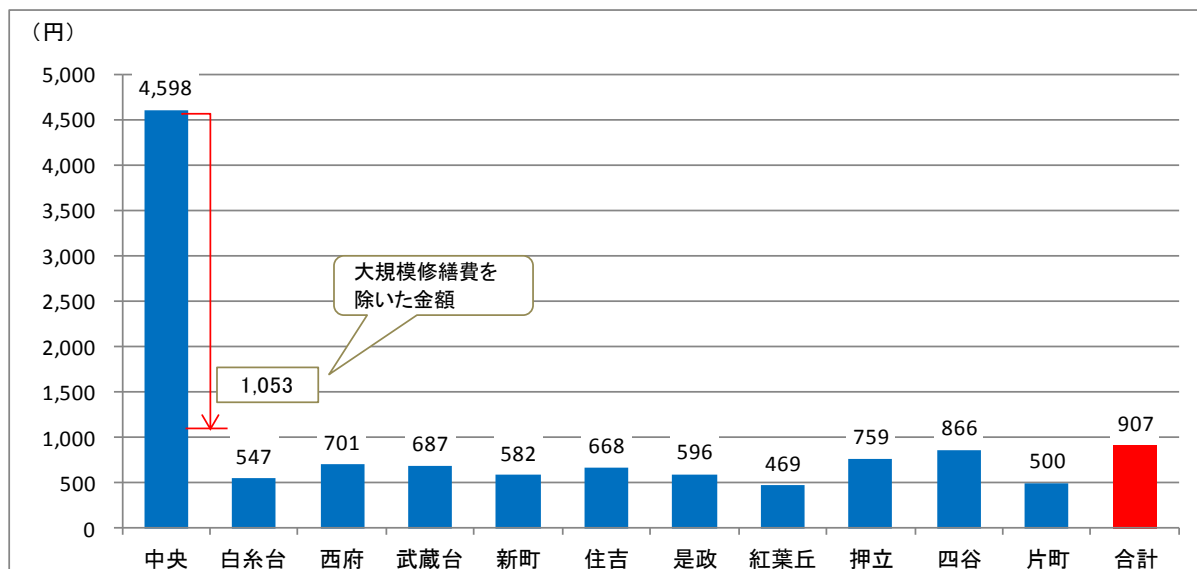
【トータルコスト：文化センター】



②利用当たりコスト

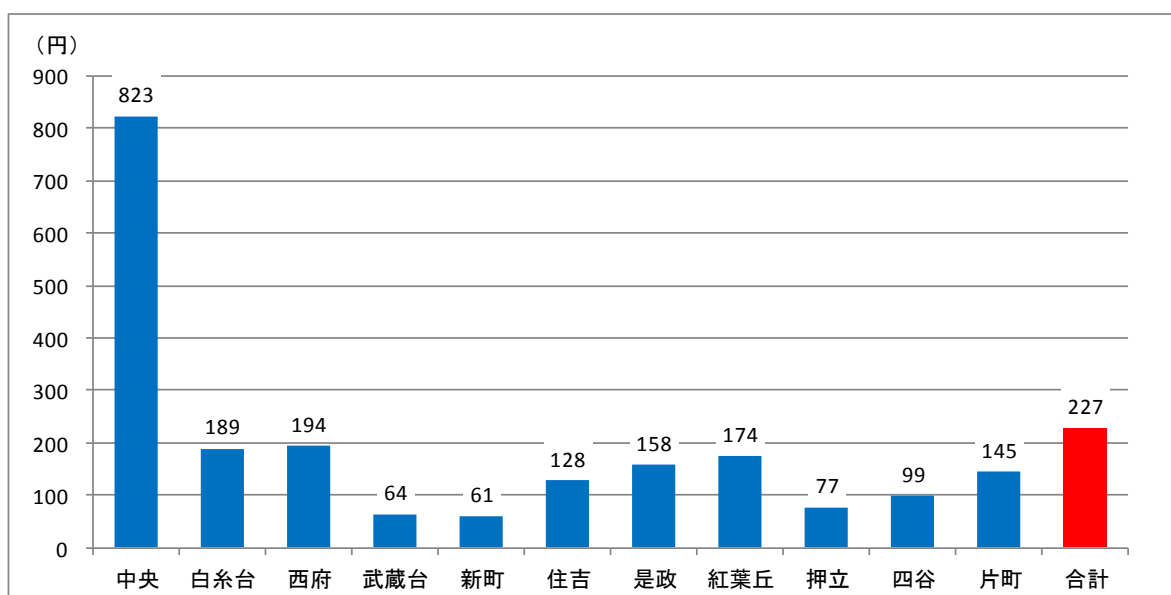
- ・文化センター全体では、利用者1人当たりのコストは1,000円です。
- ・施設別では、中央文化センター（4,598円、大規模修繕費分を除くと1,053円）が最も高く、紅葉丘文化センター（478円）が最も低くなっています。

【利用者1人当たりコスト】



- ・貸館機能の利用1コマ当たりの使用料収入について、最も多いのは中央文化センター（823円）でした。有料のひばりホールがあることや、各部屋の稼働率が高いことなどが、他の施設と比較して高くなっている理由と考えられます。

【利用1コマ当たりの使用料収入】



3-1 (詳細) 出張所・窓口

(1) 概要

・白糸台文化センターと西府文化センターには出張所があり、戸籍や住民登録に関する届出、各種証明書の交付などができます。その他の文化センターは、各証明書の交付などができる窓口機能のみとなっています。

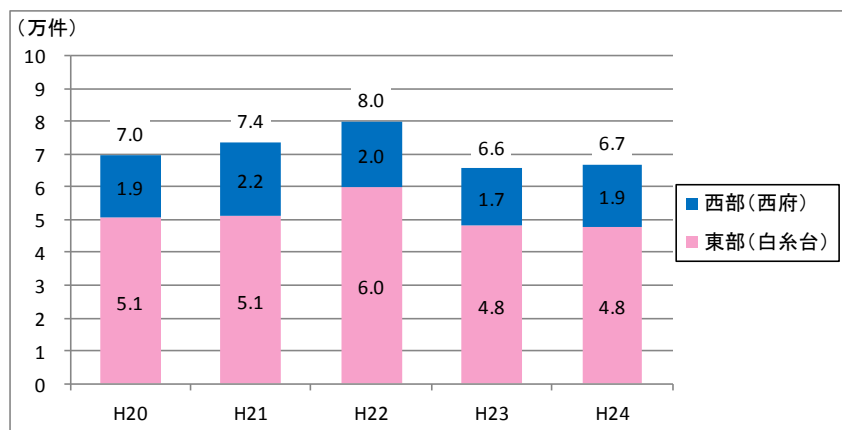
【施設別業務一覧】

		届出受付業務							証明書交付業務				各受付業務			
		戸籍に関する届出	住民登録に関する届出	印鑑登録に関する届出	国民健康保険に関する届出	母子手帳の交付	税金・料金の支払い	犬の登録	戸籍に関する証明書	住民登録に関する証明書	印鑑登録証明書	その他の諸証明	共済の申込み	粗大ごみ処理券の販売	保養所等の申込み	その他(サービスコーナー、施設予約等)
出張所	東部出張所(白糸台文化センター)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	西部出張所(西府文化センター)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
窓口	中央文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	武蔵台文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	新町文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	住吉文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	是政文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	紅葉丘文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	押立文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	四谷文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
	片町文化センター	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●

(2) 出張所

・出張所全体の利用件数は、減少傾向です。なお、東部出張所の利用件数は西部出張所の2倍以上となっています。

【出張所利用件数の推移】

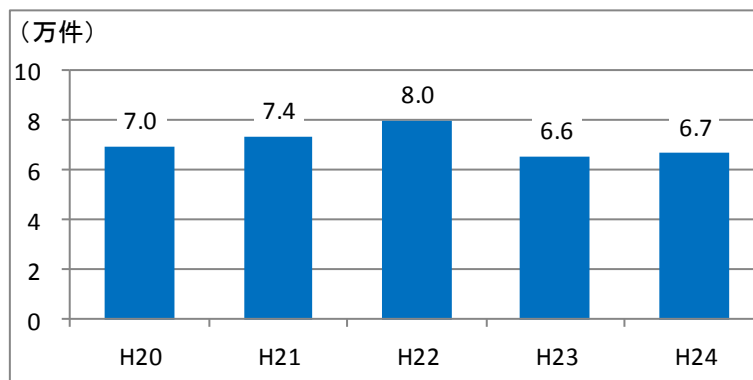


※利用件数…届出受付業務、証明書交付業務及び各種受付業務のうち、共済の申込み、粗大ごみ処理券の販売、保養所などの申込みの合計。

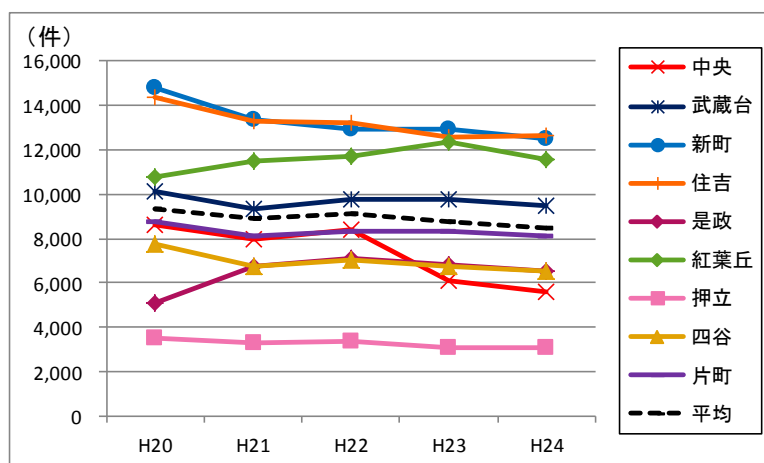
(3) 窓口

- ・ 白糸台と西府以外の各文化センターにある窓口機能の利用状況も、出張所と同様に減少傾向にあります。
- ・ 窓口利用件数のうち、証明書交付件数が 70%を占めています。

【窓口利用件数の推移（東西出張所を除く。）】



【施設別利用件数の推移（東西出張所を除く。）】



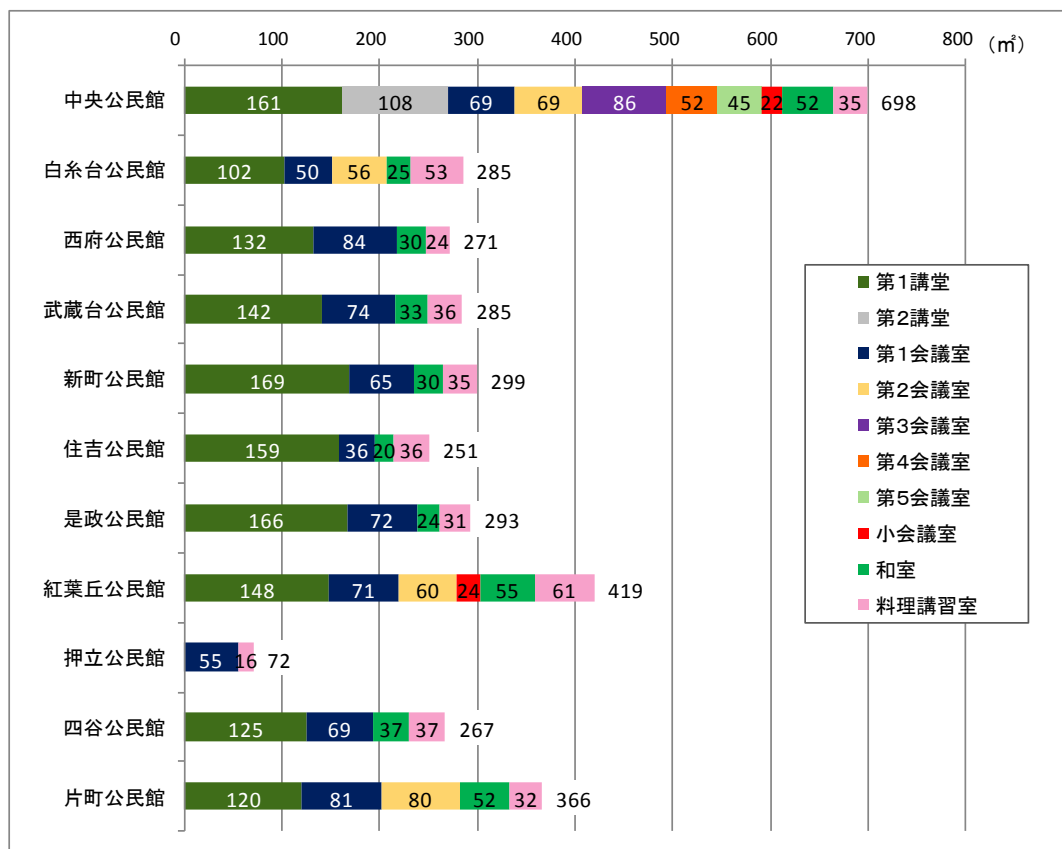
3-2 (詳細) 公民館

(1) スペース構成

- ・公民館は、講堂、会議室、和室及び料理講習室で構成されています。
- ・中央公民館に講堂が2つあるのは、近隣に中央図書館が整備されたことに伴い、図書室だった部屋を講堂として活用しているためです。
- ・会議室は全ての公民館で設置されていますが、その数や名称は各公民館で異なり、60～80 m²程度の規模のものが多くなっています。
- ・和室は押立公民館を除く全ての公民館に、1部屋ずつ設置されています。
- ・料理講習室は全ての公民館に設置されていますが、規模は施設によって若干異なります。

【スペース構成（公民館）】

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町
第1講堂	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●
第2講堂	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第1会議室	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
第2会議室	●	●	-	-	-	-	-	●	-	-	●
第3会議室	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第4会議室	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第5会議室	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小会議室	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
和室	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●
料理講習室	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



(2) 利用状況

- ・利用の単位は、午前、午後及び夜間の3コマです。公民館全体の年間利用可能コマ数は4万9,494コマで、そのうち2万7,484コマが利用されました。稼働率は約56%です。
- ・講堂と会議室の数が多い中央公民館の利用コマ数は、他の公民館を大きく上回っています。
- ・講堂と会議室が1つずつ設置されている西府、武蔵台、新町、住吉及び是政の各公民館では、講堂の方が会議室よりも利用されています。

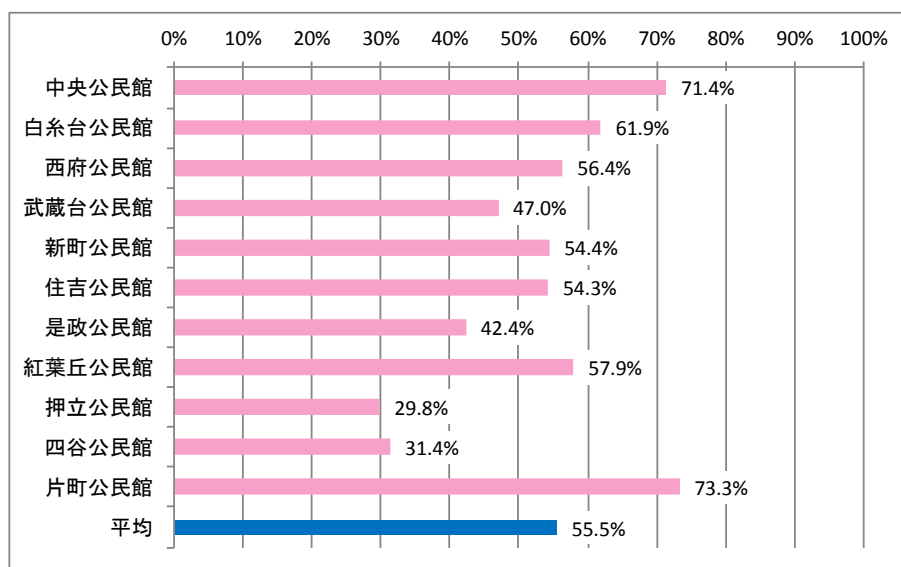
【年間利用コマ数】

平成24年度	講堂	会議室	和室	料理 講習室	合計
中央公民館	1,199	2,915	453	272	4,839
白糸台公民館	861	1,391	463	433	3,148
西府公民館	938	721	468	166	2,293
武蔵台公民館	669	593	279	371	1,912
新町公民館	869	658	430	258	2,215
住吉公民館	906	574	485	242	2,207
是政公民館	765	519	273	166	1,723
紅葉丘公民館	781	1,687	555	513	3,536
押立公民館	-	498	-	109	607
四谷公民館	472	490	210	105	1,277
片町公民館	849	1,739	746	393	3,727
平均	831	1,071	436	275	2,499
合計	8,309	11,785	4,362	3,028	27,484

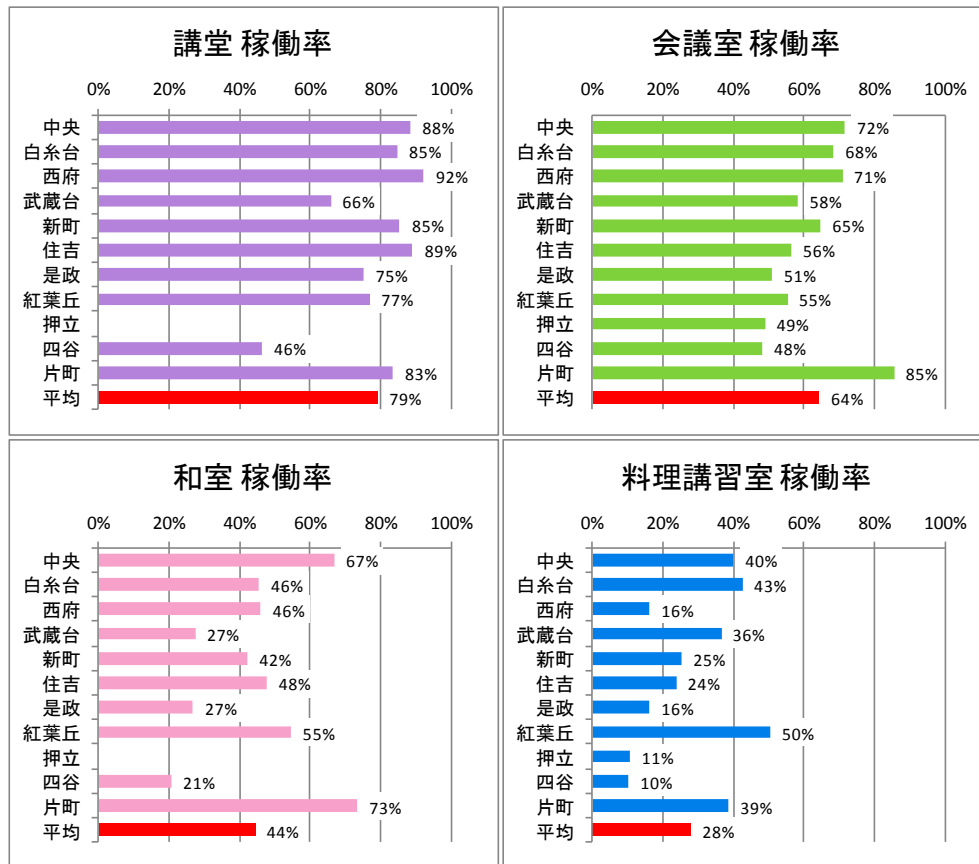
※中央文化センターは耐震改修工事のため、運営日数は226日。

- ・利用コマ数ではなく、稼働率の面で最も高いのは片町公民館です。
- ・いずれの公民館でも講堂や会議室の稼働率の高さに比べて、料理講習室の稼働率が低くなっています。

【施設別稼働率】

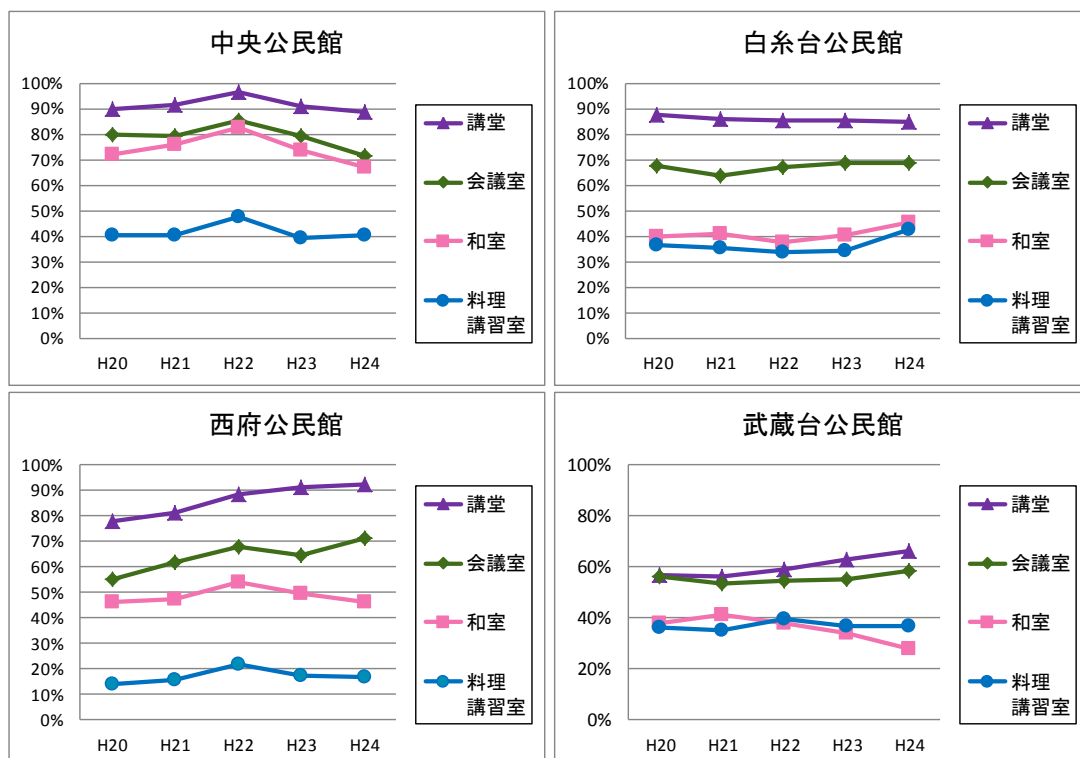


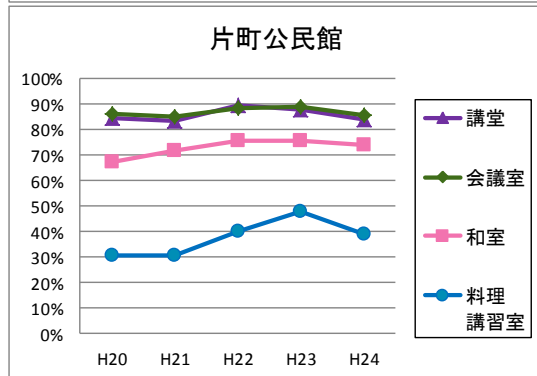
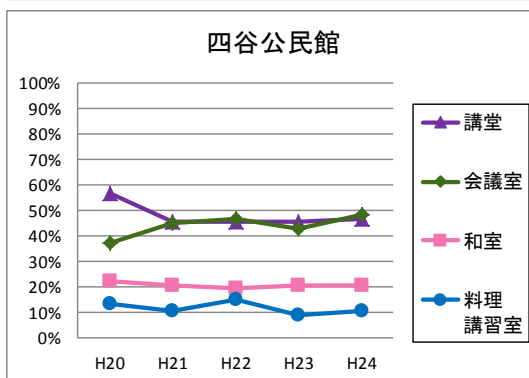
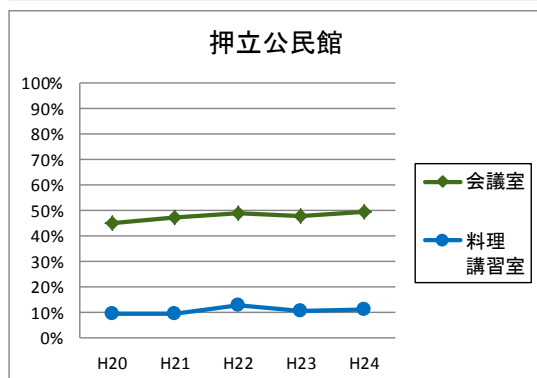
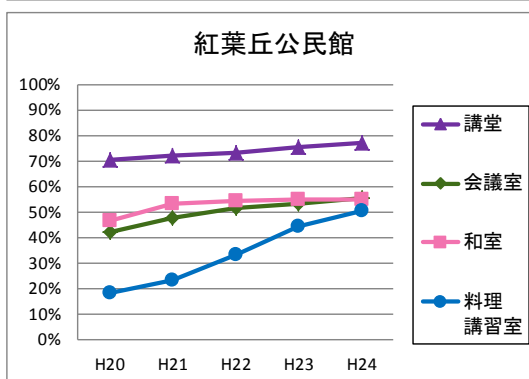
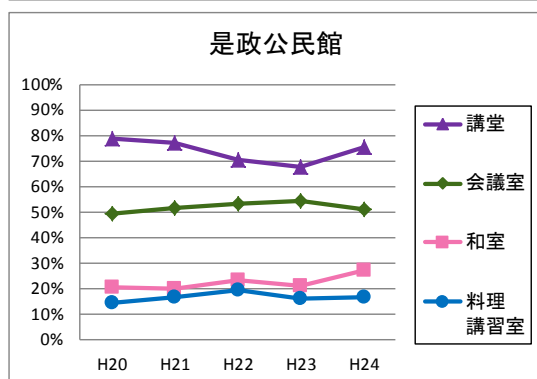
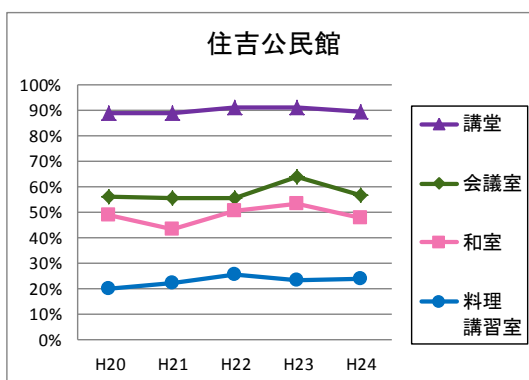
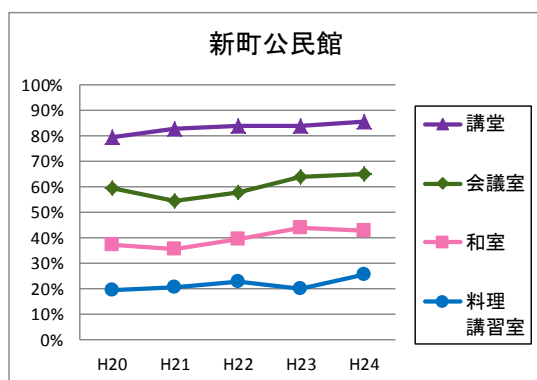
【施設別・部屋別の稼働率】



・施設別・部屋別の稼働率の推移は、施設によって異なり、全体的な傾向は見られません。

【施設別・部屋別の稼働率の推移】





3-3 (詳細) 高齢者福祉館

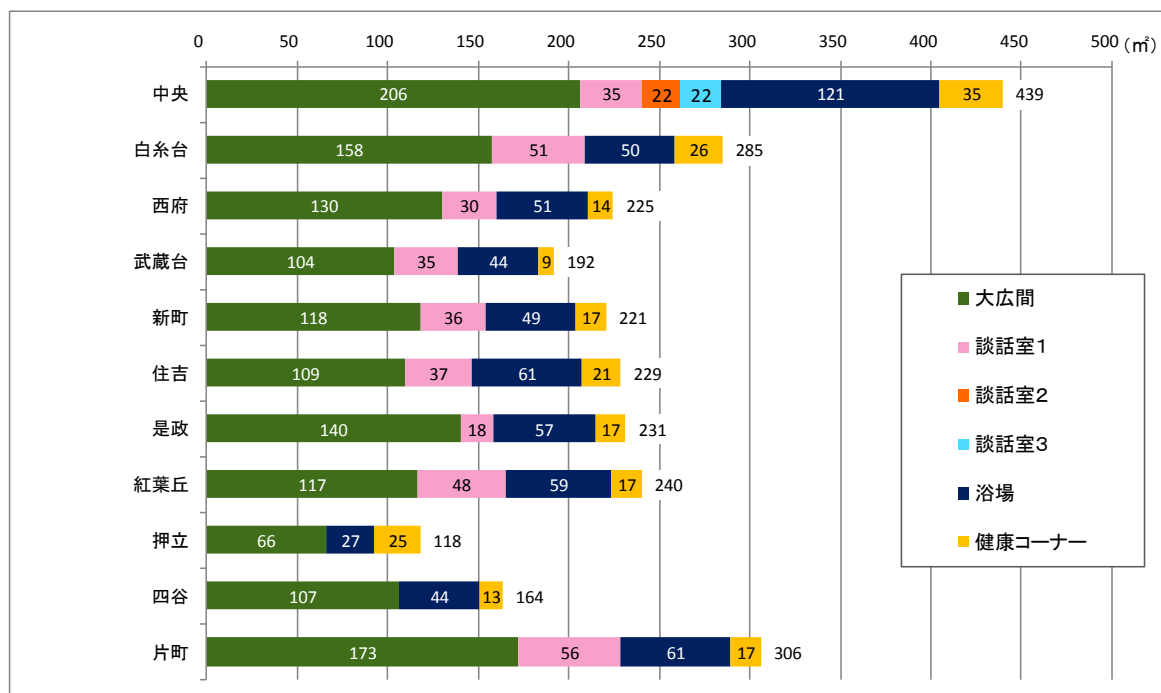
(1) スペース構成

- ・高齢者福祉館には、大広間、談話室、浴場及び健康コーナーが設置されていますが、四谷高齢者福祉館には、談話室がありません。また、押立高齢者福祉館では、健康コーナーを仕切って談話室として使用することができます。
- ・大広間や談話室は高齢者の憩いの場として登録者に広く開放されていますが、夜間と日曜は有料での貸し出しとなります。
- ・浴場は事前に登録すれば、12:00～16:30の間に無料で入浴できます。
- ・健康コーナーは高齢者の健康保持に役立つ機器が設置されており、事前に登録すれば、無料で利用することができます。

【スペース構成（高齢者福祉館）】

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町
大広間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
談話室1	●	●	●	●	●	●	●	●	※	-	●
談話室2	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
談話室3	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浴場	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
健康コーナー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※日中は、健康コーナーとして開放し、夜間と日曜日は、仕切って談話室として貸し出ししている。



(2) 利用状況

・高齢者福祉館 11 施設の、大広間と談話室の利用可能コマ数は、年間 2 万 2,035 コマで、そのうち利用されたのは、1 万 6,371 コマでした。

・施設別の利用コマ数は、最少で 766 コマ（四谷）、最多で 1,963 コマ（中央）となっています。中央高齢者福祉館については、談話室が 3 室あり、利用コマ数が突出して多くなっていることから、談話室の利用が大広間の利用を上回っています。

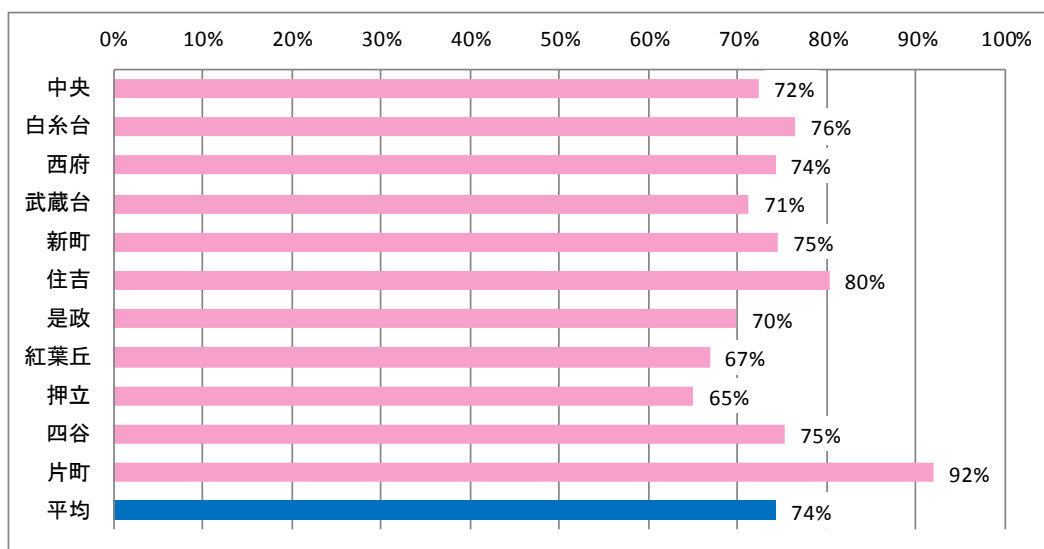
【年間利用コマ数（貸館部分）】

平成24年度	大広間	談話室	合計
中央高齢者福祉館	603	1,360	1,963
白糸台高齢者福祉館	882	674	1,556
西府高齢者福祉館	809	701	1,510
武蔵台高齢者福祉館	833	617	1,450
新町高齢者福祉館	857	659	1,516
住吉高齢者福祉館	928	705	1,633
是政高齢者福祉館	824	598	1,422
紅葉丘高齢者福祉館	709	651	1,360
押立高齢者福祉館	714	610	1,324
四谷高齢者福祉館	766	-	766
片町高齢者福祉館	960	911	1,871
平均	808	749	1,488
合計	8,885	7,486	16,371

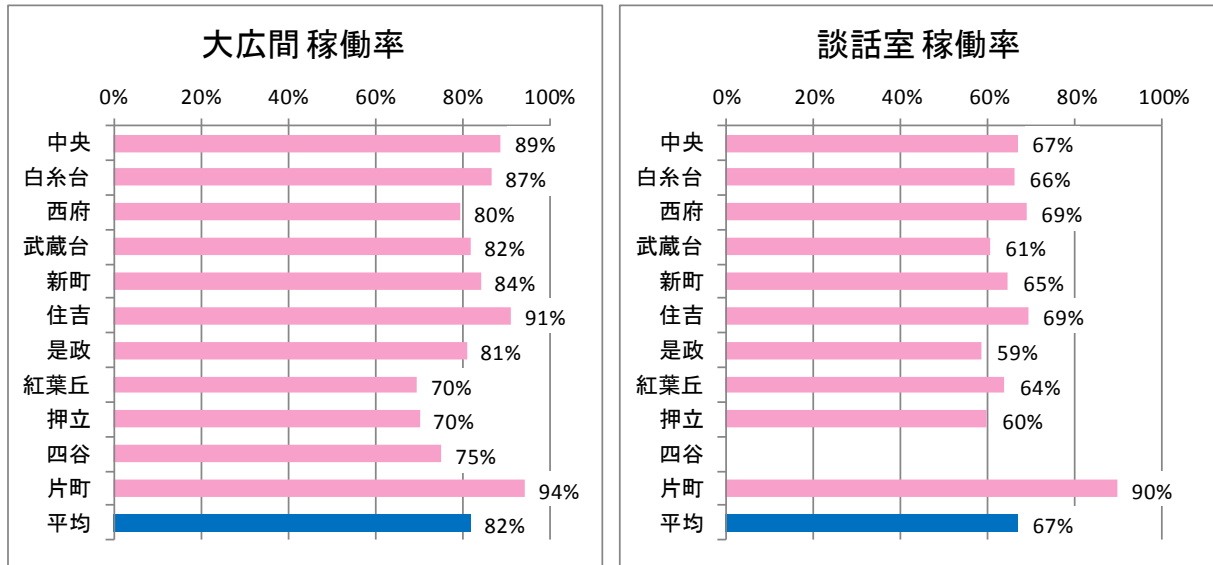
※中央文化センターの平成 24 年度の運営日数は、耐震改修工事のため 226 日。

・稼働率については、各施設とも 65%以上と比較的利用されている状況ですが、特に片町高齢者福祉館は 90%以上と高くなっています。

【施設別稼働率】



【部屋別稼働率】



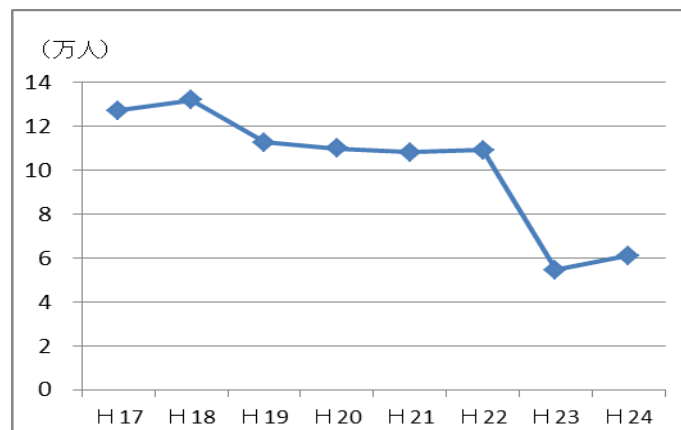
※稼働率は、一般開放の時間帯を利用コマ数に含ませて算出。

- ・浴場の利用者数は11施設合計で年間6万1,280人でした。1施設平均では約5,600人となりますが、施設によって2,000人～7,700人と差があります。
- ・震災などの影響により開場の日数が減少した平成23年度に利用者数が減少しています。

【浴場利用者数】

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	平均	合計
利用者数	6,525	5,115	7,747	5,122	5,003	7,069	4,339	6,823	2,065	4,950	6,522	5,571	61,280
開場日数	58	99	101	88	101	101	89	99	101	94	99	94	
1日当たりの利用者数	113	52	77	58	50	70	42	69	20	53	66	61	

【浴場利用者数の推移】



3-4 (詳細) 児童館

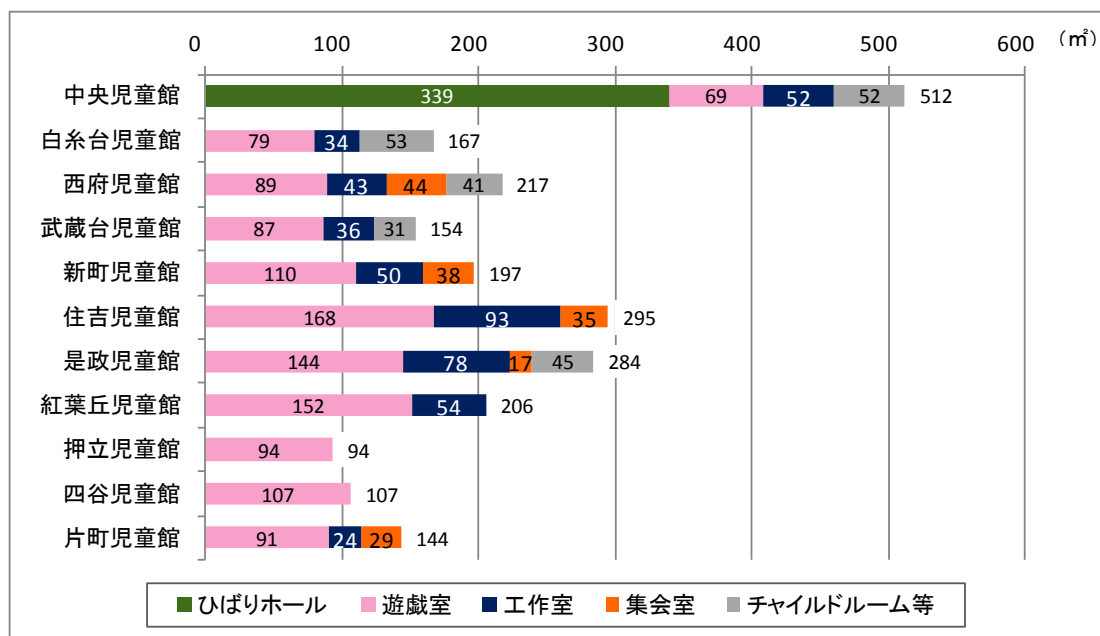
(1) スペース構成

- ・児童館には、遊戯室や工作室などが設置されており、小・中学校の児童・生徒及び保護者が同伴する幼児に対して、無料で開放しています。ただし、中央児童館のひばりホール並びに夜間の各児童館の遊戯室、集会室及び工作室の貸出しには、使用者の制限はありません。
- ・全ての施設に遊戯室が設置されており、卓球などの軽い運動やいすに座っての遊びなどを行うことができます。四谷と押立の各児童館は、遊戯室のみの構成となっています。
- ・工作室は上記 2 施設を除く全ての児童館に 1 室ずつ設置されており、工作サークルなどの事業が行われるほか、陶芸などを行うこともできます。
- ・チャイルドルームは、施設によって名称及び設置の有無は異なりますが、保護者同伴で幼児を遊ばせることができる部屋です。なお、遊戯室に隣接している部屋で、遊戯室の一部として使用している場合もあります。

【スペース構成（児童館）】

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町
ひばりホール	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊戯室	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
工作室	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	●
集会室	-	-	●	-	●	●	●	-	-	-	●
チャイルドルーム等	●	●	●	●	※	※	●	※	-	-	-

※新町、住吉、紅葉丘では遊戯室の一部がチャイルドルームとして使用されている。

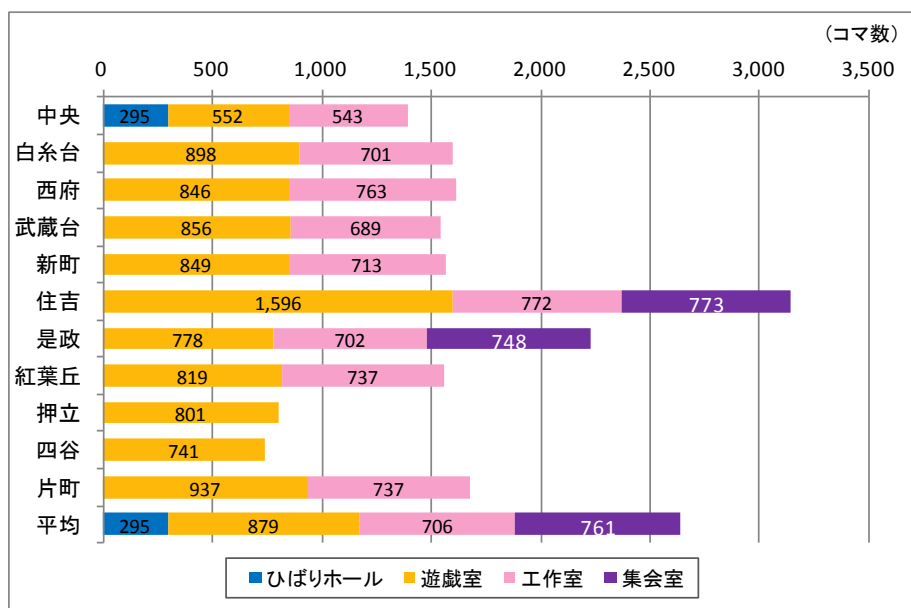


(2) 利用状況

- ・児童館 11 施設の利用可能コマ数の合計は 2 万 3,391 コマで、そのうち利用されたのは、1 万 7,845 コマでした。
- ・施設別の利用コマ数は、最少で 741 コマ（四谷）、最多で 3,141 コマ（住吉）となっています。

【年間利用コマ数（貸館部分）】

平成24年度	ひばりホール	遊戯室	工作室	集会室	合計	1日あたりの 利用コマ数
中央児童館	295	552	543	－	1,390	2.1
白糸台児童館	－	898	701	－	1,599	2.4
西府児童館	－	846	763	－	1,609	2.4
武蔵台児童館	－	856	689	－	1,545	2.3
新町児童館	－	849	713	－	1,562	2.3
住吉児童館	－	1,596	772	773	3,141	3.1
是政児童館	－	778	702	748	2,228	2.2
紅葉丘児童館	－	819	737	－	1,556	2.3
押立児童館	－	801	－	－	801	2.4
四谷児童館	－	741	－	－	741	2.2
片町児童館	－	937	737	－	1,674	2.5
平均	295	879.4	706.3	760.5	1,622.4	2.4
合計	295	9,673	6,357	1,521	17,846	26.0



※中央文化センターの平成 24 年度の運営日数は、耐震改修工事のため 226 日。

【利用者数】

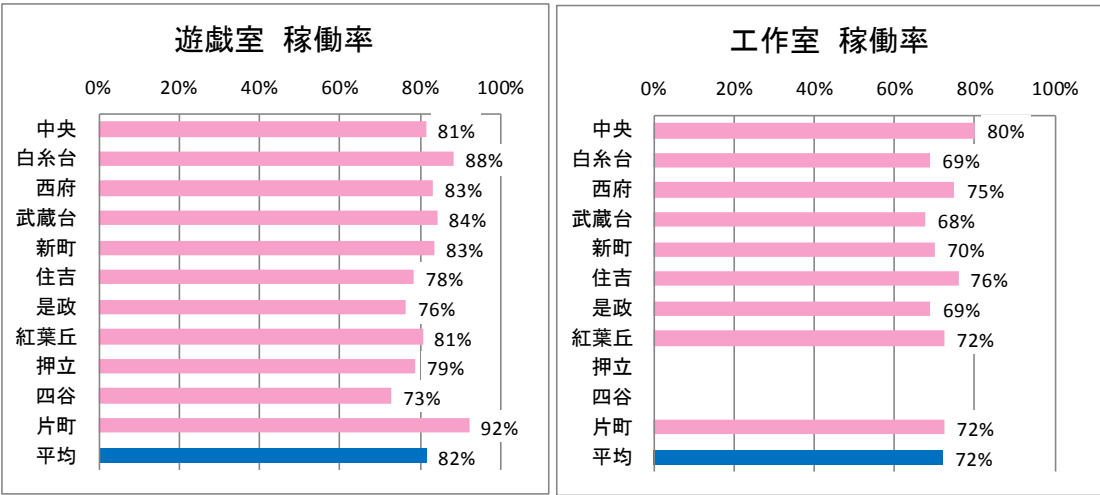
	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	平均	合計
利用者数合計	5,209	13,961	5,376	7,480	7,635	14,222	9,151	13,782	4,832	7,777	8,122	8,868	97,547
チャイルドルーム等 利用者数	1,932	5,347	2,436	1,818	2,360	3,930	854	3,059	－	－	－	2,717	21,736
児童館指導員配属時	3,277	8,614	2,940	5,662	5,275	10,292	8,297	10,723	4,832	7,777	8,122	6,892	75,811
利用可能日数	226	339	339	339	339	339	339	339	339	339	339	329	3,616
1日当たりの利用者数	23.0	41.2	15.9	22.1	22.5	42.0	27.0	40.7	14.3	22.9	24.0	27.0	27.0

・中央児童館を除き、各施設とも稼働率は70%を超えています。機能別では、全ての児童館に設置されている遊戯室の稼働率が最も高く、次いで集会室、工作室が70%以上の稼働率となっています。

【施設別稼働率】



【部屋別稼働率】



※稼働率は一般開放の時間帯を含めたコマ数で算出。

4-1 体育館

(1) 概要

- ・体育館には、総合体育館、地域体育館7施設及び生涯学習センター体育室があります。
- ・主催事業としてスポーツ教室・スポーツ大会などを実施しています。
- ・総合体育館は、体育室や武道場、弓道場などの体育諸室のほかにも、会議室や研修室などの集会機能も備えた総合体育施設となっています。地域体育館には、体育室のほかに会議室などがあります。

	体育館
設置目的 ・ 根拠法	市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するため、体育館を設置する。 【府中市立体育館条例】
事業内容	・主催事業の開催 (スポーツ教室等の開催) ・貸館事業 (施設の貸出)
所管	文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
使用料	有料

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
総合体育館	S46	1971	42年	13,899㎡	SRC造	実施	※	市	市	直営	第1体育室、第2体育室、第1武道場、第2武道場、弓道場、卓球室、相撲場、トレーニング室、会議室ほか
地域 体育 館	朝日体育館	S46	1971	416㎡	RC造	必要	-	市	市	直営	体育室、指導室
	白糸台体育館	S60	1985	1,399㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	体育室、会議室
	押立体育館	S61	1986	1,396㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	体育室、会議室
	栄町体育館	S58	1983	1,365㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	体育室、会議室
	本宿体育館	S62	1987	1,400㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	体育室、会議室
	四谷体育館	S60	1985	1,398㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	体育室、会議室
	日吉体育館	S60	1985	1,477㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	東京競馬場施設だが、地域体育館に準ずる施設として市民が利用

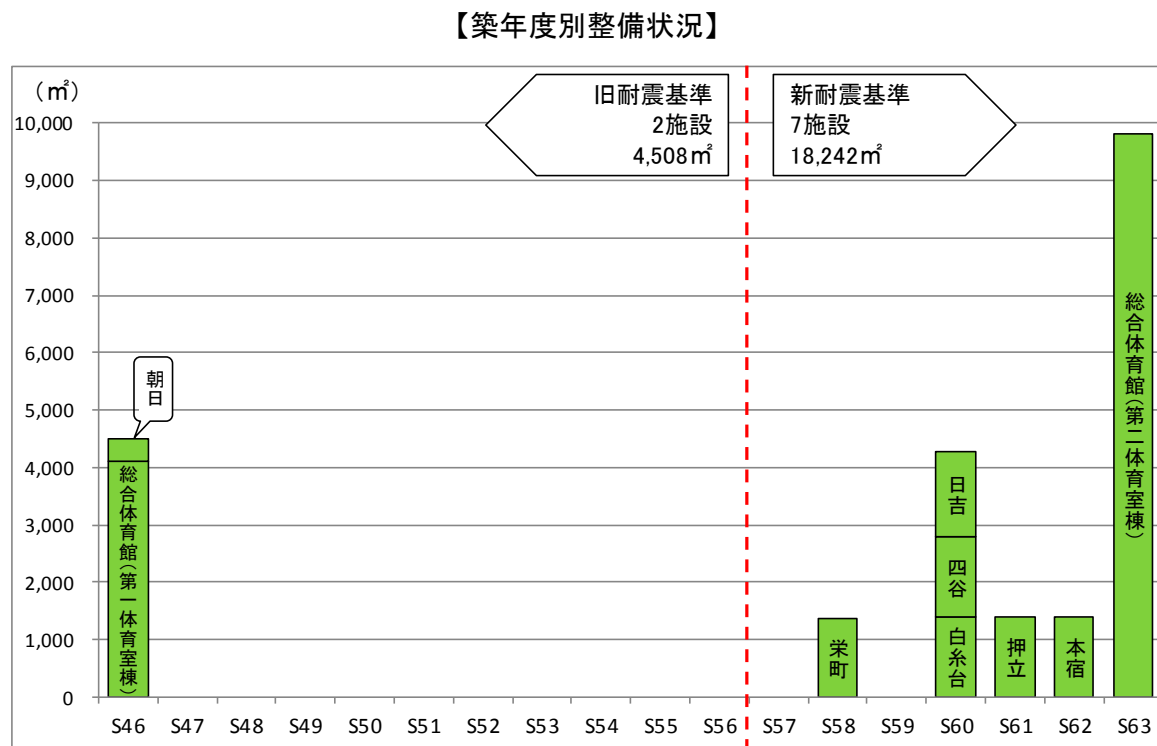
※総合体育館の耐震補強について、第一体育室棟は「必要」、第二体育室棟は「不要」。



(2) 施設状況

①施設規模

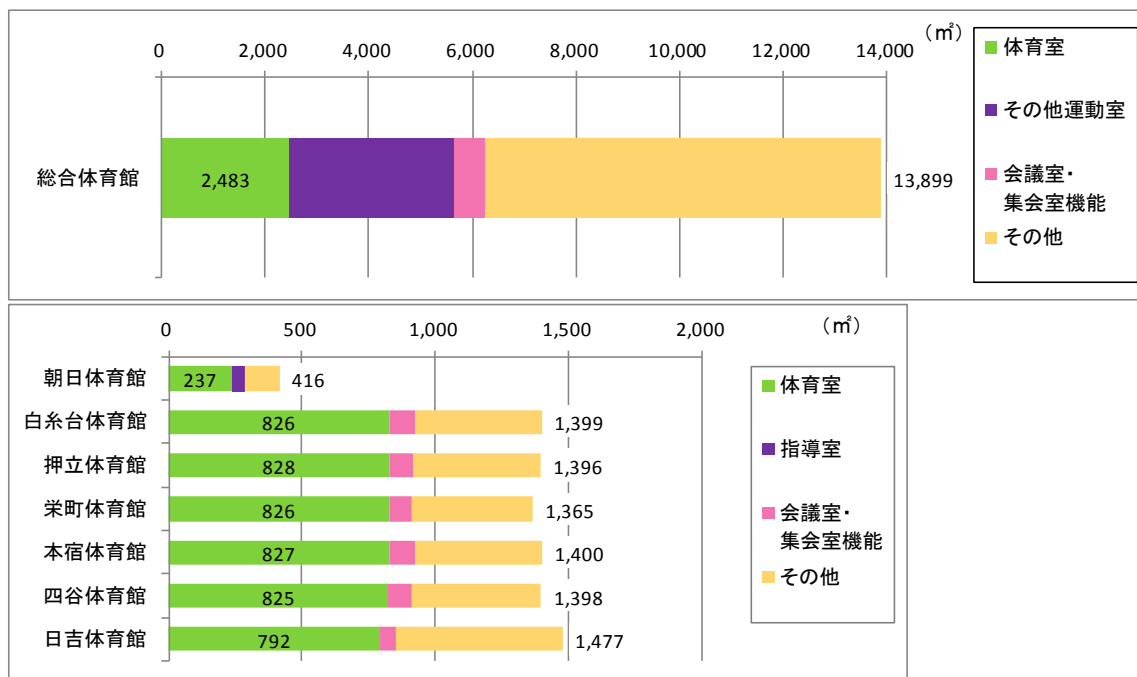
・総合体育館の第1体育室棟及び朝日体育館は昭和56年以前に建築された旧耐震基準の施設です。その他は昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設で、床面積の合計は1万8,242㎡(7施設)で、全体の約70%を占めます。なお、総合体育館については、棟の建築年度の違いで2施設として表記しています



②スペース構成

- ・施設規模は、朝日体育館の 416 m²から総合体育館の 1 万 3,899 m²までとなっています。
- ・スペース構成は、最も規模の大きい総合体育館には、2 つの体育室に加え各種運動室や会議室などがあります。朝日体育館を除く各地域体育館の体育室や会議室は、ほぼ同じ規模です。
- ・各地域体育館の会議室や指導室は、会議・集会機能のほか、ダンスの練習などでも使用する事ができます。

【体育館スペース構成】



(3) 運営体制

①運営形態

体育施設のうち、総合体育館は市直営で管理運営を行っていますが、一部事業については運営の委託をしています。地域体育館については、管理及び事業の運営を委託しています。

②運営日数、運営時間

- ・年間の運営日数は、総合体育館は 315 日、地域体育館は 284 日～357 日です。
- ・運営時間については、9：00～21：00 となっています。基本的な貸出利用の区分は、午前、午後 1、午後 2、夜間の 4 区分で、全日での利用も可能です。

【運営日数】

(日)								
平成24年度	総合体育館	朝日体育館	白糸台体育館	押立体育館	栄町体育館	本宿体育館	四谷体育館	日吉体育館
平日	201	245	209	209	209	209	209	172
土日・祝日	114	112	114	114	113	114	114	112
計	315	357	323	323	322	323	323	284

③運営人員

・施設別の運営人員は、総合体育館が19人（土日・祝日14人）、地域体育館は1～2人で運営しています。総合体育館には、市の職員も配置されています。

【運営人員】

平成24年度	総合 体育館	朝日 体育館	白糸台 体育館	押立 体育館	栄町 体育館	本宿 体育館	四谷 体育館	日吉 体育館	(人)
平日	19	1	2	2	2	2	2	1	
土日・祝日	14	1	2	2	2	2	2	1	

(4) 利用状況

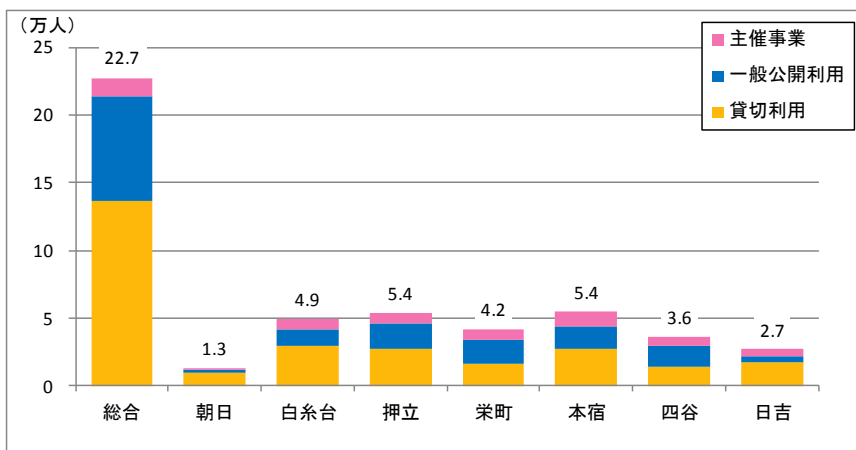
①体育館別の利用状況

・全体育館の利用者数は、50万3,026人でした。そのうち、貸切利用者が27万7,854人（55%）で、主催事業によるものが6万873人（12%）、一般公開利用が16万4,299人（33%）となっており、貸切利用者が約半数を占めています。

・施設別の利用者数は概ね施設規模に応じた数となっており、総合体育館が22万7,359人と最も多く、地域体育館は1万～5万人程度となっています。

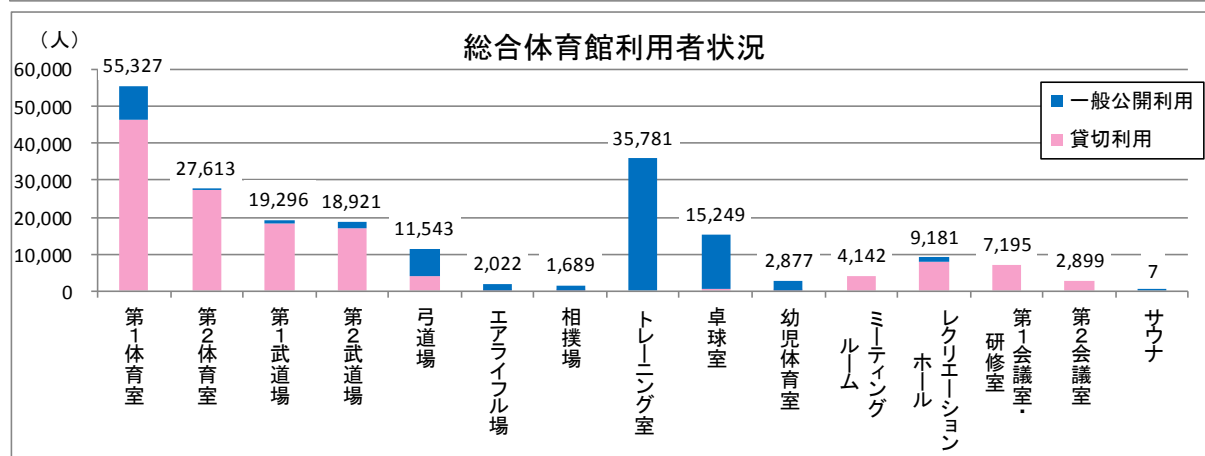
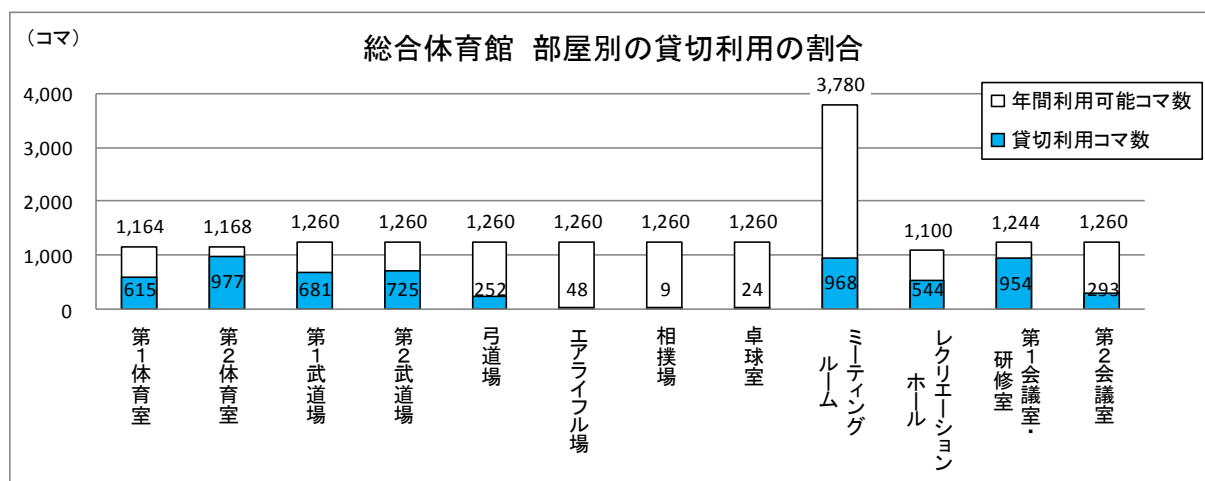
【施設別利用者数】

平成24年度	総合 体育館	朝日 体育館	白糸台 体育館	押立 体育館	栄町 体育館	本宿 体育館	四谷 体育館	日吉 体育館	合計	(人)
貸切利用	136,179	9,677	29,274	27,208	16,728	27,092	14,553	17,143	277,854	
一般公開利用	77,581	2,532	12,089	18,357	16,717	16,987	15,486	4,550	164,299	
主催事業	13,599	659	8,083	8,362	8,522	10,384	6,134	5,130	60,873	
合計	227,359	12,868	49,446	53,927	41,967	54,463	36,173	26,823	503,026	



② 総合体育館の機能別利用状況

- ・貸切利用の予約が無い場合は、一般公開による利用が可能です。
- ・トレーニング室は常に一般公開されています。幼児体育室は大会などの際に貸切利用される以外は、基本的に一般公開による利用となっています。卓球室も同様です。
- ・エアライフル室や相撲場もほとんど一般公開による利用となっています。



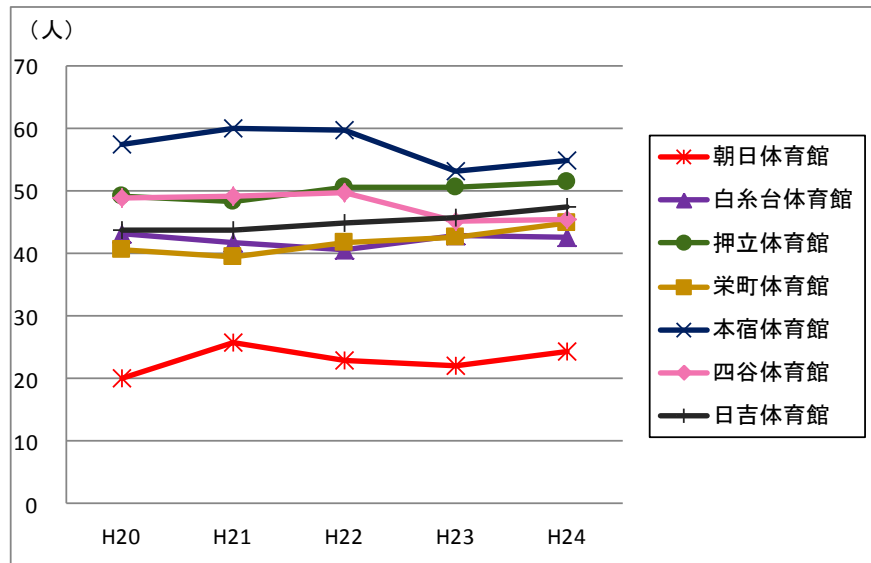
③ スポーツ活動事業（自主事業）の実施状況

- ・各体育館では、貸館事業のほかにスポーツ活動事業として、自主事業を開催しています。
- ・自主事業の参加者数の推移では、大きな増減は見られません。
- ・開催回数の多い総合体育館の参加人数が多くなっていますが、自主事業1回あたりの参加者数が最も多いのは、本宿体育館です。

【自主事業参加者数及び開催回数の推移】

(人)						(回)					
自主事業参加者数	H20	H21	H22	H23	H24	自主事業開催回数	H20	H21	H22	H23	H24
総合体育館	13,003	12,909	14,076	13,862	13,599	総合体育館	558	558	548	579	541
朝日体育館	360	697	618	594	659	朝日体育館	18	27	27	27	27
白糸台体育館	8,175	7,923	7,527	8,108	8,083	白糸台体育館	189	189	185	189	189
押立体育館	7,999	7,861	8,056	8,192	8,362	押立体育館	162	162	159	162	162
栄町体育館	7,712	7,464	7,840	8,068	8,522	栄町体育館	189	189	187	189	189
本宿体育館	10,869	11,344	10,710	10,071	10,384	本宿体育館	189	189	179	189	189
四谷体育館	6,606	6,398	6,535	6,120	6,134	四谷体育館	135	130	131	135	135
日吉体育館	4,746	4,733	4,858	4,958	5,130	日吉体育館	108	108	108	108	108
合計	59,470	59,329	60,220	59,973	60,873	合計	1,548	1,552	1,524	1,578	1,540

【自主事業1回当たりの参加者数の推移】



(4) コスト状況

①施設別コスト状況

・体育館8施設のコストの合計は、約4億138万円でした。そのうち、施設管理に係るコストが約1億2,648万円(32%)、事業運営に係るコストが約1億4,717万円(37%)、減価償却費相当額が約1億2,772万円(32%)です。歳入は、使用料等収入が約5,086万円でした。

【施設別コスト一覧：体育館】

【収益の部】

(千円)

	総合 体育館	朝日 体育館	白糸台 体育館	押立 体育館	栄町 体育館	本宿 体育館	四谷 体育館	日吉 体育館	合計
使用料	28,629	655	3,538	4,106	3,695	4,245	3,222	0	48,090
その他	2,771	0	0	0	0	0	0	0	2,771
収益 計	31,399	655	3,538	4,106	3,695	4,245	3,222	0	50,860

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	303	47	234	231	178	239	227	85	1,543
	施設修繕費	7,716	731	731	731	731	731	731	0	12,102
	光熱水費	29,704	599	2,585	2,395	2,523	2,620	2,257	0	42,682
	建物管理委託費	46,489	5,063	4,228	3,686	3,537	3,543	3,611	0	70,156
	管理に係るコスト 計	84,213	6,439	7,778	7,042	6,969	7,132	6,826	85	126,484
事業運営 に係る コスト	人件費	28,580	2,372	2,394	2,372	2,372	2,372	2,372	494	43,327
	業務運営等委託費	25,843	62	11,595	10,353	10,338	10,335	10,358	2,619	81,503
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	13,506	1,155	1,486	1,348	1,314	1,436	1,341	760	22,345
	運営に係るコスト 計	67,929	3,589	15,474	14,072	14,024	14,142	14,071	3,873	147,175
現金収支を伴うコスト 計		152,141	10,028	23,252	21,114	20,994	21,274	20,897	3,958	273,659

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	82,007	2,579	8,673	8,654	8,462	8,679	8,667	0	127,721
----------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	---------

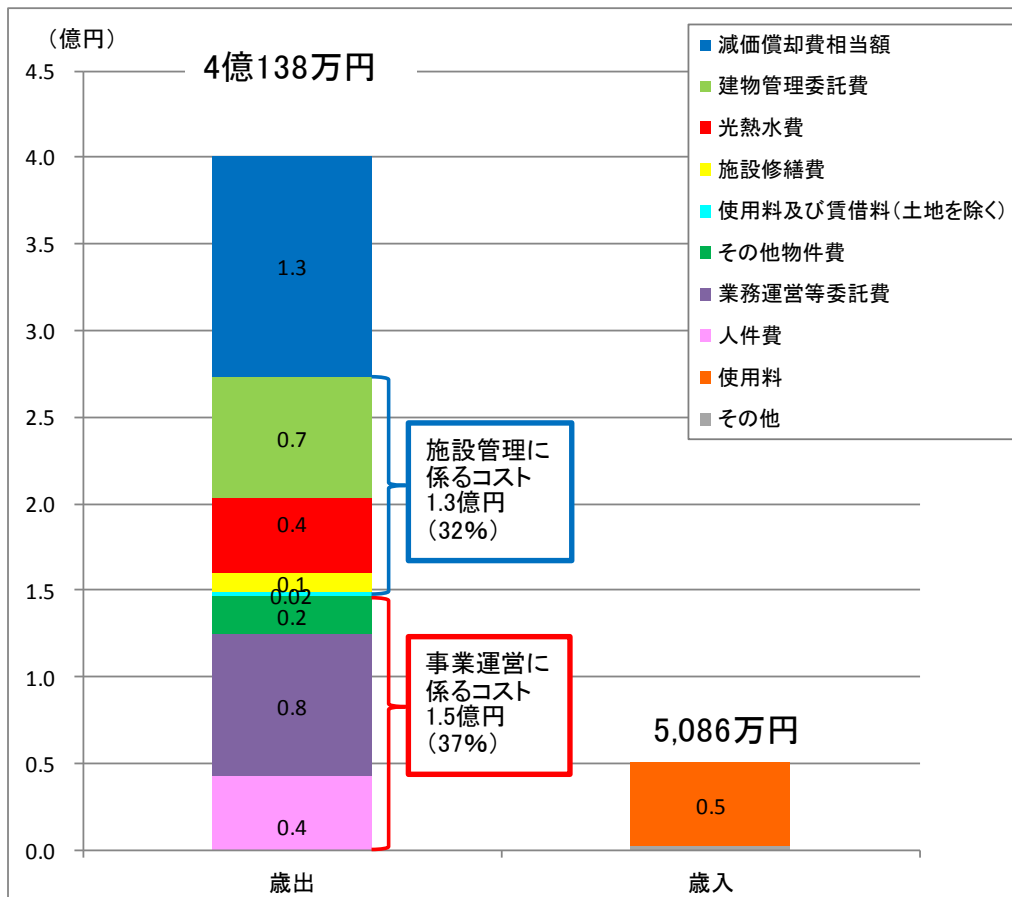
III. 総括

合計(トータルコスト)	234,149	12,607	31,925	29,768	29,456	29,953	29,564	3,958	401,380
-------------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	---------

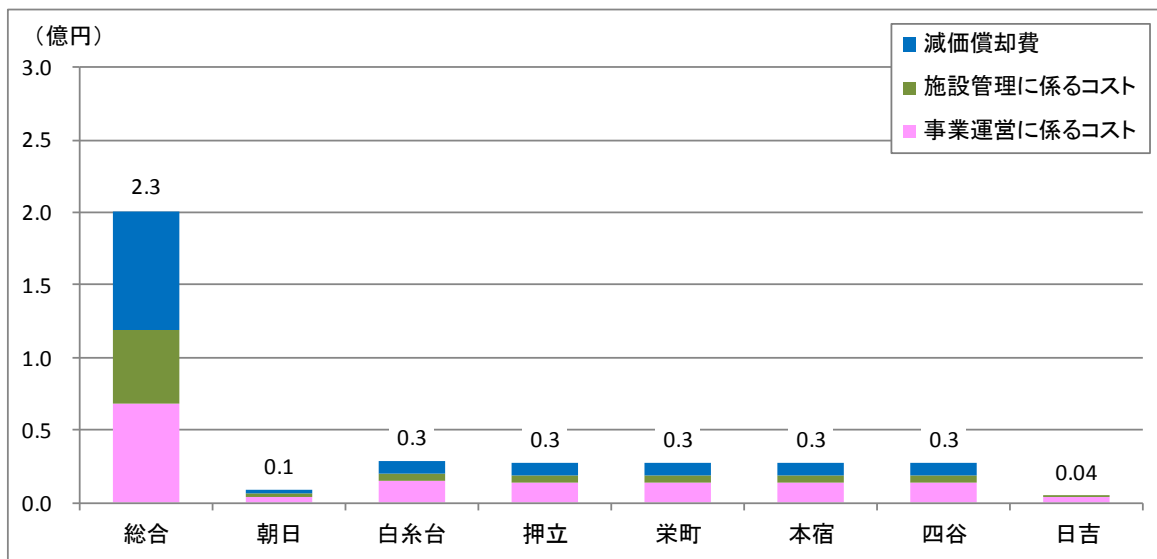
【収支差額】

収益ーコスト	-202,749	-11,952	-28,388	-25,662	-25,760	-25,708	-26,342	-3,958	-350,519
--------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	----------

【トータルコスト：体育館】



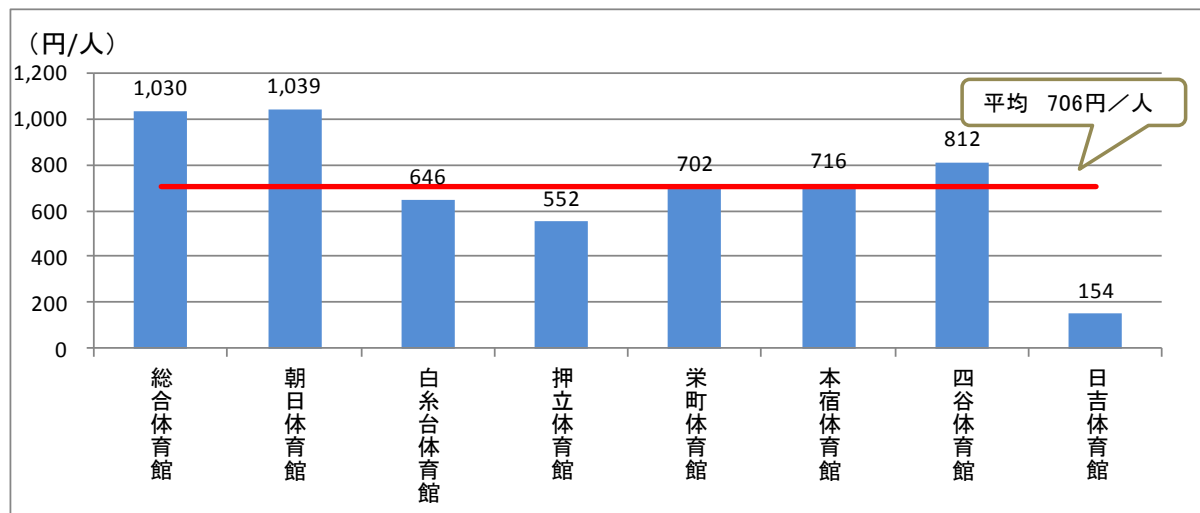
【施設別コスト：体育館】



② 利用当たりコスト

- ・施設別に利用者1人当たりのコストをみると、朝日体育館が最も高く1,039円、日吉体育館が最も低く154円、全施設平均では706円となっています。

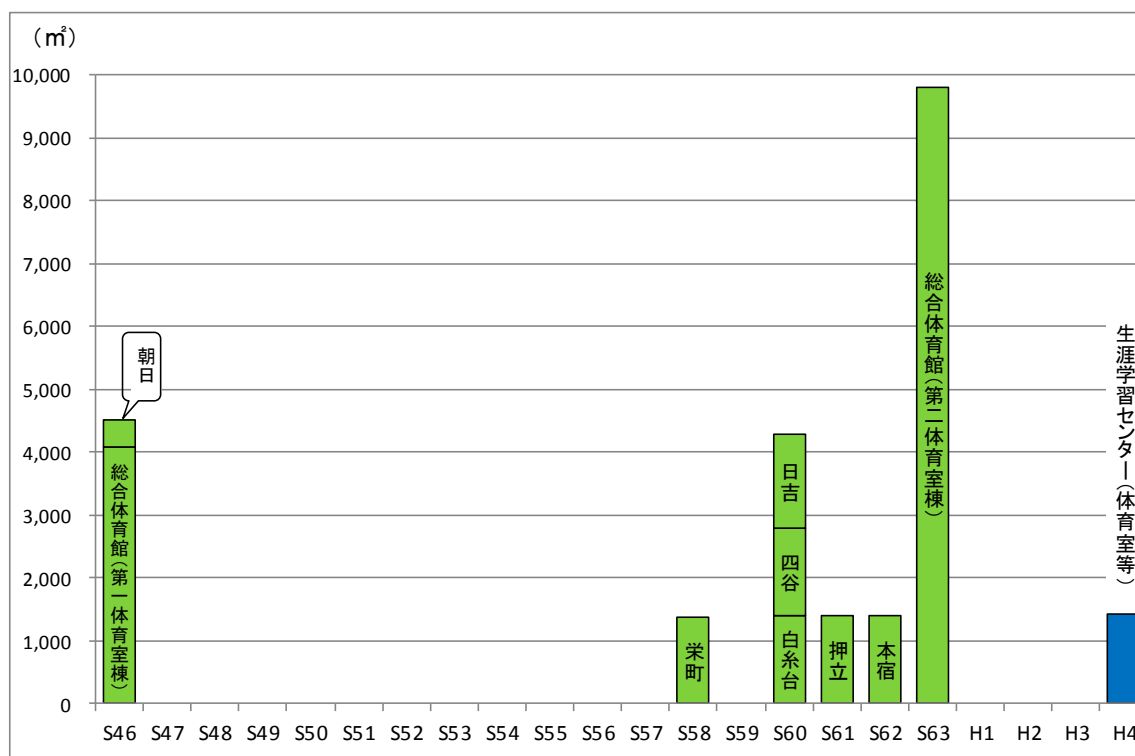
【利用者1人当たりのコスト】



【参考】生涯学習センター体育室

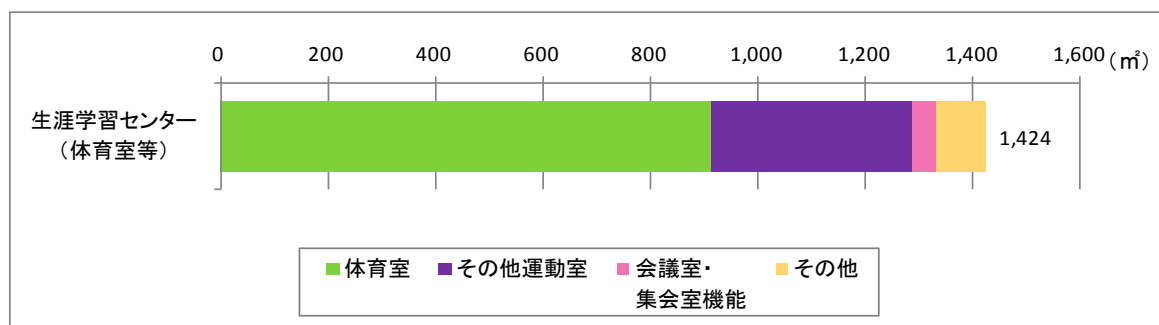
- ・生涯学習センター体育室は、複合施設である生涯学習センターの運営の中で業務を行っています。生涯学習センターは、平成24年度までは市の直営事業でしたが、平成25年度からは指定管理者が運営しています。

【築年度別整備状況】



- ・生涯学習センターの体育機能の延床面積 1,424 m²のうち、体育室が半分以上を占め、そのほかにトレーニング室などがあります。

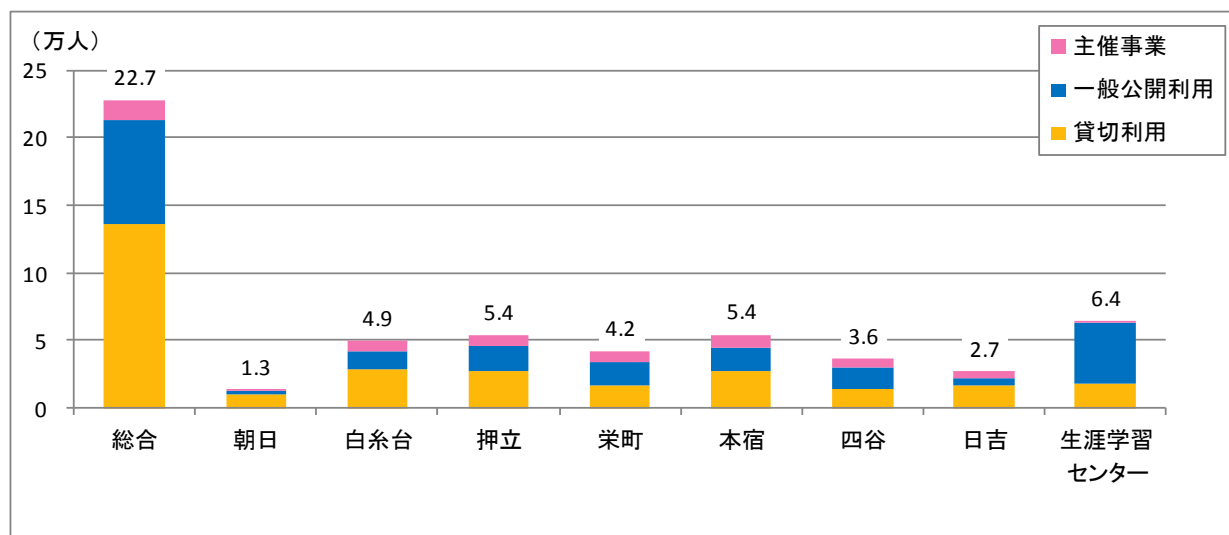
【スペース構成】



- ・生涯学習センターの運営日数は 321 日で、運営時間は 9：00～21：30 です。
- ・他の体育館の利用者数と比較すると、貸切利用は同程度となっていますが、一般公開利用はトレーニング室があるため利用者数が多くなっています。

(人)

平成24年度	総合	朝日	白糸台	押立	栄町	本宿	四谷	日吉	生涯学習センター	合計
貸切利用	136,179	9,677	29,274	27,208	16,728	27,092	14,553	17,143	17,720	295,574
一般公開利用	77,581	2,532	12,089	18,357	16,717	16,987	15,486	4,550	45,498	209,797
主催事業	13,599	659	8,083	8,362	8,522	10,384	6,134	5,130	879	61,752
合計	227,359	12,868	49,446	53,927	41,967	54,463	36,173	26,823	64,097	567,123



4-2 プール

(1) 概要

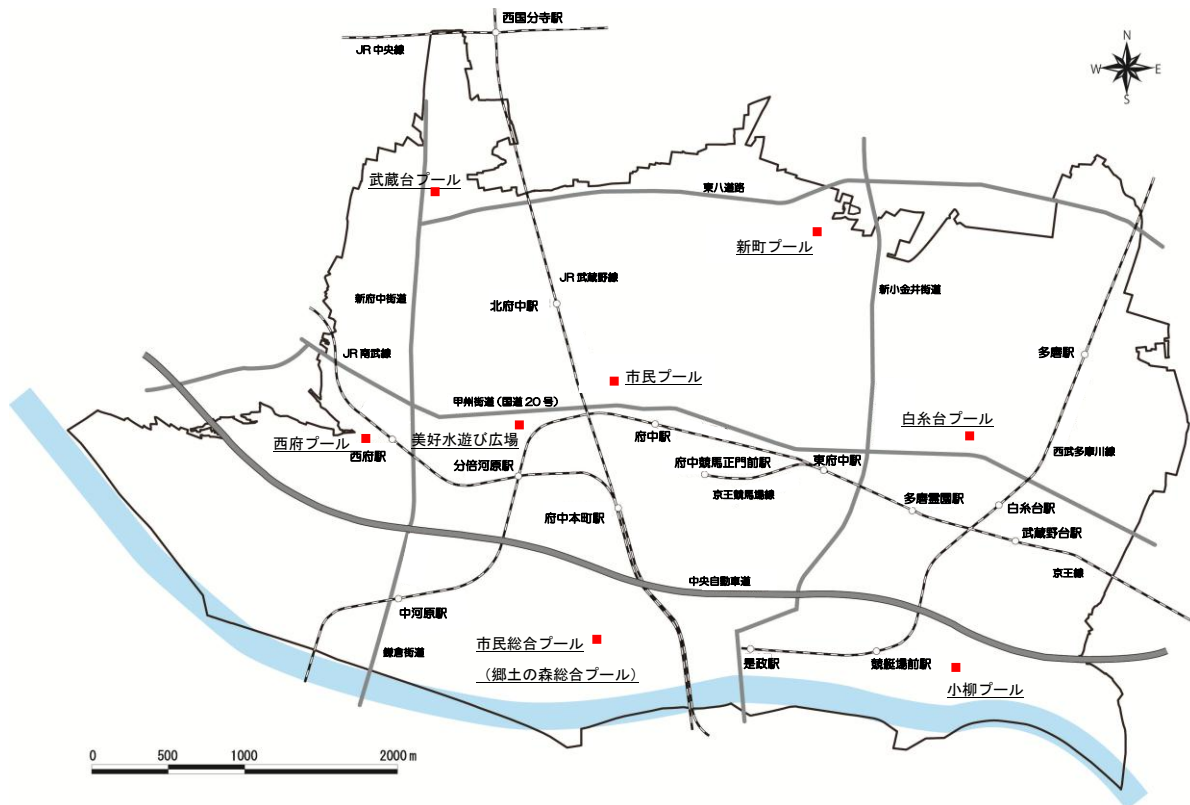
- ・屋外プールは、8施設あります。
- ・市民総合プールには観覧席付公認競泳用プール、流水プール、幼児用プール及びウォータースライダーがあります。市民プールにはナイト設備があり、ナイト実施期間には夜間も使用することができます。美好水遊び広場にはめがね橋やジャンプシャワーといった遊具があり、子どもが水と親しめる施設となっています。その他の地域プールには一般プールと幼児用プールがあります。

	プール
設置目的・根拠法	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るため。 【府中市体育施設条例】
事業内容	・プールの管理運営
所管	文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
使用料	有料

【施設一覧】

		管理棟の 建築年度		管理棟の 建築後 経過年数 (H24年度末)	管理棟の 延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
									土地	建物		
市民総合プール (郷土の森総合プール)		S46	1971	42年	847㎡	RC造	非実施		市	市	直営	観覧席付公認競泳プール (50m×19.1m)、 流水プール、幼児用プール、 ウォータースライダー
地域 プー ル	市民プール	S53	1978	35年	281㎡	RC造	非実施		一部都	市	直営	一般50mプール、ナイト設備
	小柳プール	S51	1976	37年	90㎡	RC造	非実施		市	市	直営	一般25mプール、幼児用プール
	白糸台プール	S59	1984	29年	151㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	一般25mプール、幼児用プール
	西府プール	S59	1984	29年	161㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	一般25mプール、幼児用プール
	武蔵台プール	S59	1984	29年	157㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	一般25mプール、幼児用プール
	新町プール	S60	1985	28年	166㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	一般25mプール、幼児用プール
	美好水遊び広場	H2	1990	23年	133㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	変形幼児用プール

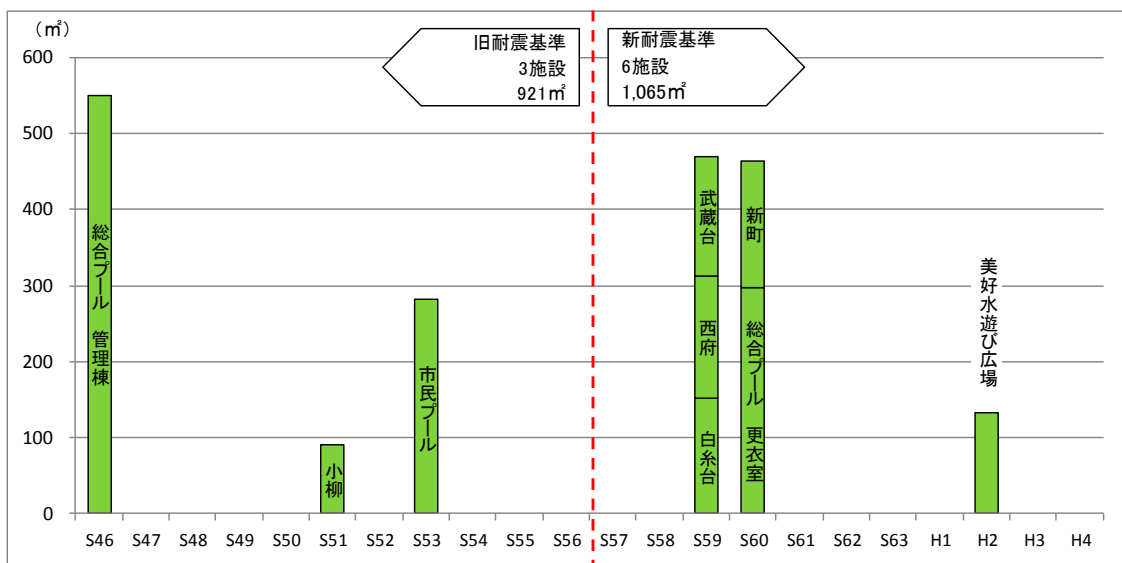
【施設配置図】



(2) 施設状況

- ・市民総合プール（観覧席）・小柳プール・市民プールは昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設で、3 施設で床面積の合計が 921 m²となっています。その他は昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設で、床面積の合計は 1,065 m²（6 施設）、全体の 54%を占めています。なお、市民総合プールについては棟の建築年度の違いで 2 施設として表記しています。
- ・プールの管理棟などの施設規模は、市民総合プールの 847 m²が最大で、市民プールが 281 m²、その他地域プールは 90～166 m²となっています。

【築年度別整備状況】



(3) 運営体制

①運営形態

- ・プールに関する企画や運営などの業務は、委託で行っています。

②運営日数、運営時間

- ・運営日数は、市民総合プールは 41 日、市民プール、地域プール及び美好水遊び広場は 39 日でした。
- ・運営時間について、市民プールにはナイトー設備があり、ナイトー実施期間は 10:00～20:00、期間外は 10:00～17:30 となっています。市民総合プールは 10:00～17:00、その他地域プール及び美好水遊び広場は 10:00～17:30 です。

【運営日数】

	(日)		
	平日	土日・祝日	計
市民総合プール(郷土の森総合プール)	29	12	41
市民プール・地域プール・美好水遊び広場	27	12	39

【運営時間】

市民総合プール(郷土の森総合プール)	10:00～17:00
市民プール	10:00～17:30 (ナイトー実施時は、20時まで)
地域プール・美好水遊び広場	10:00～17:30

③運営人員

- ・施設別の運営人員は、市民総合プールが 44 人(土日・祝日 61 人)、その他市民プール、地域プール、美好水遊び広場は、9～11 人で運営しています。

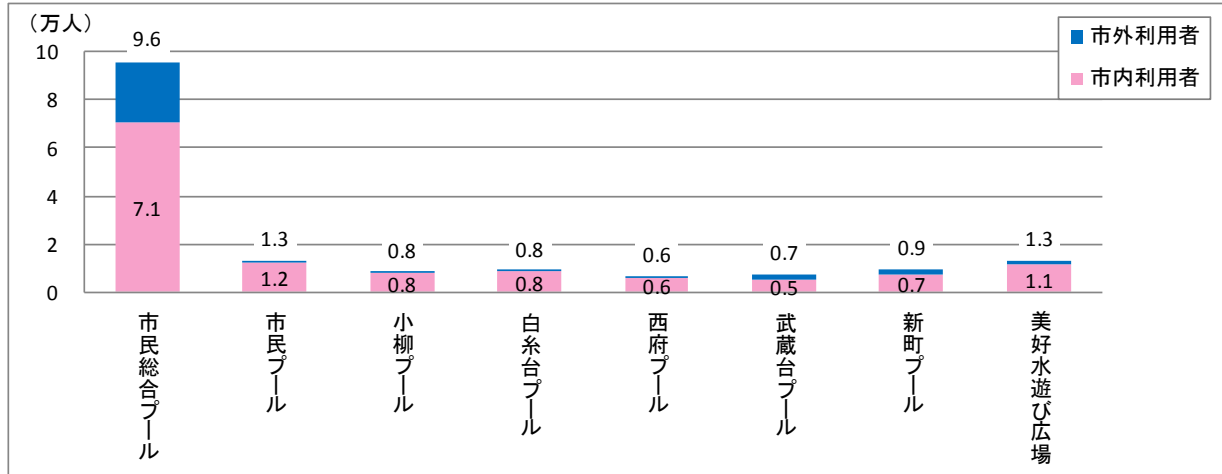
(4) 利用状況

①全施設の利用状況

- ・プール全施設の利用者数は、市内利用者が 12 万 8,967 人(80%)、市外利用者が 3 万 1,249 人(20%)で、合計 16 万 216 人でした。利用者が最も多いのは、市民総合プールの 9 万 5,802 人で、地域プールの利用者は各施設で差がありますが、5,000 人～1 万 2,000 人前後でした。
- ・市外利用者の割合が最も多いのは、武蔵台プールで、市内利用者が 72%(5,051 人)、市外利用者が 28%(1,963 人)です。次いで多いのが市民総合プールで、利用者の 74%(7 万 500 人)が市内利用者、26%(2 万 5,302 人)が市外利用者です。市民プール、小柳プール、白糸台プール及び西府プールは、ほぼ全ての利用が市内利用者によるものです。

【利用者状況】

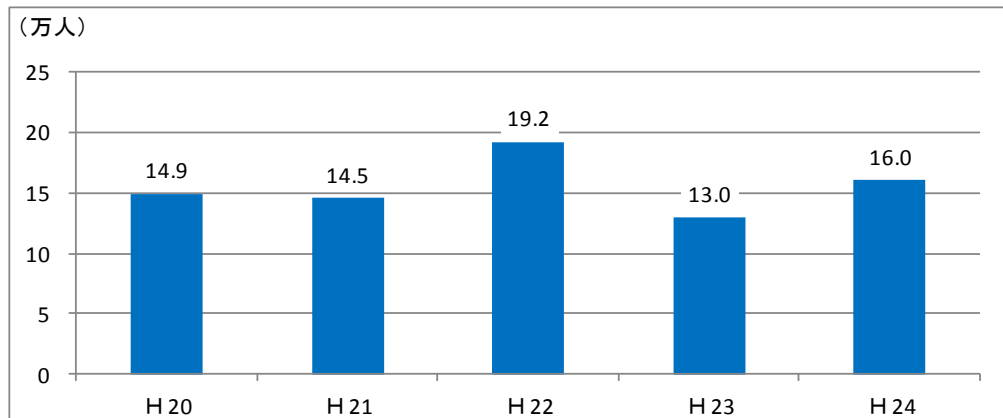
	市民総合 プール	市民プール	小柳プール	白糸台 プール	西府プール	武蔵台 プール	新町プール	美好 水遊び広場	(人) 合計
市内利用者	70,500	12,435	7,697	8,389	6,016	5,051	7,495	11,384	128,967
市外利用者	25,302	453	184	46	217	1,963	1,661	1,423	31,249
合計	95,802	12,888	7,881	8,435	6,233	7,014	9,156	12,807	160,216



②全施設利用状況の推移

・平成 22 年度には前年の 22 万 3,741 人から 4 万 2,277 人増え、26 万 6,018 人でした。平成 23 年度には、大幅に利用者が減少しましたが、平成 24 年度は、利用者が増加しました。

【プール利用者数推移】



(5) コスト状況

①コスト及び収支状況

・全 8 施設の合計コストは、約 1 億 1,629 万円でした。そのうち、施設に係るコストが約 4,193 万円 (36%)、事業運営に係るコストが約 6,205 万円 (53%)、減価償却費相当額が約 1,231 万円 (11%) となっています。

・歳入は、使用料等収入が約 1,945 万円でした。

【施設別コスト一覧表：プール】

【収益の部】

(千円)

	市民総合 プール	市民 プール	小柳 プール	白糸台 プール	西府 プール	武蔵台 プール	新町 プール	美好 水遊び広場	合計
使用料	15,174	1,081	455	480	393	531	584	752	19,452
収益 計	15,174	1,081	455	480	393	531	584	752	19,452

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	0	32	32	32	32	32	32	221	
	施設修繕費	3,363	529	529	529	529	529	529	7,066	
	光熱水費	8,799	6,234	1,927	2,184	1,286	1,469	1,647	2,609	26,153
	建物管理委託費	2,273	1,252	643	1,192	1,202	643	643	643	8,492
	管理に係るコスト 計	14,434	8,046	3,131	3,936	3,049	2,672	2,850	3,812	41,931
事業運営 に係る コスト	人件費	998	983	983	983	983	983	983	983	7,879
	業務運営等委託費	19,845	6,568	4,195	4,216	4,287	4,300	4,216	3,849	51,476
	負担金、 補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	1,274	205	202	203	202	203	203	202	2,695
	運営に係るコスト 計	22,116	7,756	5,380	5,402	5,473	5,486	5,402	5,034	62,050
現金収支を伴うコスト 計		36,550	15,802	8,512	9,338	8,521	8,158	8,252	8,846	103,981

Ⅱ.現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	5,251	1,742	558	936	998	973	1,029	825	12,312
----------	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-------	-----	--------

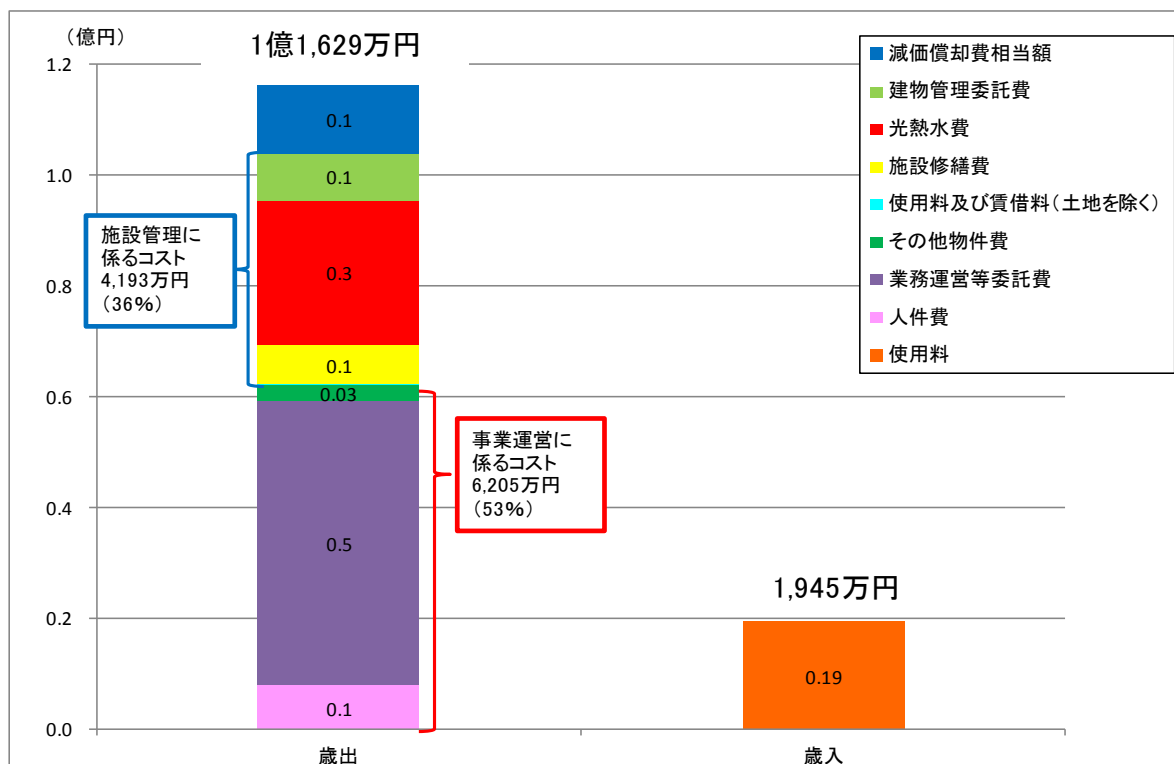
Ⅲ.総括

合計(トータルコスト)	41.801	17.544	9.069	10.274	9.520	9.132	9.282	9.671	116.292
-------------	--------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	---------

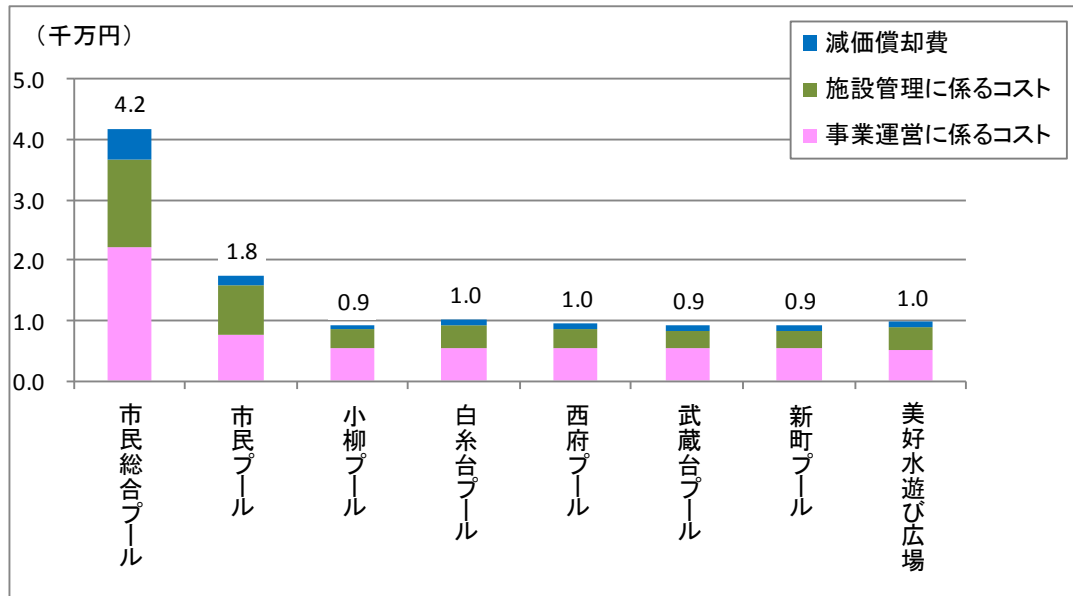
【収支差額】

収益－コスト	-26.627	-16.463	-8.614	-9.794	-9.126	-8.600	-8.697	-8.918	-96.841
--------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

【トータルコスト：プール】



【施設別コスト：プール】

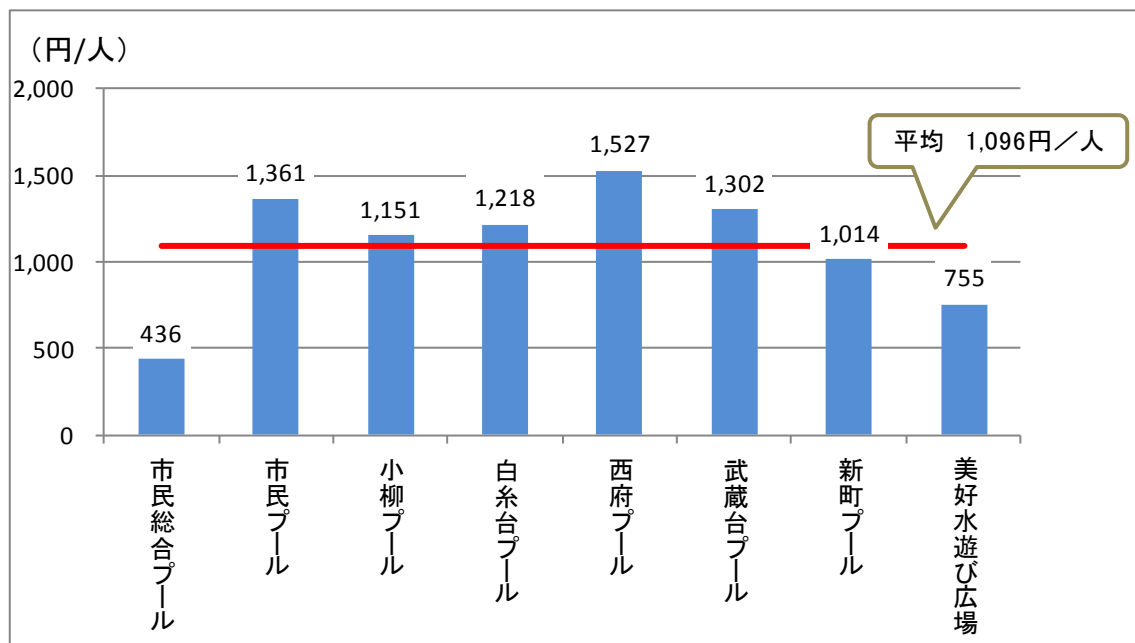


②利用当たりコスト

a) 利用1人当たり総コスト

・施設別に利用1人当たりの総コストをみると、西府プールが最も高く1,527円/人、利用者の多い市民総合プールが最も低く436円/人でした。8施設の平均は1,096円/人となっています。

【利用1人当たりコスト】

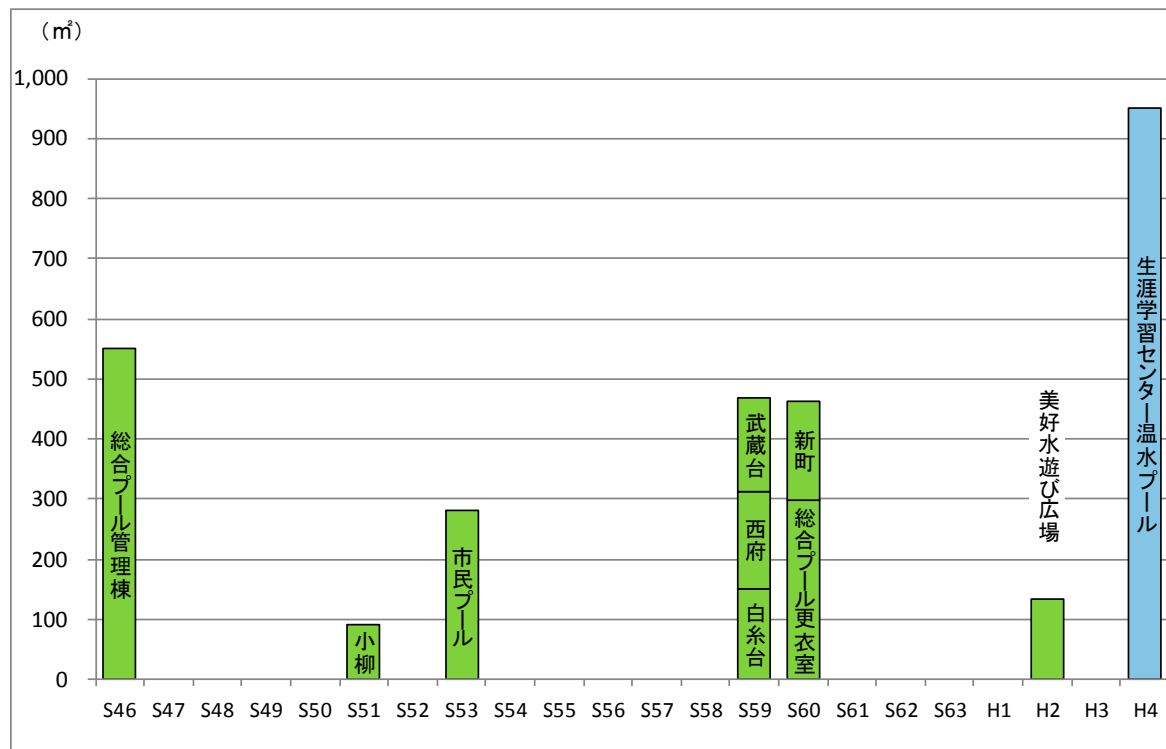


【参考】生涯学習センター温水プール

【生涯学習センター温水プールの概要】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	プール部分の 延床面積 (共用部除く、㎡)	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
生涯学習センター 温水プール	H4	1992	21	952	RC造	不要	不要	市	市	直営	生涯学習センター 内に併設

【築年度別整備状況】



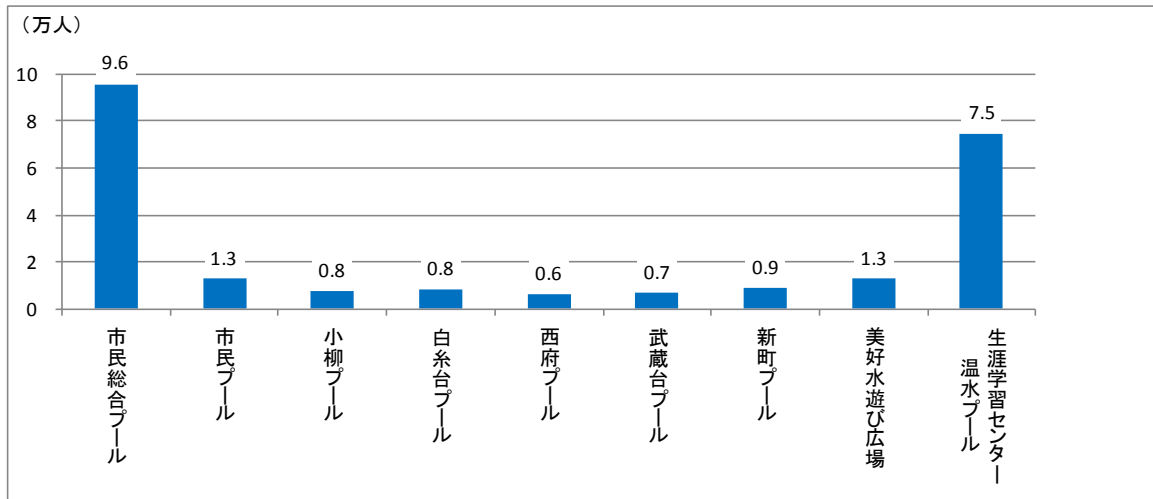
【運営日数】

	(日)		
	平日	土日・祝日	計
市民総合プール(郷土の森総合プール)	29	12	41
市民プール・地域プール・美好水遊び広場	27	12	39
生涯学習センター温水プール	208	111	319

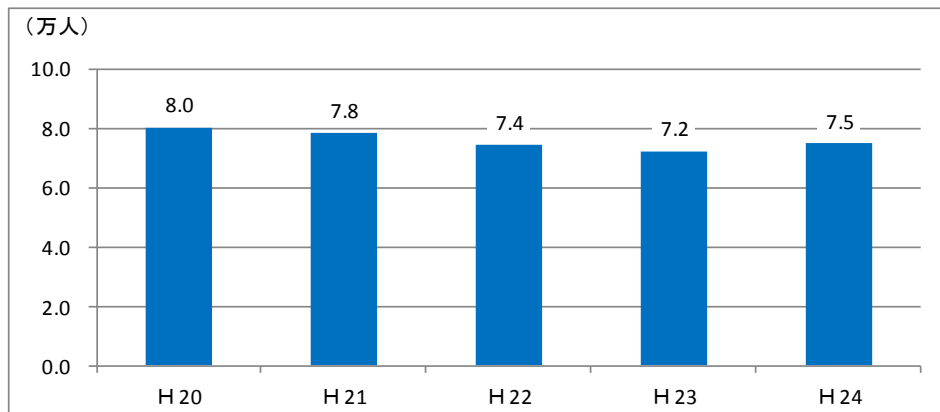
【運営時間】

市民総合プール(郷土の森総合プール)	10:00~17:00
市民プール	10:00~17:30 (ナイター実施時は、20時まで)
地域プール・美好水遊び広場	10:00~17:30
生涯学習センター温水プール	9:00~22:00

【利用者状況】



【生涯学習センター温水プールの利用者数の推移】



4-3 その他のスポーツ施設

(1) 概要

- ・生活の中にスポーツを取り入れ、自発的・継続的に活動を行い、より健康的に暮らすことを目的とした「スポーツの生活化」を推進するため、野球場、陸上競技場、庭球場、サッカー場などのスポーツ施設を設置しています。
- ・野球場は、平成24年度に市民球場の芝生整備などが行われました。
- ・陸上競技場は、日本陸連4種公認全天候型トラック（1周300メートル）と観覧席、夜間照明施設、会議室も備えています。ジョギング及びウォーキングの利用もできます。
- ・朝日サッカー場は、大人用サッカー場2面（少年用は4面）が利用可能な全面芝生張り、簡易スタンド付きのサッカー場です。
- ・郷土の森サッカー場は、芝生張りと人工芝が各1面ずつのサッカー場です。
- ・庭球場は市内15か所、合計36面あります。各施設の構造、面数は次の通りです。

【スポーツ施設一覧】

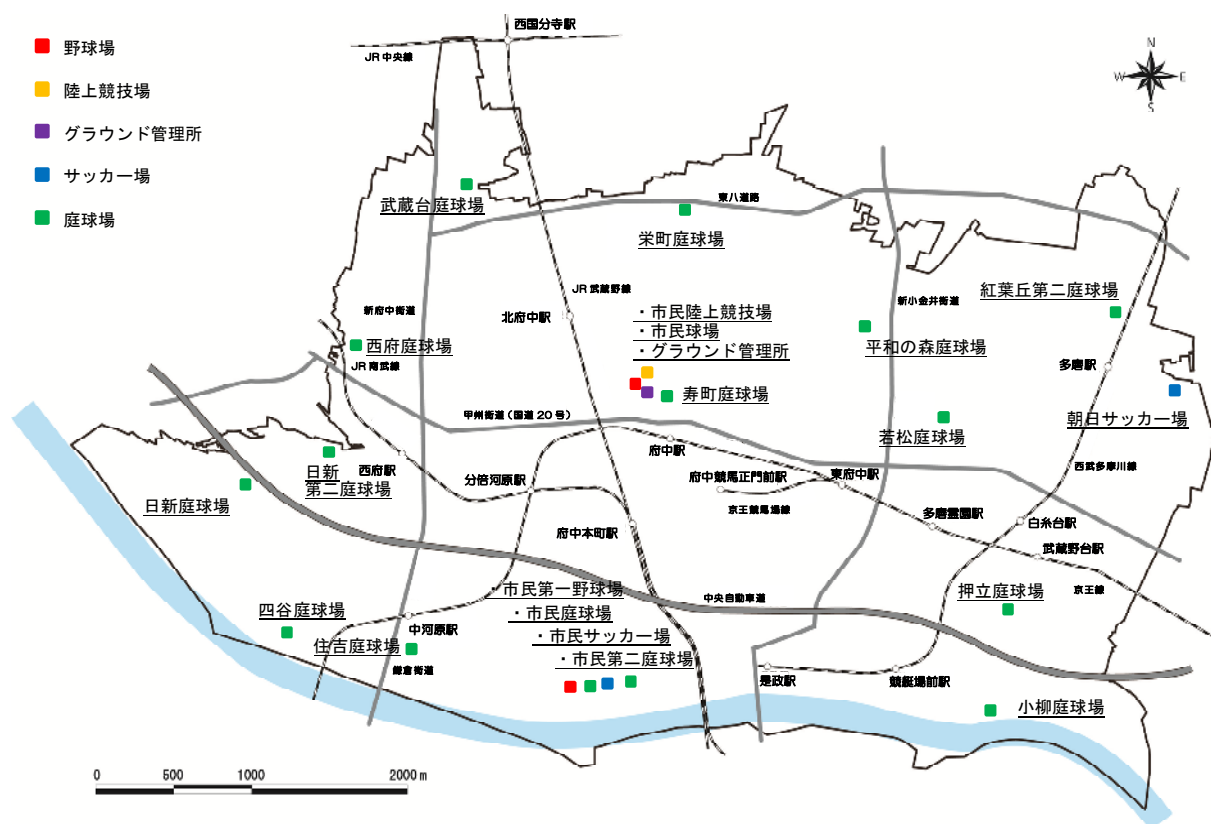
施設名	建築年度		建築(開設)後 経過年数 (H24年度末)	延床 面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	利用可能種目			
								土地	建物		硬式	準硬式	軟式	ソフト
市民球場	S57	1982	31年	7,510㎡	RC造	不要	不要	一部民	市	直営	●	●	●	
市民第一野球場 (郷土の森第一野球場)	S43	1968	45年	-	-	-	-	国	-	直営			●	●
市民第二野球場 (郷土の森第二野球場)	S42	1967	46年	-	-	-	-	国	-	直営			●	●

施設名	建築年度		建築(開設)後 経過年数 (H24年度末)	延床 面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		備考	
								土地	建物	構造	面数
市民サッカー場 (郷土の森サッカー場)	H4	1992	21年	-	-	-	-	国	-	芝生張り 人工芝	各1面
朝日サッカー場 (管理棟)	H24	2012	1年	146㎡	軽量 S造	不要	不要	都	市	芝生張り	2面 (少年用は4)

施設名	建築年度		建築(開設)後 経過年数 (H24年度末)	延床 面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営
								土地	建物	
市民陸上競技場	S46	1971	42年	2,517㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営
グラウンド管理所	S48	1973	40年	465㎡	RC造	未	未	市	市	直営

施設名	開設年度		開設後 経過年数 (H24年度末)	敷地面積	所有 土地	運営	備考				面数
							クレーコート	全天候	砂入り 人工芝	ナイター	
市民庭球場 (郷土の森庭球場)	S43	1968	45年	2,813㎡	国	直営	●			●	4面
寿町庭球場	S30	1955	58年	1,425㎡	市	直営			●		2面
押立庭球場	S54	1979	34年	1,389㎡	市	直営			●		2面
四谷庭球場	S54	1979	34年	1,786㎡	市	直営			●		2面
栄町庭球場	S56	1981	32年	1,081㎡	市	直営			●	●	2面
住吉庭球場	S60	1985	28年	1,482㎡	市	直営			●		2面
若松庭球場	S60	1985	28年	2,625㎡	市	直営			●		2面
日新庭球場	S61	1986	27年	2,088㎡	一部民	直営			●		2面
日新第二庭球場	S62	1987	26年	1,638㎡	市	直営			●		2面
紅葉丘庭球場	S61	1986	27年	2,003㎡	市	直営			●		2面
紅葉丘第二庭球場	S62	1987	26年	1,857㎡	市	直営			●		2面
平和の森庭球場	H1	1989	24年	1,885㎡	市	直営			●	●	2面
小柳庭球場	S51	1976	37年	3,716㎡	市	直営			●	●	5面
西府庭球場	S61	1986	27年	1,999㎡	都	直営		●			2面
武蔵台庭球場	S44	1969	44年	2,046㎡	市	直営	●			●	3面

【施設配置図】



(2) 利用方法・使用料

①野球場

- ・野球場の利用は、団体（チーム）登録を行い、公共施設予約システムより申し込みます。
- ・野球場は、9：00 から終了時間までを2時間ごとの単位で貸し出しています。
- ・使用料は次の表の通りです。

【野球場の施設使用料（1時間あたり）】

施設名	市内		市外	
	施設使用料	夜間照明料	施設使用料	夜間照明料
市民球場	3,200円	4,000円	6,400円	12,000円
市民第一野球場（郷土の森第一野球場）	500円	2,400円	1,000円	7,200円
市民第二野球場（郷土の森第二野球場）	250円	－	500円	－

②陸上競技場

- ・陸上競技場の利用形態には、貸切、団体及び個人があります。
- ・貸切利用の予約は、利用日の3か月前から1か月前までに生涯学習スポーツ課で行います。
- ・20人以上で陸上競技場の開放日を利用する場合は、割引料金で利用できます。受付期間は、利用日の1か月前から1週間前までで、予約の受付は生涯学習スポーツ課で行っています。
- ・1か月前までに貸切予約がなかった日は、個人利用の日となります。個人利用の場合は、当日陸上競技場で使用料を支払うことになるので、予約の必要はありません。

【陸上競技場の使用料】

区分	単位	料金	
		市内	市外
貸切予約	1時間あたり	1,200円	2,400円
団体予約	1時間あたり	500円	1,000円
個人利用	1回	50円	100円

③庭球場

- ・庭球場を利用する際には、事前に登録を行い、個人またはクラブ名義で公共施設予約システムより申し込みます。
- ・庭球場は、9：00 から終了時間までを2時間ごとの単位で貸し出しています。
- ・使用料は各施設共通です。

【庭球場の使用料（1時間あたり）】

市内		市外	
施設使用料	夜間照明料	施設使用料	夜間照明料
400円	650円	800円	1,300円

④サッカー場

- ・サッカー場の利用は、事前に団体登録を行い、公共施設予約システムより申し込みます。
- ・サッカー場は、9：00 から終了時間までを2時間ごとの単位で貸し出しています。

- ・朝日サッカー場の使用料は、市内・市外共通です。
- ・市民サッカー場（郷土の森サッカー場）の使用料は、天然芝、人工芝共通です。

サッカー場の使用料（1 時間当たり）

朝日サッカー場	利用面	一般チーム	少年チーム (小・中学生)
	全面	2,000円	1,000円
	2分の1面	1,000円	500円
	4分の1面	利用不可	250円

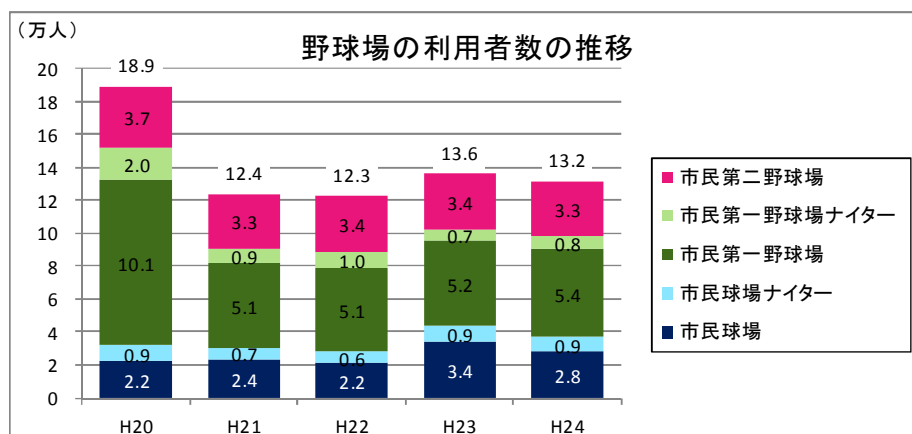
市民サッカー場 (郷土の森サッカー場)	市内	市外
	800円	1,600円

(4) 利用状況

①利用の推移

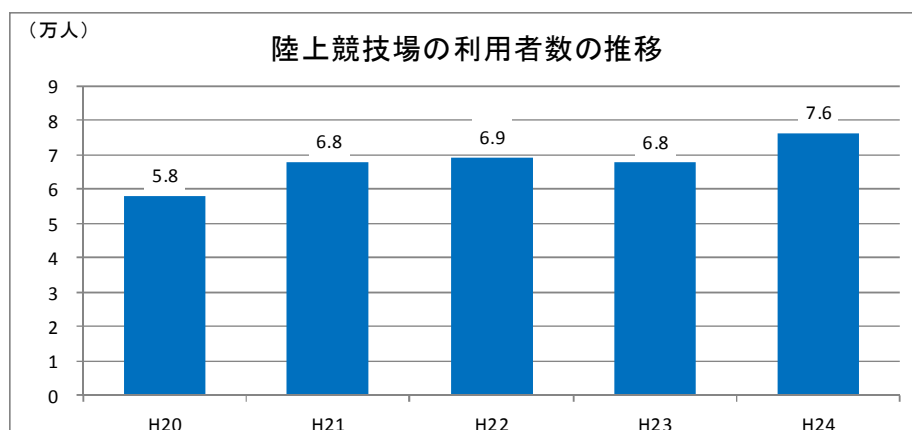
a) 野球場

- ・野球場の利用者数は、全体で 13 万 1,562 人でした。
- ・平成 20 年度に市民第一野球場（郷土の森第一野球場）の利用者数の増加に伴い 18 万 9,306 人まで増えましたが、平成 21 年度に例年並みの利用者数に戻り、その後大きな増減はありません。



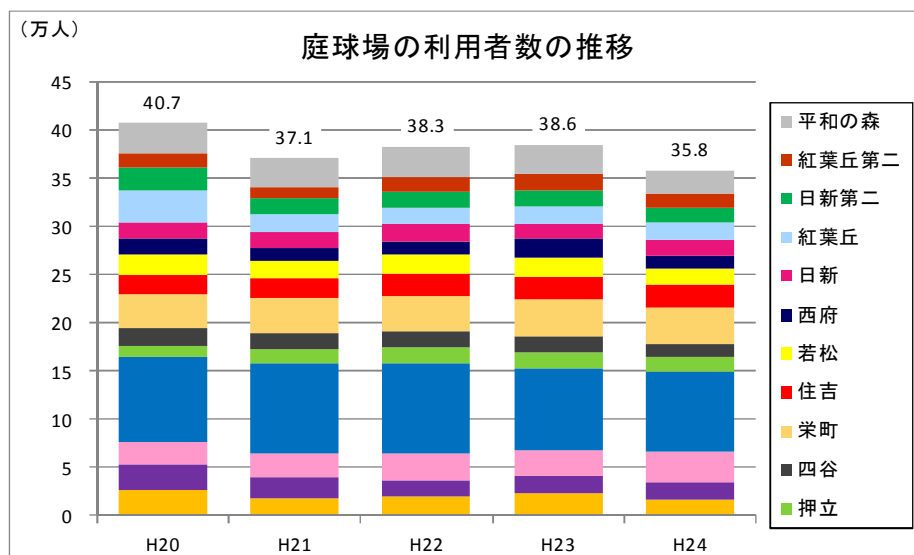
b) 陸上競技場

- ・陸上競技場の利用者数は、7 万 6,322 人でした。
- ・最近 5 年間では、利用者数は増加傾向です。また、平成 20 年度と平成 24 年度を比べると、約 1 万 8,000 人の増加となっています。



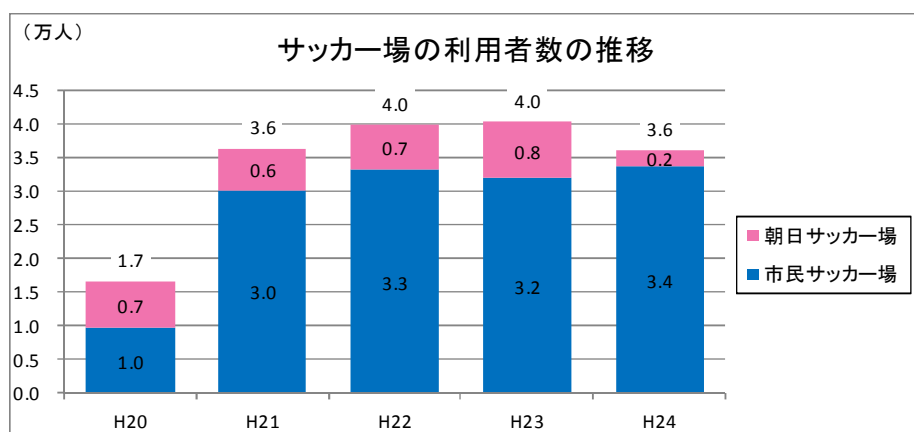
c) 庭球場

- ・庭球場の利用者数は、全体で 35 万 7,786 人でした。
- ・利用者数は減少傾向です。平成 20 年度に 40 万 7,409 人まで増加した後、平成 21 年度に減少に転じました。平成 22 年度、23 年度は若干増加しましたが、平成 24 年度には再び減少しています。



d) サッカー場

- ・サッカー場の利用者数は、全体で 3 万 6,125 人でした。
- ・利用者数は、平成 21 年度以降計算方法が変更されましたが、それ以後は、利用者は増加していました。しかし、平成 24 年度は朝日サッカー場の利用者が減少したため、全体の利用者数も減少しています。



(5) コスト状況

- ・施設群ごとにみると、大きな規模の建物や設備を有する市民球場を含む野球場が、最もコストが高くなっています。
- ・市民球場と陸上競技場以外は、建物を持たない施設のため、日常の維持管理に要する費用はそれほど大きなものではありませんが、定期的な改修は必要になります。

【施設別コスト一覧表：野球場】

【収益の部】

(千円)

	市民球場	市民第一・第二野球場	合計
使用料	8,050	6,086	14,136
収益 計	8,050	6,086	14,136

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	15	0	15
	施設修繕費	2,237	1,556	3,793
	光熱水費	5,443	12,758	18,201
	建物管理委託費	21,502	14,326	35,828
	管理に係るコスト 計	29,196	28,640	57,837
事業運営に係るコスト	人件費	4,063	7,836	11,899
	業務運営等委託費	1	0	1
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	その他物件費	527	1,221	1,749
	運営に係るコスト 計	4,591	9,057	13,649
現金収支を伴うコスト 計		33,788	37,698	71,485

II. 現金収支を伴わないもの

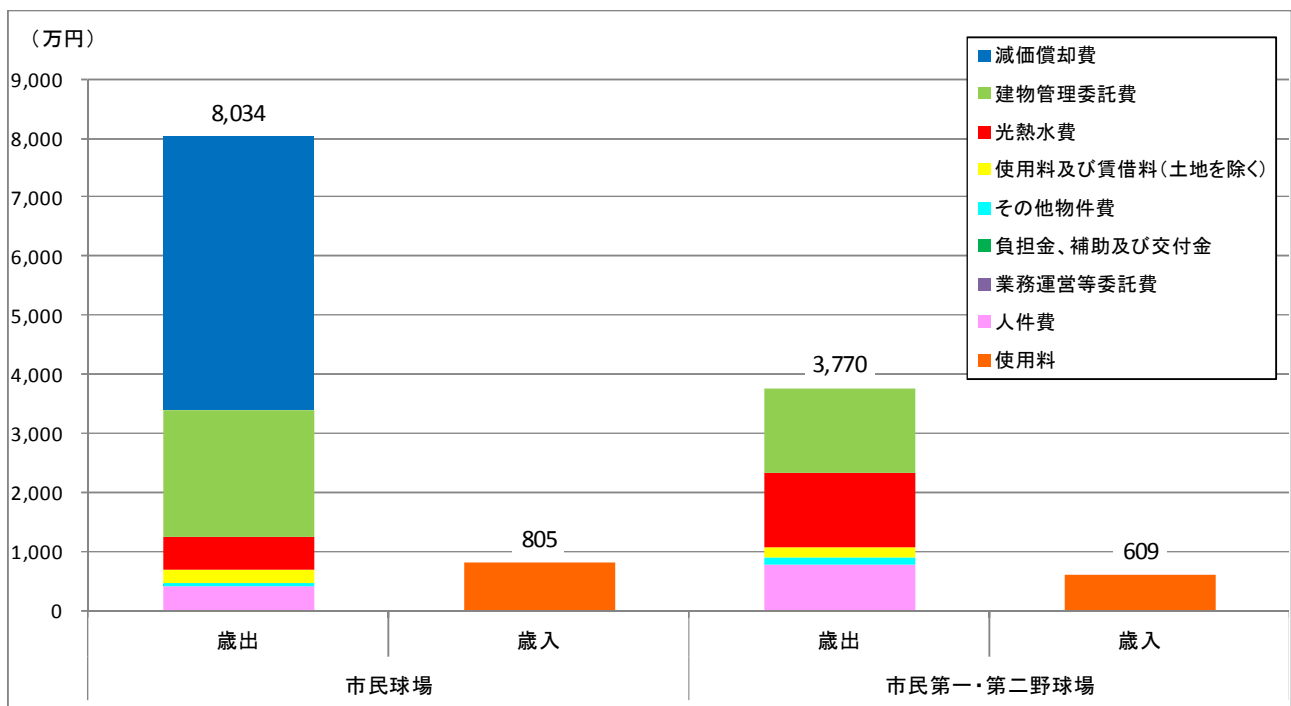
減価償却費相当額	46,557	0	46,557
----------	--------	---	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	80,344	37,698	118,042
-------------	--------	--------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-72,294	-31,612	-103,906
--------	---------	---------	----------



【施設別コスト一覧表：サッカー場】

【収益の部】

(千円)

	市民サッカー場	朝日 サッカー場	合計
使用料	2,123	317	2,440
収益 計	2,123	317	2,440

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係る コスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	0	0	0
	施設修繕費	281	189	470
	光熱水費	0	918	918
	建物管理委託費	11,488	15,652	27,140
	管理に係るコスト 計	11,769	16,759	28,527
事業運営に係る コスト	人件費	4,845	4,845	9,690
	業務運営等委託費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	その他物件費	293	141	434
	運営に係るコスト 計	5,138	4,986	10,124
現金収支を伴うコスト 計		16,907	21,745	38,652

II. 現金収支を伴わないもの

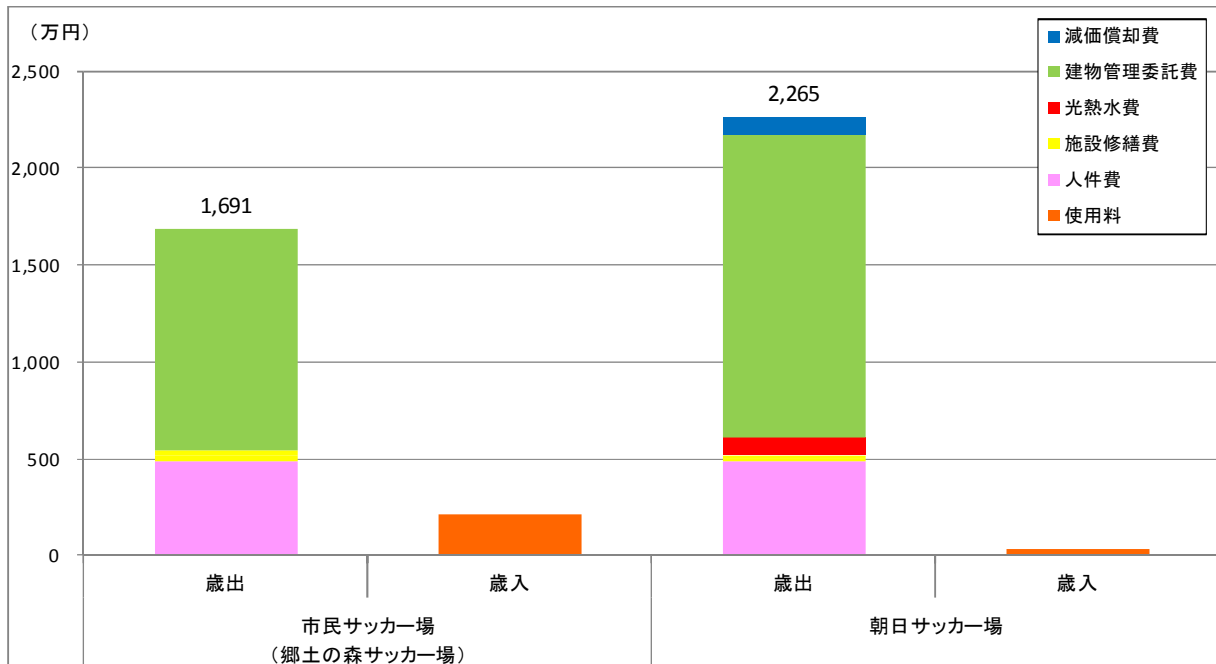
減価償却費相当額	0	905	905
----------	---	-----	-----

III. 総括

合計(トータルコスト)	16,907	22,650	39,557
-------------	--------	--------	--------

【収支差額】

収益－コスト	-14,783	-22,333	-37,116
--------	---------	---------	---------



【施設別コスト一覧表：庭球場】

【収益の部】

(千円)

	市民庭球場 (郷土の森庭球場)	寿町 庭球場	押立 庭球場	四谷 庭球場	栄町 庭球場	住吉 庭球場	若松 庭球場	日新 庭球場
使用料	4,165	1,839	1,813	1,706	3,978	1,715	1,747	1,763
収益 計	4,165	1,839	1,813	1,706	3,978	1,715	1,747	1,763

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	0	0	0	0	0	0	0
	施設修繕費	373	135	135	135	135	135	135
	光熱水費	1,244	15	0	128	532	0	21
	建物管理委託費	4,472	194	499	616	1,869	492	713
	管理に係るコスト 計	6,089	343	634	878	2,537	627	868
事業運営 に係る コスト	人件費	728	666	666	666	668	666	666
	業務運営等委託費	0	0	0	0	0	0	0
	負担金、 補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	531	50	50	50	50	50	50
	運営に係るコスト 計	1,258	716	716	716	718	716	716
現金収支を伴うコスト 計		7,348	1,059	1,350	1,594	3,254	1,343	1,584

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	0	0	0	0	0	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---

III. 総括

合計(トータルコスト)	7,348	1,059	1,350	1,594	3,254	1,343	1,778	1,584
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

【収支差額】

収益ーコスト	-3,183	780	463	112	724	373	-32	179
--------	--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

【収益の部】

(千円)

	日新第二 庭球場	紅葉丘 庭球場	紅葉丘第二 庭球場	平和の森 庭球場	小柳 庭球場	西府 庭球場	武蔵台 庭球場	合計
使用料	1,799	1,876	1,892	2,927	8,195	1,548	2,713	39,674
収益 計	1,799	1,876	1,892	2,927	8,195	1,548	2,713	39,674

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	0	0	0	0	0	0	0
	施設修繕費	135	135	135	135	135	135	2,258
	光熱水費	18	14	18	452	1,146	18	4,116
	建物管理委託費	677	746	733	1,504	2,509	751	20,888
	管理に係るコスト 計	830	895	886	2,090	3,790	903	27,262
事業運営 に係る コスト	人件費	887	666	666	666	666	666	10,274
	業務運営等委託費	0	0	0	0	0	0	0
	負担金、 補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	50	50	50	50	50	50	1,232
	運営に係るコスト 計	937	716	716	716	716	716	11,506
現金収支を伴うコスト 計		1,767	1,611	1,602	2,806	4,506	1,620	38,767

II. 現金収支を伴わないもの

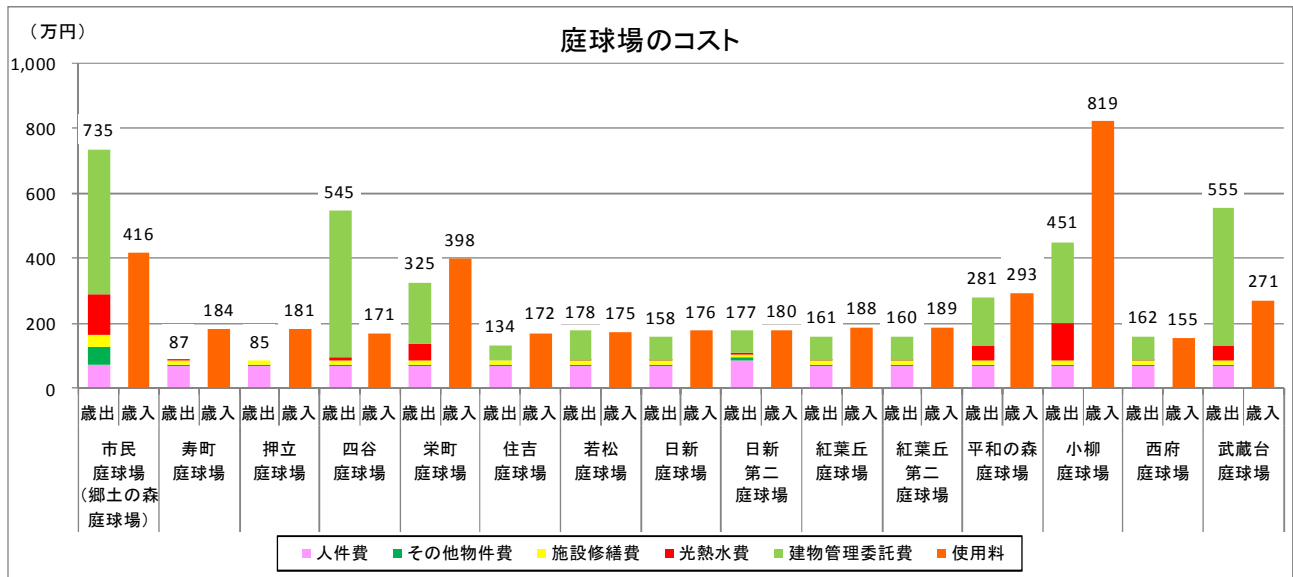
減価償却費相当額	0	0	0	0	0	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---

III. 総括

合計(トータルコスト)	1,767	1,611	1,602	2,806	4,506	1,620	5,547	38,767
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

【収支差額】

収益ーコスト	32	265	290	121	3,689	-71	-2,834	907
--------	----	-----	-----	-----	-------	-----	--------	-----



【施設別コスト一覧表：市民陸上競技場、グラウンド管理所】

【収益の部】

(千円)

	市民陸上競技場
使用料	5,514
収益 計	5,514

【収益の部】

(千円)

	グラウンド管理所
使用料	80
収益 計	80

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	40
	施設修繕費	982
	光熱水費	3,235
	建物管理委託費	7,792
	管理に係るコスト 計	12,049
事業運営に係るコスト	人件費	10,070
	業務運営等委託費	0
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	386
	運営に係るコスト 計	10,457
現金収支を伴うコスト 計		22,506

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	15,603
----------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	38,109
-------------	--------

【収支差額】

収益－コスト	-32,595
--------	---------

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	15
	施設修繕費	99
	光熱水費	739
	建物管理委託費	4,434
	管理に係るコスト 計	5,287
事業運営に係るコスト	人件費	4,989
	業務運営等委託費	
	負担金、補助及び交付金	214
	その他物件費	73
	運営に係るコスト 計	5,276
現金収支を伴うコスト 計		10,563

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	2,882
----------	-------

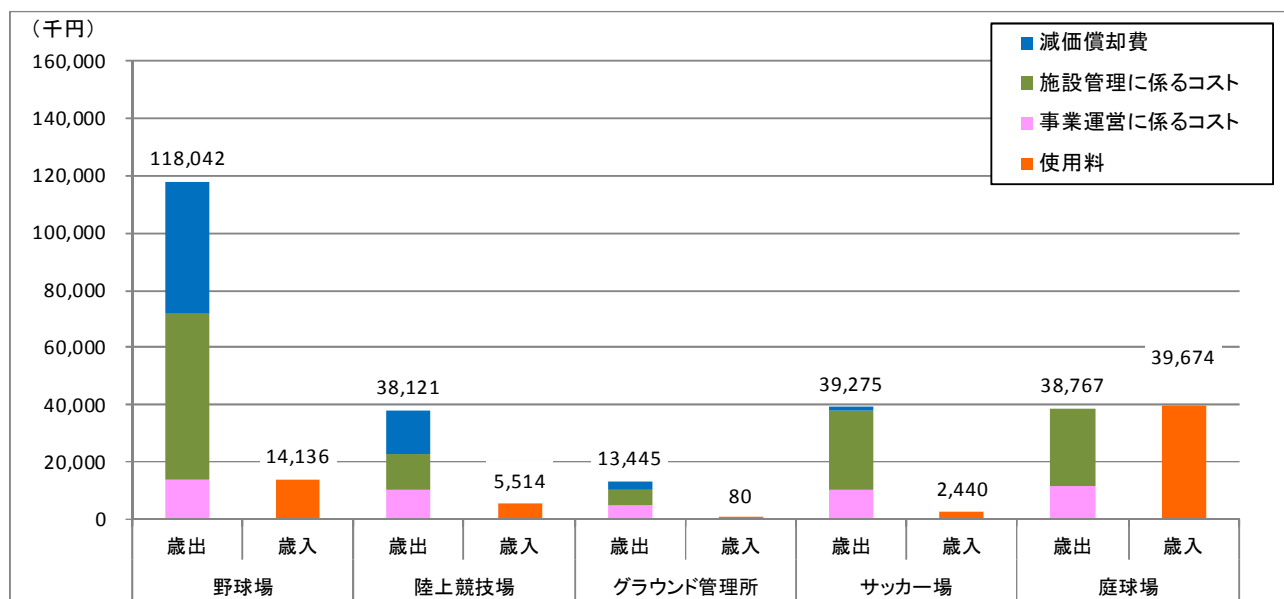
III. 総括

合計(トータルコスト)	13,446
-------------	--------

【収支差額】

収益－コスト	-13,365
--------	---------

【施設群ごとのコスト状況】



5-1 小学校、中学校

(1) 概要

- ・学校施設として、小学校 22 校、中学校 11 校の合計 33 校、延床面積 26 万 7957 m²を保有しています。
- ・施設規模は、小学校では 5,119 m²（矢崎小）～9,217 m²（第一小）、中学校では 8,757 m²（第十中）～1 万 3,344 m²（第三中）と幅があります。
- ・小学校全体では、児童数 1 万 3,113 人、学級数 439 となっています。また、中学校全体では、生徒数 5,685 人、学級数 176 となっています。
- ・小学校の校庭や体育館は、休日や夜間に一般開放されているほか、放課後子ども教室としても学校施設が活用されています。また、中学校でも体育館や武道館が夜間に一般開放されており、一部の学校では校庭の夜間開放も行っています。
- ・学校施設（体育館）は、災害時の一次避難場所として指定されています。

【小学校施設一覧】

	建築年度 ※1		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床 面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		児童数 (人) ※2	学級数 (学級) ※3	学校開放状況※4	
								土地	建物			校庭	体育館
第一小	S52	1977	36年	9,217m ²	RC造	実施	実施	市	市	735	24	○	◎
第二小	H1	1989	24年	8,182m ²	RC造	不要	不要	市	市	927	29	○	◎
第三小	S39	1964	49年	8,059m ²	RC造	実施	実施	市	市	809	26	○	◎
第四小	S38	1963	50年	5,486m ²	RC造	実施	実施	一部民	市	472	18	○	◎
第五小	S38	1963	50年	6,443m ²	RC造	実施	実施	市	市	530	21	○	◎
第六小	S38	1963	50年	6,469m ²	RC造	実施	実施	市	市	894	27	○	◎
第七小	S37	1962	51年	5,826m ²	RC造	実施	実施	市	市	415	12	○	◎
第八小	S38	1963	50年	8,508m ²	RC造	実施	実施	市	市	890	30	○	◎
第九小	S40	1965	48年	7,649m ²	RC造	実施	実施	市	市	400	19	○	◎
第十小	H24	2012	1年	8,833m ²	RC造	不要	不要	市	市	757	23	○	◎
武蔵台小	S41	1966	47年	6,119m ²	RC造	実施	実施	市	市	309	11	○	◎
住吉小	S42	1967	46年	7,532m ²	RC造	実施	実施	市	市	549	22	○	◎
新町小	S43	1968	45年	5,223m ²	RC造	実施	実施	市	市	313	12	○	◎
本宿小	S44	1969	44年	6,558m ²	RC造	実施	実施	市	市	782	23	○	◎
白糸台小	S44	1969	44年	5,319m ²	RC造	実施	実施	市	市	572	18	○	◎
矢崎小	S45	1970	43年	5,119m ²	RC造	実施	実施	一部民	市	338	12	○	◎
若松小	S47	1972	41年	5,778m ²	RC造	実施	実施	一部民	市	645	20	○	◎
小柳小	S47	1972	41年	6,387m ²	RC造	実施	実施	市	市	638	22	○	◎
南白糸台小	S48	1973	40年	6,074m ²	RC造	実施	実施	市	市	570	19	○	◎
四谷小	S48	1973	40年	6,602m ²	RC造	実施	実施	市	市	639	20	○	◎
南町小	S49	1974	39年	6,548m ²	RC造	実施	実施	市	市	479	16	○	◎
日新小	S52	1977	36年	5,893m ²	RC造	実施	実施	市	市	450	15	○	◎

※1 建築年度：児童・生徒の利用のある一番古い校舎の年度を記載

※2 児童数：平成 24 年 5 月 1 日時点

※3 学級数：平成 24 年 5 月 1 日時点

※4 ◎…平日・休日の開放、○…休日のみ開放

【中学校施設一覧】

	建築年度 ※1		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床 面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		生徒数 (人) ※2	学級数 (学級) ※3	学校開放状況※4		
								土地	建物			校庭	体育館	武道館
第一中	S38	1963	50年	10,348㎡	RC造	実施	実施	市	市	530	18	○	◎	◎
第二中	S41	1966	47年	12,107㎡	RC造	実施	実施	市	市	634	21	○	◎	◎
第三中	H19	2007	6年	13,344㎡	RC造	不要	不要	一部民	市	599	20		◎	◎
第四中	S44	1969	44年	12,483㎡	RC造	実施	実施	市	市	652	23		◎	◎
第五中	S51	1976	37年	13,339㎡	RC造	実施	実施	市	市	532	15		◎	◎
第六中	S40	1965	48年	11,612㎡	RC造	実施	実施	市	市	635	18		◎	◎
第七中	S42	1967	46年	9,974㎡	RC造	実施	実施	市	市	296	9	○	◎	◎
第八中	S48	1973	40年	9,621㎡	RC造	実施	実施	市	市	556	15		◎	◎
第九中	S51	1976	37年	9,384㎡	RC造	実施	不要	市	市	387	12		◎	◎
第十中	S54	1979	34年	8,757㎡	RC造	実施	実施	市	市	282	9		◎	◎
浅間中	S56	1981	32年	9,162㎡	RC造	実施	不要	市	市	582	16		◎	◎

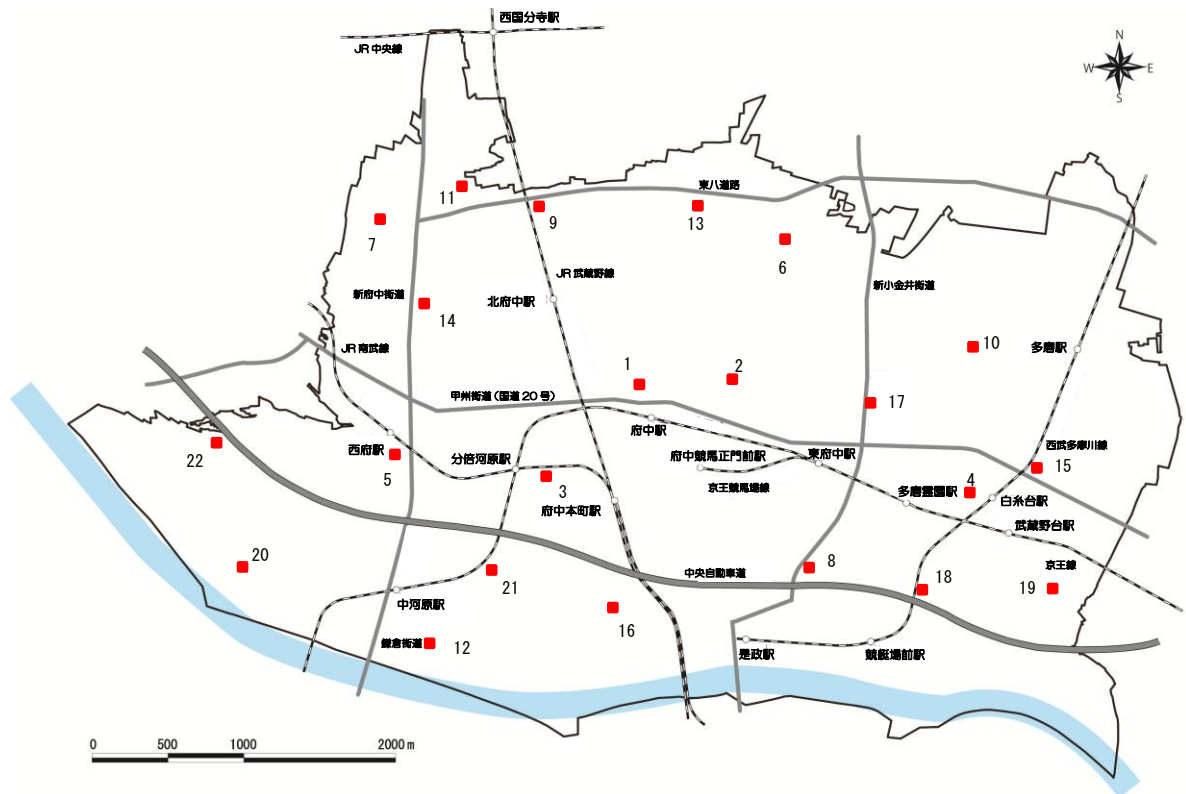
※1 建築年度：一番古い主たる校舎の年度を記載

※2 生徒数：平成24年5月1日時点

※3 学級数：平成24年5月1日時点

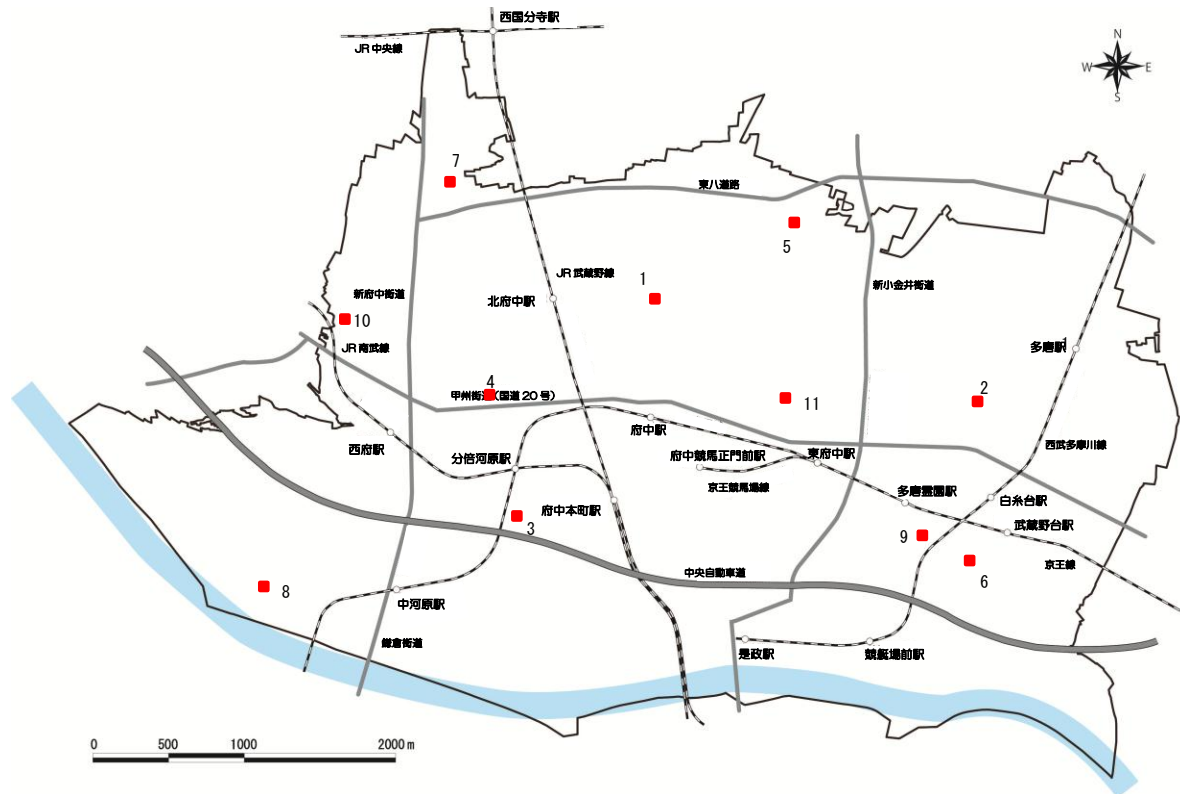
※4 ◎…平日・休日の開放、○…休日のみ開放、平日・休日とも開放時間は夜間のみ

【施設配置図（小学校）】



1 第一小	5 第五小	9 第九小	13 新町小	17 若松小	21 南町小
2 第二小	6 第六小	10 第十小	14 本宿小	18 小柳小	22 日新小
3 第三小	7 第七小	11 武蔵台小	15 白糸台小	19 南白糸台小	
4 第四小	8 第八小	12 住吉小	16 矢崎小	20 四谷小	

【施設配置図（中学校）】



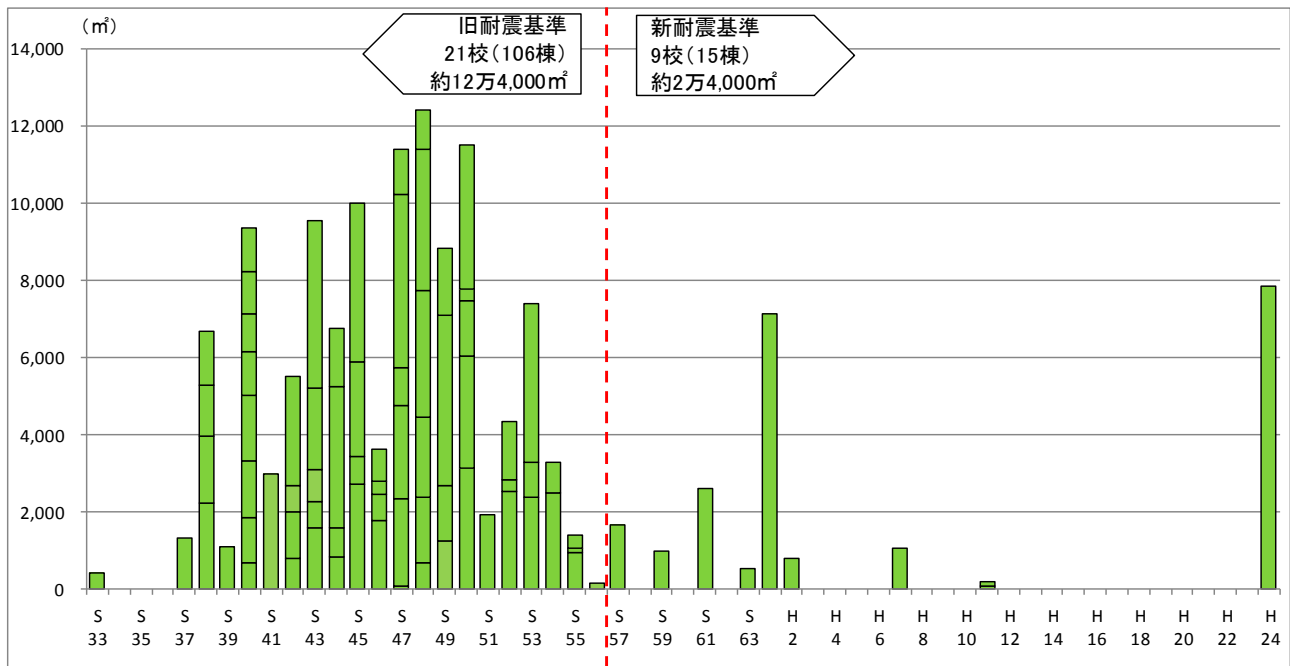
1 第一中	4 第四中	7 第七中	10 第十中
2 第二中	5 第五中	8 第八中	11 浅間中
3 第三中	6 第六中	9 第九中	

（２） 施設状況

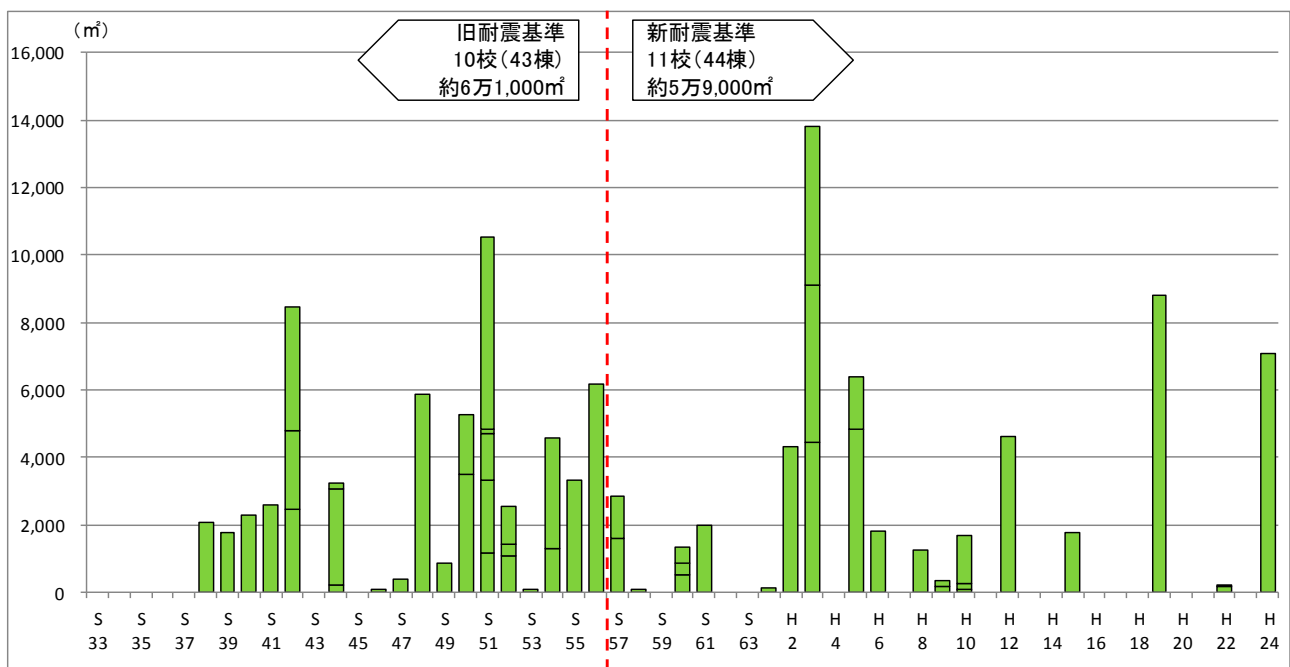
①建築年度（築年度別整備状況）

- ・ほとんどの建物が築 30 年以上を経過し、老朽化の対応が必要となってきました。
- ・小学校 22 校、延床面積 14 万 7,825 ㎡のうち、棟ごとでみると、旧耐震基準の棟は 21 校に約 12 万 4,000 ㎡（84%）あります。一方、新耐震基準の棟は 9 校に約 2 万 4,000 ㎡（16%）あります。
- ・中学校 11 校、延床面積 12 万 132 ㎡のうち、棟ごとにみると、旧耐震基準の棟は 10 校に約 6 万 1,000 ㎡（51%）あります。一方、新耐震基準の棟は 11 校に約 5 万 9,000 ㎡（49%）あります。
- ・小中学校の耐震化は、平成 25 年度に全て完了しています。

【小学校 築年度別整備状況】



【中学校 築年度別整備状況】



②スペース構成

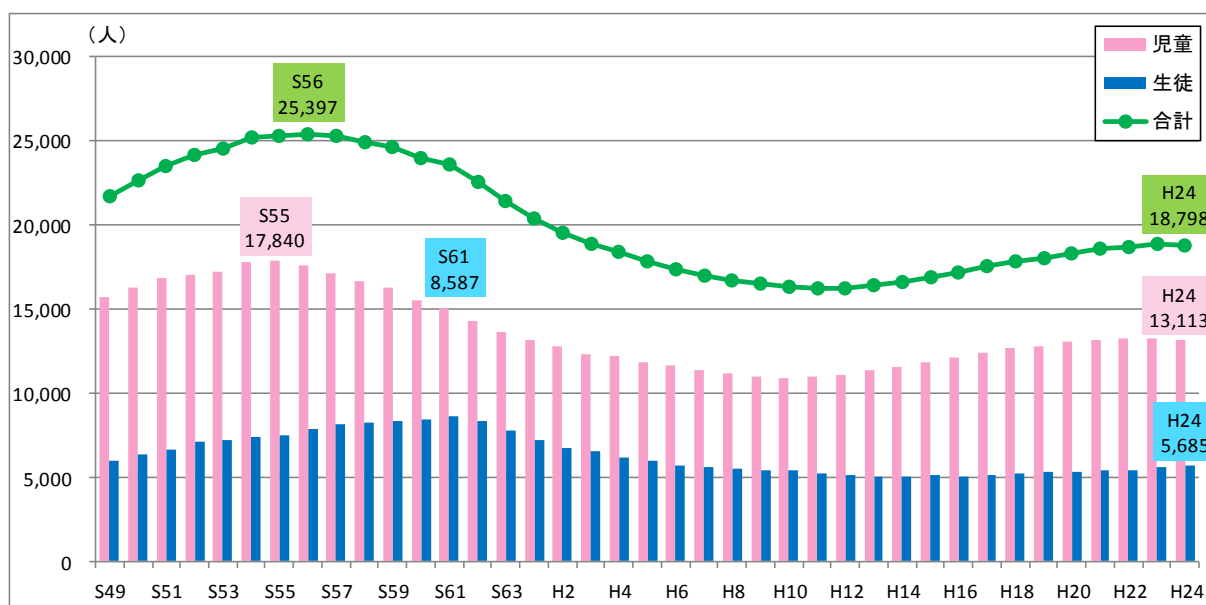
- ・学校施設のスペースは、主に児童・生徒の学習活動・生活の中心である普通教室と特別教室、その他共用部、教職員のための管理諸室、体育館、プールなどで構成されています。
- ・近年の総合的な学習の時間など様々な学習形態に対応するために、教室の多目的化など教育環境の向上が必要となっています。

(3) 利用状況

①児童生徒数の状況

- ・児童・生徒数の合計は、昭和 56 年度が最も多く（25 万 397 人）、以降は減少して平成 11 年度（1 万 6,185 人）に底を打った後は微増に転じ、平成 24 年度には 1 万 8,798 人とピーク時の 74% の規模となっています。
- ・児童数が最も多かったのは昭和 55 年度（1 万 7,840 人）で、その後は全体の傾向と同様に減少となりました。平成 10 年度（1 万 911 人）に底を打った後は微増に転じ、平成 24 年度は 1 万 3,113 人とピーク時の 74% の規模となっています。
- ・生徒数が最も多かったのは、児童数のピークから 6 年後の昭和 61 年度（8,587 人）です。一方、底は平成 14 年度（5,038 人）を中心とした 3、4 年で、その後微増傾向となっています。平成 24 年度は、5,685 人とピーク時の 66% の規模であり、児童数と比較すると回復傾向が緩やかです。

【児童数・生徒数の推移】

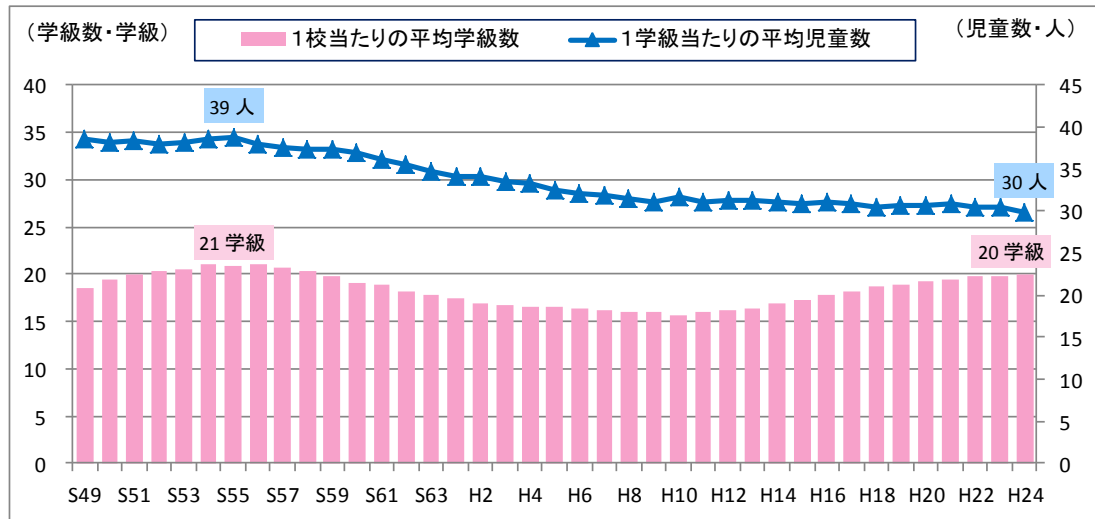


②学級数及び 1 学級当たりの児童・生徒数の状況

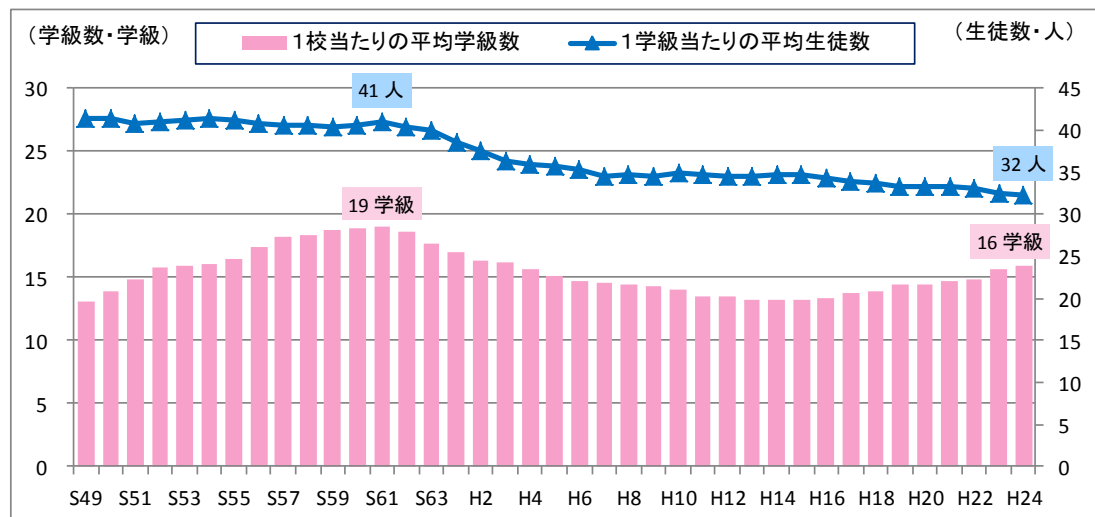
- ・1 校当たりの学級数は、小学校は平均 20.0 学級、1 学年当たり平均 3.3 学級です。中学校は平均 16.0 学級、1 学年当たり平均 5.3 学級です。ただし、学級数は小学校では最小 11 学級から最大 30 学級、中学校では最小 9 学級から最大 23 学級と、学校により差があります。
- ・1 学級当たりの児童数の平均は 29.9 人、生徒数の平均は 32.3 人です。ただし、学校によっては 20 人近い学級や 40 人近い学級もあります。
- ・小学校 1 校当たりの平均学級数及び 1 学級当たりの児童数の推移をみると、最も児童数が多かった昭和 55 年は、学級数は 21 学級、1 学級当たりの児童数は 39 人でした。一方、平成 24 年度では、学級数は 20 学級、1 学級当たりの児童数は 30 人です。学級数に大きな変化はありませんが、1 学級当たりの児童数は減少しており、少人数化が進んでいます。
- ・中学校 1 校当たりの平均学級数及び 1 学級当たりの生徒数の推移をみると、生徒数が最も多かった昭和 61 年は、学級数は 19 学級、1 学級当たりの生徒数は 41 人でした。一方、平成 24 年度では、学級数は 16 学級、1 学級当たり 32 人となっています。

【1校当たりの平均学級数及び1学級当たりの平均児童数】

＜小学校＞



＜中学校＞

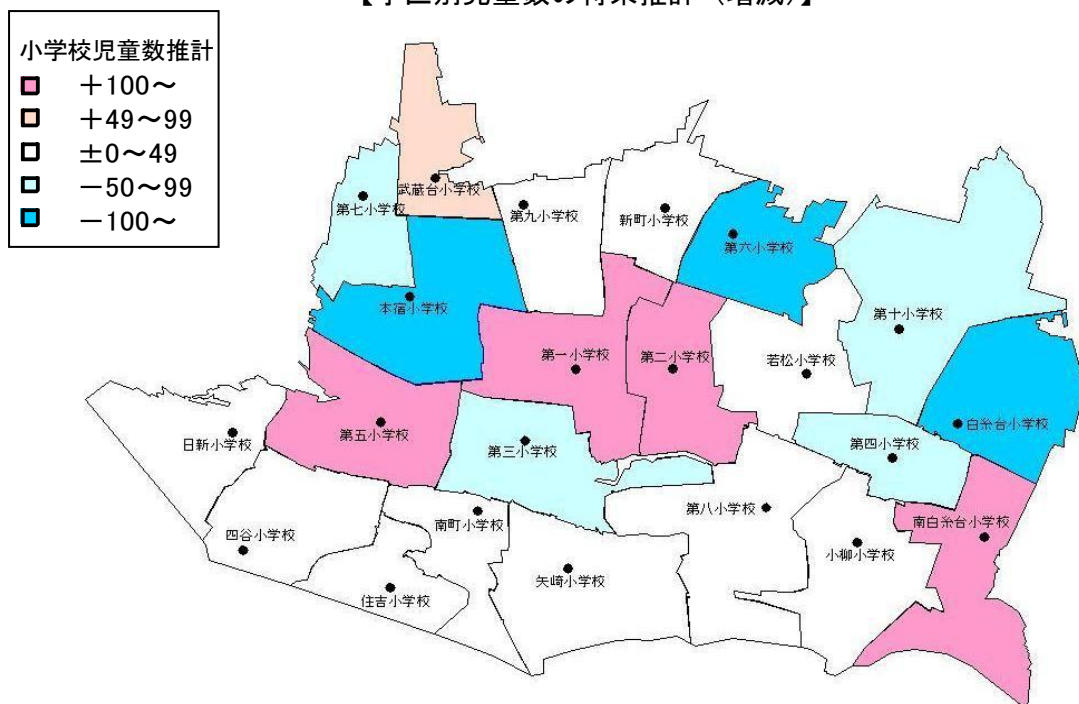


（４） 今後の地域別児童生徒数の変化と配置

①小学校

- ・平成30年度までの児童数の将来推計をみると、全体としては、平成25年度の約1万3,000人から大きな変化はないと見込まれています。
- ・市内北部に位置する一部の学区においては、児童数の減少が見込まれています。第六、本宿及び白糸台小学校は、100名以上の減少が見込まれています。また、第三、第四、第七及び第十小学校も減少が見込まれています。
- ・一方、児童が増加すると見込まれるのは、第一、第二、第五、武蔵台及び南白糸台小学校です。

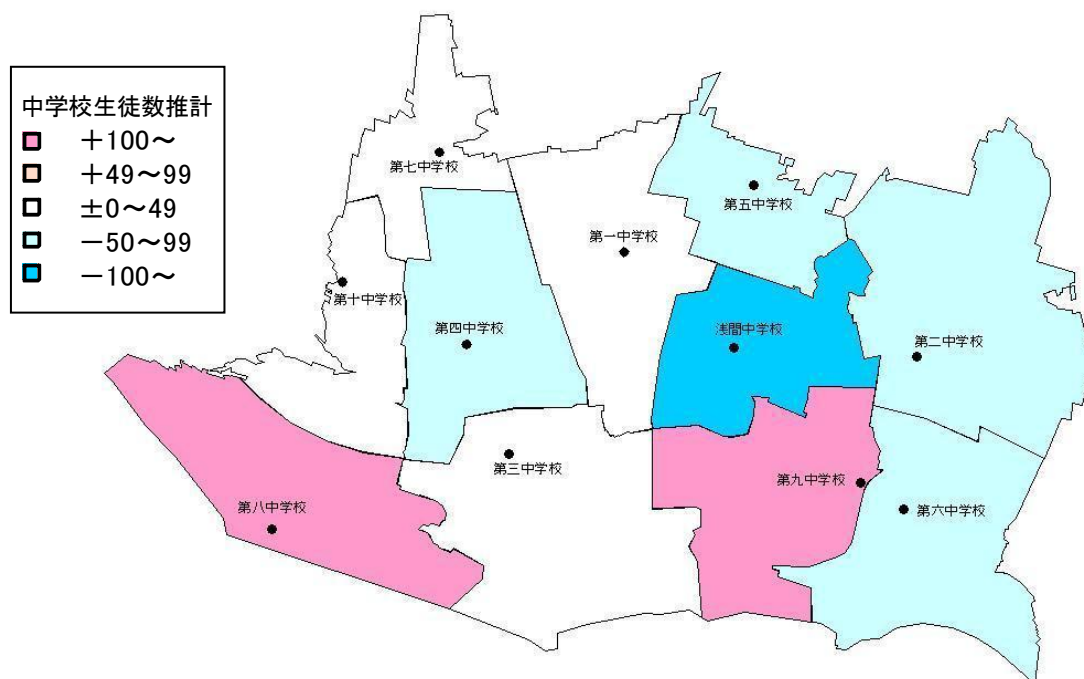
【学区別児童数の将来推計（増減）】



②中学校

- ・平成30年度までの生徒数の将来推計をみると、全体としては、平成25年度の約5,700人から約5,400人と5%程度の減少が見込まれています。
- ・学区別には増加が見込まれるのは、第八及び第九中学校です。一方、第二、第四、第五、第六、第七中学校及び浅間中学校では、生徒数の減少が見込まれています。

【学区別生徒数の将来推計（増減）】



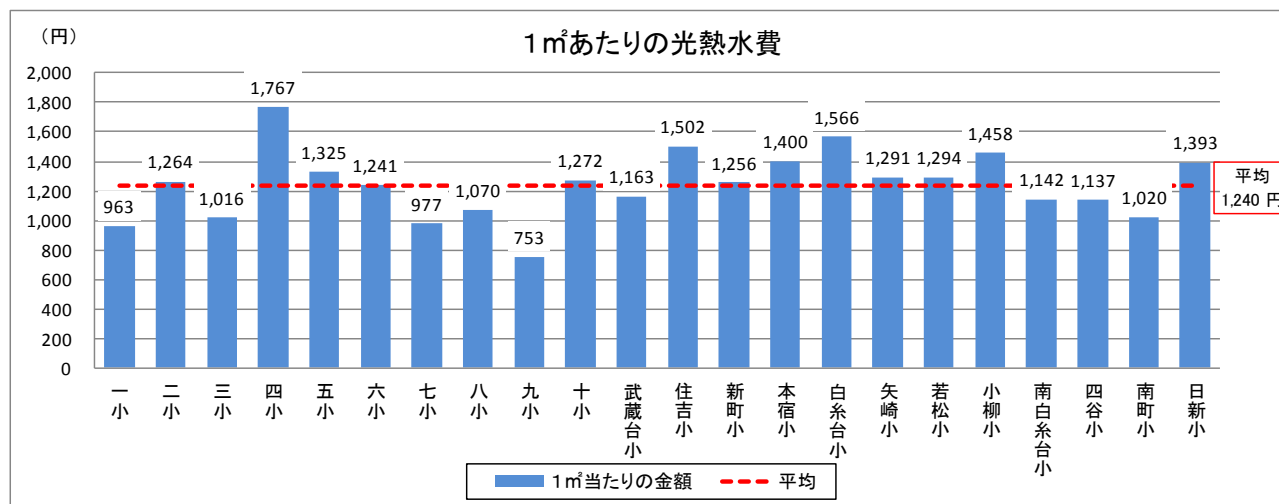
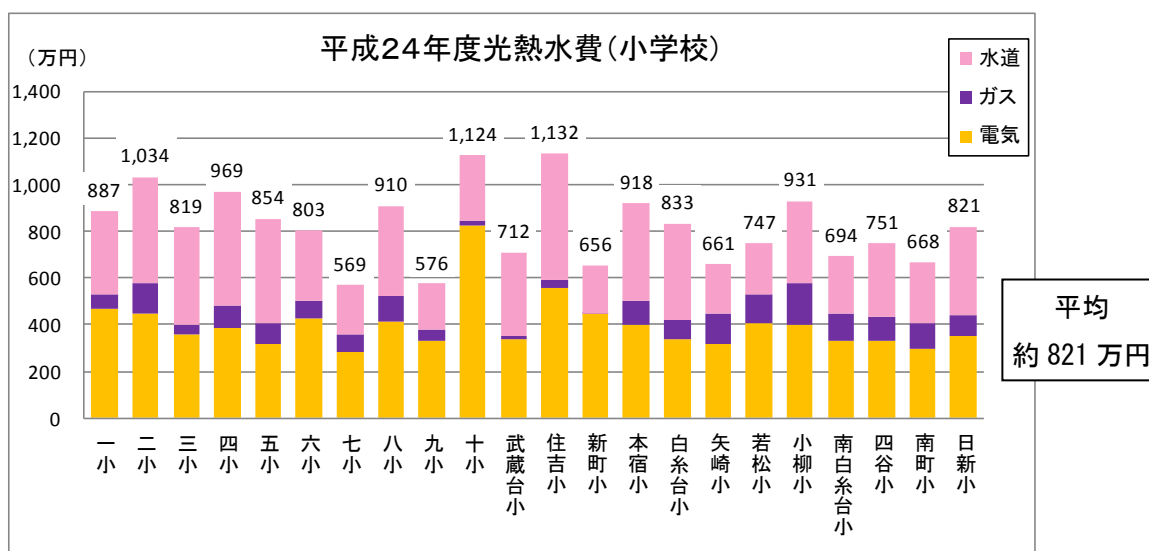
※平成25年度の実数と平成30年度の見込みを比較し、増減で色分けしています。

※現在の実数を基に算出しているため、今後の転入転出などに伴う増減については考慮していません。

(5) コスト状況

①小学校

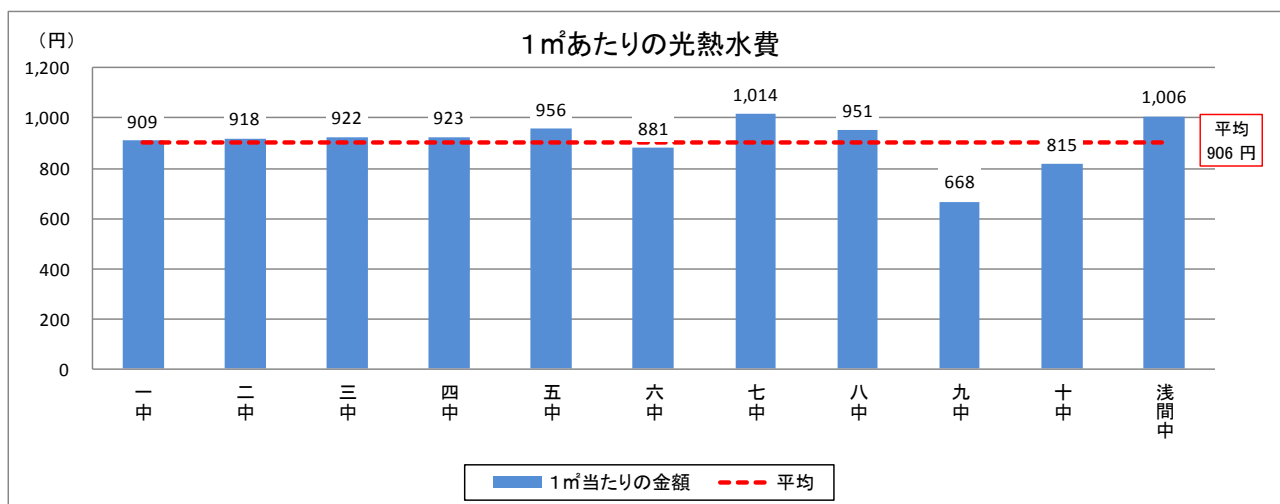
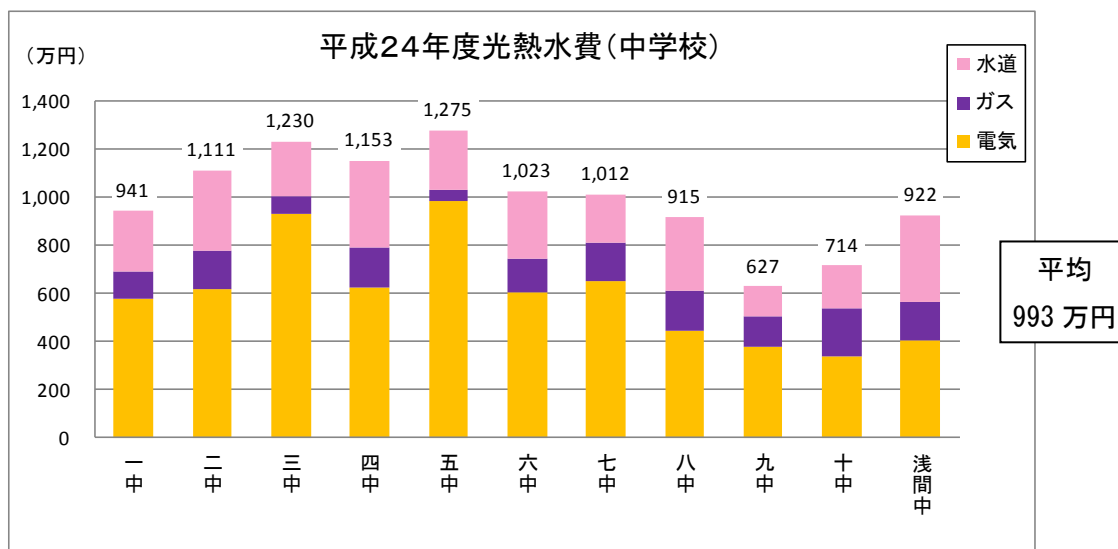
- ・光熱水費（上下水道、ガス及び電気に係る費用）は、全小学校で合計約1億8,068万円でした。1校当たりの平均金額は、約821万円です。
- ・第十小学校の電気代が高いのは、建替えに伴い仮設校舎を利用していたためと考えられます。
- また、自校式で給食を提供している、第四、武蔵台及び住吉小学校や、生徒数の多い第二小学校などの光熱水費が高くなっています。



②中学校

・光熱水費（上下水道、ガス及び電気に係る費用）は、全中学校で合計約1億921万円でした。1校当たりの平均金額は、約993万円です。

・建替えに伴い仮設校舎を利用していた第五中学校や、規模が大きく、電気式の冷房が整備されている第三中学校の光熱水費が高くなっています。



5-2 給食センター・教育センター

(1) 概要

・給食センターには、第一学校給食センターと第二学校給食センターがあり、第二給食センター内には、学校給食洗浄センターが設置されています。小学校 22 校、中学校 11 校のうち自校式給食を実施している小学校 3 校を除く 30 校分の学校給食を提供しています。

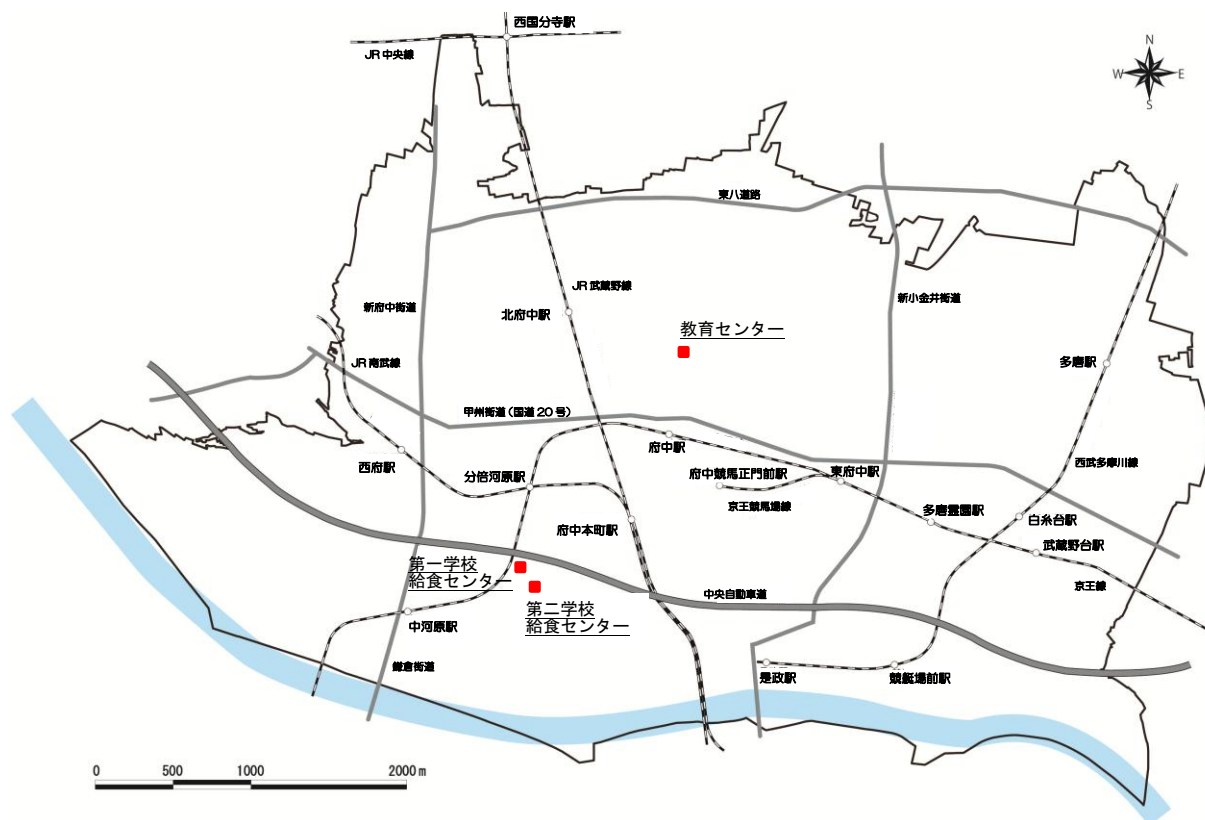
・小中学校の児童・生徒に、安全でおいしいバランスの取れた給食を提供することにより、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養うとともに、健康の増進を図っています。給食には地元産野菜も使用するほか、試食会を開催するなど食育の推進にも努めています。また、野菜くずや残菜は専門業者に処理を委託し、処理された残菜は粉末状の生成物（コンポスト）となっています。

・教育センターは、学校教育についての総合施設で、一部は公民館と同様の機能を持ち、会議や研修会などに利用することができます。1 階には教育相談・就学相談のための諸室やけやき教室、電話相談室などがあります。2 階には研修室や会議室、3 階には科学教室などがあります。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設
								土地	建物		
第一学校給食センター	S45	1970	43年	1,815㎡	RC造	非実施	建替	市	市	直営	
第二学校給食センター	S50	1975	38年	3,784㎡	RC造	非実施	建替	市	市	直営	学校給食洗浄センター
教育センター	S56	1981	32年	3,719㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	

【施設配置図】

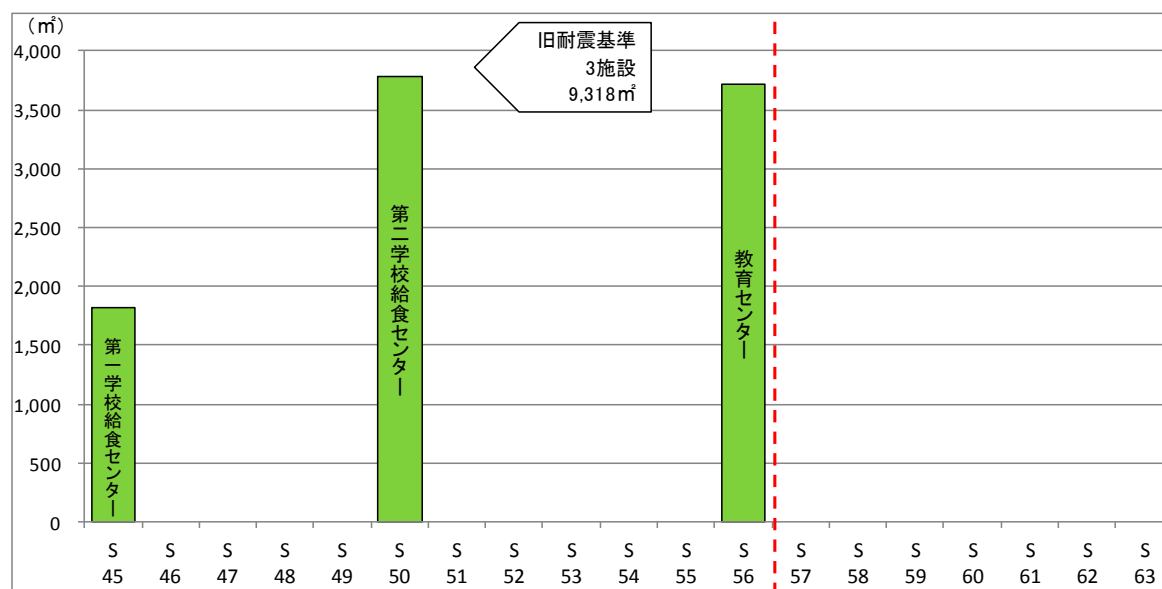


(2) 施設状況

①施設規模

- ・第一学校給食センター及び第二学校給食センターは、築 35 年を超えています。また、旧耐震基準の建物のため、耐震化の課題も抱えています。
- ・教育センターは築 30 年を超えています。耐震診断の結果、耐震性能を有しているとの結果が出ています。

【築年度別整備状況】



a) 給食センター

- ・小学校 19 校を対象とする第一学校給食センターは 1 万 3,000 食、中学校 11 校に給食を供給する第二学校給食センターは 7,000 食の調理能力を有しています。

b) 教育センター

- ・教育センターには、貸出を行っている諸室として、第 1～第 3 会議室、研修室及び映写室があります。

教育センターの施設規模

	第1会議室	第2会議室	第3会議室	研修室	映写室
定員	30人	30人	30人	30人	30人

②運営状況

a) 給食センター

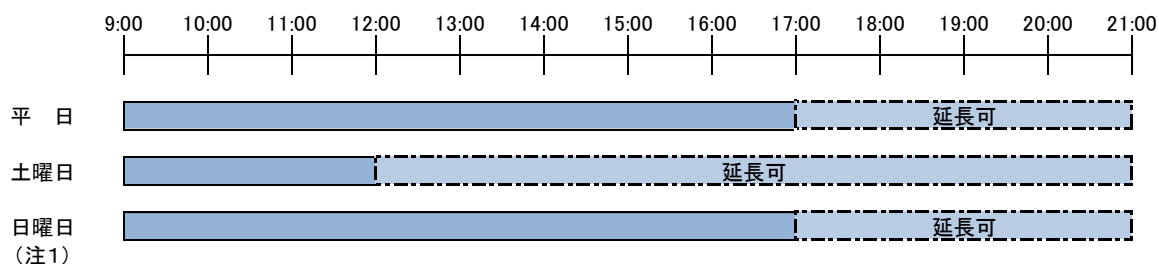
- ・稼動日数は、第一学校給食センターが 190 日、第二学校給食センターは 193 日でした。

b) 教育センター

・教育センターは、平日 9:00～17:00、土曜日 9:00～12:00 に開館しています。ただし、貸館機能である会議室、研修室及び映写室は、日曜日の 9:00～17:00 にも利用することができます。また、教育委員会が必要と認めるときは、会議室、研修室及び映写室は 21:00 まで利用することができます。

・社会教育登録団体などは 2 か月前から、その他は 1 か月前から、電話または直接教育センターに申し込むことができます。

【教育センターの運営時間】



(注1) 会議室、研修室、映写室のみ

(注2) 教育委員会が必要と認めるときは 21:00 まで利用できる

(3) 使用料（料金）と利用状況

① 使用料（料金）

a) 給食センター

・給食センターの運営に係る費用のうち、府中市が人件費や施設の管理運営費、光熱水費などを負担し、保護者が食材料費を学校給食費として負担しています。

【学校給食費（月額）】

	低学年	中学年	高学年	教員・その他
小学校	3,600円	3,800円	4,000円	4,400円
中学校	4,400円			4,800円

b) 教育センター（貸館機能）

・教育センターの会議室、研修室及び映写室は、市民が生活文化の向上を図るため、公民館と同様の事業を行う場合は無料、その他の事業を行う場合は有料で利用することができます。

【教育センター使用料】

	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～16:30)	教育委員会が認 めるとき 夜間 (17:30～21:00)	教育委員会が認 めるとき 全日 (9:00～21:00)
第1会議室	550円	1,000円	1,300円	2,500円
第2会議室	550円	1,000円	1,300円	2,500円
第3会議室	500円	850円	1,100円	2,200円
研修室	550円	1,000円	1,300円	2,500円
映写室	300円	550円	700円	1,400円

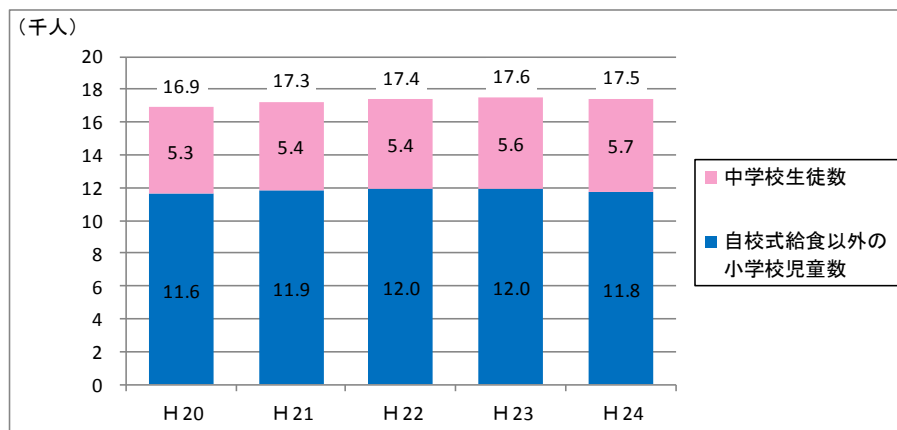
(注) 市外料金は上記使用料のそれぞれ倍額

②利用状況

a) 給食センター

- ・平成 24 年 5 月 1 日現在の給食数は、小学校 1 万 2,368 人分（児童 1 万 1,780 人分、教職員 588 人分）、中学校 6,022 人分（生徒 5,685 人分、教職員 337 人分）の合計 1 万 8,390 人分となっています。
- ・給食数の推移は、児童・生徒数と同様の傾向になっています。

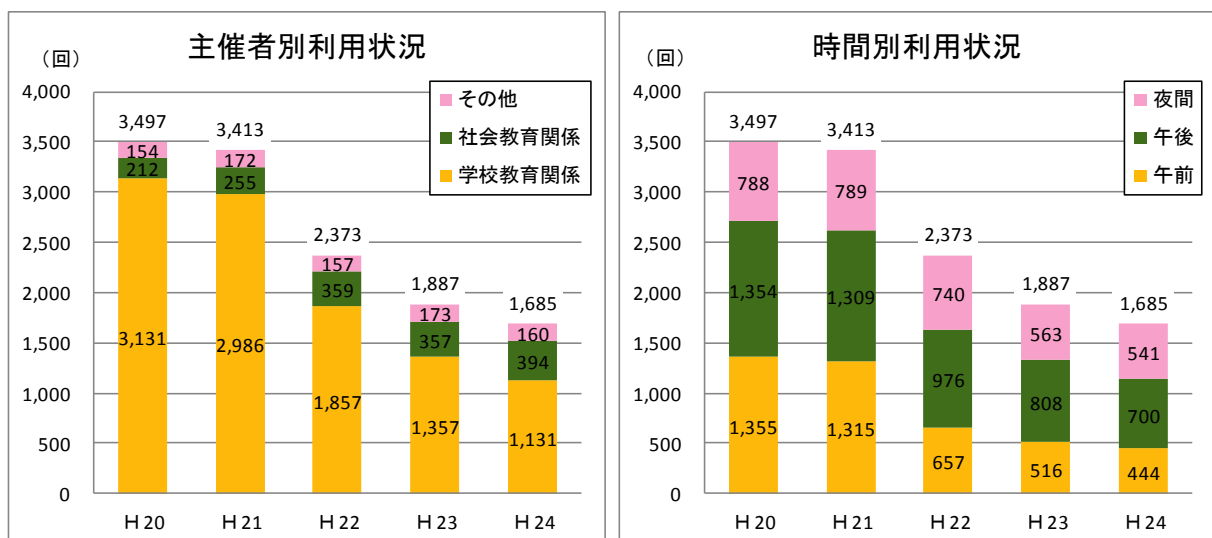
【自校式給食以外の小学校児童数及び生徒数】



b) 教育センター（貸出機能）

- ・教育センターの利用回数は、1,685 回でした。
- ・利用区分別では、学校教育関係 1,131 回、社会教育関係 394 回、その他 160 回です。
- ・時間別では、午前 444 回、午後 700 回、夜間 541 回です。
- ・主催者別利用状況の推移をみると、運用の見直しなどを行った結果、学校教育関係の利用回数が大幅に減少し、全体でも減少傾向となっています。
- ・時間別利用状況の推移をみると、全体的に減少していますが、特に午前と午後の利用回数が大きく減少しています。

【教育センター利用回数の推移】



(4) コスト状況

①給食センター

・給食センターのコストは、約 11 億 5,283 万円でした。そのうち、施設に係るコストは約 2 億 5,030 万円 (22%)、事業運営に係るコストは約 8 億 6,782 万円 (75%)、減価償却費相当額は約 3,471 万円 (3%) です。

・給食センターの歳入は、約 15 万円でした。

【施設別コスト：給食センター】

【収益の部】 (千円)

	給食センター
その他	153
収益 計	153

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	4,876
	施設修繕費	26,451
	光熱水費	110,056
	建物管理委託費	108,924
	管理に係るコスト 計	250,308
事業運営に係るコスト	人件費	433,374
	業務運営等委託費	340,824
	負担金、補助及び交付金	52,503
	その他物件費	41,114
	運営に係るコスト 計	867,815
現金収支を伴うコスト 計		1,118,124

II. 現金収支を伴わないもの

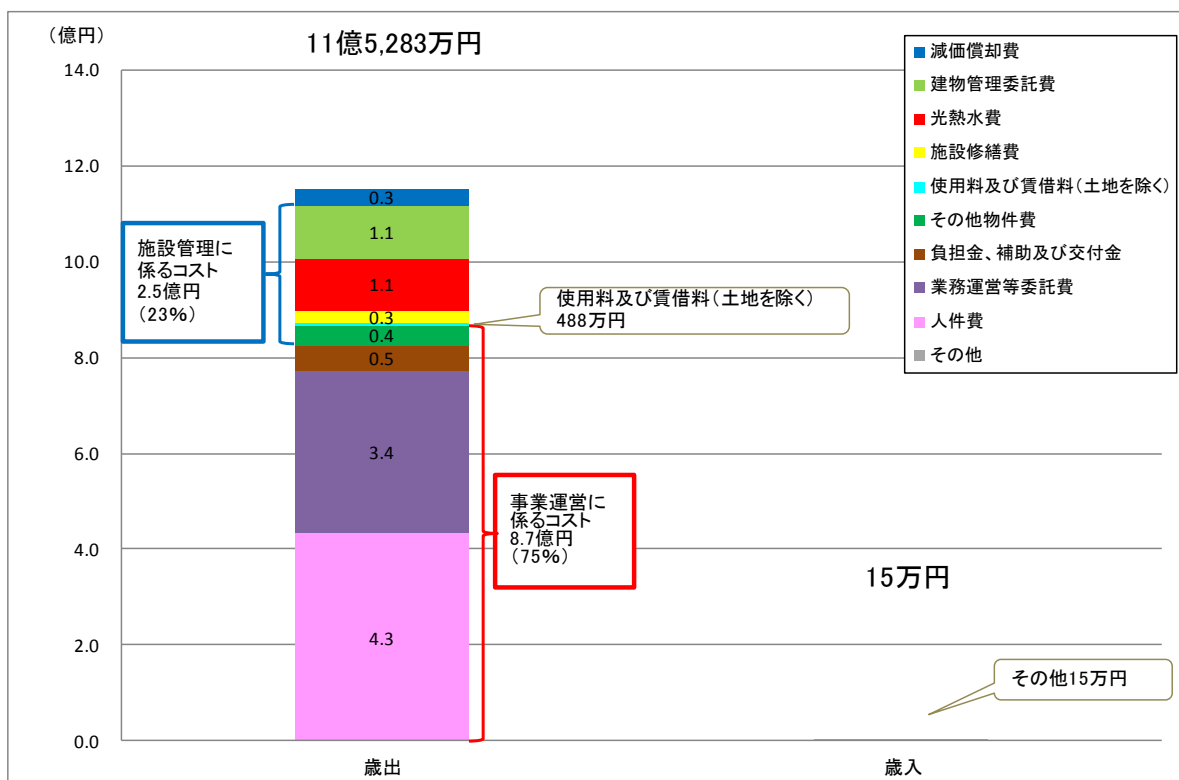
減価償却費相当額	34,710
----------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	1,152,833
-------------	-----------

【収支差額】

収益－コスト	-1,152,680
--------	------------



②教育センター

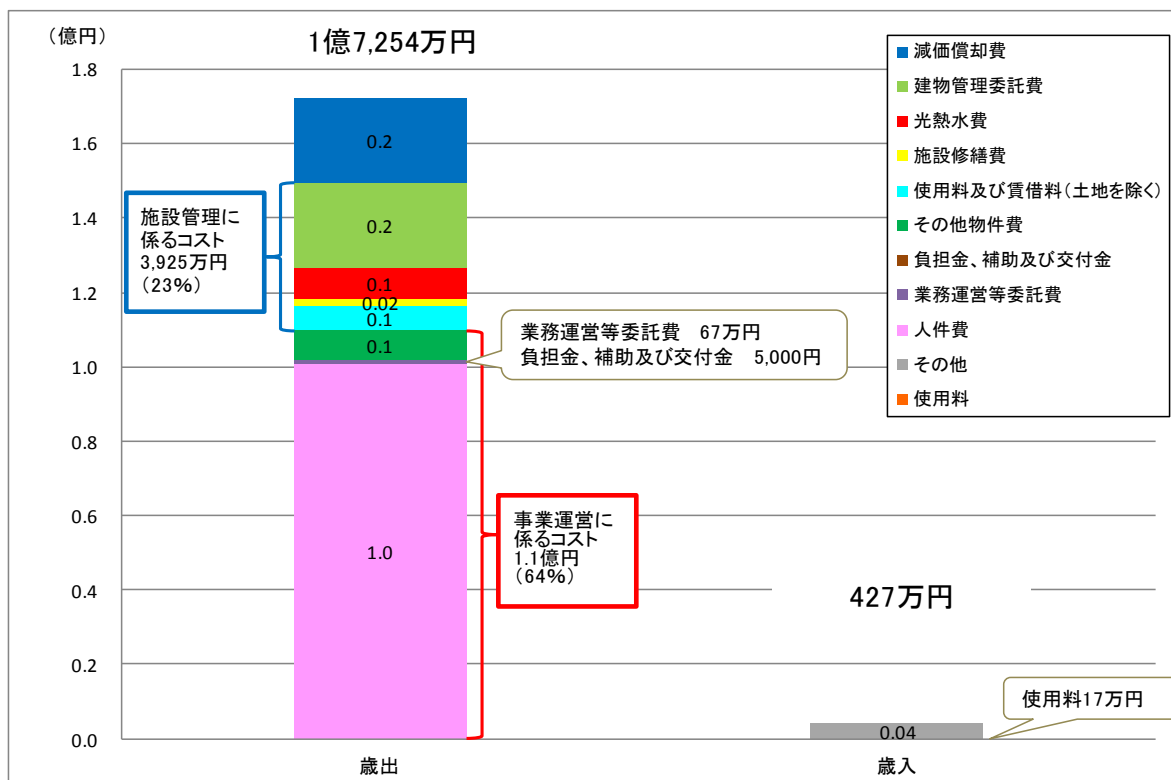
・教育センターのコストは、約 1 億 7,254 万円でした。そのうち、施設に係るコストは、約 3,925 万円（23%）、事業運営に係るコストは約 1 億 1,023 万円（64%）、減価償却費相当額は約 2,306 万円（13%）です。

・教育センターの歳入は、約 427 万円でした。

【施設別コスト：教育センター】

【収益の部】		(千円)
	教育センター	
使用料	166	
その他	4,109	
収益 計	4,275	

【コストの部】	
Ⅰ. 現金収支を伴うもの	
施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)
	施設修繕費
	光熱水費
	建物管理委託費
	管理に係るコスト 計
事業運営に係るコスト	人件費
	業務運営等委託費
	負担金、補助及び交付金
	その他物件費
	運営に係るコスト 計
現金収支を伴うコスト 計	
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの	
減価償却費相当額	
Ⅲ. 総括	
合計(トータルコスト)	
【収支差額】	
収益－コスト	



6-1 子ども家庭支援センター「たち」

(1) 概要

- ・子ども家庭支援センター「たち」は、市の子育て支援中核施設として府中駅南口のくるる内に開設され、18歳までの子どものいる家庭や子ども自身からの相談の対応、親子交流の場の提供、子育てについての情報提供や講座の開設、保護者のリフレッシュを目的とした子どもの一時預かりなどを行っています。
- ・児童虐待の専門相談員を配置し、児童虐待に関する相談の受付や、児童虐待の予防・啓発に取り組んでいます。
- ・0歳から就学前の親子を対象にした屋内ひろばとして「交流ひろば」があり、遊具を利用した親子の触れ合いの場の提供や、親子が楽しく参加できる催しや講座を開催しています。
- ・仕事や家庭の都合で育児の手助けをして欲しい人（依頼会員）と育児の手助けをしたい人（提供会員）が、お互いに助け合い会員の相互援助活動としてファミリーサポートセンターを運営しています。

	子ども家庭支援センター「たち」
設置目的・根拠法	子育てに関する相談等を実施することにより、子どもと子育てを行う家庭を支援すること。 【府中市子ども家庭支援センター条例】
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと家庭に係る総合的な相談に関すること。 ・子どもと家庭の支援に係るサービスの調整等に関すること。 ・子どもと家庭の支援に係る関係機関との連携及び調整に関すること。 ・子どもの虐待の防止に関すること。 ・子どもと家庭を支援するボランティアの育成等に関すること。 ・子育てに係る情報提供に関すること。 ・一時預かり保育に関すること。 ・子どもと保護者の交流の促進に関すること。
所管	子ども家庭部子育て支援課

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	運営	備考
子ども家庭支援センター「たち」	H16	2004	9年	2,484㎡	RC造	不要	不要	直営	京王線府中駅前ビル「くるる」3階に設置

【施設配置図】



(2) 施設状況

- ・子ども家庭支援センター「たっち」は、屋内ひろばの「交流ひろば」や相談室、情報コーナーやリフレッシュ保育室、事務所スペースなどから構成されています。

(3) 運営体制

①運営日、運営時間

- ・年末年始及び「くるる」の休館日以外は運営しています。
- ・運営時間は、業務によって異なります。相談事業の運営時間は、10：00～20：00まで、交流ひろばとリフレッシュ保育の運営時間は、10：00～17：00です。

②運営体制

- ・子ども家庭支援センター「たっち」は、市直営の施設です。
- ・一部の事業などについては、民間の事業者へ委託しています。

③利用料金

- ・子ども家庭支援センター「たっち」の交流ひろば及びリフレッシュ保育の利用に当たっては、利用登録が必要です。
- ・ファミリーサポートセンターに会員として登録を行うためには、事前に説明会または講習会への参加が必要です。利用料の支払い及び報酬の受け取りは当事者間で直接行います。利用料は、条件によって異なりますが、1時間当たり700円～900円です。
- ・リフレッシュ保育は、1歳から就学前の子どもを「たっち」で預かります。4時間を限度に、1

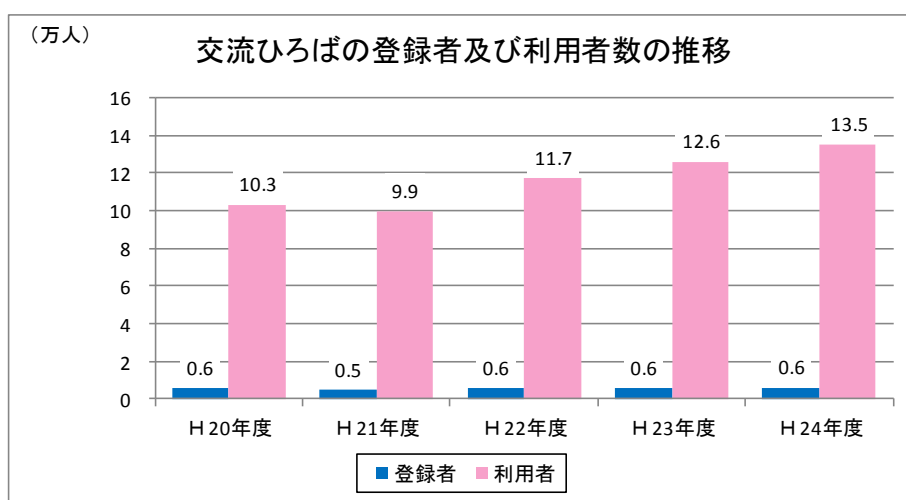
か月で8日間まで利用が可能です。定員は1時間当たり8人です。利用料金は次のとおりです。

【リフレッシュ保育の利用料金（1時間当たり）】

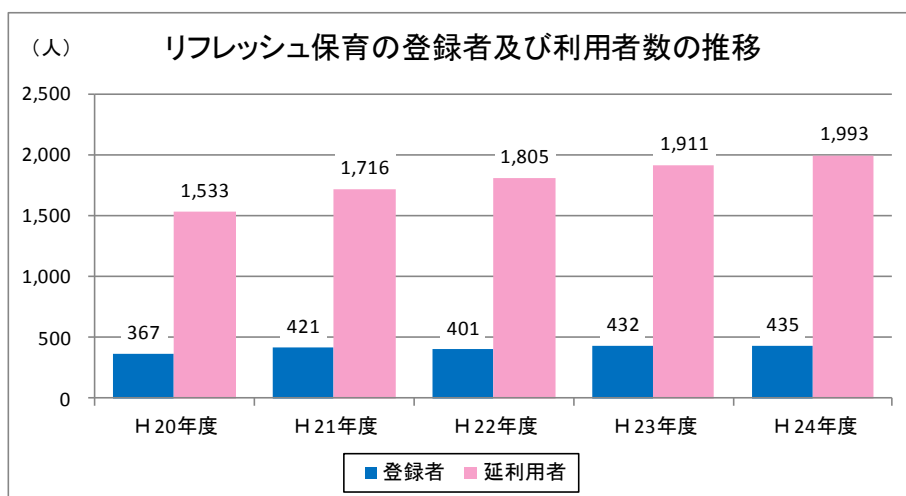
区分	1人目	2人目	3人目
市民	800円	400円	200円
市外の方で市内に2親等以内の親族がいる方	1,000円	500円	300円

（４） 利用状況

- ・ 交流ひろばは、6,113人が登録し、13万5,168人が利用しました。
- ・ 登録者数及び利用者数は、開設以降平成21年度まで減少していましたが、平成22年度からは増加傾向となっています。



- ・ リフレッシュ保育は、435人が登録し、1,993人が利用しました。
- ・ 登録者及び利用者数の推移をみると、増加傾向となっています。



(5) コスト状況

・子ども家庭支援センター「たち」のコストは、約1億8,053万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約2,208万円（12%）、事業運営に係るコストは約1億4,081万円（78%）、減価償却費相当額は約1,763万円（10%）です。

・子ども家庭支援センター「たち」の歳入は、約449万円でした。

【施設別コスト：子ども家庭支援センター「たち」】

	(千円)
子ども家庭支援センター「たち」	
その他	4,492
収益 計	4,492

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	5,317
	施設修繕費	1,150
	光熱水費	5,961
	建物管理委託費	9,656
	管理に係るコスト 計	22,084
事業運営に係るコスト	人件費	32,749
	業務運営等委託費	99,381
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	8,681
	運営に係るコスト 計	140,812
現金収支を伴うコスト 計		162,896

II. 現金収支を伴わないもの

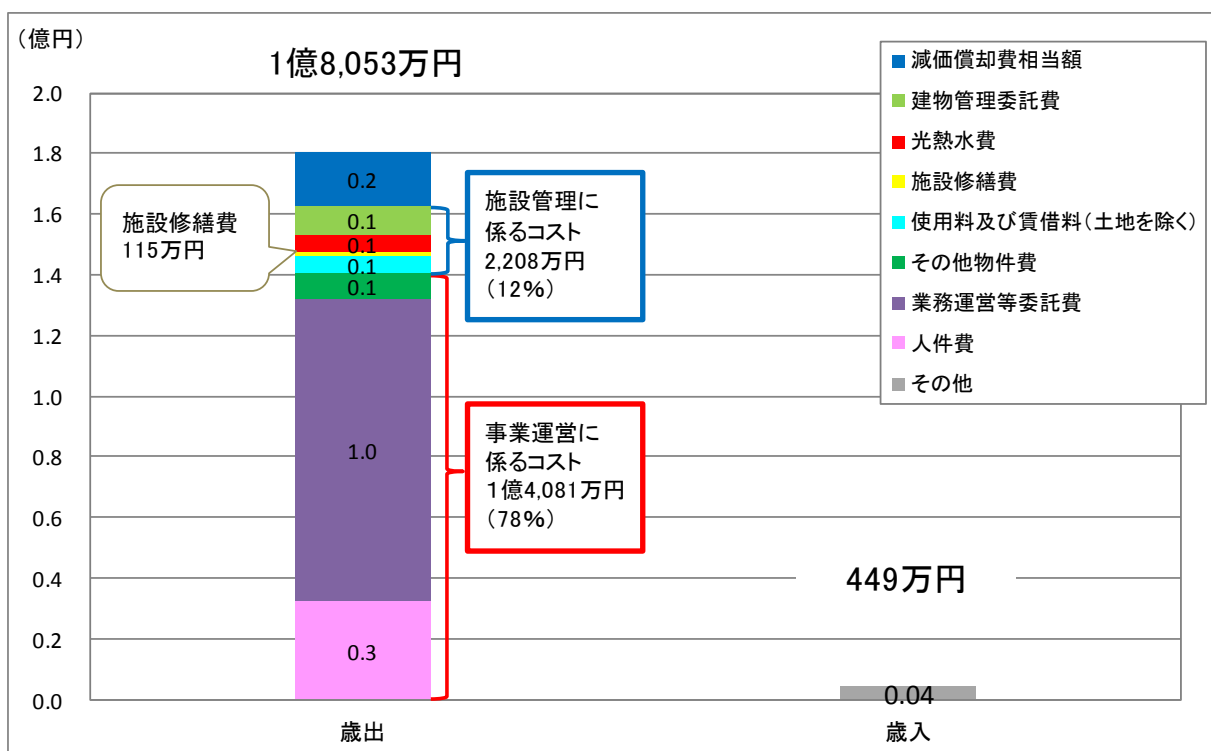
減価償却費相当額	17,633
----------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	180,529
-------------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-176,037
--------	----------



6-2 保育所

(1) 概要

- ・市内には、市立の認可保育所が16施設あります。ほとんどが直営ですが、高倉保育所は指定管理者制度を導入しています。
- ・認可保育所には市立と私立があり、私立の認可保育所は市内に25施設あります。
- ・認可保育所の他に、認証保育所や保育室などもあります。

保育所	
設置目的・根拠法	保育に欠ける乳幼児及び児童のために、良い環境及び指導を与え、健全な心身の発育を促し、社会に適応するように育成し、その保護者とともに福祉を図ることを目的とします。 (児童福祉法)【府中市立保育所条例】
事業内容	保育に欠ける児童の保育を行います。 また、生涯児保育、長時間の保育を必要とする児童を対象とした延長保育、在宅子育て家庭を対象としたひろば事業などを行っています。 (児童福祉法)【府中市立保育所条例】
施設数	16施設
定員	1,745人
所管	子ども家庭部保育支援課
保育料	有料

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設
								土地	建物		
南保育所	H1	1989	24年	692㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
北保育所	S58	1983	30年	797㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
東保育所	S49	1974	39年	753㎡	RC造	不要	-	市	市	直営	
西保育所	S61	1986	27年	728㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
中央保育所	S62	1987	26年	729㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
北山保育所	H5	1993	20年	800㎡	RC造	不要	不要	都	市	直営	
住吉保育所	S45	1970	43年	677㎡	RC造	実施	実施	都	都	直営	
朝日保育所	S45	1970	43年	525㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	
小柳保育所	S46	1971	42年	626㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	
四谷保育所	S47	1972	41年	568㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	
八幡保育所	S48	1973	40年	658㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	
本町保育所	S48	1973	40年	563㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	
三本木保育所	S49	1974	39年	1,185㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	
西府保育所	S50	1975	38年	661㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	
美好保育所	S50	1975	38年	659㎡	RC造	実施	実施	都	都	直営	
高倉保育所	H17	2005	8年	1,668㎡ (建物全体 3,507㎡)	RC造	不要	不要	一部国	市	指定管理者	介護予防推進センター

[illegible]

- ・旧耐震基準で建てられた施設は全 20 棟中 12 棟、5,794 m²（47％）ありますが、耐震診断の結果補強が必要とされた施設については、既に改修などの対応を行っています。
- ・一方、築年数の面では、築 30 年以上の棟が全体の半数近くになることから、全体的に老朽化が進んでいることがわかります。

Bar chart showing the area of existing and planned childcare facilities in square meters (m²). The chart is divided into two sections by a red dashed line: 'Old Earthquake Standard' (left) and 'New Earthquake Standard' (right).

Old Earthquake Standard (Left):

- Facilities: 朝日, 住吉, 小柳, 四谷, 本町, 三本木, 八幡, 東, 西府, 美好.
- Total Area: 5,794 m² (10 facilities, 12 buildings).

New Earthquake Standard (Right):

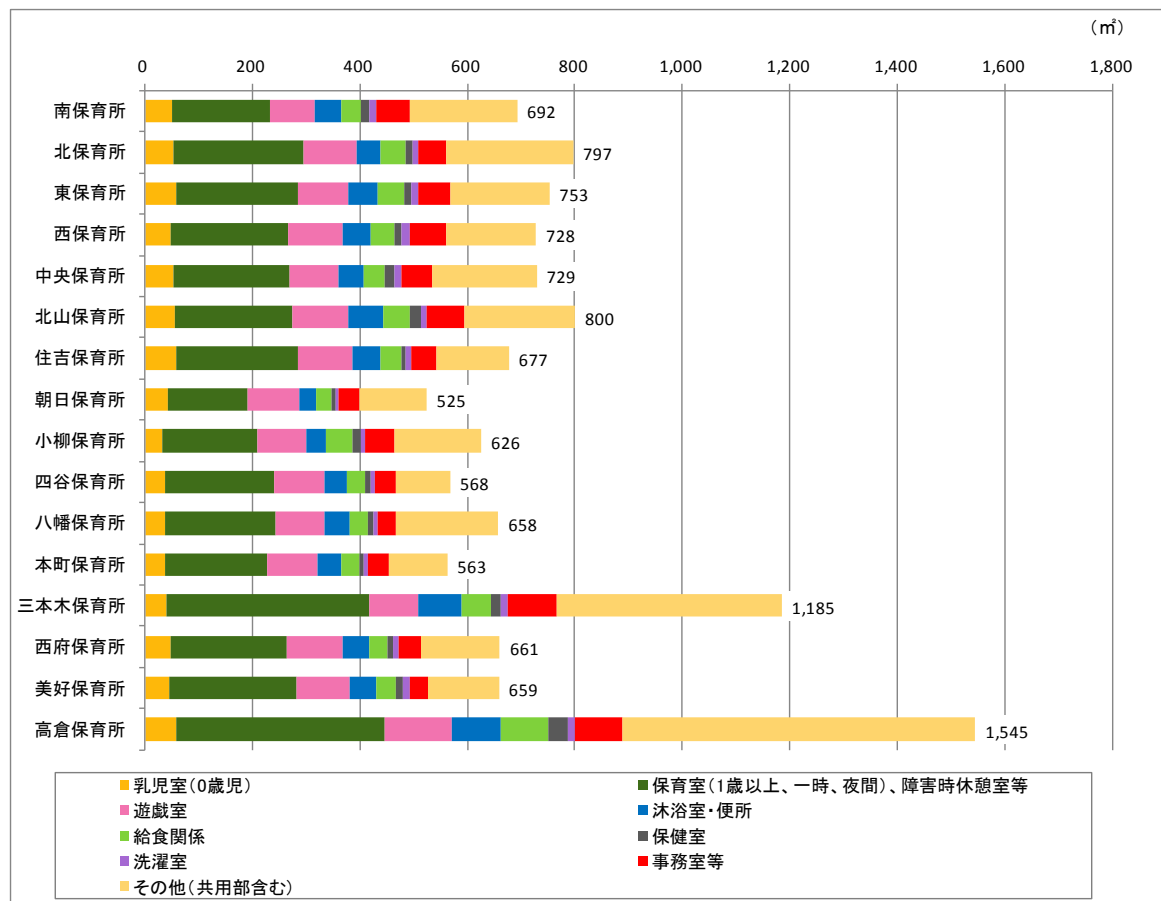
- Facilities: 北, 東保育所増築, 西, 中央, 南, 北山, 高倉, 三本木保育所増築.
- Total Area: 6,547 m² (6 facilities, 8 buildings).

The Y-axis represents area in m², ranging from 0 to 1,800. The X-axis lists facility numbers and names.

(3) スペース構成

・市立保育所 1 施設当たりの平均規模は約 760 m²で、スペース構成は乳児室（0 歳児室）や保育室（1 歳以上）、遊戯室、沐浴室、給食室などとなっています。

【施設別スペース構成】



(4) 運営状況

①運営日数及び時間

・年間の運営日数は、指定管理者制度を導入している高倉保育所が年間 364 日で、それ以外の保育所は 296 日でした。

・保育所の基本的な開所時間は、7:00～18:00 ですが、全ての保育所で 19:00 まで延長保育を実施しており、北保育所、中央保育所及び住吉保育所では 20:00 まで延長保育を実施しています。また、高倉保育所では 22:00 まで延長保育を実施しています。

②運営人員

・高倉保育所は指定管理者による運営で、休日保育や 22:00 までの延長保育など、他の市立保育所では行っていないサービスを提供しているため、人員が多くなっています。

【市立保育所 運営人員】

(人)

平成24年度	南 保育所	北 保育所	東 保育所	西 保育所	中央 保育所	北山 保育所	住吉 保育所	朝日 保育所	小柳 保育所	四谷 保育所	八幡 保育所	本町 保育所	三本木 保育所	西府 保育所	美好 保育所	高倉 保育所	合計
正規職員	園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	保育士	17	15	14	14	12	13	13	11	12	12	12	19	12	12		200
	看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	調理員	1	1	1		1		1	1		1	1	1	1	1	1	12
	その他																0
嘱託	園長																0
	保育士			1		1	1	1				1	1	1			7
	看護師																0
	栄養士																0
	調理員	2	2	1	3	2	3	1	1	3	1	1	1	2	2	1	26
	その他																0
再任用職員	園長																0
	保育士		1														1
	看護師																0
	栄養士																0
	調理員																0
	その他																0
臨時職員	園長																0
	保育士	1	2	3	4	5	5	5	4	3	4	4	3	4	7	7	61
	看護師																0
	栄養士																0
	調理員			1				1	1		1	1	1	2		1	9
	その他																0
パート職員	園長																0
	保育士	14	18	15	12	2	18	15	12	12	15	14	15	16	11	12	201
	看護師													1			1
	栄養士													1			1
	調理員	2	3	1	2	3	1	3	1	1	2	1	2	3	2	1	28
	その他																0
指定管理者 職員	園長																1
	保育士																21
	看護師																0
	栄養士																2
	調理員																4
	その他																1
合計	園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	保育士	32	36	32	30	19	36	33	27	27	31	30	39	30	31	21	484
	看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	16
	栄養士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	32
	調理員	5	6	4	5	6	4	6	4	4	5	4	5	8	5	4	79
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総合計		41	46	40	39	29	44	43	35	35	40	38	39	51	40	39	628

(5) 利用状況

①入所状況

・各保育所の定員は施設によって異なりますが、概ね100人前後です。ただし、3歳未満児のみの保育を行う南保育所の定員は67名で、三本木保育所と高倉保育所は150人程度となっています。全体の定員数は1,745人で、入所率は100%です。

(6) コスト状況

・市立保育所16施設の合計コストは、約30億72万円で、1施設当たり平均約1億8,754万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約1億2,219万円(4%)、事業運営に係るコストは約28億235万円(93%)です。

【施設別コスト一覧表：保育所】

【収益の部】

(千円)

	南 保育所	北 保育所	東 保育所	西 保育所	中央 保育所	北山 保育所	住吉 保育所	朝日 保育所	小柳 保育所
使用料	21,479	24,532	24,581	22,012	23,005	19,196	22,554	16,121	18,406
その他	2,146	3,462	2,446	2,383	3,542	2,408	2,942	2,325	2,069
収益 計	23,625	27,994	27,026	24,394	26,547	21,604	25,495	18,446	20,475

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に 係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	334	334	334	334	1,173	224	335	1,352	334
	施設修繕費	1,188	874	169	598	1,118	3,159	570	1,051	2,508
	光熱水費	4,260	3,892	4,415	4,109	4,643	3,652	4,229	3,752	4,451
	建物管理委託費	1,216	1,157	1,451	1,451	1,058	1,245	1,058	1,216	1,240
	管理に係るコスト 計	6,998	6,257	6,370	6,492	7,992	8,279	6,192	7,372	8,533
事業運営に 係る コスト	人件費	174,882	169,539	159,510	156,410	154,833	160,002	164,202	133,537	135,757
	業務運営等委託費	593	645	621	606	957	584	580	566	584
	負担金、 補助及び交付金	25	47	45	42	43	41	43	32	39
	その他物件費	7,870	12,406	11,936	11,668	14,090	11,630	11,904	10,856	12,373
	運営に係るコスト 計	183,370	182,638	172,111	168,727	169,923	172,257	176,729	144,991	148,754
現金収支を伴うコスト 計		190,368	188,895	178,481	175,219	177,915	180,536	182,921	152,362	157,287

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	4,290	4,941	4,668	4,513	4,519	4,959	4,197	3,255	3,881
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

III. 総括

合計(トータルコスト)	194,658	193,835	183,149	179,732	182,434	185,495	187,118	155,617	161,167
-------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-171,032	-165,841	-156,123	-155,338	-155,887	-163,891	-161,622	-137,171	-140,692
--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

【収益の部】

(千円)

	四谷 保育所	八幡 保育所	本町 保育所	三本木 保育所	西府 保育所	美好 保育所	高倉 保育所	合計
使用料	17,917	23,039	20,268	30,018	20,242	20,887	29,775	354,030
その他	2,313	2,653	2,394	3,287	2,338	2,539	14,693	53,938
収益 計	20,230	25,692	22,661	33,305	22,580	23,426	44,467	407,968

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に 係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	0	334	334	334	1,158	334	0	7,249
	施設修繕費	4,146	8,927	3,753	213	2,599	4,092	0	34,964
	光熱水費	4,049	3,990	2,937	5,336	3,576	4,100	0	61,392
	建物管理委託費	1,451	1,240	1,157	1,434	1,216	992	0	18,583
	管理に係るコスト 計	9,646	14,492	8,182	7,317	8,549	9,518	0	122,188
事業運営に 係る コスト	人件費	143,830	146,636	147,108	207,665	155,321	150,668	0	2,359,899
	業務運営等委託費	199	915	917	659	593	1,770	252,505	263,293
	負担金、 補助及び交付金	39	42	40	54	40	39	0	610
	その他物件費	13,051	12,046	11,413	14,693	11,421	11,187	0	178,545
	運営に係るコスト 計	157,119	159,638	159,478	223,071	167,374	163,664	252,505	2,802,348
現金収支を伴うコスト 計		166,765	174,130	167,659	230,388	175,924	173,182	252,505	2,924,535

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	3,521	4,079	3,490	7,346	4,098	4,085	10,340	76,183
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------

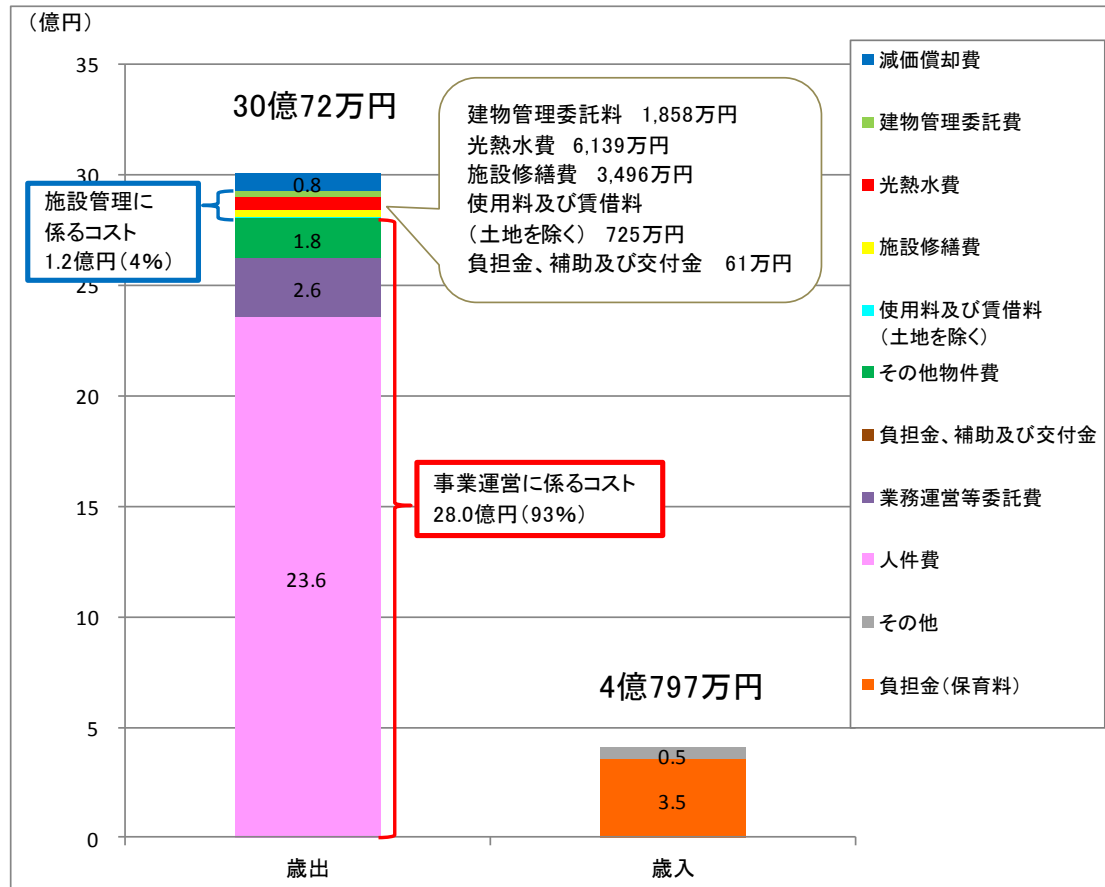
III. 総括

合計(トータルコスト)	170,287	178,209	171,149	237,734	180,022	177,267	262,845	3,000,718
-------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------

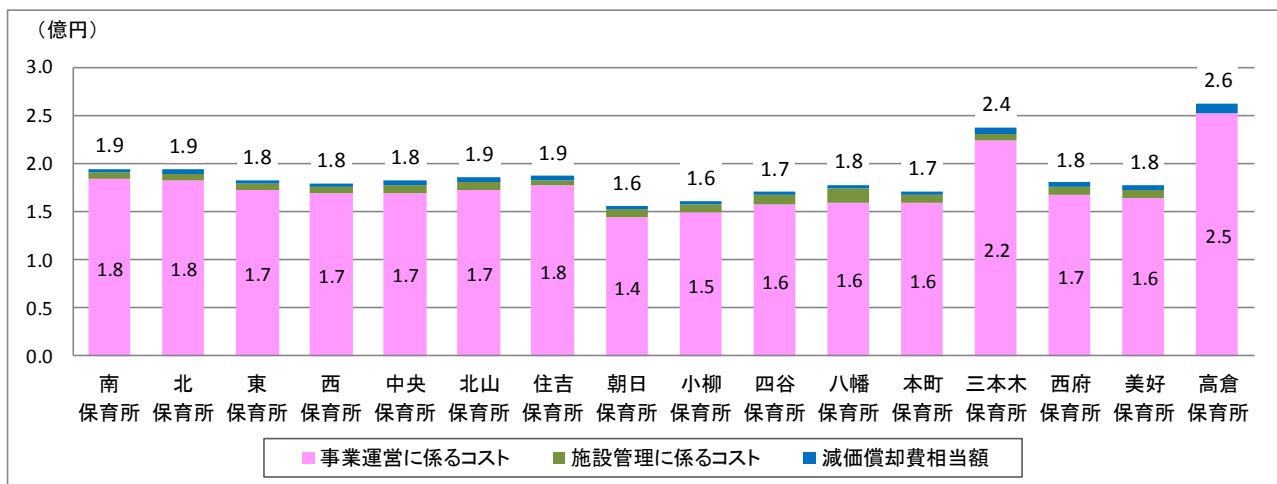
【収支差額】

収益－コスト	-150,057	-152,517	-148,488	-204,429	-157,442	-153,841	-218,378	-2,592,750
--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	------------

【トータルコスト：保育所】



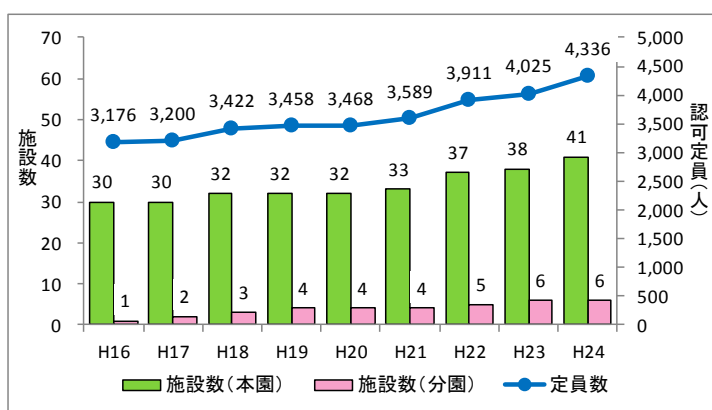
【施設別コスト：保育所】



【参考】 待機児童の解消に向けて

- ・保育所の入所申込者は増加を続けています。急激に増加する保育ニーズに適切に対応するため、平成 16 年度以降、私立も含めて認可保育所の本園 11 施設及び分園 5 施設の施設整備を進め、平成 24 年 4 月現在、平成 16 年度比で 1,160 人の認可保育所の定員増となりました。
- ・保育所等の新設等により、待機児童数は、平成 21 年度のピークを境に徐々に減少していますが、現状において待機児童の解消には至ってはいません。
- ・平成 24 年度の待機児童の 90%以上を 0～2 歳児が占めています。今後も引き続き 3 歳未満児の低年齢児童を中心とした保育ニーズが増加していくことが予想されます。

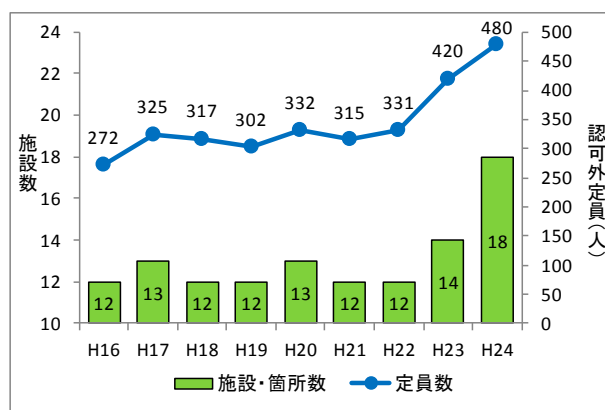
【認可保育所施設数・認可定員数の推移】



※1 各年度 4 月 1 日現在。

※2 保育支援課資料

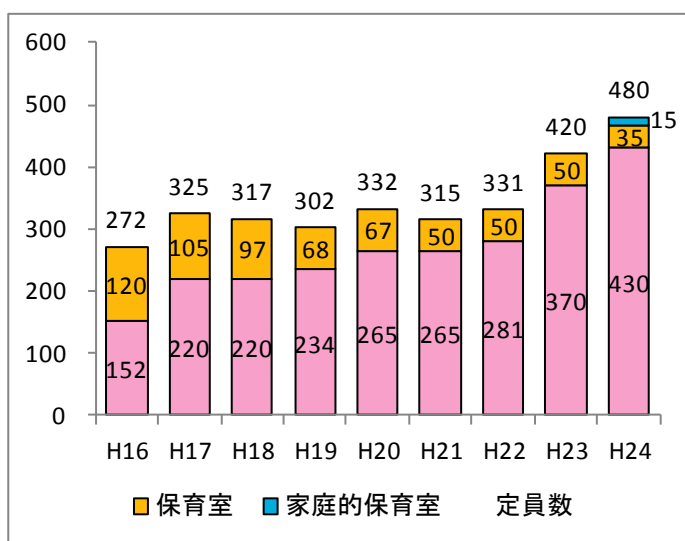
【認可外保育施設事業所数・定員数の推移】



※1 各年度 4 月 1 日現在。ただし、平成 24 年度のみ 10 月 1 日現在。）

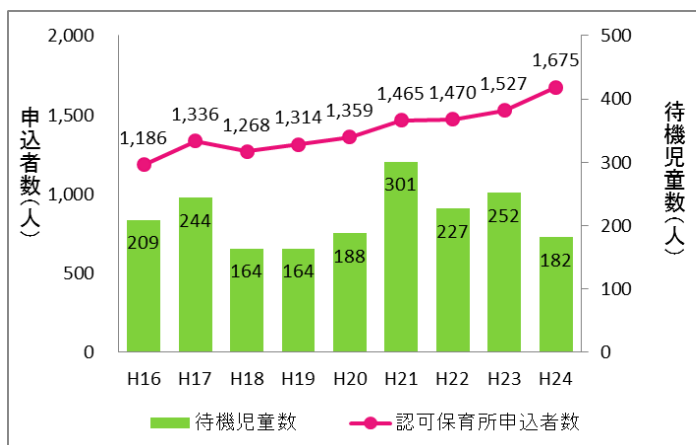
※2 保育支援課資料

【認可外保育施設定員数の内訳】



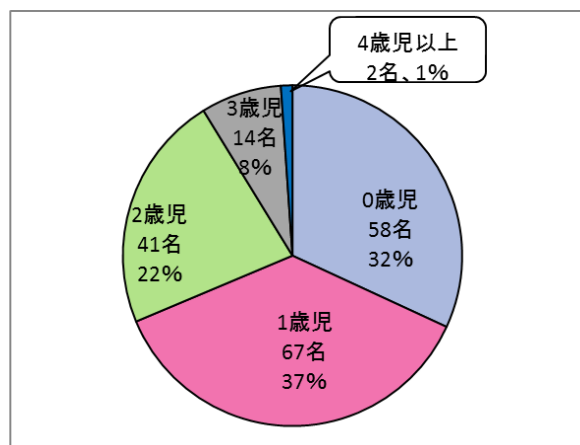
※ 保育支援課資料

【認可保育所申込者数・待機児童数の推移】



※ 保育支援課資料

【平成 24 年度年齢別待機児童数】



※ 保育支援課資料

6-3 幼稚園

(1) 概要

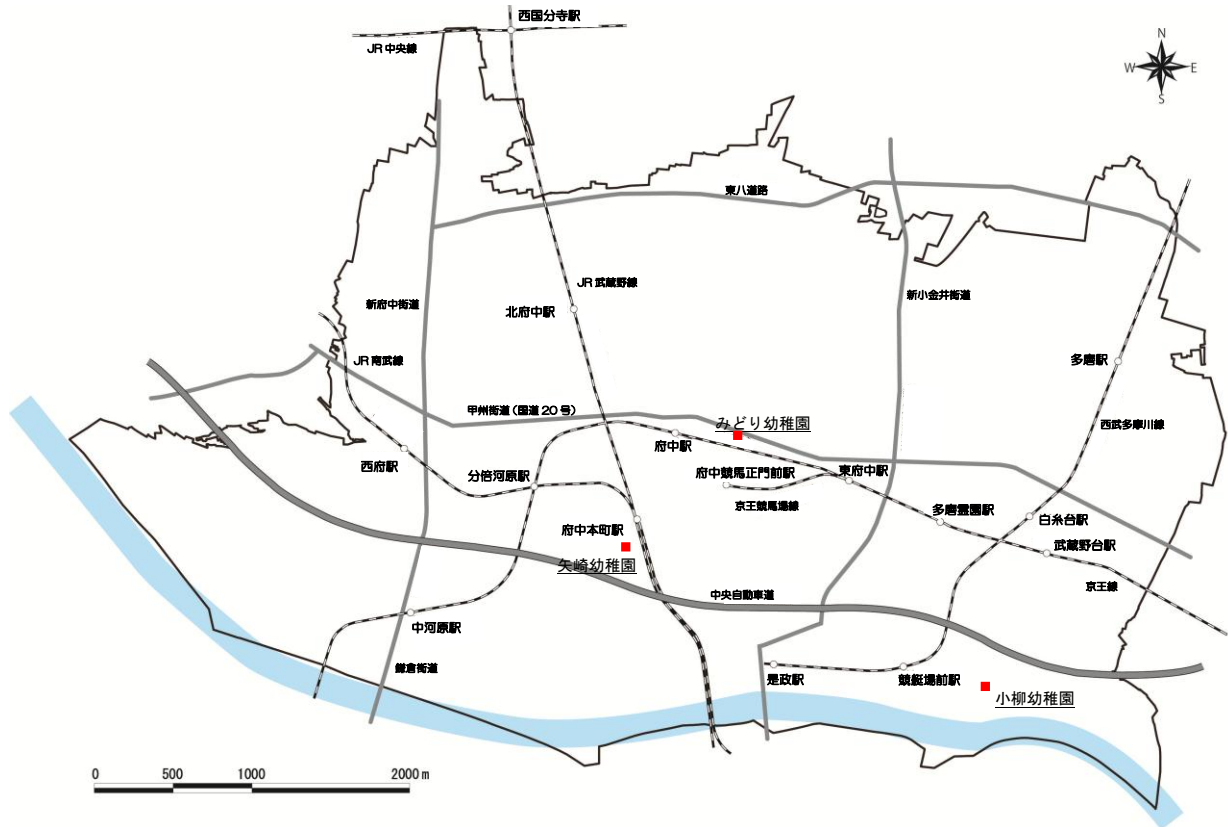
- ・市内には市立幼稚園が3施設あり、全て直営となっています。
- ・私立幼稚園は市内に17園あります。
- ・市立幼稚園は、1年保育と2年保育を実施しています。各園とも1学級35名、4クラス編成で、原則1年保育が2クラス、2年保育が2クラスとなっています。

	幼稚園
設置目的・根拠法	幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長する事を目的とします。 (学校教育法)【府中市立幼稚園条例】
事業内容	市立幼稚園における教育・保育事業のほか、私立幼稚園に在籍する幼児の補助者負担を軽減するため、就園奨励費補助金、保護者補助金、入園料補助金などの交付を行うとともに、幼児教育に要する職員研修費、共同研修費などの補助事業を行っています。また、情緒障害や障害のある幼児を市立幼稚園に受け入れる体制を整え、市立幼稚園児特別支援教育事業を実施するなど、広く幼児教育の充実と振興に努めています。
施設数	3園
定員	420人(各園140人)
所管	教育部学務保健課
保育料	有料

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
矢崎幼稚園	S44	1969	44年	685㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	
みどり幼稚園	S50	1975	38年	657㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	
小柳幼稚園	S50	1975	38年	711㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	

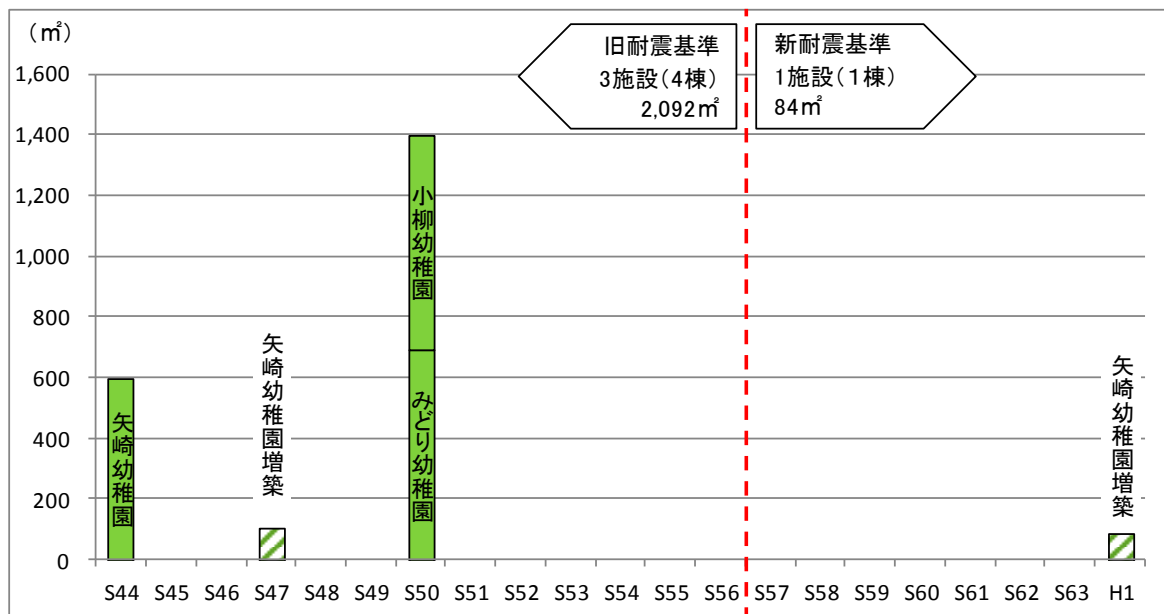
【施設配置図】



(2) 施設状況

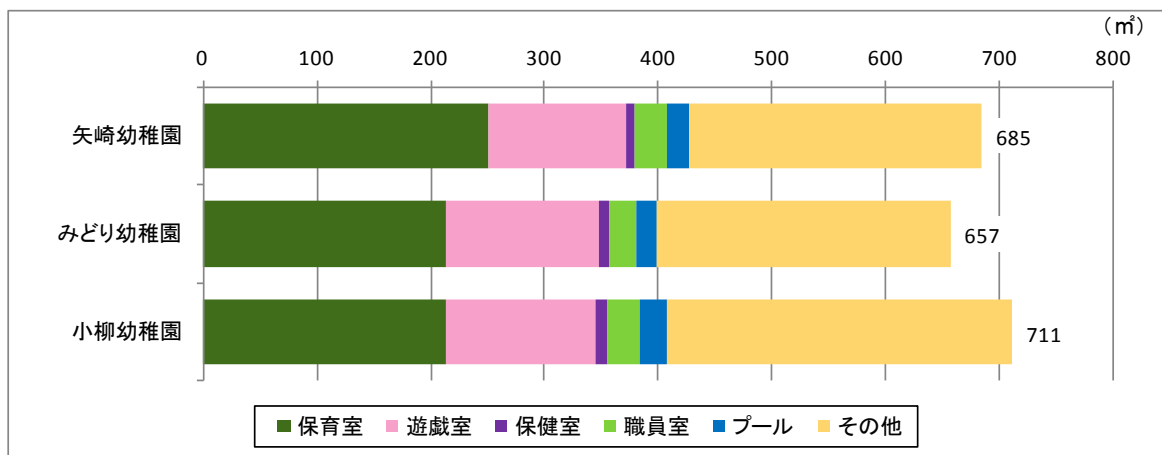
- ・旧耐震基準で建てられた施設は全5棟中4棟2,063㎡(96%)ありますが、いずれも耐震補強を実施済み、または耐震診断で補強不要となっており、耐震化の対応は完了しています。
- ・築40年程度の建物がほとんどであり、老朽化が課題となっています。

【築年度別整備状況】



- ・ 幼稚園 1 施設当たりの平均規模は 684 m²で、スペース構成は保育室、遊戯室、保健室などとなっています。

【幼稚園スペース構成】



(2) 運営状況

①運営日数及び時間

- ・ 運営日数は 202 日でした。保育時間は水曜日が 8：50～11：30、それ以外の月曜日から金曜日が 8：50～14：00 です。また、延長保育を月 1 回、15：30 まで実施しています。

②運営人員

- ・ 幼稚園は、各施設 13 人で運営しています。

【幼稚園 運営人員】

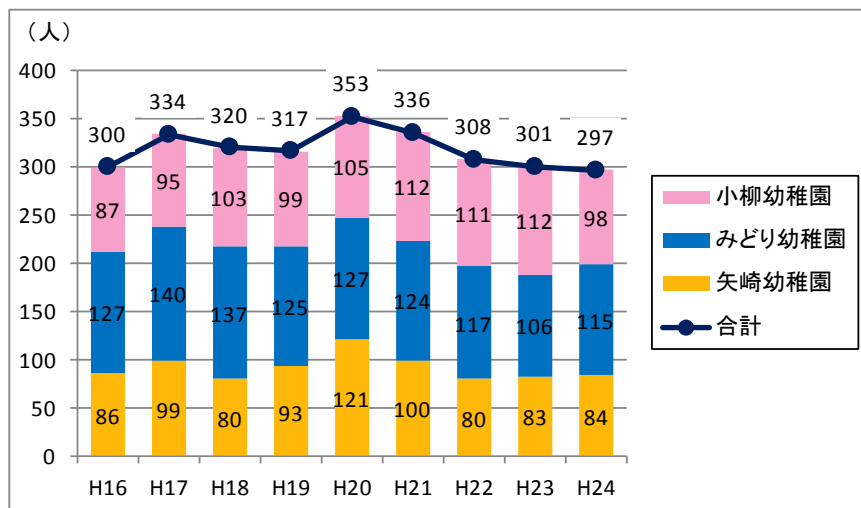
(人)

平成24年度		矢崎幼稚園	みどり幼稚園	小柳幼稚園	合計
市職員	園長				0
	教員	5	5	5	15
	看護師				0
	その他				0
嘱託	園長				0
	教員	1			1
	看護師				0
	その他				0
再任用	園長				0
	教員				0
	看護師				0
	その他		1	1	2
臨時職員	園長				0
	教員	4	4	4	12
	看護師	1	1	1	3
	その他	1	1	1	3
その他	園長	1	1	1	3
	教員				0
	看護師				0
	その他				0
合計	園長	1	1	1	3
	教員	10	9	9	28
	看護師	1	1	1	3
	その他	1	2	2	5
総合計		13	13	13	39

(3) 利用状況

・各園とも1学級35人、4クラス編成のため定員は140人です。平成20年度までは入所児童は増加傾向で、定員420人に対する入園率が80%を超えていましたが、以降は減少傾向となっています。

【入園児数の推移】



【入園児数及び入園率】

平成24年度	矢崎幼稚園	みどり幼稚園	小柳幼稚園	合計
入園児数	84人	115人	98人	297人
入園率	60%	82%	70%	71%

(4) コスト状況

・幼稚園3園の合計コストは、約1億7,022万円、1施設当たり平均約5,674万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約945万円(6%)、事業運営に係るコストは約1億4,804万円(87%)です。

・幼稚園3園の歳入の合計は、約3,846万円でした。

【施設別コスト一覧表：幼稚園】

【収益の部】

(千円)

	矢崎幼稚園	みどり幼稚園	小柳幼稚園	合計
使用料	11,080	14,624	12,569	38,273
その他	64	64	64	191
収益 計	11,144	14,688	12,633	38,464

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	436	430	426	1,293
	施設修繕費	667	1,491	601	2,759
	光熱水費	944	1,009	982	2,935
	建物管理委託費	739	811	917	2,467
	管理に係るコスト 計	2,787	3,741	2,926	9,454
事業運営に係るコスト	人件費	45,929	49,748	45,923	141,600
	業務運営等委託費	264	266	265	794
	負担金、補助及び交付金	51	61	55	167
	その他物件費	1,857	1,883	1,734	5,474
	運営に係るコスト 計	48,100	51,958	47,977	148,035
現金収支を伴うコスト 計		50,887	55,699	50,903	157,489

II. 現金収支を伴わないもの

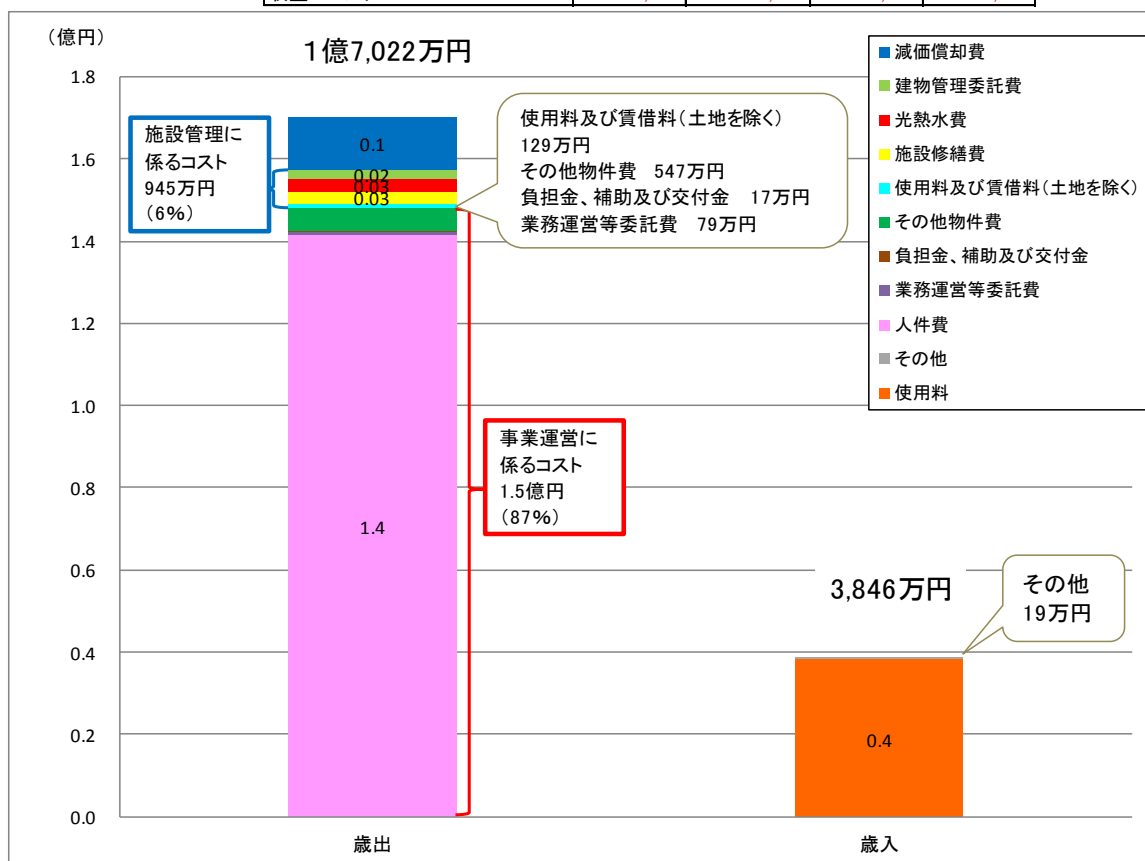
減価償却費相当額	4,247	4,073	4,408	12,727
----------	-------	-------	-------	--------

III. 総括

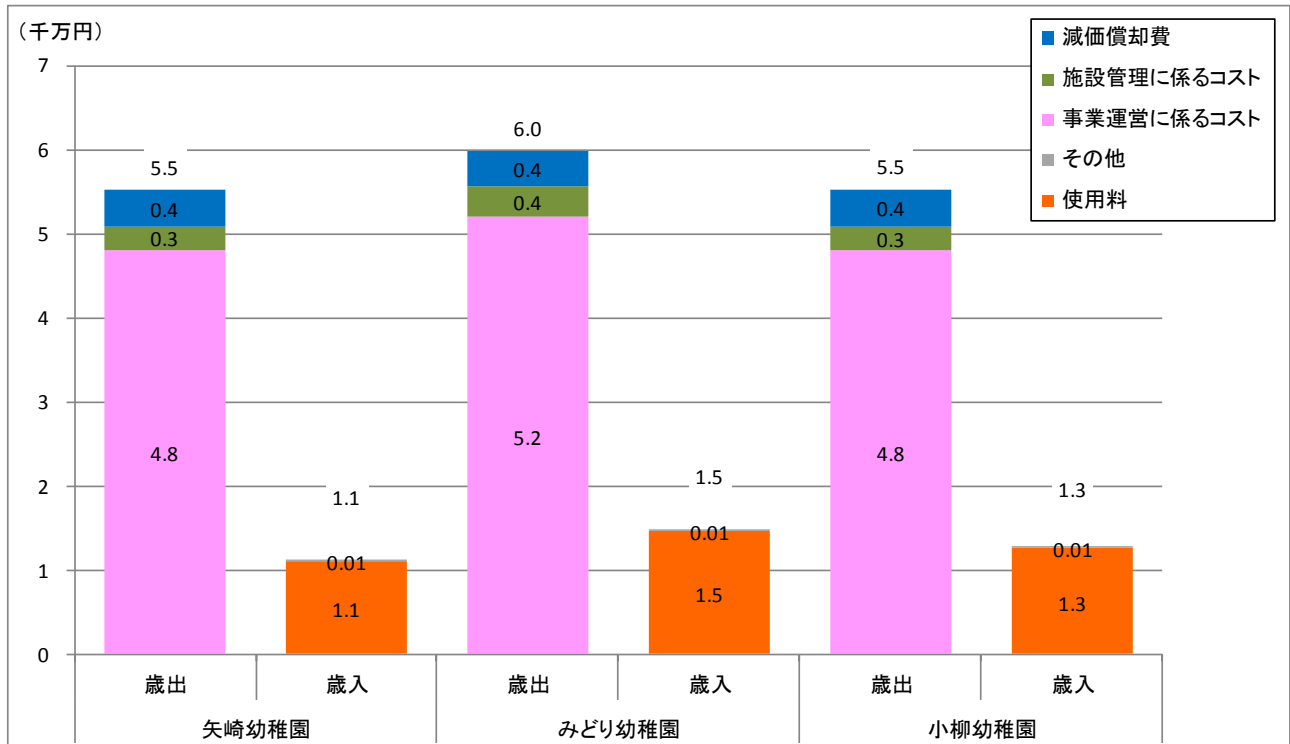
合計(トータルコスト)	55,133	59,772	55,311	170,216
-------------	--------	--------	--------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-43,990	-45,084	-42,678	-131,752
--------	---------	---------	---------	----------



【施設別コスト：幼稚園】



6-4 学童クラブ

(1) 概要

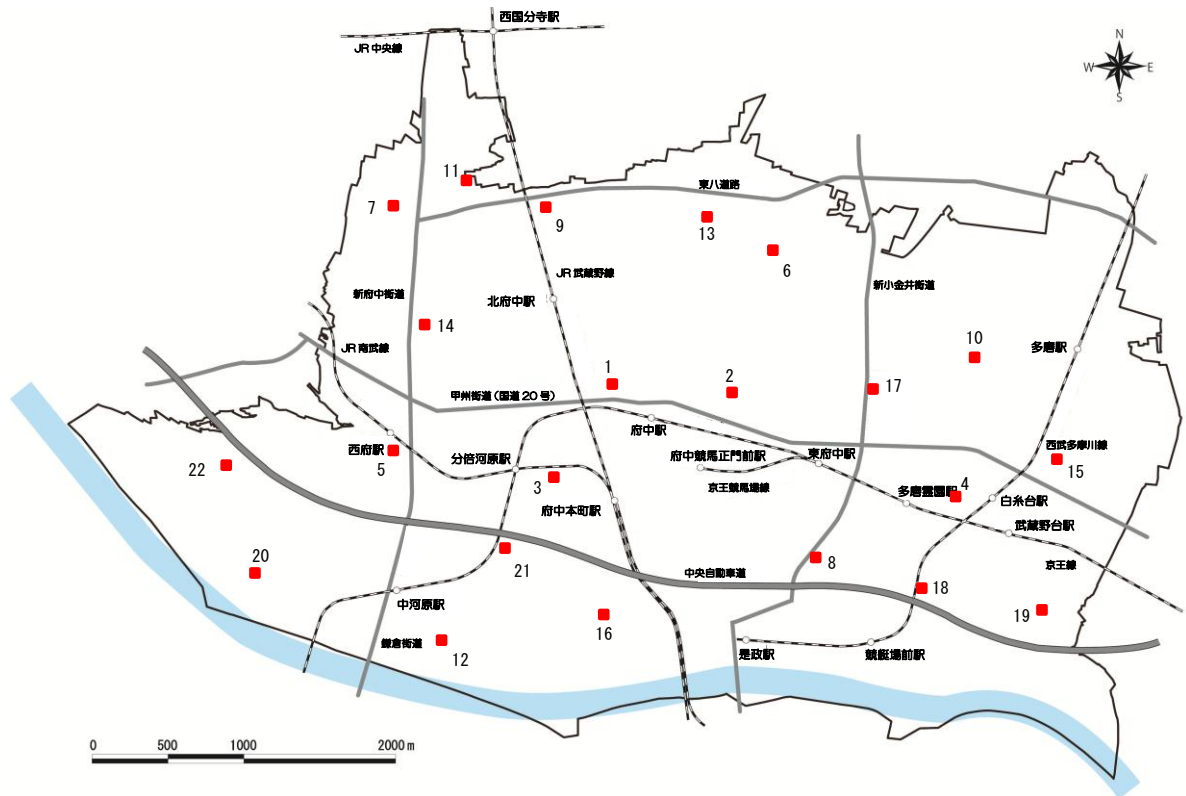
- ・学童クラブは、小学校の学区に1施設ずつ設置され、合計22施設5,844㎡あります。22施設中15施設は学校に併設された施設であり、残り7施設は単独施設となっています。
- ・学童クラブ全体の在籍児童数は1,676人、1施設当たりの平均出席児童数は46.4人となっています。

学童クラブ	
設置目的・根拠法	小学校低学年児童で保護者等が労働等により昼間家庭にいない児童の健全育成を図るため、府中市立学童クラブを設置する。 【府中市立学童クラブ条例】
事業内容	保護者が就労などのため、昼間家庭にいない小学校1年から3年生の児童（心身に障害のある児童は4年生まで、ただし市長が特に必要と認める場合は6年生まで）を放課後から午後6時まで預かる事業を実施しています。
対象	保護者及び家族が、就労などのため、正午から午後6時までの間に4時間以上、かつ月14日以上児童を監護する事ができない世帯で、安全に学童クラブに通え、集団での活動ができる小学校1年生～3年生
施設数	22施設
所管	子ども家庭部児童青少年課
使用料	有料

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (平成24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設
								土地	建物		
第一学童クラブ	H1	1989	24年	236㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	第一小学校
第二学童クラブ	H4	1992	21年	481㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	第二小学校
第三学童クラブ	H1	1989	24年	297㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	第三小学校
第四学童クラブ	H2	1990	23年	243㎡	RC造/S造	不要	不要	一部民	市	直営	
第五学童クラブ	H2	1990	23年	231㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	第五小学校
第六学童クラブ	H2	1990	23年	183㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
第七学童クラブ	H9	1997	16年	335㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
第八学童クラブ	H1	1989	24年	384㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	第八小学校
第九学童クラブ	H7	1995	18年	245㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	第九小学校
第十学童クラブ	H4	1992	21年	308㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
武蔵台学童クラブ	H4	1992	21年	256㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	武蔵台小学校
住吉学童クラブ	H9	1997	16年	299㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	住吉小学校
新町学童クラブ	H4	1992	21年	211㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	新町小学校
本宿学童クラブ	H1	1989	24年	286㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	本宿小学校
白糸台学童クラブ	H2	1990	23年	192㎡	RC造/S造	不要	不要	市	市	直営	白糸台小学校
矢崎学童クラブ	H2	1990	23年	172㎡	RC造/S造	不要	不要	市	市	直営	矢崎小学校
若松学童クラブ	H4	1992	21年	271㎡	RC造/S造	不要	不要	市	市	直営	
小柳学童クラブ	H2	1990	23年	292㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	小柳小学校
南白糸台学童クラブ	H2	1990	23年	292㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	
四谷学童クラブ	H1	1989	24年	254㎡	RC造/S造	不要	不要	市	市	直営	
南町学童クラブ	H3	1991	22年	211㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	南町小学校
日新学童クラブ	H2	1990	23年	165㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	日新小学校

【施設配置図】

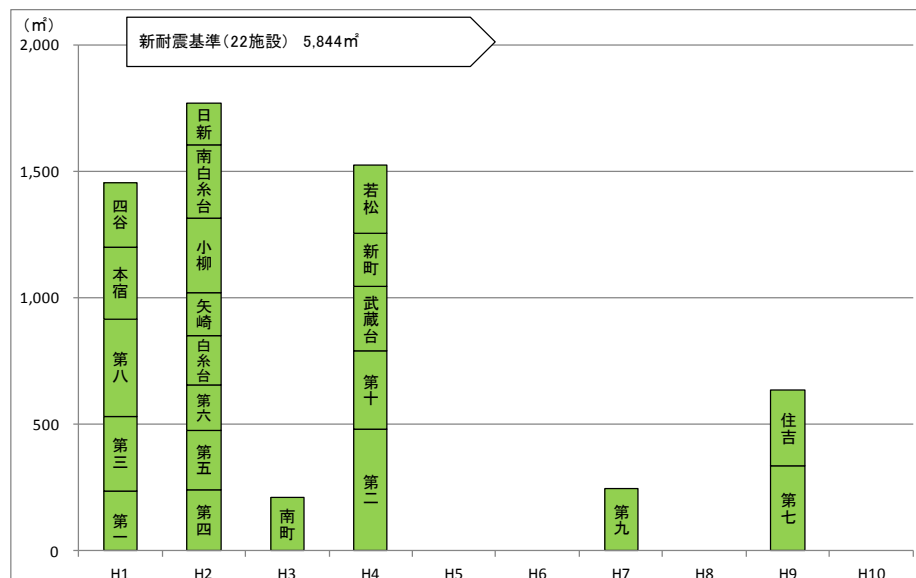


1 第一学童クラブ	6 第六学童クラブ	11 武蔵台学童クラブ	16 矢崎学童クラブ	21 南町学童クラブ
2 第二学童クラブ	7 第七学童クラブ	12 住吉学童クラブ	17 若松学童クラブ	22 日新学童クラブ
3 第三学童クラブ	8 第八学童クラブ	13 新町学童クラブ	18 小柳学童クラブ	
4 第四学童クラブ	9 第九学童クラブ	14 本宿学童クラブ	19 南白糸台学童クラブ	
5 第五学童クラブ	10 第十学童クラブ	15 白糸台学童クラブ	20 四谷学童クラブ	

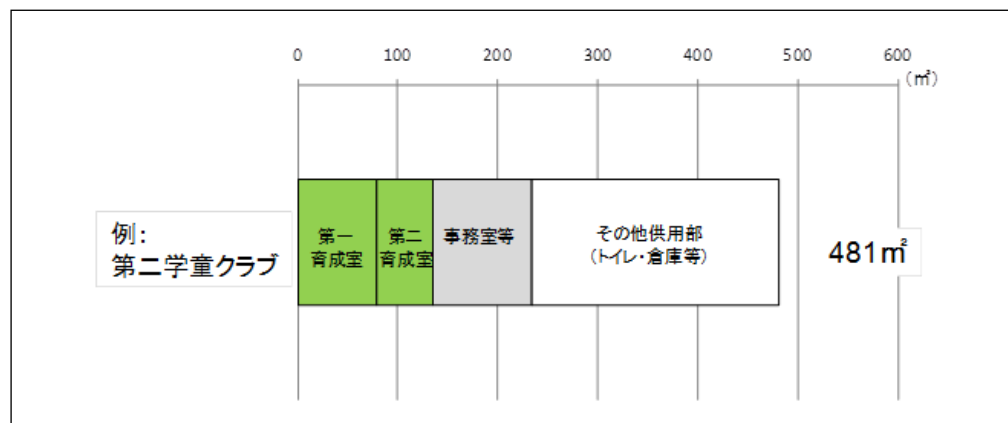
(2) 施設状況

・学童クラブは、平成元年より設置されたため、22 施設全てが新耐震基準の施設です。最も古い第一、第三、第八、本宿及び四谷学童クラブは、設置から 24 年が経過しています。

【築年度別整備状況】



- ・学童クラブの施設規模は、1施設当たり 200 m²～500 m²程度です。
- ・スペース構成はほぼ全ての施設が同様であり、フローリングの育成室が2部屋、6畳の和室、湯沸し室、事務室などとなっています。育成室は、広めの第一育成室とそれよりも狭い第二育成室に分けられています。代表例として、次に第二学童クラブのスペース構成を示します。
- ・登録児童数の増加のため、従来の学童クラブの施設だけではスペースが足りない場合には、学校内の教室を借りて使用しています。第三及び第六学童クラブは、校舎内教室を第二育成室として使用しています。



(3) 運営状況

①運営形態

- ・学童クラブは、全施設が市の直営となっています。
- ・平成16年2月に「府中市立学童クラブ運営など検討協議会」から出された、「市民の参画によって子どもたちにより豊かな学童保育の実現を」という提言に基づき、学童クラブ相互間の連携を密にし、事業運営の効率化と保育環境の充実を図るため、7ブロック制による事業運営を行っています。

②運営人員

- ・それぞれのブロックにおける事業の統括管理を行うため、各ブロックの学童クラブの中から基幹的な役割を果たす施設を選定しています。
- ・職員の配置としては、各ブロックに主任指導員（正規職員）を1名配置し、各学童クラブに専任指導員（嘱託職員）及び補助指導員を配置しています。

③運営日数及び育成時間

- ・運営日数は、毎年295日程度です。日曜日、国民の祝日及び年末年始は休館です。
- ・育成時間は、月曜日から金曜日までが下校時～18：00、学校休業日が8：30～18：00、土曜日が8：45～17：00です。

(4) 利用状況

①入会状況

- ・近年の学童クラブ全体の入会状況は、微減傾向にあります。ただし、一部の施設では増加も見

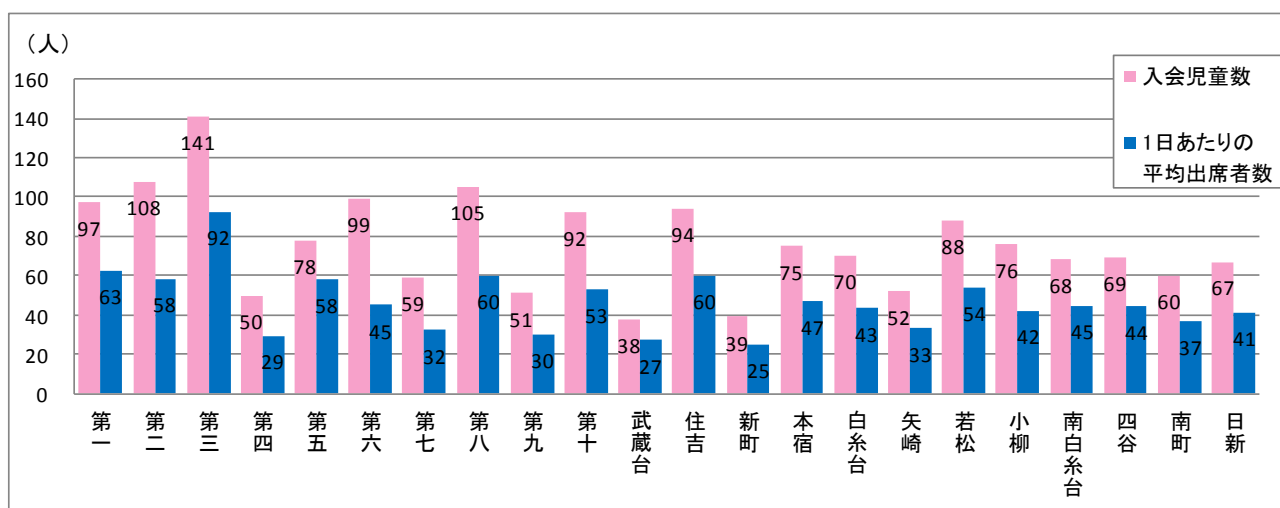
られます。

- ・現在、入会を希望する全ての児童を受け入れています。
- ・各施設の運営日数と出席児童数より算出した平均出席児童数は、新町学童クラブの25人が最も少なく、第三学童クラブの92人が最も多くなっています。また、22施設平均では46人となっています。

【入会児童数の推移（各年度4月1日）】（人）

	H20	H21	H22	H23	H24
第一学童クラブ	102	105	93	76	97
第二学童クラブ	120	111	111	119	108
第三学童クラブ	120	123	133	140	141
第四学童クラブ	76	67	52	49	50
第五学童クラブ	77	83	76	75	78
第六学童クラブ	81	104	116	118	99
第七学童クラブ	71	80	73	59	59
第八学童クラブ	114	117	103	108	105
第九学童クラブ	68	58	44	42	51
第十学童クラブ	105	99	85	80	92
武蔵台学童クラブ	62	48	44	37	38
住吉学童クラブ	58	63	71	82	94
新町学童クラブ	59	63	60	50	39
本宿学童クラブ	106	92	85	76	75
白糸台学童クラブ	83	90	93	79	70
矢崎学童クラブ	55	47	62	63	52
若松学童クラブ	99	74	70	78	88
小柳学童クラブ	57	62	61	68	76
南白糸台学童クラブ	68	66	61	53	68
四谷学童クラブ	86	75	71	61	69
南町学童クラブ	67	75	70	79	60
日新学童クラブ	50	63	66	67	67
平均	81.1	80.2	77.3	75.4	76.2
合計	1,784	1,765	1,700	1,659	1,676

【施設別平均出席児童数】



(5) コスト状況

・学童クラブ 22 施設の合計コストは、約 5 億 585 万円、1 施設当たり平均約 2,299 万円でした。
そのうち、施設管理に係るコストは約 8,800 万円 (17%)、事業運営に係るコストは約 3 億 8,162 万円 (75%) です。

・学童クラブの歳入は、合計 1 億 7,803 万円でした。

【施設別コスト一覧表：学童クラブ】

【収益の部】

	(千円)										
	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	武蔵台
使用料	5,253	5,710	6,761	2,832	4,157	3,198	2,467	5,665	2,101	5,071	2,101
その他	5,081	6,429	7,261	3,116	5,432	3,153	2,620	5,313	2,431	5,216	2,278
収益 計	10,334	12,139	14,022	5,949	9,589	6,350	5,087	10,977	4,532	10,287	4,379

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159
	施設修繕費	345	345	345	345	345	345	345	345	345	345
	光熱水費	308	504	379	351	361	372	484	393	391	493
	建物管理委託費	213	643	643	643	731	726	643	643	643	643
	管理に係るコスト 計	1,025	1,651	1,526	1,498	1,596	1,602	1,632	1,540	1,539	1,640
事業運営 に係る コスト	人件費	19,369	20,971	26,242	12,145	24,176	17,416	12,145	19,369	10,542	19,369
	業務運営等委託費	42	51	61	42	70	51	42	42	33	42
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	2,976	3,216	3,768	1,705	2,401	1,897	1,514	3,192	1,322	2,881
	運営に係るコスト 計	22,388	24,239	30,071	13,892	26,647	19,364	13,700	22,603	11,897	22,292
現金収支を伴うコスト 計		23,413	25,890	31,597	15,390	28,243	20,966	15,332	24,143	13,435	23,932

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	1,463	2,982	1,841	1,506	1,432	1,134	2,077	2,381	1,519	1,909	1,587
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

III. 総括

合計(トータルコスト)	24,876	28,872	33,438	16,896	29,675	22,101	17,409	26,524	14,954	25,841	13,325
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

【収支差額】

収益ーコスト	-14,542	-16,733	-19,416	-10,948	-20,086	-15,751	-12,321	-15,546	-10,422	-15,555	-8,946
--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------

【収益の部】

	住吉	新町	本宿	白糸台	矢崎	若松	小柳	南白糸台	四谷	南町	日新	合計
使用料	4,934	1,782	4,066	2,421	2,101	4,157	3,472	2,969	3,655	2,604	2,878	80,355
その他	4,934	1,978	4,273	2,884	2,124	4,359	3,870	3,245	3,888	14,484	3,313	97,680
収益 計	9,868	3,759	8,339	5,305	4,226	8,516	7,341	6,214	7,542	17,088	6,191	178,035

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	3,502
	施設修繕費	345	345	345	345	345	345	345	345	51,795	345	59,033
	光熱水費	512	375	346	345	270	387	357	361	398	327	8,296
	建物管理委託費	643	695	643	643	643	643	643	643	3,863	643	17,165
	管理に係るコスト 計	1,659	1,573	1,493	1,492	1,417	1,534	1,504	1,508	56,144	1,424	87,995
事業運営 に係る コスト	人件費	15,813	8,940	15,813	13,747	8,940	15,813	13,747	10,542	12,145	13,747	333,677
	業務運営等委託費	42	23	42	51	23	42	51	33	42	51	954
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	2,809	1,154	2,353	1,490	1,322	2,401	2,041	1,777	2,137	1,585	46,992
	運営に係るコスト 計	18,664	10,117	18,208	15,288	10,285	18,256	15,839	12,352	14,324	15,384	381,622
現金収支を伴うコスト 計		20,323	11,690	19,701	16,780	11,702	19,790	17,343	13,861	15,869	71,528	469,618

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	1,854	1,308	1,773	1,190	1,066	1,680	1,810	1,810	1,575	1,308	1,023	36,229
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

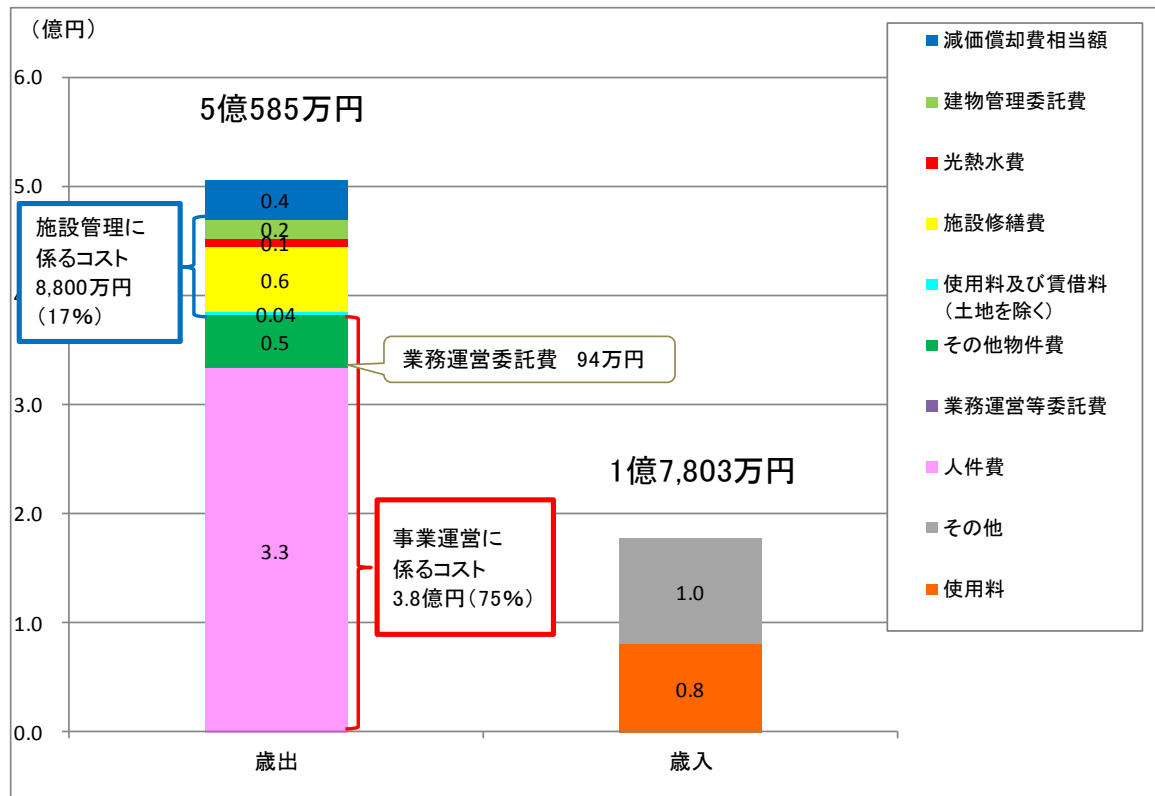
III. 総括

合計(トータルコスト)	22,177	12,998	21,474	17,970	12,768	21,470	19,154	15,671	17,444	72,836	17,974	505,846
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

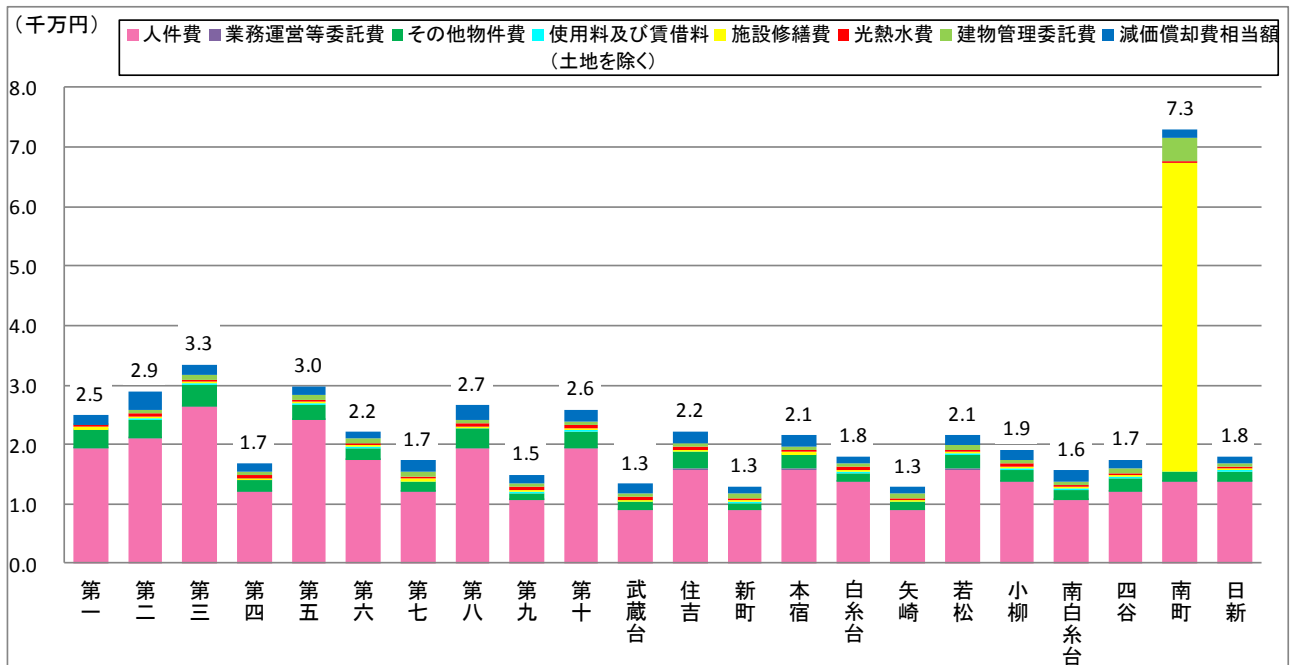
【収支差額】

収益ーコスト	-12,309	-9,239	-13,135	-12,665	-8,542	-12,954	-11,812	-9,457	-9,902	-55,748	-11,784	-327,812
--------	---------	--------	---------	---------	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	----------

【トータルコスト：学童クラブ】



【施設別コスト：学童クラブ】



7-1 福祉施設（特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター、介護予防推進センター、心身障害者福祉センター「きずな」、ふれあい会館）

（1）概要

- ・高齢者福祉施設として、特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター及び介護予防推進センターがあります。
- ・特別養護老人ホームよつや苑及びあさひ苑には、高齢者在宅サービスセンターが併設されており、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、通所介護などに関する事業を行っています。
- ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターは、通所介護などに関する事業を行っています。
- ・介護予防推進センターは、介護予防の教室や講座、研修などを行っています。また、65歳以上の市民の方などが利用できる交流サロン、体操や旅行、福祉、趣味などの書籍がある情報室などがあります。
- ・障害者福祉施設として、心身障害者福祉センター「きずな」があります。心身に障害のある方の社会参加と自立を目指し、子ども発達支援センター事業（あゆの子）、地域生活支援事業（みへな）、作業・生活実習訓練事業（生活介護事業）及び機能訓練事業など様々な事業を実施しています。また、障害者グループ、ボランティアグループ、関係団体などへ施設の貸出や市民への図書の貸出しなども行っています。
- ・地域の福祉活動の拠点施設として、ふれあい会館があり、社会福祉協議会とシルバー人材センターの2つの事務所が設置されています。ふれあい会館の会議室は、福祉活動を目的としている市民及び団体が利用でき、市に登録することにより、無料で利用することができます。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設
								土地	建物		
特別養護老人ホーム よつや苑	H3	1991	22年	4,542㎡	RC造	不要	不要	市	市	指定 管理	よつや苑高齢者在宅 サービスセンター
特別養護老人ホーム あさひ苑	H5	1993	20年	6,627㎡	RC造	不要	不要	都	市	指定 管理	あさひ苑高齢者在宅 サービスセンター
しみずがおか高齢者 在宅サービスセンター	H6	1994	19年	2,898㎡ (建物全体 4,468㎡)	SRC造	不要	不要	市 ※駐車場は 一部民	市	指定 管理	東府中駅南 自転車駐車場
介護予防推進センター	H17	2005	8年	1,838㎡ (建物全体 3,507㎡)	RC造	不要	不要	一部国	市	指定 管理	高倉保育所

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
心身障害者福祉センター 「きずな」	S57	1982	31年	3,585㎡	RC造	不要	不要	一部国	市	指定 管理	

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
ふれあい会館	H2	1990	23年	2,409㎡	RC造 (一部S造)	不要	不要	市 ※駐車場は 一部民	市	指定 管理	

The map shows the area around Maebashi Station (中央駅). Key locations include:

- 特別養護老人ホーム「あさひ苑」** (Special Nursing Home "Asahi-en") located near the Maebashi Senior Citizens' Center (特別養護老人ホーム「よつや苑」).
- 特別養護老人ホーム「よつや苑」** (Special Nursing Home "Yotsuya-en") located near the Maebashi Senior Citizens' Center (特別養護老人ホーム「あさひ苑」).
- 介護予防推進センター** (Nursing Prevention Promotion Center) located near the Maebashi Senior Citizens' Center (特別養護老人ホーム「あさひ苑」).
- 心身障害者福祉センター「きずな」** (Mental and Physical Disability Welfare Center "Kizuna") located near the Maebashi Senior Citizens' Center (特別養護老人ホーム「あさひ苑」).
- 中央自動車道** (Central Expressway) running through the area.
- JR 中央線** (JR Chuo Line) and **JR 有楽町線** (JR Yamanote Line) running through the area.
- 東八道路** (Hachioji Road) running through the area.
- 新小金井街道** (Shin-Koganei Street) running through the area.
- 西武多摩川線** (Seibu Tamagawa Line) running through the area.
- 京王線** (Keio Line) running through the area.
- 多摩川** (Tama River) flowing through the area.

- ・いずれの施設も新耐震基準で建てられた建物です。

【災害別整備施設数】

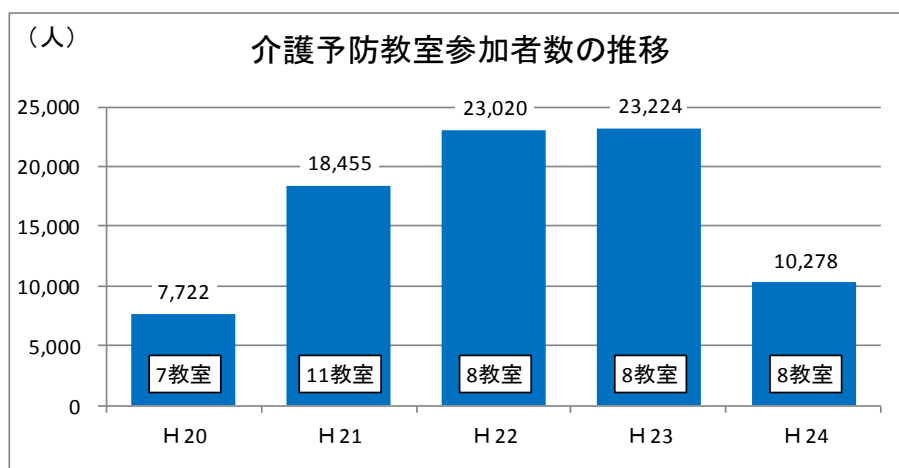
(m²)

新耐震基準
6施設
21,900m²

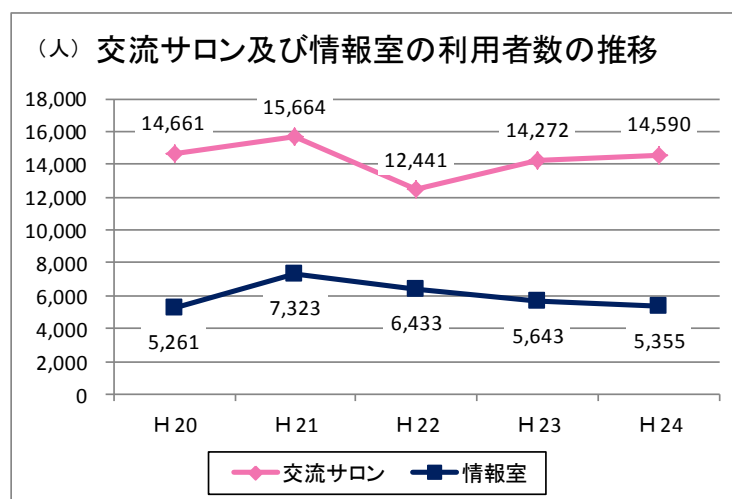
Category	Facility Name	Area (m²)
S 57	心身障害者福祉センター	3,600
H 2	ふれあい会館	2,400
H 3	よつや苑	4,500
H 5	あさひ苑	6,600
H 6	しみずがおか高齢者 在宅サービスセンター	2,900
H 17	介護予防推進センター	1,800

(3) 利用状況

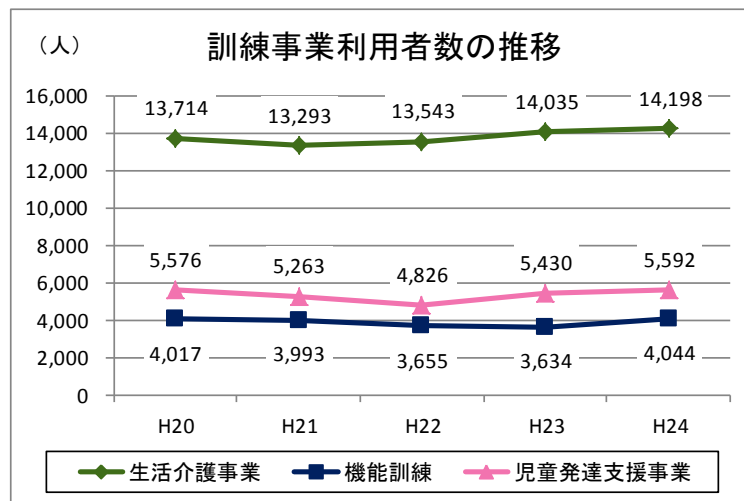
- ・介護予防推進センターでは、筋力向上教室や転倒予防教室などの様々な介護予防教室を実施しています。平成24年度の介護予防教室は8教室あり、参加者数は1万278人でした。
- ・平成22年度及び平成23年度の参加者数が多いのは、1か月教室の参加者数が多かったためです。



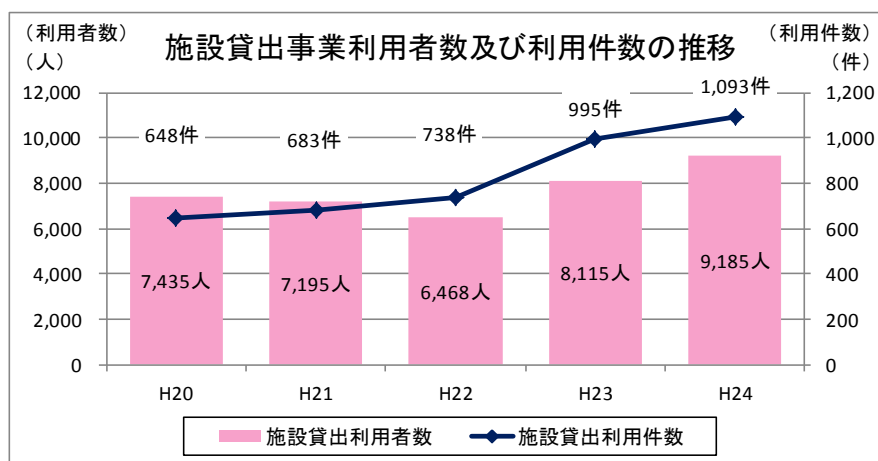
- ・介護予防推進センターの交流サロンの利用者数は1万4,590人で、情報室の利用者数は5,355人でした。
- ・近年の利用状況をみると、交流サロンの参加者数は平成23年度に増加に転じましたが、情報室は減少傾向です。



- ・心身障害者福祉センター「きずな」では、15 歳以上 65 歳未満の身体障害者を対象とした理学療法訓練、作業療法訓練及び言語療法訓練などの機能訓練事業を行っています。利用者数は、生活介護事業が 1 万 4,198 人、機能訓練が 4,617 人、児童発達支援事業が 5,592 人でした。
- ・いずれの訓練事業も、近年の利用者数は横ばいの状況です。



- ・心身障害者福祉センター「きずな」では、障害者グループやボランティアグループ関係団体などへ会議室などの貸出や、身障手帳及び愛の手帳を持っている方へ浴室などの貸出を行っています。施設貸出事業の利用件数は 1,093 件で、利用者数は 9,185 人でした。
- ・施設貸出事業の利用は、利用者数、利用件数ともに増加傾向です。



(4) コスト状況

- ・よつや苑のコストは、特別養護老人ホーム分と高齢者在宅サービスセンター分を合わせて、約6億1,468万円でした。事業運営に係るコスト（約5億8,653万円）のうち、特別養護老人ホーム分は約4億15万円、在宅サービスセンター分は約1億8,637万円です。
- ・あさひ苑のコストは、特別養護老人ホーム分と高齢者在宅サービスセンター分を合わせて、約7億8,136万円でした。事業運営に係るコスト（約7億2,114万円）のうち、特別養護老人ホーム分は約4億9,646万円、在宅サービスセンター分は約2億2,469万円です。
- ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターのコストは、約2億1,320万円でした。施設管理に係るコストが約21万円、事業運営に係るコストが約1億9,503万円、減価償却費が約1,797万円です。
- ・介護予防推進センターのコストは、約1億8,797万円でした。
- ・心身障害者福祉センター「きずな」のトータルコストは、約5億829万円でした。
- ・ふれあい会館のコストは、約2億6,996万円でした。

【施設別コスト一覧表：福祉施設】

【収益の部】

(千円)

	よつや苑	あさひ苑	しみずがおか 高齢者在宅 サービスセンター	介護予防推進 センター	心身障害者 福祉センター 「きずな」	ふれあい会館	合計
使用料	0	0	0	0	0	10,011	10,011
その他	470,884	570,394	141,088	3,654	313,148	0	1,499,167
収益 計	470,884	570,394	141,088	3,654	313,148	10,011	1,509,178

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	0	0	0	0	0	0	0
	施設修繕費	0	19,142	0	0	0	0	19,142
	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0
	建物管理委託費	0	0	207	0	0	0	207
	管理に係るコスト 計	0	19,142	207	0	0	0	19,348
事業運営 に係る コスト	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	業務運営等委託費	586,527	721,142	195,028	176,577	486,065	62,681	2,228,020
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	0	192,345	192,345
	その他物件費	0	0	0	0	0	0	0
	運営に係るコスト 計	586,527	721,142	195,028	176,577	486,065	255,027	2,420,365
	現金収支を伴うコスト 計	586,527	740,284	195,234	176,577	486,065	255,027	2,439,713

II. 現金収支を伴わないもの

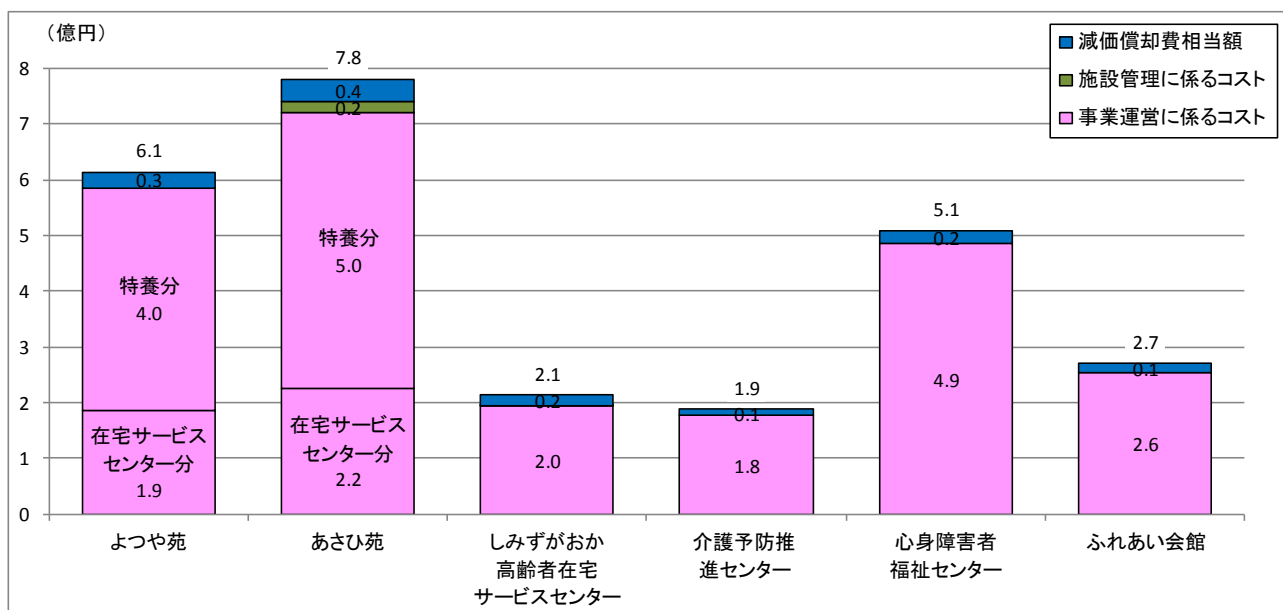
減価償却費相当額	28,155	41,080	17,966	11,397	22,227	14,934	135,760
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

III. 総括

合計(トータルコスト)	614,682	781,364	213,200	187,974	508,292	269,961	2,575,473
-------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------

【収支差額】

収益－コスト	-143,797	-210,970	-72,112	-184,320	-195,144	-259,950	-1,066,295
--------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	------------



7-2 保健センター

(1) 概要

①保健センター

- ・保健センターは、昭和 52 年 10 月に市民の総合健康管理を図るための施設として「医療センター」の名称で開設されました。その後、平成 17 年 3 月に東京都から現在の保健センター分館を購入し、保健衛生の充実を図るとともに、平成 17 年 7 月 1 日から名称を保健センターとしました。
- ・保健センターでは、府中市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て休日夜間の応急診療を実施するほか、20 歳以上の市民を対象とした健康増進事業を行っています。
- ・健康増進事業では、トレーニング室の利用の可否を医師により判定するため、健康度測定を受けることを利用条件としていましたが、健康増進事業の利用を一層促進し、健康の保持や増進のための更なる活用のため、平成 25 年度よりトレーニング室を健康増進室に変更し、利用条件となっていた健康測定は、平成 24 年度をもって廃止しました。
- ・直接実施していた総合健康検査（人間ドック）は、平成 24 年度をもって廃止し、受診料の助成へ事業内容を変更しました。
- ・母子保健室においては、乳幼児、1 歳 6 か月児及び 3 歳児などの健康診査を行っています。また、はじめてのパパママ学級などの母子保健事業の充実を図っています。

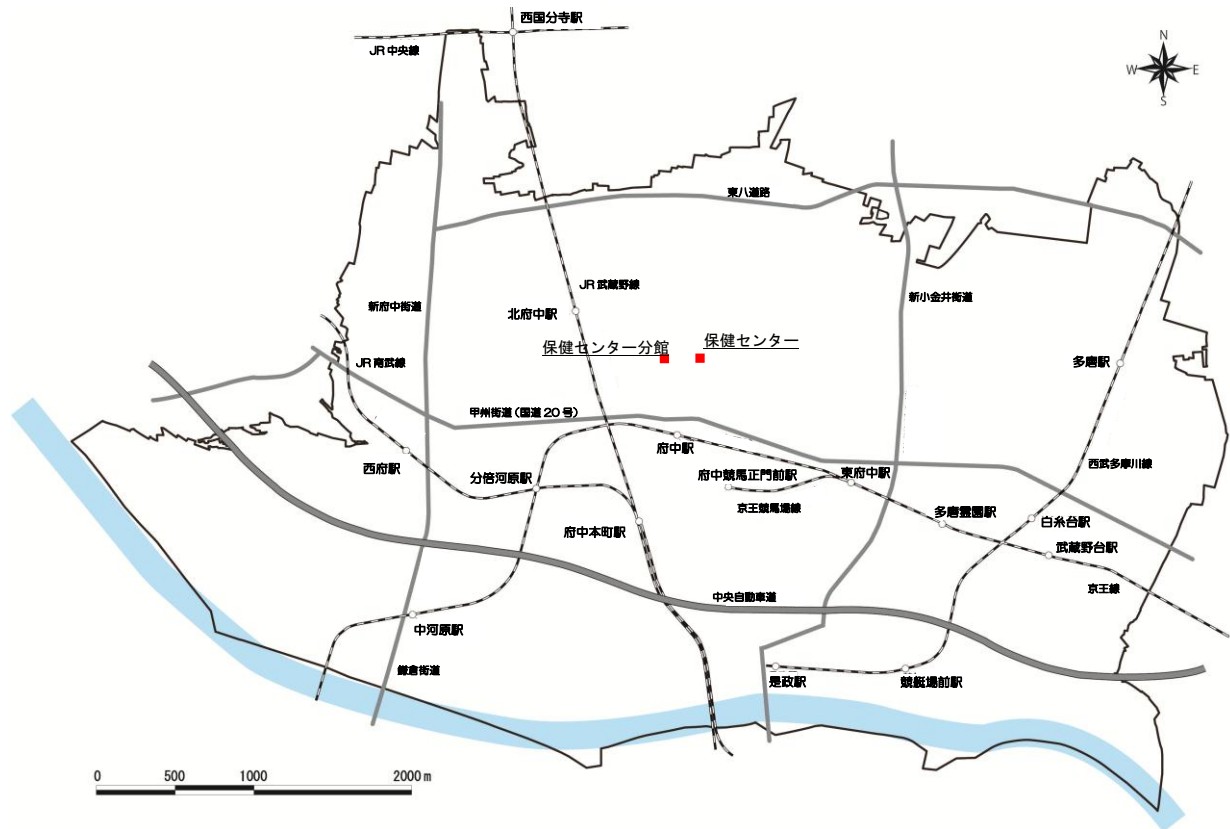
②保健センター分館

- ・保健センター分館は、成人保健事業及び母子保健事業の事務室があり、保健衛生事業の拠点となっています。
- ・保健相談や各種がん検診・骨粗しょう症の検診などを行っています。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	実施事業
								土地	建物		
保健センター	S52	1977	36年	3,685㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	休日・夜間診療、健康増進事業、母子保健事業
保健センター分館	S50	1975	38年	1,978㎡	RC造	実施	実施	市	市	直営	成人保健事業、母子保健事業

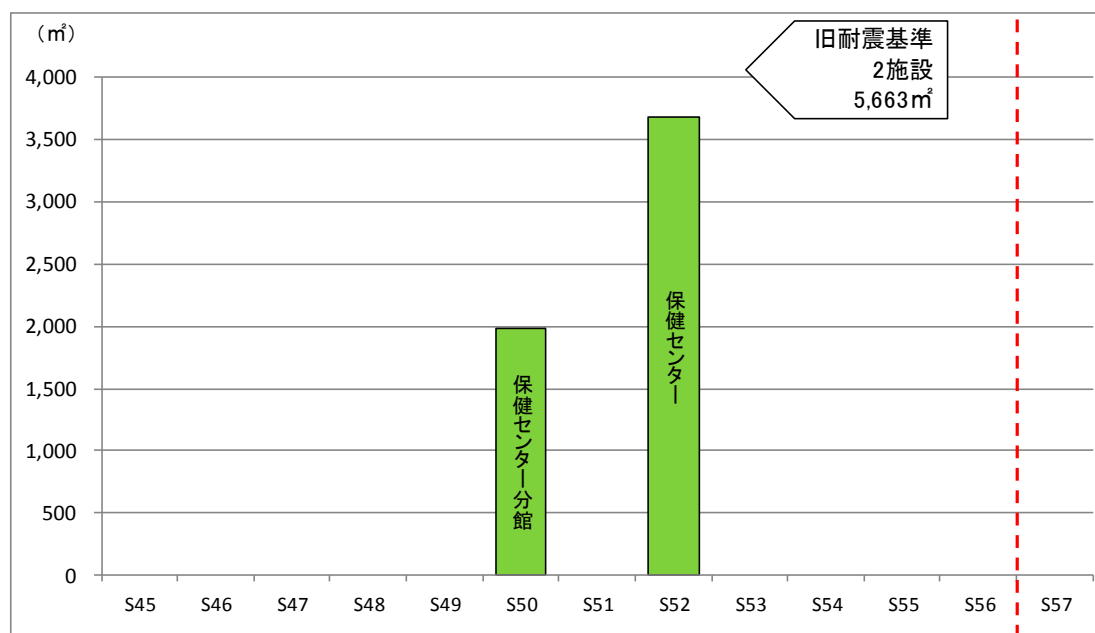
【施設配置図】



(2) 施設状況

- ・保健センターの延床面積は 3,685 m²、保健センター分館の延床面積は 1,978 m²です。
- ・いずれの施設も築 30 年を経過しています。

【築年度別整備状況】



(3) 運営体制

①運営日数及び時間

- ・保健センター及び分館の運営時間は、平日 8:30～17:00 ですが、休日診療、夜間診療及び健康増進室の運営時間については、次のとおりです。

【保健センター及び分館の運営時間等】

休日診療	内科・小児科	日曜日、祝日、年末年始 9:00～11:30、13:00～16:00
	歯科	日曜日、祝日、年末年始 9:30～12:00、13:00～16:30
夜間診療	内科・小児科	毎日 19:30～22:00
トレーニング室※		祝日、年末年始を除く毎日 ①9:00～11:30 ②13:00～15:30 ③16:00～18:30 ④19:00～21:30(火・金曜日のみ)

※平成 25 年度よりトレーニング室は、健康増進室に変更しました。

②利用料金

- ・健康増進事業の使用料は次のとおりです。

【健康増進事業に係る使用料】

	市民	市内勤務者	市外在住者
健康度測定※	2,000円	3,000円	9,000円
トレーニング室(1回)※	300円	400円	900円

※平成 24 年度をもって、健康度測定は廃止になりました。

※平成 25 年度よりトレーニング室は、健康増進室に変更しました。

(4) 利用状況

①休日・夜間診療

- ・休日診療と夜間診療の受診者数の推移をみると、平成 21 年度には、休日及び夜間診療とも医科の受診者数が多くなっていますが、それ以外の年では、ほぼ横ばいの状況です。

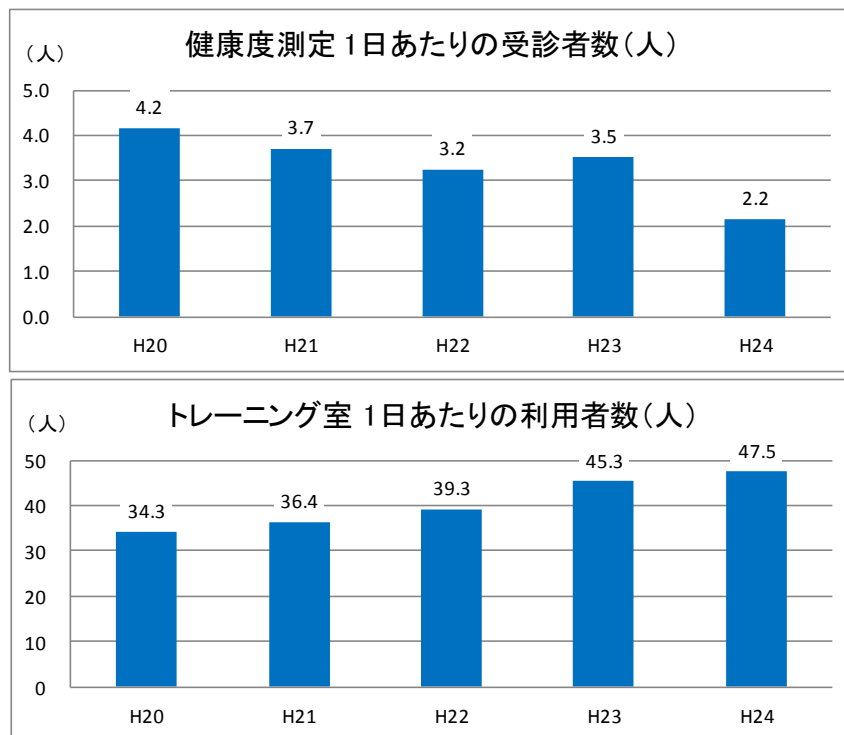
【休日・夜間診療の状況】

年度	休日診療						夜間診療		
	医科			歯科			医科		
	診療日数 (日)	受診者数 (人)	1日あたりの 受診者(人)	診療日数 (日)	受診者数 (人)	1日あたりの 受診者(人)	診療日数 (日)	受診者数 (人)	1日あたりの 受診者(人)
H20	72	5,067	70.4	72	464	6.4	365	4,481	12.3
H21	73	6,790	93.0	73	449	6.2	365	6,640	18.2
H22	72	5,715	79.4	72	462	6.4	365	5,057	13.9
H23	72	5,427	75.4	72	466	6.5	366	4,661	12.7
H24	73	5,603	76.8	73	442	6.1	365	4,550	12.5

②健康増進事業

・保健センターでは、健康増進事業として 20 歳以上の市民を対象に生活習慣病の予防と健康維持のため、健康増進室を利用した運動指導、生活相談・栄養相談を行っています。

・健康増進事業の利用を一層促進し、健康の保持や増進のための更なる活用のため、利用条件となっていた健康度測定を、平成 24 年度をもって廃止し、平成 25 年度からトレーニング室を健康増進室に変更しました。



(5) コスト状況

- ・保健センター（分館含む。）のコストは、約 21 億 2,706 万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約 5,996 万円（3%）、事業運営に係るコストは約 20 億 3,200 万円（96%）、減価償却費相当額は約 3,511 万円（2%）です。
- ・保健センター（分館含む。）の歳入は、約 2 億 8,659 万円で、支出の 13%相当分になります。

【施設別コスト一覧表：保健センター（分館含む。）】

【収益の部】

（千円）

	保健センター(分館含む。)
使用料	35,185
手数料	6,508
その他	244,892
収益 計	286,586

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	5,651
	施設修繕費	10,124
	光熱水費	12,315
	建物管理委託費	31,869
	管理に係るコスト 計	59,959
事業運営に係るコスト	人件費	393,342
	業務運営等委託費	1,566,970
	負担金、補助及び交付金	14,787
	その他物件費	56,899
	運営に係るコスト 計	2,031,997
現金収支を伴うコスト 計		2,091,956

II. 現金収支を伴わないもの

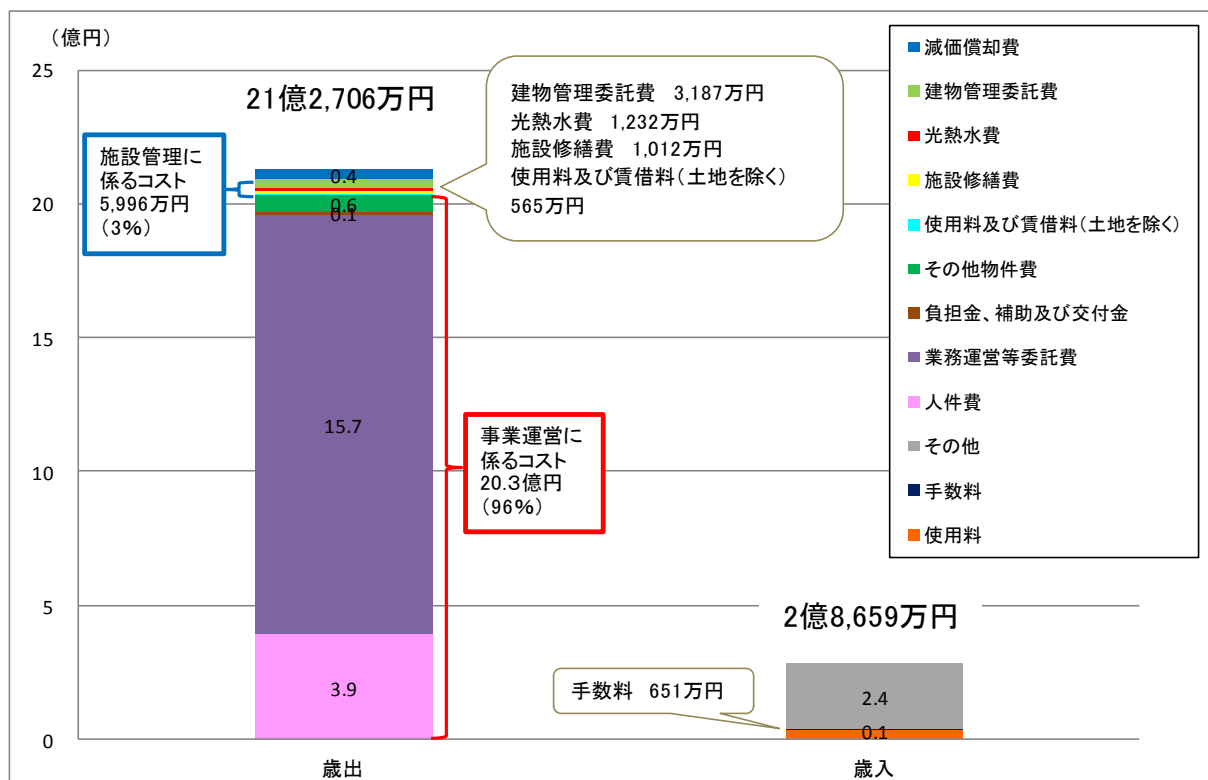
減価償却費相当額	35,108
----------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	2,127,064
-------------	-----------

【収支差額】

収益－コスト	-1,840,478
--------	------------



8 市営住宅

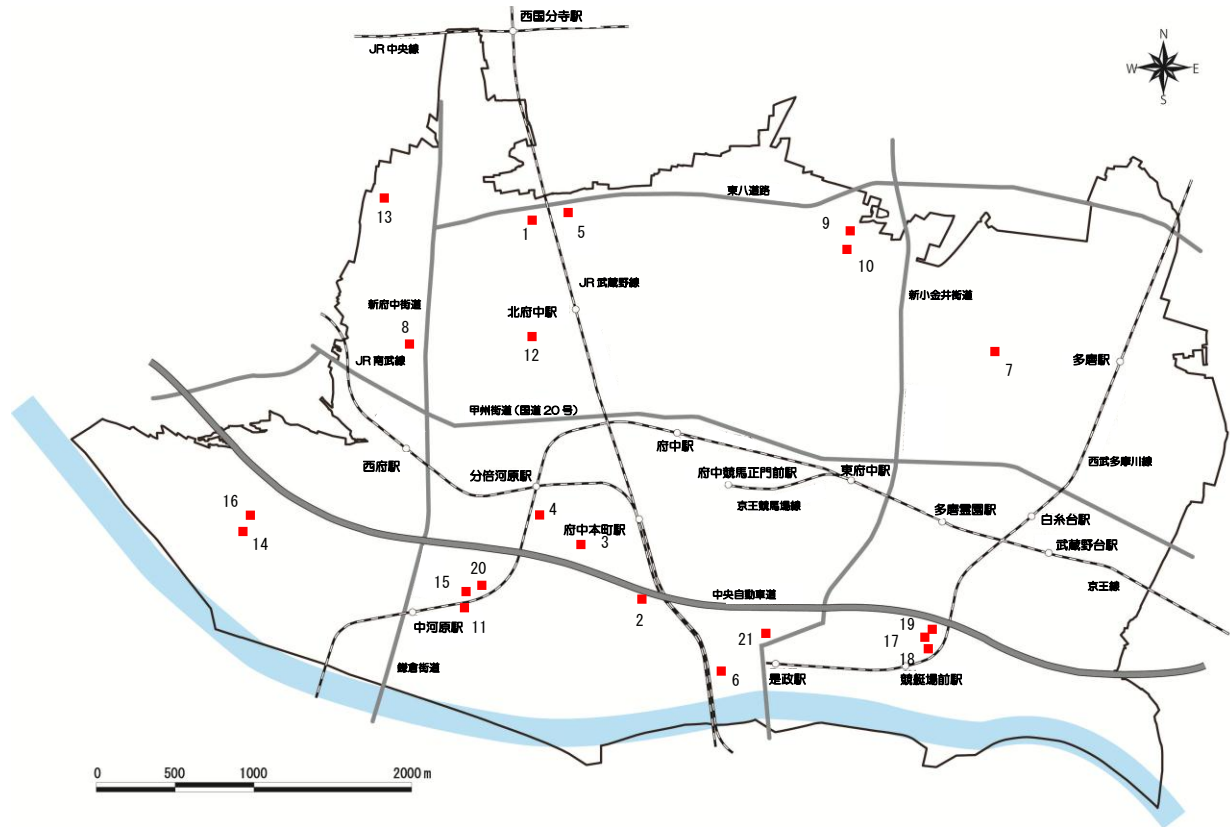
(1) 概要

- ・市民の居住環境の向上と生活の安定を図るため、市営住宅を管理、運営しています。
- ・市営住宅は、全体で21住宅34棟、637戸あります。
- ・市営住宅は、一定の基準を満たす家族向けに整備・供給する住宅です。市営住宅は、一般募集と障害者世帯割当募集に分けて、空きが生じた際に年に1度、入居者を募集しています。応募者が空きの戸数を上回った場合は、抽選により入居者を選定しています。

【施設一覧】

住宅名	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	戸数
								土地	建物		
第一武蔵台住宅	H9	1997	16年	3,861㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	40
第二矢崎町住宅	H2	1990	23年	4,449㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	54
第二の二本町住宅	S41	1966	47年	766㎡	コンクリート ブロック造	非実施	-	市	市	直営	21
第三本町住宅	H5	1993	20年	3,664㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	41
第四栄町住宅	H6	1994	19年	4,080㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	43
第五是政住宅	H7	1995	18年	2,641㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	33
第六若松町住宅	H17	2005	8年	1,638㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	22
第七西府町住宅	H24	2012	1年	1,984㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	30
第八新町住宅	H10	1998	15年	2,353㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	32
第九新町住宅	H11	1999	14年	1,489㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	21
第十南町住宅	H8	1996	17年	2,355㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	27
第十一美好町住宅	H20	2008	5年	2,871㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	40
第十二北山町住宅	H22	2010	3年	2,682㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	36
第十三四谷住宅	H14	2002	11年	3,157㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	43
第十四分梅町住宅	S44	1969	44年	1,112㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	24
第十五四谷住宅	S45	1970	43年	934㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	20
第十六小柳町住宅	S46	1971	42年	1,099㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	24
第十七小柳町住宅	S47	1972	41年	1,099㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	24
第十八小柳町住宅	S48	1973	40年	1,204㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	24
第十九分梅町住宅	S49	1974	39年	1,216㎡	RC造	実施	不要	市	市	直営	24
第二十是政住宅	H1	1989	24年	1,020㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	14

【施設配置図】



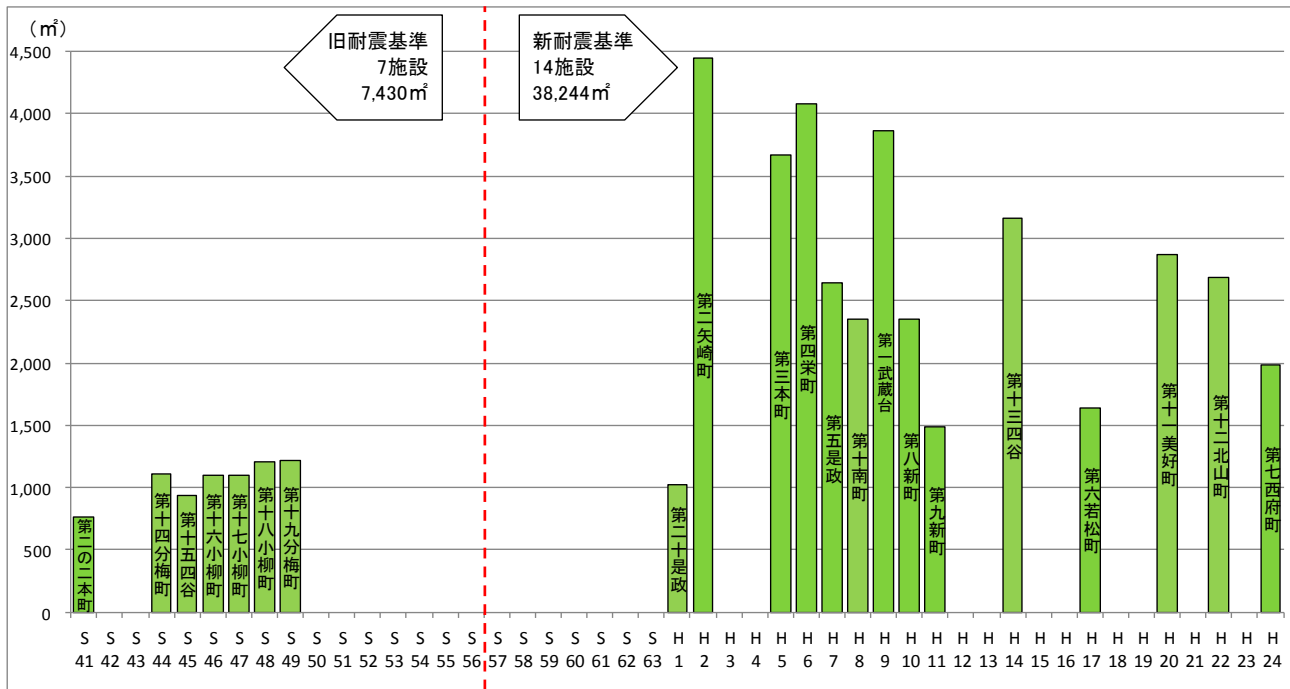
1 第一武蔵台住宅	6 第五是政住宅	11 第十南町住宅	16 第十五四谷住宅	21 第二十是政住宅
2 第二矢崎町住宅	7 第六若松町住宅	12 第十一美好町住宅	17 第十六小柳町住宅	
3 第二の二本町住宅	8 第七西府町住宅	13 第十二北山町住宅	18 第十七小柳町住宅	
4 第三本町住宅	9 第八新町住宅	14 第十三四谷住宅	19 第十八小柳町住宅	
5 第四栄町住宅	10 第九新町住宅	15 第十四分梅町住宅	20 第十九分梅町住宅	

(2) 施設状況

①施設規模

・市営住宅は、全体で 21 住宅 34 棟あり、延床面積は計 4 万 5,674 ㎡です。うち築 30 年以上の建物が 7 住宅 11 棟 161 戸で、延床面積は計 7,430 ㎡となっています。

【築年度別整備状況】



②申込資格

- ・市営住宅の申込資格は概ね次の通りです。
- ・市内に住んでいること（障害者世帯割当は、申込者及び障害者が市内に引き続き3年以上居住していること）。
- ・同居する親族がいること
- ・世帯の所得が所得基準内であること
- ・現に住宅に困っていること
- ・申込時から入居までの間に市税などの滞納がないこと
- ・申込者（同居親族を含む。）が暴力団員でないこと

【所得基準額】

家族数	一般区分	特別区分
2人	0円～2,276,000円	0円～2,948,000円
3人	0円～2,656,000円	0円～3,328,000円
4人	0円～3,036,000円	0円～3,708,000円
5人	0円～3,416,000円	0円～4,088,000円
6人	0円～3,796,000円	0円～4,468,000円
7人	0円～4,176,000円	0円～4,848,000円

（注）特別区分は以下の世帯に適用される

- ①心身障害者を含む世帯
- ②60歳以上の世帯（経過措置あり）
- ③原子爆弾被爆者を含む世帯
- ④海外からの引揚者を含む世帯
- ⑤ハンセン病療養所入所者等を含む世帯
- ⑥小学校就学前の子どもがいる世帯

（3）利用状況

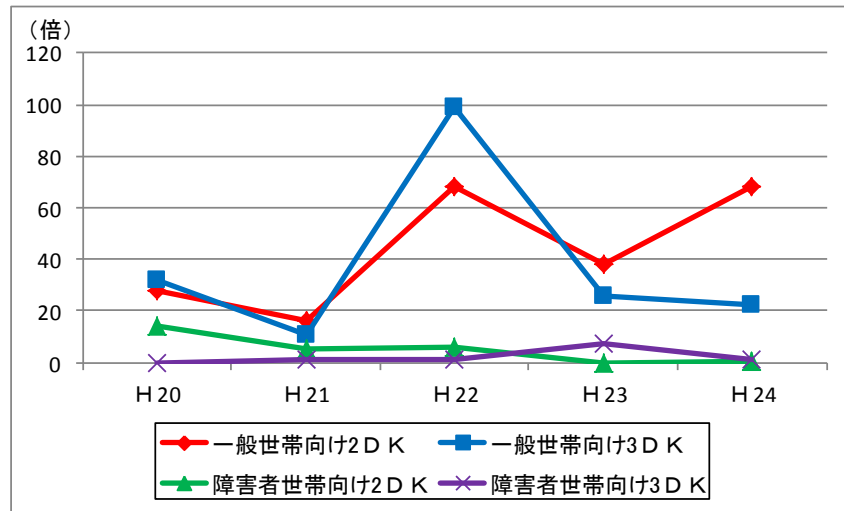
- ・一般世帯向け2DK住宅2戸の募集に対し137人の応募（倍率68.5倍）、3DK住宅5戸の募集に110人の応募（倍率22.0倍）、障害者向け2DK住宅2戸の募集に対し1人の応募（倍率0.5倍）、3DK住宅1戸の募集に1人の応募（倍率1.0倍）がありました。
- ・一般世帯向けの応募倍率は常に高い状況です。平成22年度の3DKの応募倍率は、特に高く99倍でした。既存入居者の居住年数の長期化などの影響により入居が困難な状況となっていますが、限られた管理戸数の中で適切に住宅を提供できるよう努めています。

【市営住宅応募状況の推移】

(戸・人・倍)

	一般世帯向け						障害者世帯向け					
	2DK			3DK			2DK			3DK		
	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率
H20	6	166	27.7	5	161	32.2	1	14	14.0	-	-	-
H21	12	196	16.3	17	182	10.7	1	5	5.0	1	1	1.0
H22	2	137	68.5	1	99	99.0	1	6	6.0	1	1	1.0
H23	4	151	37.8	5	130	26.0	-	-	-	1	7	7.0
H24	2	137	68.5	5	110	22.0	2	1	0.5	1	1	1.0

【市営住宅応募倍率の推移】



・新築住宅の応募倍率は、平成24年度の一般世帯向け住宅の倍率が特に高く、2DKが126.0倍、3DKが40.0倍でした。

【新築住宅の応募倍率の状況】

(戸・人・倍)

	一般世帯向け								
	1DK			2DK			3DK		
	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率
H20	3	110	36.7	8	238	29.8	4	127	31.8
H21	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H22	12	117	9.8	7	153	21.9	3	93	31.0
H23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H24	6	110	18.3	1	126	126.0	2	80	40.0

(戸・人・倍)

	障害者世帯向け											
	2DK			3DK			車いす2DK			車いす3DK		
	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率	募集戸数	応募人数	応募倍率
H20	1	15	15.0	1	8	8.0	1	6	6.0	1	1	1.0
H21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H22	1	6	6.0	1	5	5.0	1	3	3.0	1	1	1.0
H23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H24	1	11	11.0	1	3	3.0	1	1	1.0	1	1	1.0

(4) コスト状況

- ・市営住宅 21 施設のコストの合計は、約 7 億 9,831 万円でした。そのうち、施設管理に係るコスト（修繕費等）は約 4 億 7,997 万円（60%）、事業運営に係るコスト（職員人件費、その他物件費等）は約 3,518 万円（4%）、減価償却費相当額は約 2 億 8,315 万円（35%）です。
- ・市営住宅の歳入（使用料収入）の合計は、約 2 億 5,782 万円で、1 施設当たり平均約 1,230 万円です。
- ・施設別のコストでは、改築した第七西府町住宅（約 4 億 1,270 万円）と第十三四谷住宅（約 7,355 万円）が高く、それ以外の市営住宅のコストは、約 800 万円から約 3,000 万円となっています。

【施設別コスト一覧表：市営住宅】

【収益の部】

	第一 武蔵台	第二 矢崎町	第二の二 本町	第三 本町	第四 栄町	第五 是政	第六 若松町	第七 西府町	第八 新町	第九 新町	第十 南町
使用料	26,240	28,807	3,439	20,859	22,326	15,001	11,007	61	16,602	9,802	13,835
その他	0	0	0	0	0	0	3,502	0	0	0	0
収益 計	26,240	28,807	3,439	20,859	22,326	15,001	14,509	61	16,602	9,802	13,835

(千円)

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	31	31	31	31	31	31	0	31	31	31	
	施設修繕費	229	1,015	371	1,196	1,440	855	990	387,963	200	184	8,074
	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	建物管理委託費	838	870	98	1,320	1,511	500	0	10,840	726	726	143
	管理に係るコスト 計	1,098	1,915	500	2,548	2,982	1,386	1,021	398,802	958	942	8,249
事業運営に係る コスト	人件費	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602
	業務運営等委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	82	106	70	94	94	82	70	0	82	70	70
	運営に係るコスト 計	1,684	1,708	1,672	1,696	1,696	1,684	1,672	1,602	1,684	1,672	1,672
現金収支を伴うコスト 計		2,782	3,623	2,171	4,243	4,678	3,070	2,693	400,404	2,641	2,614	9,921

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	23,938	27,583	4,749	22,715	25,290	16,375	10,155	12,298	14,587	9,231	14,601
----------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	26,720	31,206	6,921	26,959	29,968	19,445	12,848	412,701	17,228	11,845	24,522
-------------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------

【収支差額】

収益－コスト	-480	-2,399	-3,482	-6,100	-7,642	-4,444	1,661	-412,640	-626	-2,042	-10,686
--------	------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	----------	------	--------	---------

【収益の部】

	第十一 美好町	第十二 北山町	第十三 四谷	第十四 分梅町	第十五 四谷	第十六 小柳町	第十七 小柳町	第十八 小柳町	第十九 分梅町	第二十 是政	合計
使用料	17,794	11,993	21,777	5,126	3,970	5,373	5,984	5,678	6,135	6,009	257,819
その他	13,729	8,023	3,619	0	0	0	0	0	0	0	28,873
収益 計	31,523	20,016	25,396	5,126	3,970	5,373	5,984	5,678	6,135	6,009	286,692

(千円)

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係る コスト	使用料及び賃借料 (土地を除く)	31	31	31	31	31	31	31	31	0	594	
	施設修繕費	273	111	50,914	1,401	228	273	230	166	544	129	456,786
	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物管理委託費	1,340	1,340	1,340	143	143	143	143	143	143	143	22,594
	管理に係るコスト 計	1,645	1,482	52,286	1,575	402	448	405	341	719	273	479,975
事業運営に係る コスト	人件費	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	1,602	33,635
	業務運営等委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	82	82	94	70	58	70	70	70	70	57	1,546
	運営に係るコスト 計	1,684	1,684	1,696	1,672	1,660	1,672	1,672	1,672	1,672	1,659	35,181
現金収支を伴うコスト 計		3,328	3,166	53,982	3,247	2,062	2,120	2,076	2,012	2,390	1,932	515,155

II. 現金収支を伴わないもの

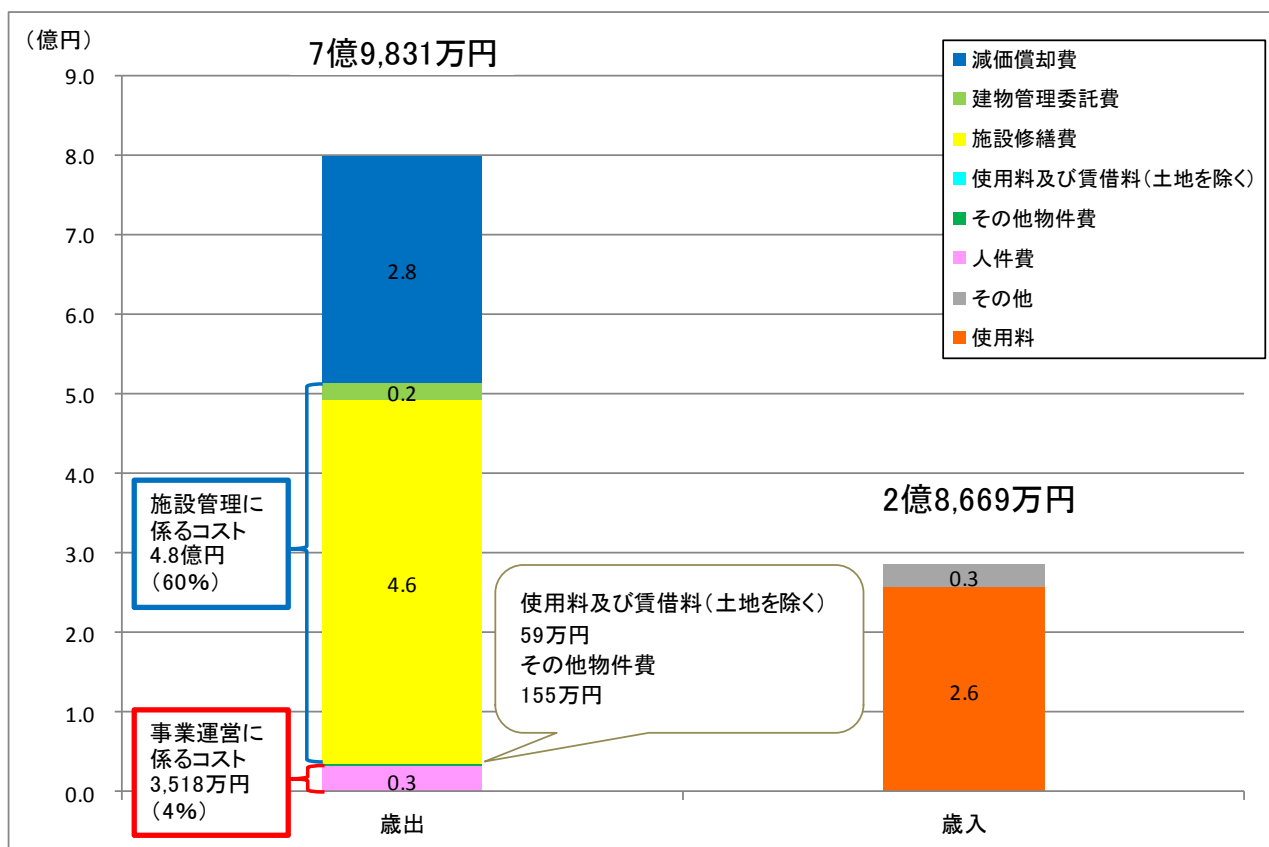
減価償却費相当額	17,799	16,627	19,571	6,893	5,792	6,811	6,811	7,467	7,539	6,323	283,155
----------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

III. 総括

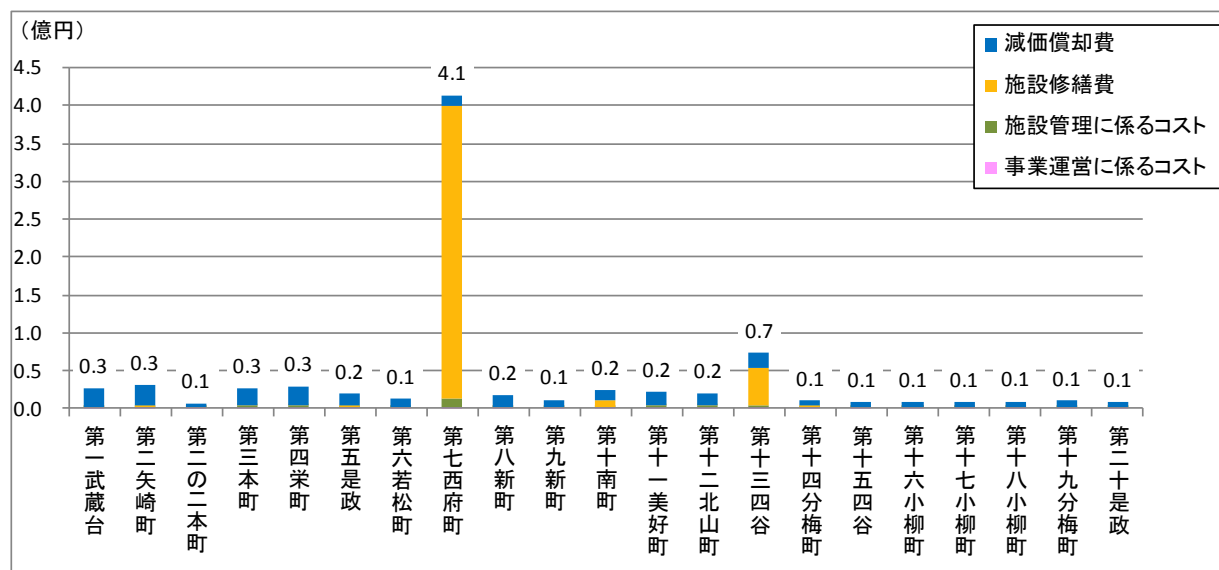
合計(トータルコスト)	21,127	19,793	73,553	10,140	7,853	8,931	8,888	9,479	9,930	8,254	798,310
-------------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

【収支差額】

収益－コスト	10,396	224	-48,156	-5,014	-3,884	-3,558	-2,903	-3,801	-3,795	-2,245	-511,618
--------	--------	-----	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------



【施設別コスト：市営住宅】



9 宿泊施設（市民保養所「やちほ」、ハケ岳府中山荘）

（1）概要

- ・市外に宿泊施設を2か所設置しています。
- ・市民保養所やちほは、市民に休養の場を提供し、健康の増進を図る目的で設置されています。やちほの近くにはスキー場があるほか、テニスコートも備えています。
- ・ハケ岳府中山荘は、市立学校の教育活動や教育の振興等を図る目的で設置されています。近くには森があるほか、牧場、ゴルフ場、テニスコート、スキー場などがあり、ハイキングやスポーツなどが楽しめます。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	所在地
								土地	建物		
市民保養所やちほ	S60	1985	28年	2,443㎡	RC造	不要	不要	国	市	指定 管理	長野県南佐久郡佐久穂町 大字八郡2049の150
ハケ岳府中山荘	S46	1971	42年	4,501㎡	RC造	不要	不要	山梨県	市	直営	山梨県北杜市高根町 大字清里字念場原3545の1

市民保養所やちほ	客室(和室12室、洋室1室)、浴室(展望風呂、貸切風呂)、食堂、交流広場
ハケ岳府中山荘	客室(和室39室、洋室1室)、浴場、食堂、自炊用厨房、会議室、集会室

【施設配置図】



(2) 使用料（利用料金）と利用状況

①使用料（利用料金）

- ・宿泊などに必要な料金は、次のとおりです。

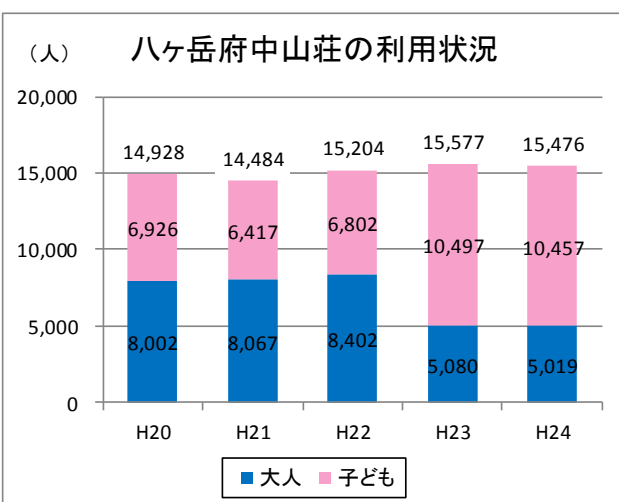
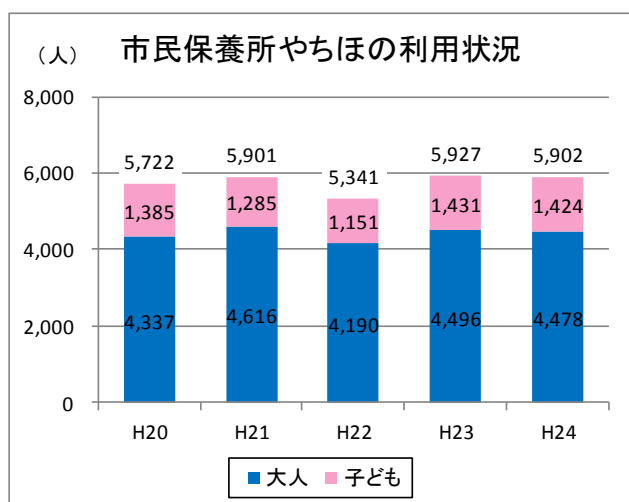
やちほの 利用 料金	利用区分	宿泊料金（１人１泊食事料金を除く）			休憩料金
	市民 姉妹都市住民 友好都市住民 市内在勤者及びその同居家族	大人 （中学生以上）	１室を２名以上で使用する場合	3,000円	200円
			１室を１名以上で使用する場合	5,500円	200円
		子ども（３歳以上小学生以下）			1,500円
	その他上記以外の方	大人 （中学生以上）	１室を２名以上で使用する場合	5,000円	600円
			１室を１名以上で使用する場合	7,500円	600円
子ども（３歳以上小学生以下）			2,500円	300円	

ハケ岳府中山荘の 利用 料金	利用区分	宿泊料金（１人１泊食事料金を除く）			休憩料金
	市民 姉妹都市住民 友好都市住民	大人 （中学生以上）	１室を２名以上で使用する場合	800円	100円
			１室を１名以上で使用する場合	1,200円	100円
		子ども（３歳以上小学生以下）			400円
	市内在勤者及びその同居家族	大人 （中学生以上）	１室を２名以上で使用する場合	1,200円	200円
			１室を１名以上で使用する場合	1,800円	200円
		子ども（３歳以上小学生以下）			600円
	その他上記以外の方	大人 （中学生以上）	１室を２名以上で使用する場合	3,000円	400円
１室を１名以上で使用する場合			4,500円	400円	
子ども（３歳以上小学生以下）			1,500円	200円	

②利用状況

- ・やちほの利用者数は、大人4,478人、子ども1,424人の、合計5,902人でした。利用者の大きな増減はありません。

- ・ハケ岳府中山荘の利用者数は、大人5,019人、子ども1万457人の、合計1万5,476人でした。平成23年度より全ての市立小学校で4泊5日のセカンドスクールを実施しているため、子どもの利用者数が多くなっています。



(3) コスト状況

- ・市民保養所やちほのコストは、約 7,516 万円でした。そのうち、約 5,200 万円を指定管理料が占めます。指定管理料の中には、光熱水費や建物管理委託費等を含んでいます。
- ・市民保養所やちほは利用料金制のため、施設使用料は指定管理者の収入となっており、収益の部の使用料には表れていません。
- ・八ヶ岳府中山荘のコストは、約 9,199 万円でした。そのうち、建物管理委託費が約 1,784 万円を占めます。

【施設別コスト一覧表：宿泊施設】

【収益の部】

	市民保養所やちほ	八ヶ岳府中山荘	合計
使用料	0	4,579	4,579
その他	0	0	0
収益 計	0	4,579	4,579

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	1,264	3,737	5,001
	施設修繕費	3,571	4,400	7,971
	光熱水費	0	6,813	6,813
	建物管理委託費	0	17,837	17,837
	管理に係るコスト 計	4,835	32,787	37,623
事業運営 に係る コスト	人件費	2,899	7,224	10,123
	業務運営等委託費	52,000	13,821	65,821
	負担金、補助及び交付金	0	40	40
	その他物件費	297	10,217	10,514
	運営に係るコスト 計	55,196	31,302	86,498
現金収支を伴うコスト 計		60,031	64,089	124,120

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	15,145	27,903	43,048
----------	--------	--------	--------

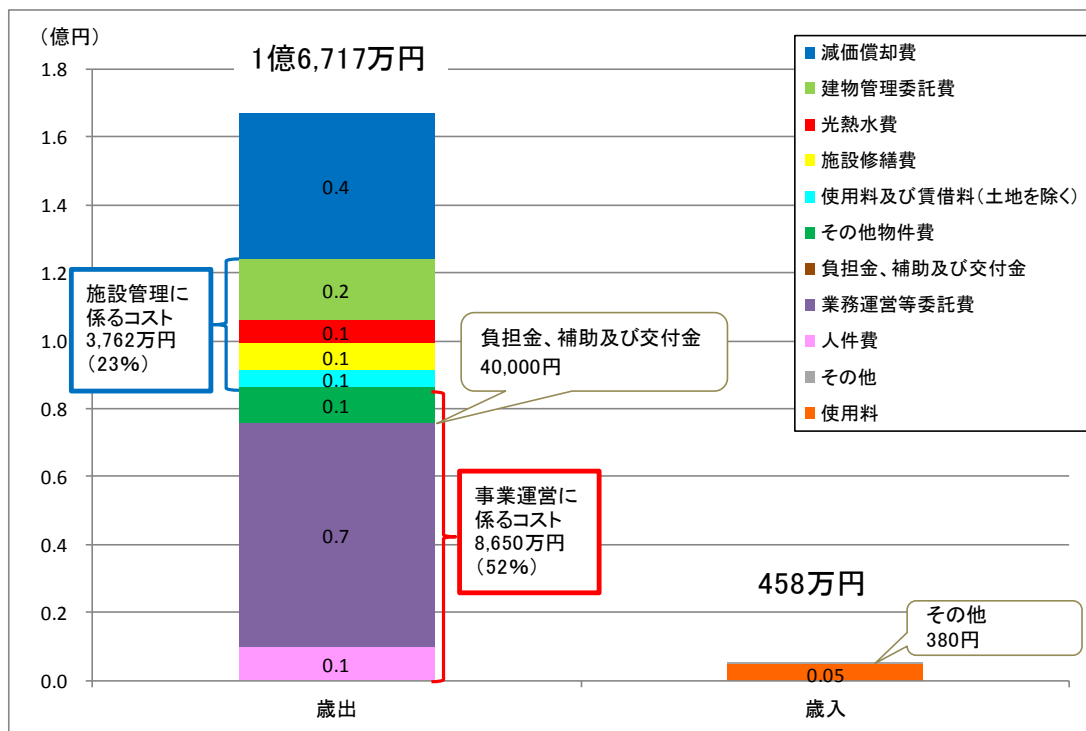
III. 総括

合計(トータルコスト)	75,176	91,992	167,168
-------------	--------	--------	---------

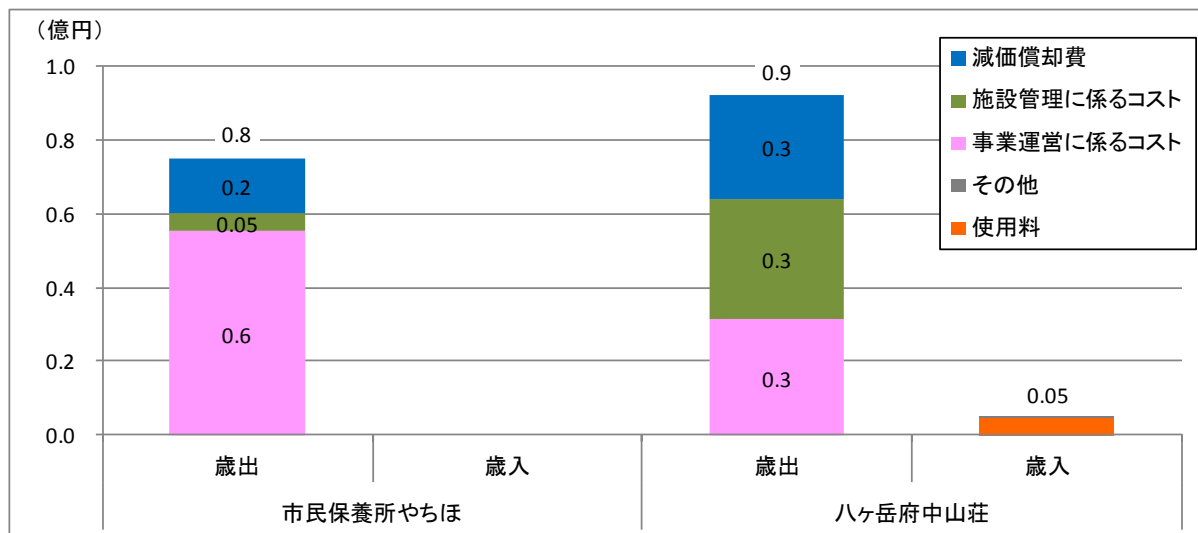
【収支差額】

収益－コスト	-75,176	-87,413	-162,589
--------	---------	---------	----------

【トータルコスト；宿泊施設】



【施設別コスト：宿泊施設】



10-1 庁舎（本庁舎、府中駅北第2庁舎）

（1）概要

- ・市庁舎には、本庁舎（市役所）と府中駅北第2庁舎があります。
- ・本庁舎には、西庁舎、東庁舎及び北庁舎とそれぞれ建築年度が異なる棟があります。
- ・府中駅北第2庁舎には、各種窓口のほか、国際交流サロンや工業技術情報センターなどの市民利用施設があります。また、府中駅北自転車駐車場を併設しています。
- ・工業技術センターは、市内中小企業の振興を図ることを目的とし、専門相談員による技術相談や技術講習会などの開催を行っています。
- ・国際交流サロンは、市内の外国人を支援するための拠点施設であり、支援・交流の場でもあるコミュニティ施設です。

	国際交流サロン	工業技術情報センター
設置目的・ 根拠法	市内在住の外国人が暮らしやすい地域づくりを目指し、市民自らが主体となって進める支援・交流の拠点 【府中市国際交流サロンの管理及び運営に関する要綱】	市内中小企業の製品開発や、技術革新を助長するとともに、製造技術の向上と販路開拓を支援し、もって市内中小企業の振興を図るため 【府中市工業技術情報センターの管理及び業務に関する要綱】
事業内容	・日本語学習会、児童学習支援の開催 ・文化交流、講演会等の開催 ・外国人向けの情報提供、日常生活のアドバイス・相談	・専門の技術相談員による技術情報相談・情報提供 ・特許の先行調査・取得支援、技術講習会の開催
所管	市民協働推進本部 市民活動支援課	生活環境部 経済観光課

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積 (共用部除く)	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
本庁舎	S34	1959	54年	20,971㎡	RC造	実施	建替	市	市	直営	
府中駅第2庁舎	H3	1991	22年	6,711㎡ (建物全体 9,362㎡)	S造	不要	不要	市	市	直営	国際交流サロン、工業技術情報センター、府中駅北自転車駐車場を併設

【施設配置図】

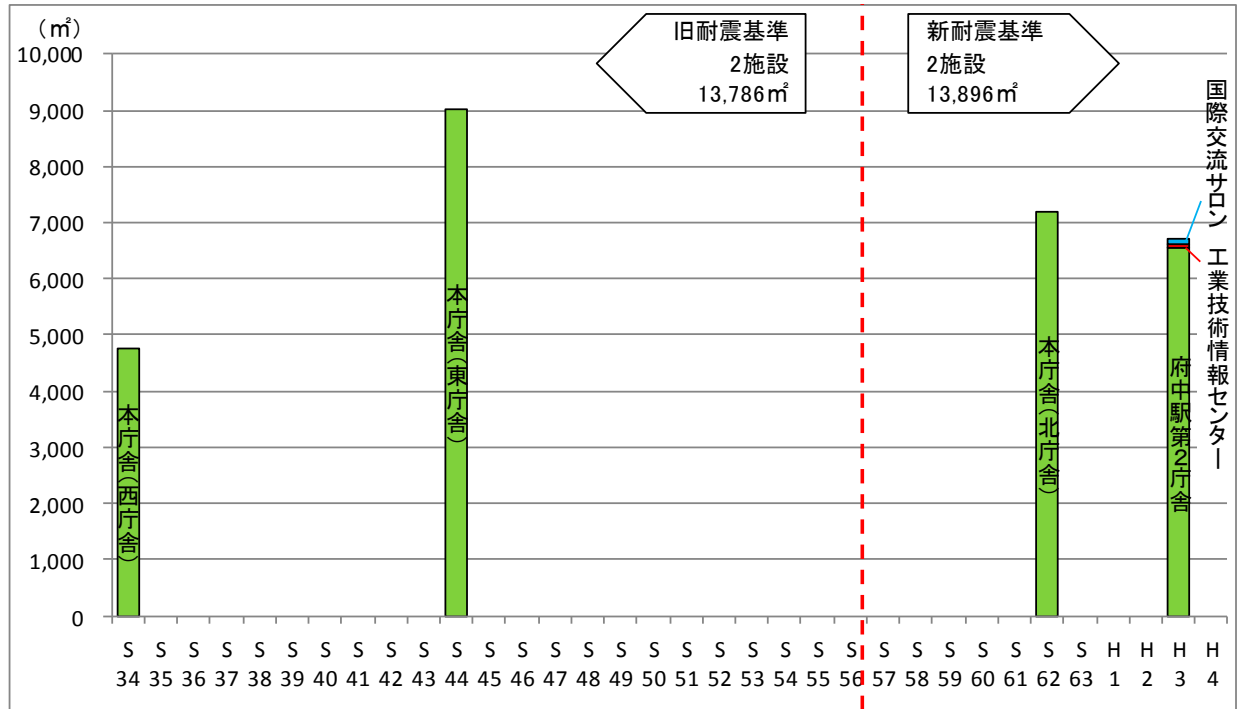


(2) 施設状況

①施設規模

- ・本庁舎は、西庁舎が昭和 34 年度、東庁舎が昭和 44 年度に建設の旧耐震基準の建物のため、耐震性の確保が喫緊の課題となっています。また、それぞれ建築後 50 年、40 年経過し、老朽化への対応という課題も抱えています。なお、北庁舎は昭和 62 年度に建てられ、耐震性能を有しています。延床面積は全体で、2 万 971 m^2 になります。
- ・府中駅北第 2 庁舎は、平成 3 年度に建てられた、約 9,362 m^2 の建物です。行政系施設として利用されている部分は 6,711 m^2 で、そのうち、国際交流サロン部分は 102 m^2 、工業技術情報センター部分は 69 m^2 です。
- ・国際交流サロンには、外国人向け情報紙などの閲覧コーナー、談話スペースがあり、また小さな子どもを持つ外国人でも日本語学習会に参加できるように、託児室を併設しています。
- ・耐震化や老朽化、庁舎機能の分散化などの課題に対応するため、現在新庁舎建設の検討が進められています。

【築年度別整備状況】



【庁舎図（※行政系機能のみ記載）】

東庁舎									
府中駅北 第2庁舎			8階	教育長室 教育部 総務課 学務保健課 指導室 教育委員会事務局 選挙管理委員会事務局	7階	都市整備部 公園緑地課 管理課 計画課 土木課			
7階	生活環境部 環境政策課 環境保全活動センター 都市整備部 地区整備課		7階						
6階			6階	福祉保健部 生活支援課 行政管理部 建築施設課	政策総務部 政策課 庁舎建設担当	生活環境部 地域安全対策課 ごみ減量推進課	北庁舎		
5階	都市整備部 下水道課		5階	市民部 保険年金課	子ども家庭部 子育て支援課 保育支援課	児童青少年課	食堂 売店 会議室		
4階	文化スポーツ部 文化振興課 生涯学習スポーツ課		4階	政策総務部 総務管理課 職員課	生活環境部 住宅勤務課 経済観光課 農業委員会事務局	市民協働推進本部 市民活動支援課	行政管理部 情報システム課		
3階	府中国際交流サロン 工業技術情報センター 第1～4会議室		西庁舎						
2階			政策総務部 財政課 市政情報公開室	福祉保健部 高齢者 支援課分室	議員会議室 第1～4 委員会室	市長室 副市長室	政策総務部 政策課 秘書課	連絡 通路	第1～6 会議室
1階			政策総務部 広報課 記者クラブ室 監査事務局	常勤監査委員室 議場 議長室 副議長室	議会議務局 庶務課 議事課 入札室	市民部 市民税課 資産税課 納税課	行政管理部 財産活用課 土地開発公社 契約課	駐車場	
			市民談話室 政策総務部 市民相談室	福祉保健部 地域福祉推進課 高齢者支援課 障害者福祉課		会計管理者 出納課	市民部 総合窓口課	連絡 通路	駐車場

※平成 26 年 4 月 1 日時点の配置です。

(3) 運営体制

・本庁舎、府中駅北第2庁舎の開庁時間は、月～金曜日の8:30～17:00です。本庁舎の一部窓口は、第2・4土曜日も開庁しており、開庁時間は、8:30～12:00です。土曜日の取扱業務は住民票の写しの交付、印鑑登録、税関係証明書の交付のほか、市税及び国民健康保険税の収納（現年度分）など一部のみで、全て1階総合窓口課、または出納課の窓口で受け付けています。

・国際交流サロンの運営時間は、月～木曜日は9:00～17:00、金曜日は9:00～21:00です。再任用職員1名、臨時職員1名で運営しています。運営日数は、242日でした。

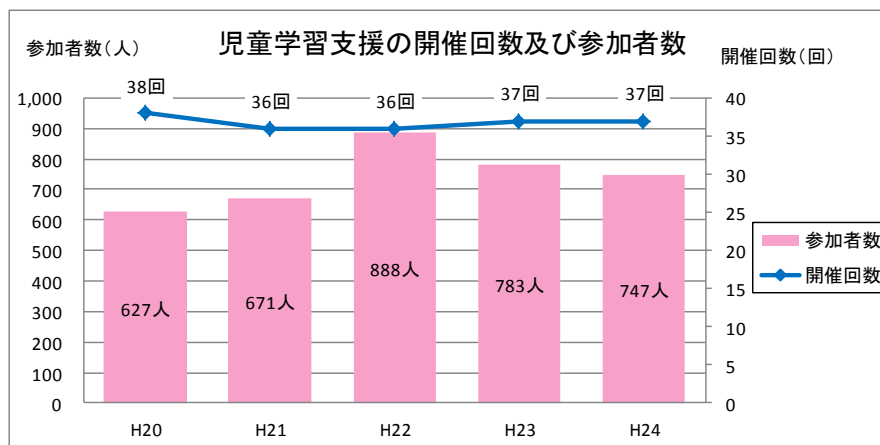
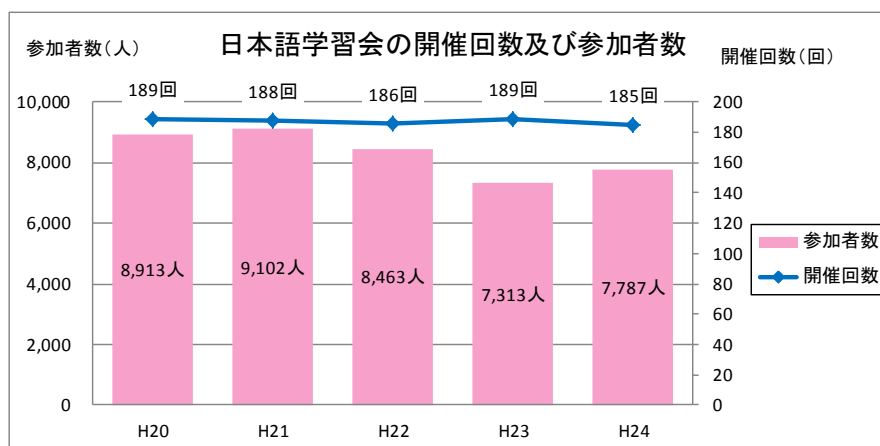
・工業技術情報センターの運営時間は、月～金曜日の9:00～12:00、13:00～17:00です。工業技術情報センターは、嘱託職員3名で運営しています。運営日数は、245日でした。

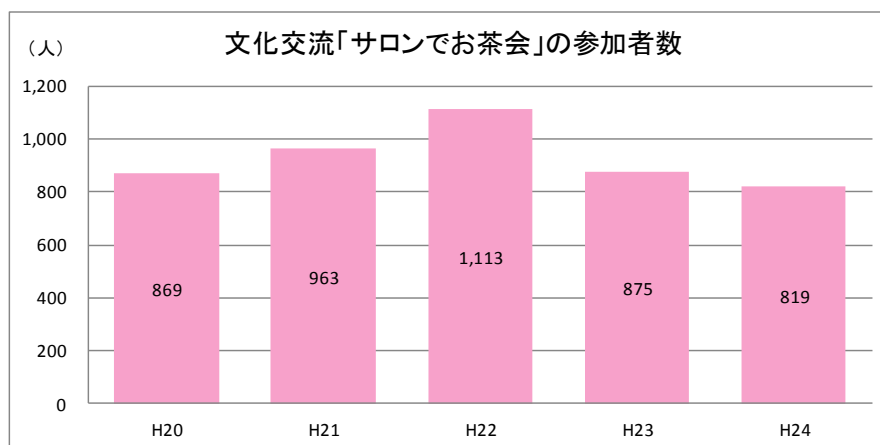
(4) 利用状況

①国際交流サロン

・市内在住の外国人を対象とした市民ボランティアによる日本語学習会や、日常の日本語会話能力が十分ではない児童・生徒を対象に学校の教科の補習をする児童学習支援、外国や日本の文化を体験しながら交流する、「サロンでお茶会」などが開催されています。

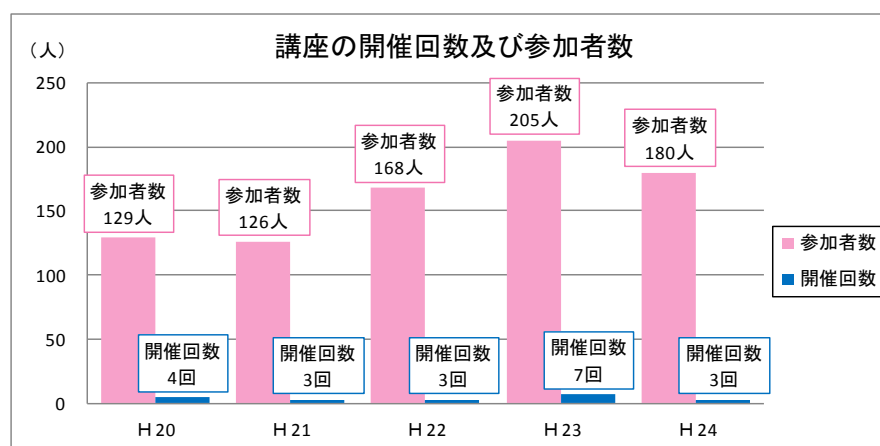
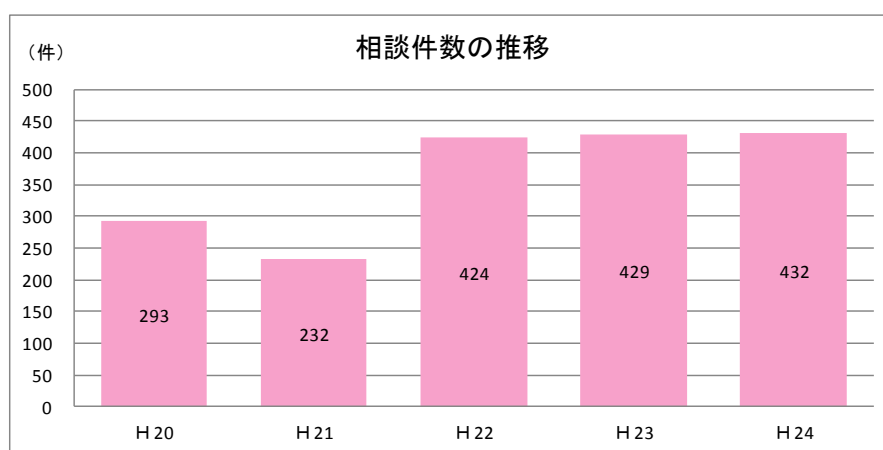
・いずれの事業も、最近5年間では参加者数が横ばい、もしくは減少傾向となっています。





②工業技術情報センター

- ・ 中小企業の製品開発や技術革新を支援するため、専門の相談員による技術相談や、技術情報の提供及び技術講習会を行っています。
- ・ 相談件数及び講座への参加者数とも、平成 22 年度に増加しています。また、相談件数は、平成 22 年以降ほぼ同じ件数で推移しています。



(5) コスト状況

・本庁舎のコスト（庁舎の運営管理に要する部分）は、約4億1,359万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約4,593万円（11%）、施設管理に係るコストが約2億3,767万円（57%）、減価償却費相当額が約1億3,000万円（31%）です。

・府中駅北第2庁舎のコスト（庁舎の運営管理に要する部分）は、約8,748万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約725万円（8%）、施設管理に係るコストが約3,863万円（44%）、減価償却費相当額が約4,160万円（48%）です。

・国際交流サロンのコストは、約670万円でした。そのうち、人件費が約451万円、業務運営等の委託費が約156万円で、全て事業運営に係るコストです。

・工業技術情報センターのコストのうち、事業運営に係るコストが約1,260万円（95%）、施設にかかるコストが約59万円（5%）でした。

【施設別コスト一覧表：本庁舎、府中駅北第2庁舎】

【収益の部】

（千円）

	本庁舎	府中駅北第2庁舎	合計
使用料	668	15	683
その他	21,240	8,691	29,931
収益 計	21,908	8,706	30,615

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料（土地を除く）	32,520	0	32,520
	施設修繕費	39,923	1,877	41,800
	光熱水費	57,249	9,156	66,404
	建物管理委託費	107,974	27,593	135,567
	管理に係るコスト 計	237,666	38,626	276,292
事業運営 に係る コスト	人件費	5,057	3,612	8,669
	業務運営等委託費	12,225	1,810	14,036
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	その他物件費	28,643	1,827	30,470
	運営に係るコスト 計	17,282	7,250	24,532
現金収支を伴うコスト 計		254,948	45,876	300,824

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	130,004	41,601	171,605
----------	---------	--------	---------

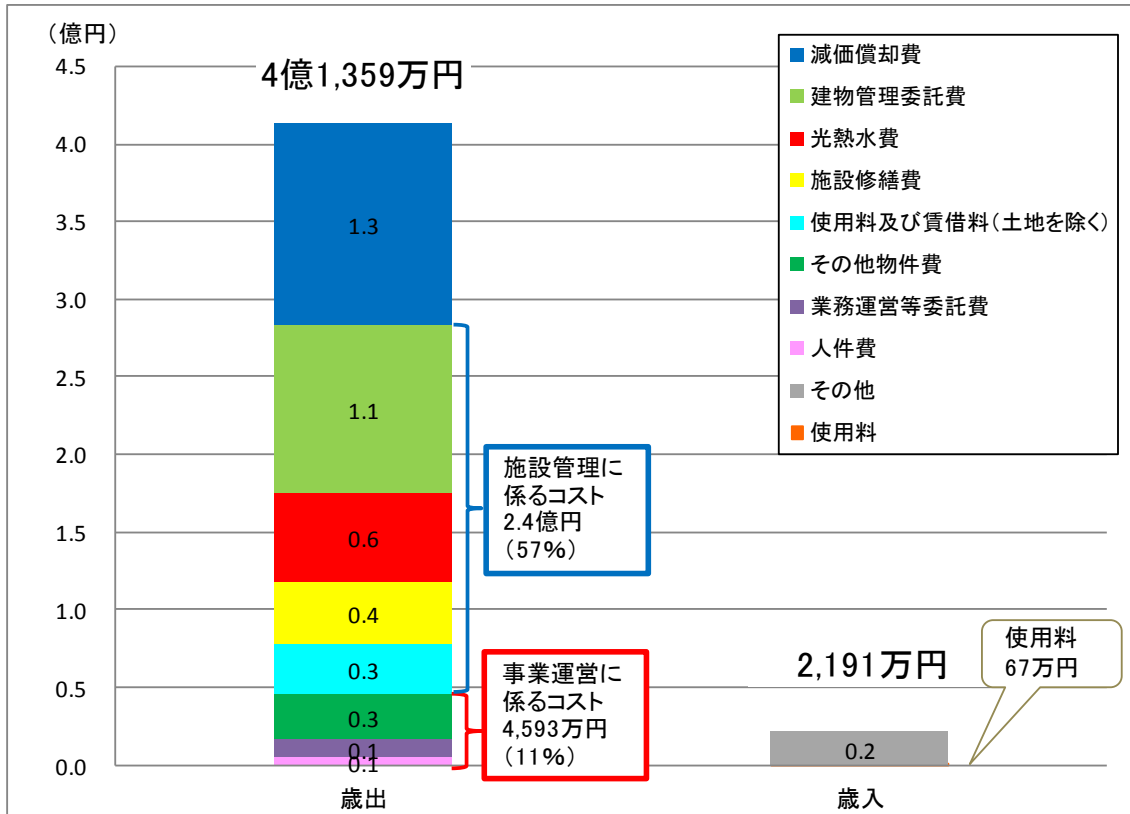
III. 総括

合計（トータルコスト）	384,952	87,477	472,428
-------------	---------	--------	---------

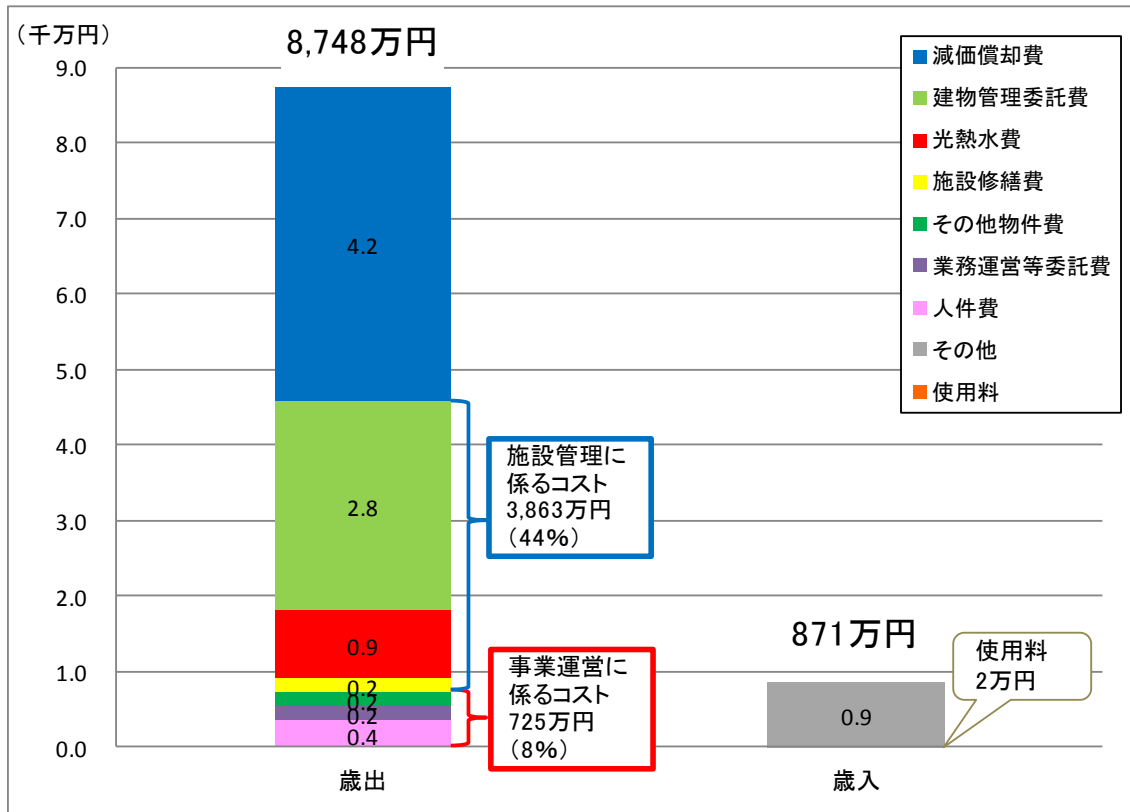
【収支差額】

収益－コスト	-363,043	-78,770	-441,814
--------	----------	---------	----------

【施設別コスト：本庁舎】



【施設別コスト：府中駅北第2庁舎】



【施設別コスト一覧表：国際交流サロン】

【収益の部】

(千円)

	国際交流サロン
使用料	0
その他	0
収益 計	0

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	0
	施設修繕費	0
	光熱水費	0
	建物管理委託費	0
	管理に係るコスト 計	0
事業運営 に係る コスト	人件費	4,506
	業務運営等委託費	1,562
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	0
	運営に係るコスト 計	6,069
現金収支を伴うコスト 計		6,069

II. 現金収支を伴わないもの

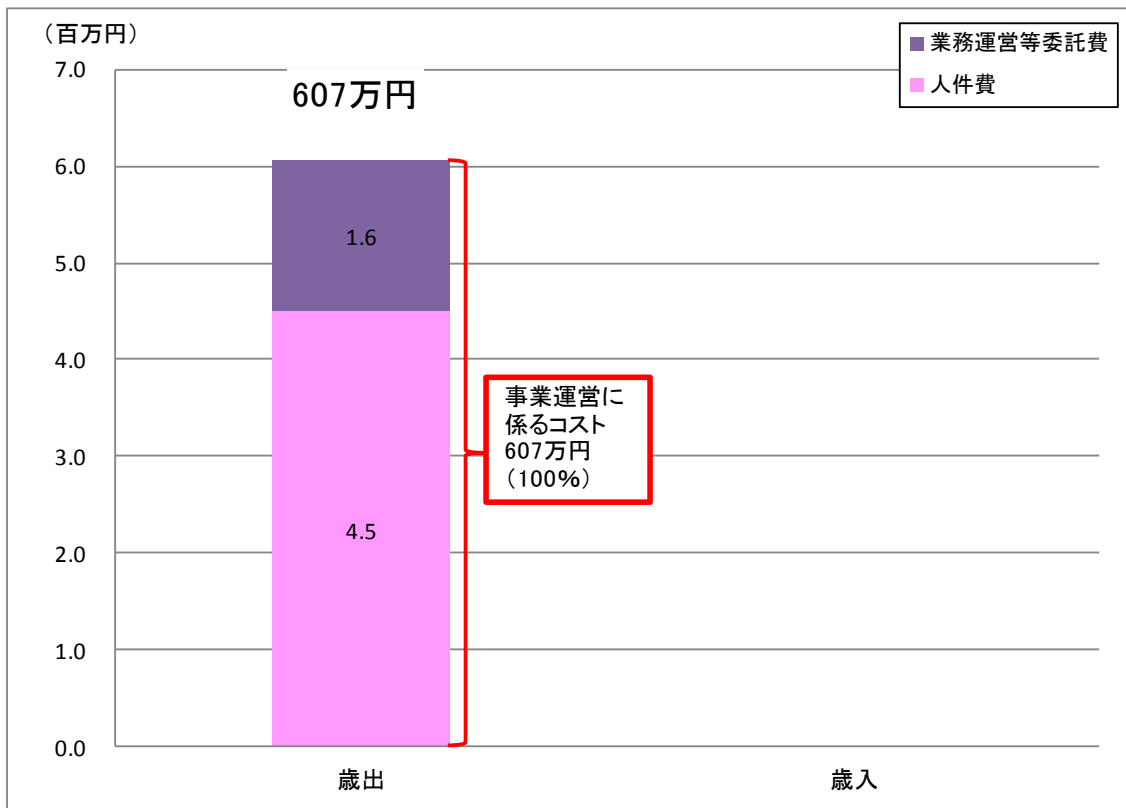
減価償却費相当額	130,004
----------	---------

III. 総括

合計(トータルコスト)	136,072
-------------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-136,072
--------	----------



【施設別コスト一覧表：工業技術情報センター】

【収益の部】

(千円)

	工業技術情報センター
使用料	0
その他	0
収益 計	0

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係る コスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	587
	施設修繕費	0
	光熱水費	0
	建物管理委託費	0
	管理に係るコスト 計	587
事業運営 に係る コスト	人件費	11,006
	業務運営等委託費	88
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	928
	運営に係るコスト 計	12,023
現金収支を伴うコスト 計		12,609

II. 現金収支を伴わないもの

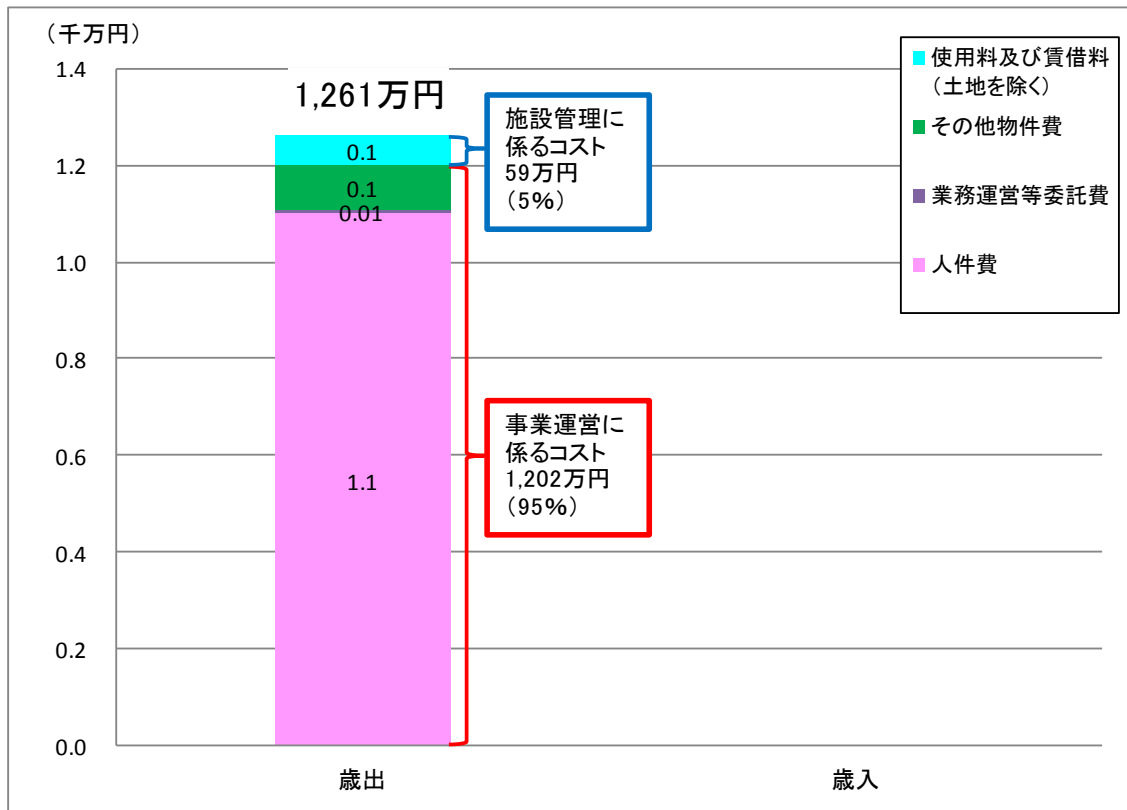
減価償却費相当額	41,601
----------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	54,210
-------------	--------

【収支差額】

収益－コスト	-54,210
--------	---------



10-2 その他行政系施設（市政情報センター、女性センター、中央防災センター、水防・防災ステーション）

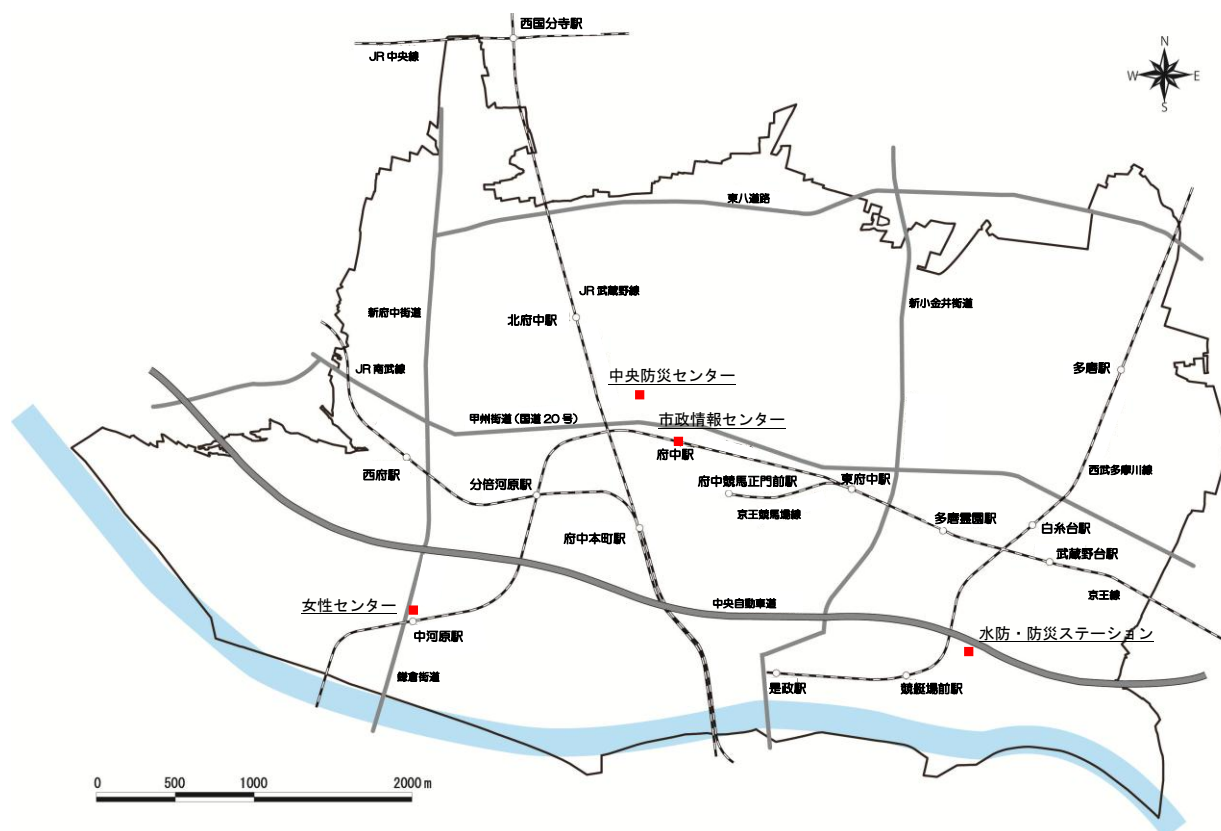
（１）概要

- ・市政情報センターは、京王線の府中駅構内にあり、住民票の写しの交付や粗大ごみ処理券の販売などを行っています。また、証明書の自動交付機も設置されています。なお、駅構内に位置していることから、市内各施設の案内や行政全般に関する案内も行っています。
- ・女性センターは、女性問題に関する学習の機会や交流及び活動の場を提供し、女性を取り巻く問題を解決し、男女共同参画社会の実現を目的とした活動を支援する場です。
- ・中央防災センターは、府中消防署に併設されており、防災危機管理実室、消防団本部室、災害対策本部室などを備えています。災害発生時の災害応急活動の拠点となる施設です。
- ・水防・防災ステーションは、防災対策を充実させるとともに、災害発生時において応急救護活動及び復旧活動を円滑に実施するため、災害発生時及び訓練時の拠点として設置された施設です。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
市政情報センター	H6	1994	19年	274㎡	SRC造	不要	不要	市	市	直営	府中駅構内
女性センター	H6	1994	19年	275㎡	SRC造	不要	不要	市	市	直営	中河原駅北口商業施設内
中央防災センター	H22	2010	3年	276㎡	SRC造	不要	不要	都	市	直営	府中消防署内
水防・防災ステーション	H21	2009	4年	277㎡	RC造	不要	不要	市	市	直営	

【施設配置図】

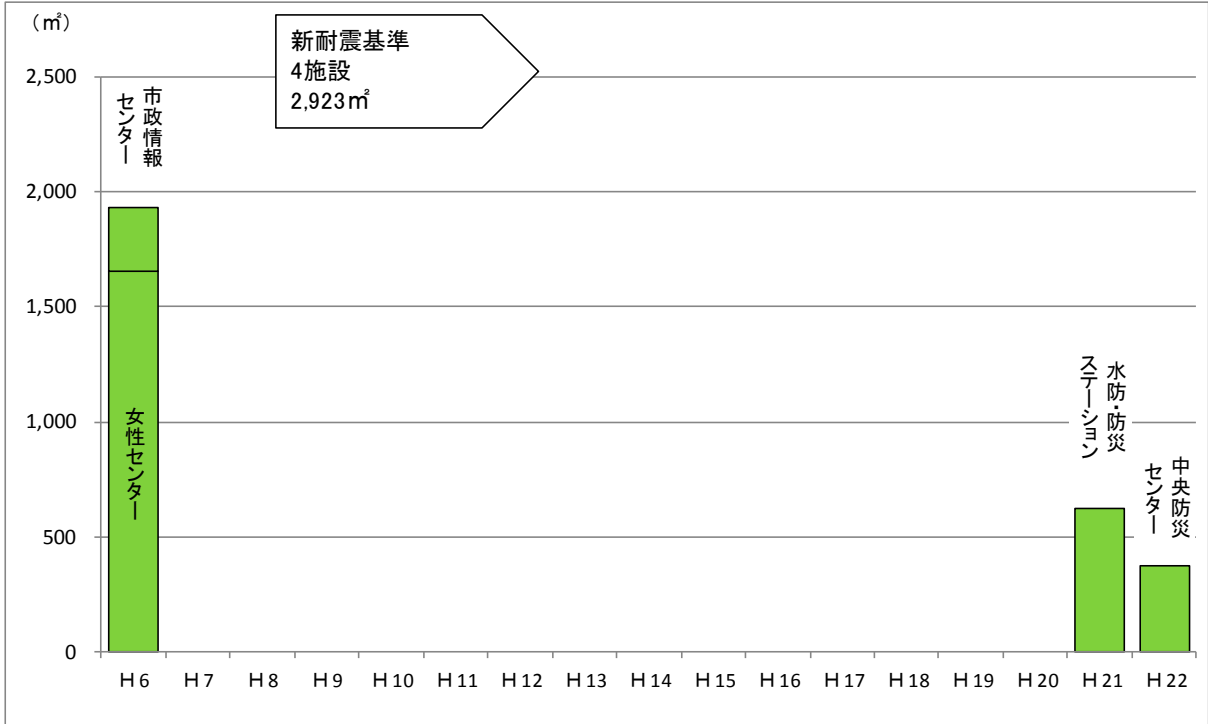


(2) 施設状況

①施設規模

- ・ 市政情報センターは、平成 6 年度に京王線府中駅構内に設置されました。
- ・ 女性センターは、平成 6 年度に京王線中河原駅北口の商業施設内に設置されました。
- ・ 中央防災センターは平成 22 年度、水防・防災ステーションは平成 21 年度に建てられた施設です。

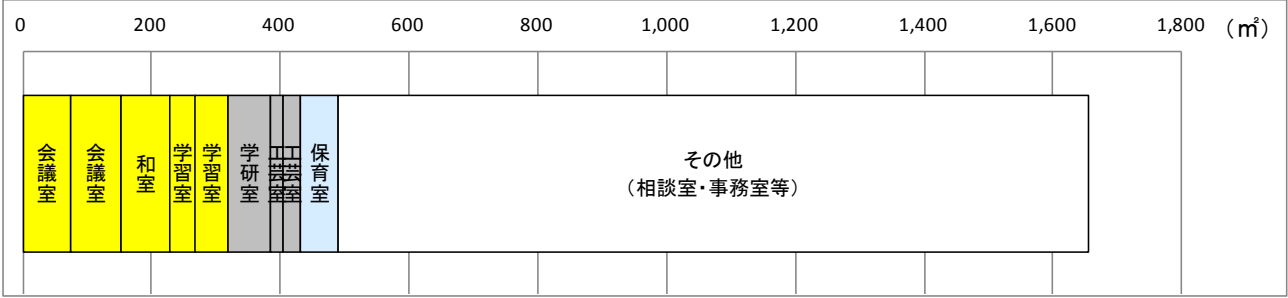
【築年度別整備状況】



②スペース構成

- ・ 女性センターには、会議・集会機能と学研室・工芸室などの実習機能、保育機能及び相談室などがあります。

【女性センターのスペース構成】

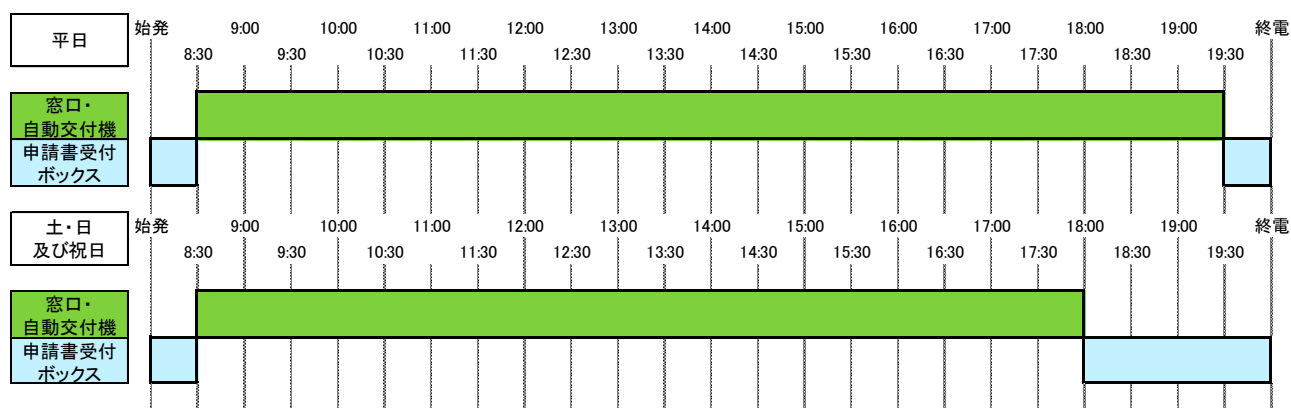


(3) 運営状況

①市政情報センター

- ・市政情報センターは、市が直接運営しています。
- ・市政情報センターは、年末年始を除く毎日開館しています。開館時間は、平日が8:30～19:30、土・日及び祝日が8:30～18:00です。運営日数は、平日245日、土・日及び祝日113日、計358日でした。
- ・住民票の写しの交付は、市役所業務日の11:00までの受付分は当日の16:30以降、市役所業務日の11:00以降及び土・日及び祝日の受付分は、受付日以降の市役所業務日の16:30以降になります。
- ・閉館時でも、住民票の写しの請求書を備付けのボックスに投かんして申込むことができます。(終電から始発までの時間は不可)
- ・市政情報センターに設置してある各種証明書の自動交付機は、市政情報センターの開館時間内に利用することができます。
- ・市政情報センターは、再任用職員を含めて4名のシフト制で、1～2名体制で運営しています。

【運営時間】



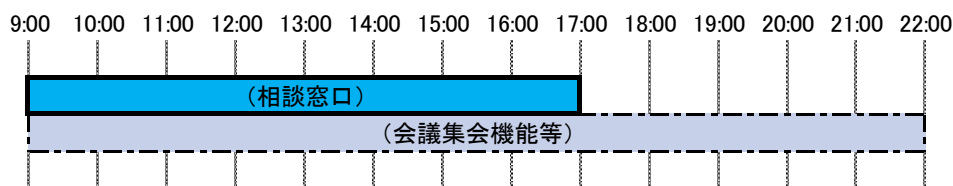
【住民票の写しの発行について】

受付日	受付時間	交付日時
市役所業務日	11:00までの受付分	当日16:30以降
	11:00以降の受付分	受付日以降の市役所業務日の16:30以降
市役所業務日以外		受付日以降の市役所業務日の16:30以降

②女性センター

- ・女性センターは、市が直接運営しています。
- ・女性センターの運営時間は、相談窓口が、9:00～17:00、会議室などの貸館機能が、9:00～22:00です。運営日数は、平日232日、土・日及び祝日103日、計335日でした。
- ・女性センターの運営人員には、施設運営のほか、各種事業の企画・運営のための人員も含んでいます。

【運営時間】



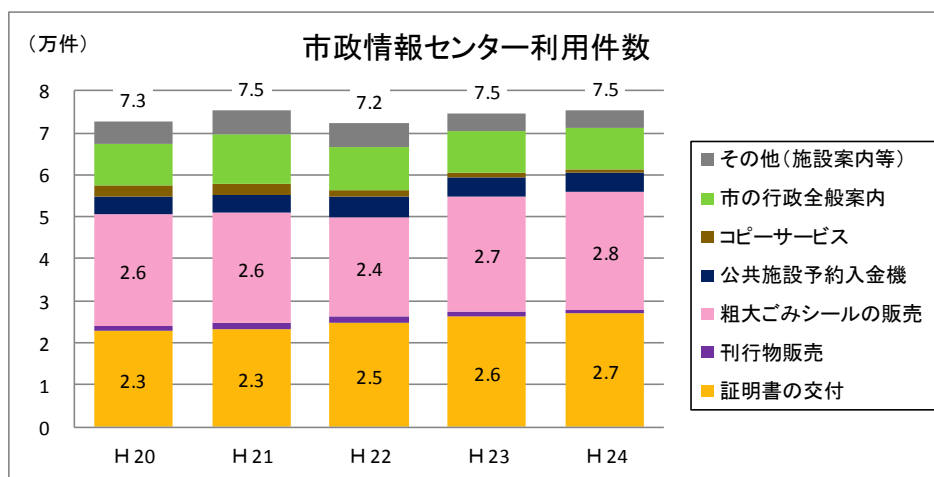
【女性センターの運営体制】

	(人)	
	平日日中	平日夜間・土日休日
市職員	3	
嘱託	2	
再任用		
臨時	2	1～2
その他		1～2

(4) 利用状況

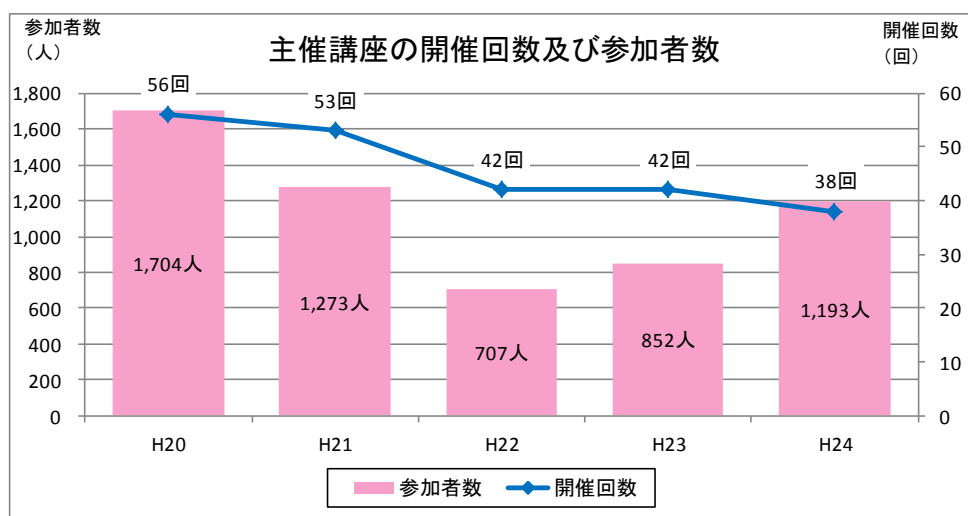
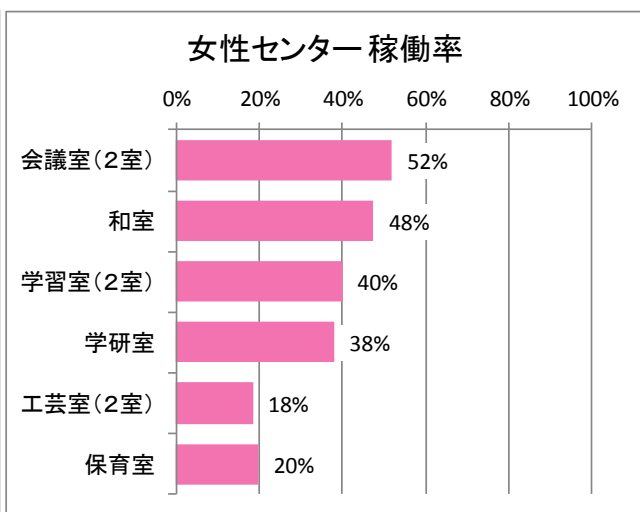
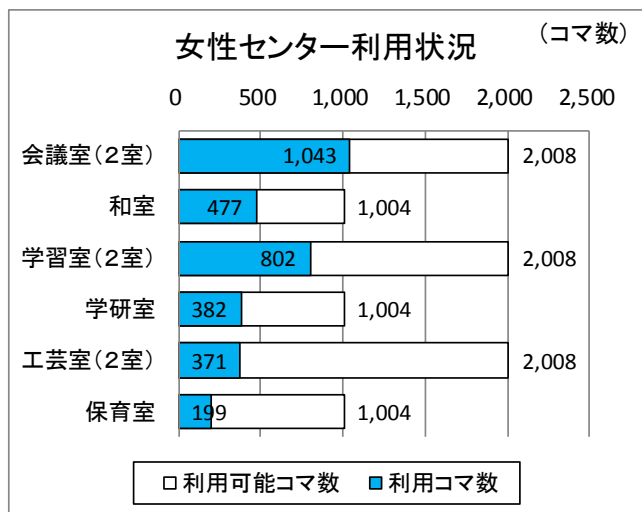
①市政情報センター

- ・ 市政情報センターの利用件数は、7万2,000件から7万5,000件程度で推移しています。
- ・ 利用件数の中で多いのは、住民票の写しや印鑑登録証明書などの証明書の交付及び粗大ごみシールの販売です。



②女性センター

- ・ 女性センターの諸室のうち、会議室と和室は登録団体以外による利用（有料）も可能です。
- ・ 工芸室は、登録団体や講座などによる利用のみが可能であるため、有料利用が可能な会議室などに比べると低い稼働率です。
- ・ 保育室の利用コマ数は、一般開放による利用分を除き、登録団体の活動や講座実施時の託児で利用されたコマ数のみを計上しています。
- ・ 主催講座の開催回数は減少していますが、参加者数は平成22年度を底に増加に転じています。



(5) コスト状況

・市政情報センターのコストは、約 1,999 万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約 1,095 万円 (55%)、施設管理に係るコストが約 735 万円 (37%)、減価償却費相当額が約 170 万円 (8%) です。歳入には、市政情報センターが扱っている証明書の発行や粗大ごみシールの販売の際の手数料も含まれています。

・女性センターのコストは、約 7,932 万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約 4,622 万円 (58%)、施設管理に係るコストが約 2,283 万円 (29%)、減価償却費相当額が約 1,027 万円 (13%) です。

・中央防災センターのコストは、約 7,641 万円でした。事業運営に係るコストが約 7,126 万円 (93%)、施設管理に係るコストが約 285 万円 (4%)、減価償却費相当額が約 230 万円 (3%) です。

・水防・防災ステーションのコストは、約 899 万円でした。事業運営に係るコストが約 263 万円 (29%)、施設管理に係るコストが約 251 万円 (28%)、減価償却費相当額が約 385 万円 (43%) です。

【施設別コスト一覧表：その他行政系施設】

【収益の部】

(千円)

	市政情報センター	女性センター	中央防災センター	水防・防災ステーション
使用料	0	741	0	0
手数料	4,042	0	0	0
その他	204	254	0	158
収益 計	4,245	995	0	158

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	117	2,483	936	1
	施設修繕費	95	1,969	44	0
	光熱水費	1,947	2,701	724	1,746
	建物管理委託費	5,190	15,680	1,150	760
	管理に係るコスト 計	7,349	22,833	2,853	2,507
事業運営に係るコスト	人件費	10,535	35,633	68,678	0
	業務運営等委託費	0	692	0	1,643
	負担金、補助及び交付金	0	6,425	0	0
	その他物件費	412	3,467	2,577	990
	運営に係るコスト 計	10,947	46,217	71,256	2,633
現金収支を伴うコスト 計		18,296	69,049	74,109	5,140

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	1,699	10,266	2,303	3,850
----------	-------	--------	-------	-------

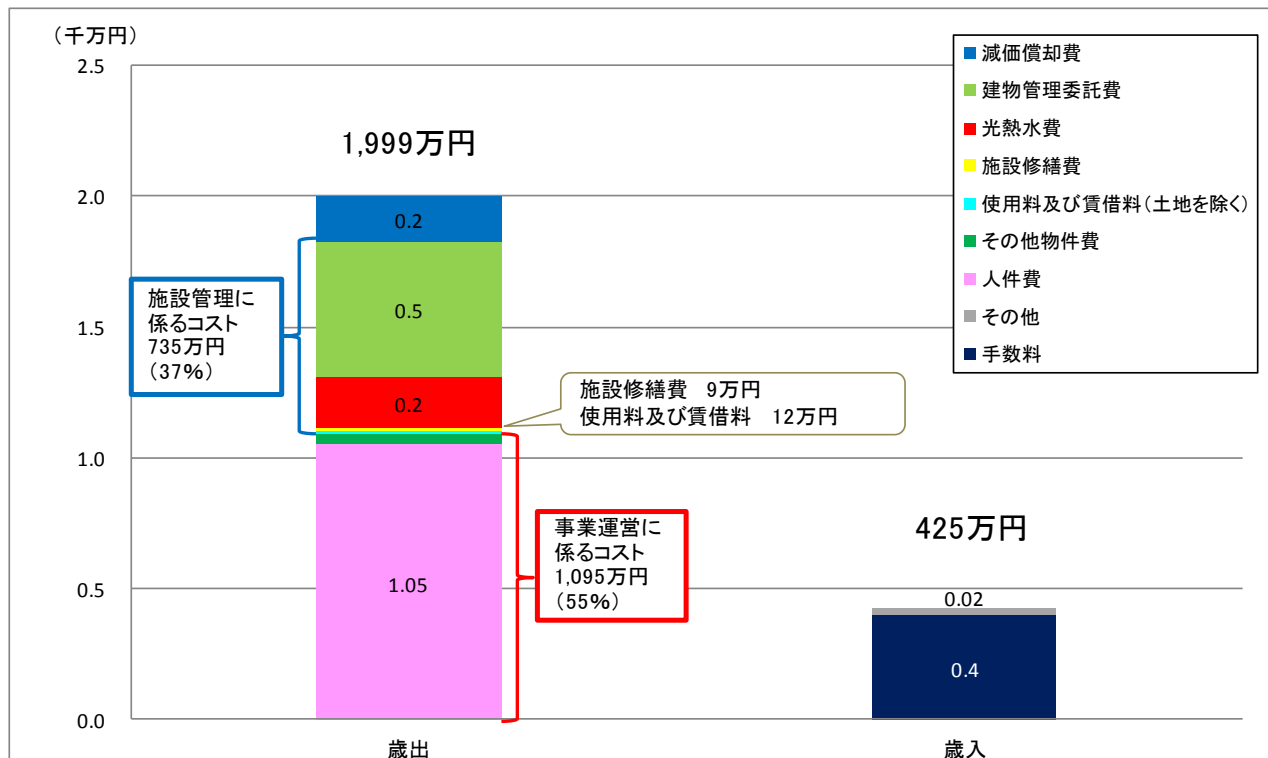
III. 総括

合計(トータルコスト)	19,995	79,315	76,412	8,990
-------------	--------	--------	--------	-------

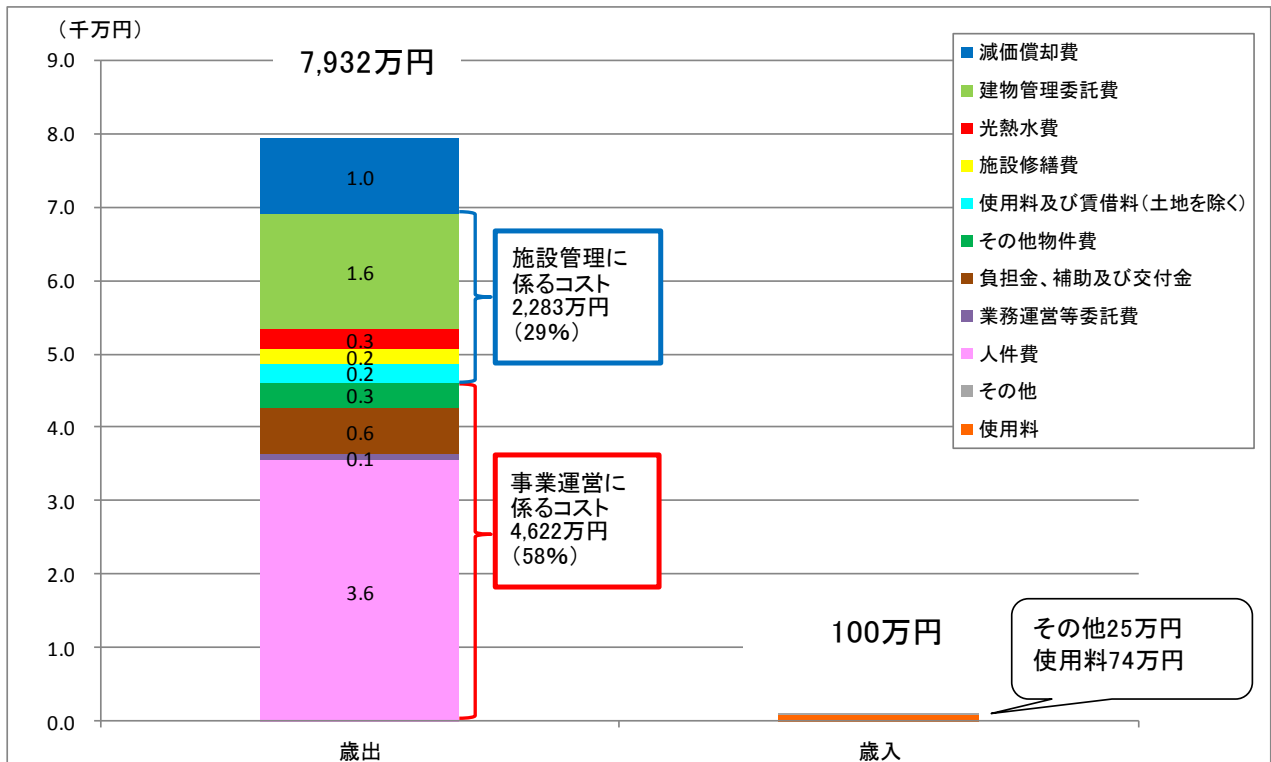
【収支差額】

収益－コスト	-15,749	-78,320	-76,412	-8,832
--------	---------	---------	---------	--------

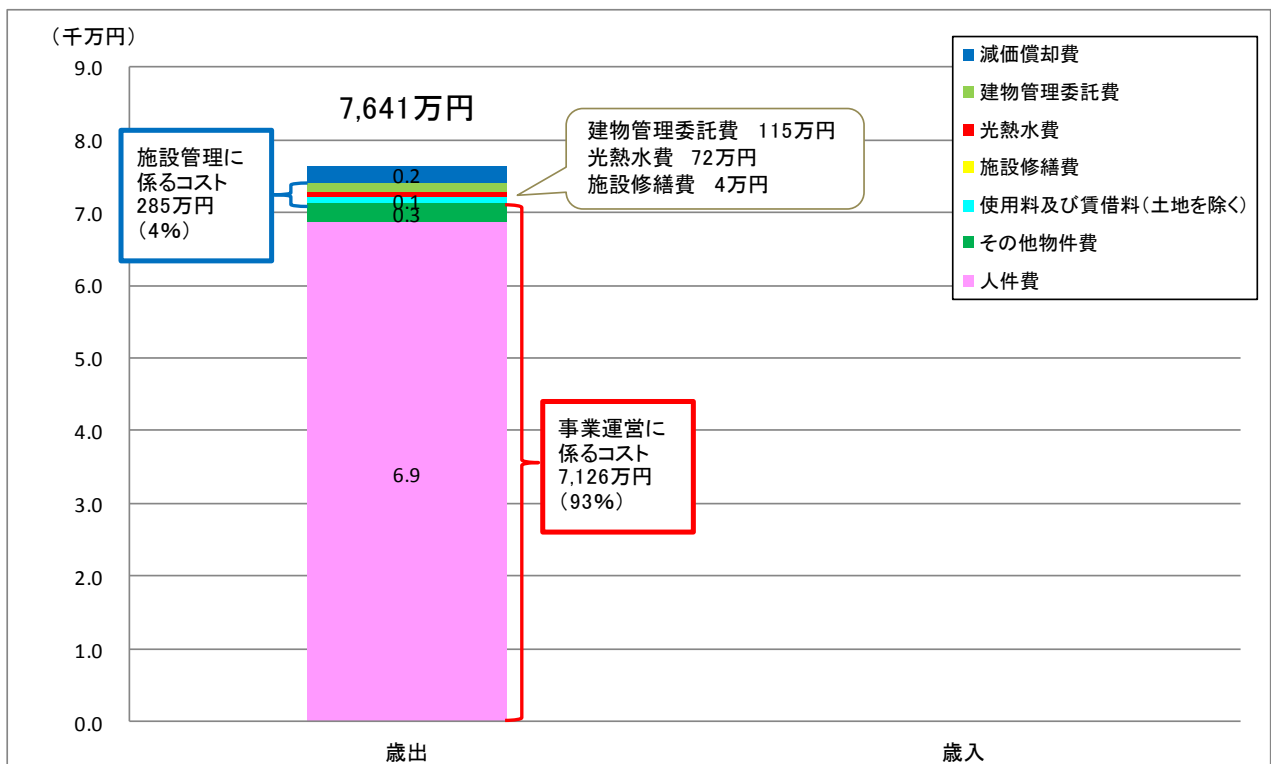
【施設別コスト：市政情報センター】



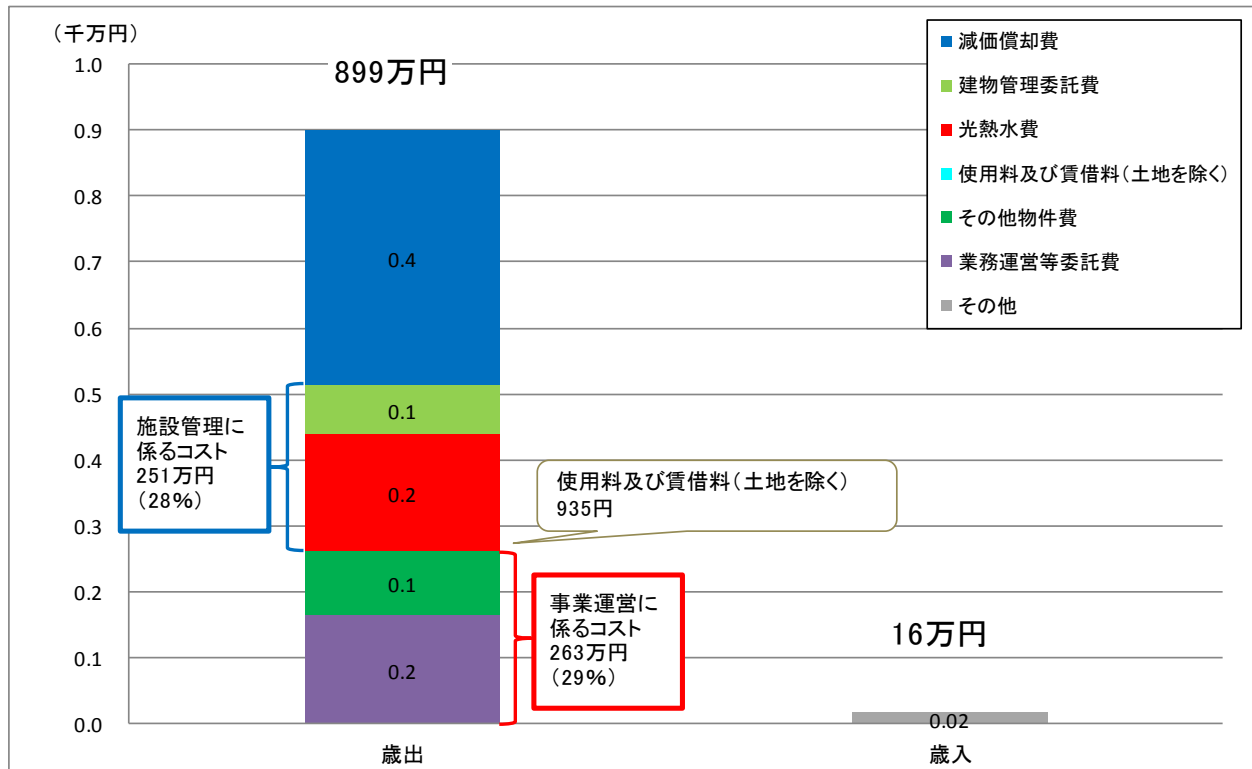
【施設別コスト：女性センター】



【施設別コスト：中央防災センター】



【施設別コスト：水防・防災ステーション】



10-3 リサイクルプラザ

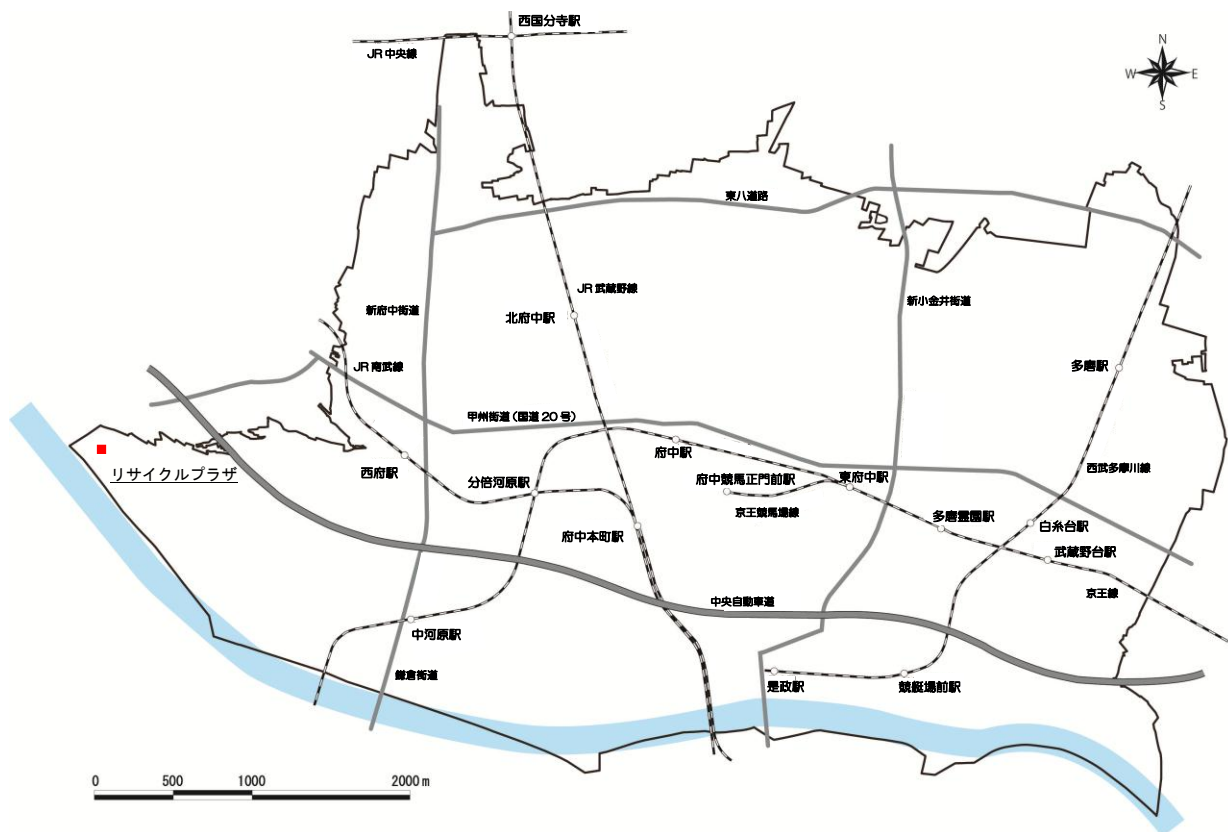
(1) 概要

- ・市内で収集された資源物の中間処理を行う、総合的なリサイクルの拠点施設です。また、粗大ごみの直接搬入の受付も行っています。
- ・資源棟や選別棟、保管棟などがあります。
- ・敷地内のリサイクルセンターには、市民自らが修理・再生の必要な家具、自転車を持ち込んで係員の指導のもとで修理ができる市民工房や、粗大ごみに出された木製家具、自転車を修理・再生するリフォーム工房があります。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
リサイクルプラザ	H6	1994	19年	11,719㎡	S造	不要	不要	市	市	直営	

【施設配置図】



(2) 施設規模

- ・リサイクルプラザは、施設全体で約1万1,719㎡です。
- ・屋上緑化、太陽光発電、雨水利用などを用いており、環境に配慮した施設となっています。

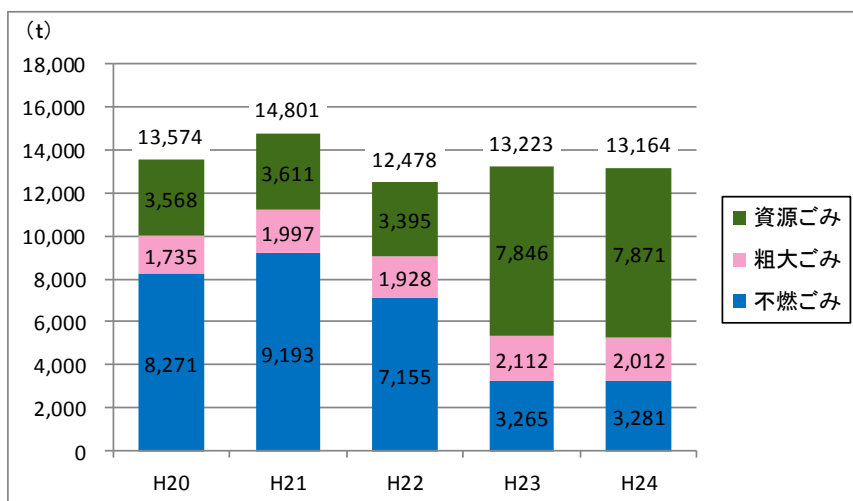
(3) 運営状況

- ・粗大ごみの直接搬入受付時間は、月～金曜日の 9：00～16：00、第 2 及び第 4 土曜日の 9：00～11：30 です。

(4) 利用状況

- ・リサイクルプラザへの主なごみの搬入量は、不燃ごみ 3,281 トン、粗大ごみ 2,012 トン、資源ごみ 7,871 トンとなっています。
- ・平成 22 年 2 月のごみ収集方法の変更に伴い、分別がより確実に実施されるようになった結果、不燃ごみが減少し、資源ごみが増加しています。
- ・市民工房利用件数は毎年数件の利用状況です。
- ・再生家具等製作点数は横ばい、再生自転車製作台数は増加傾向にあります。

【リサイクルプラザ搬入量】



年度	H20	H21	H22	H23	H24
市民工房利用件数（件）	2	1	2	1	1
再生家具等製作点数（点）	733	700	535	586	599
再生自転車製作台数（台）	380	288	289	312	349

(5) コスト状況

・リサイクルプラザのコストは約5億9,210万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約3億9,216万円（66%）、施設管理に係るコストが約1億2,718万円（21%）、減価償却費相当額が約7,265万円（12%）です。

【施設別コスト一覧表：リサイクルプラザ】

【収益の部】

(千円)

	リサイクルプラザ
使用料	0
その他	72,766
収益 計	72,766

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	11,666
	施設修繕費	28,640
	光熱水費	30,295
	建物管理委託費	56,681
	管理に係るコスト 計	127,281
事業運営に係るコスト	人件費	50,074
	業務運営等委託費	335,333
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	6,757
	運営に係るコスト 計	392,165
現金収支を伴うコスト 計		519,446

II. 現金収支を伴わないもの

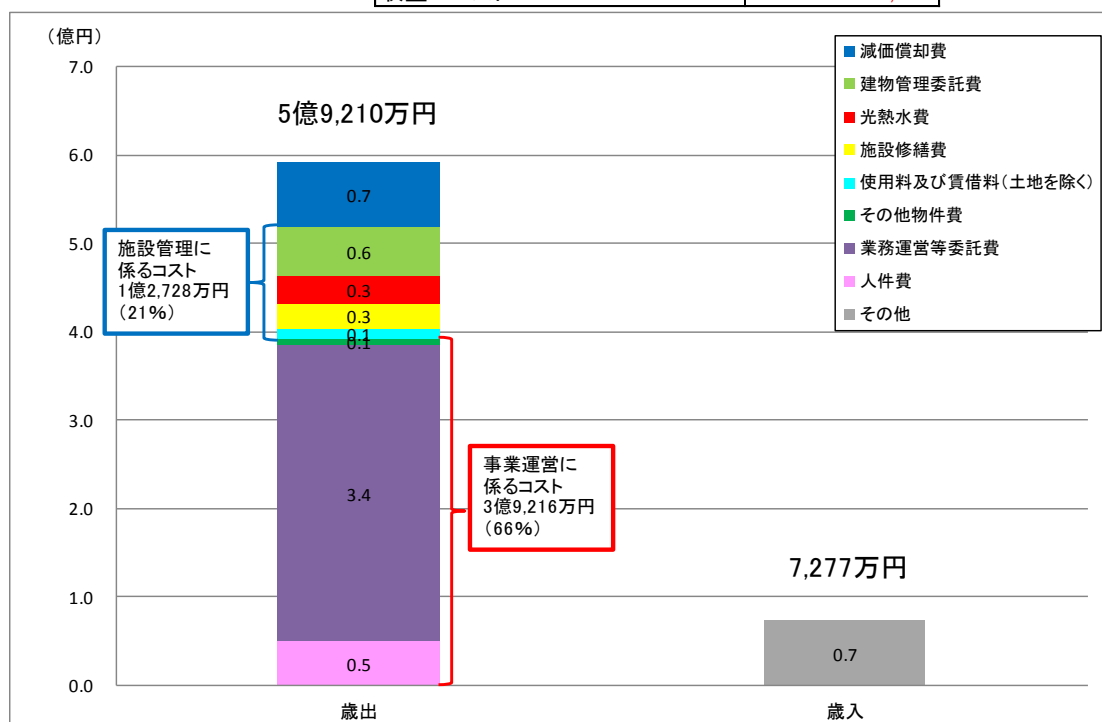
減価償却費相当額	72,649
----------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	592,095
-------------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-519,329
--------	----------



10-4 観光情報センター

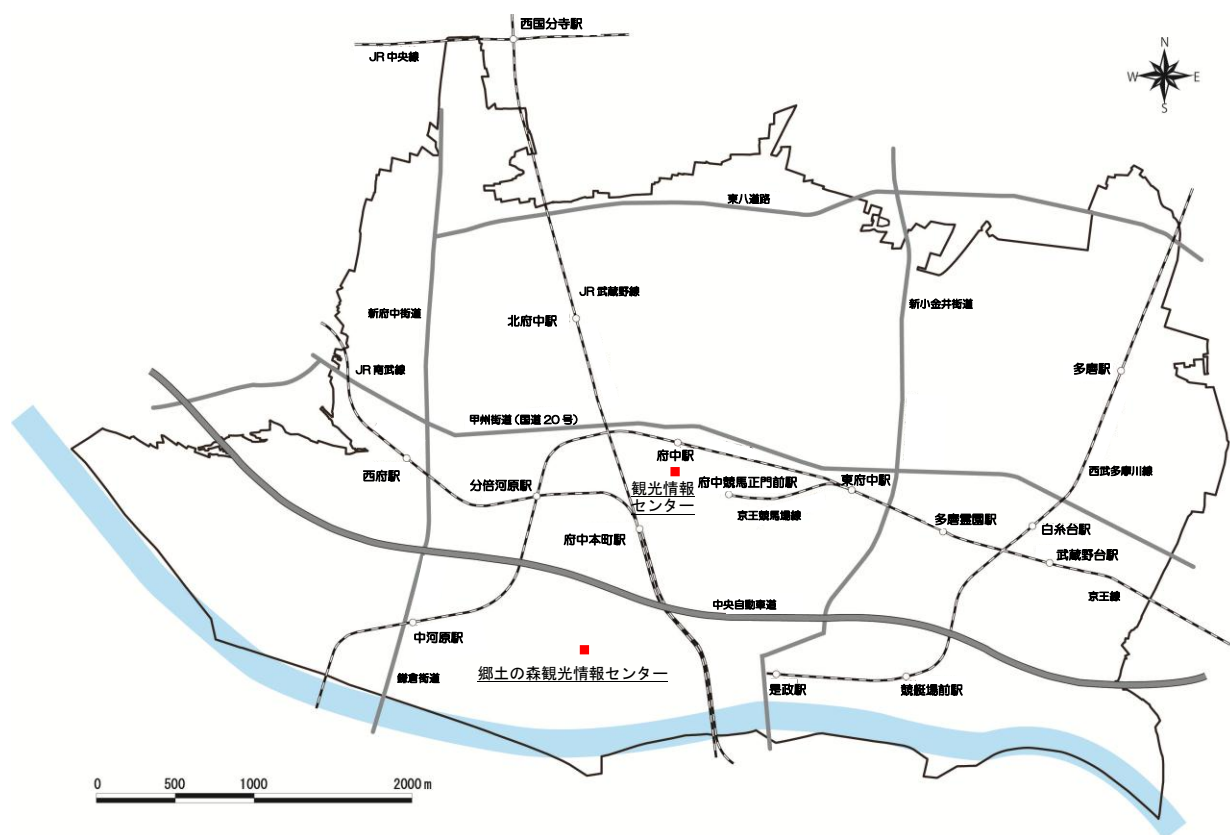
(1) 概要

- ・観光情報センター及び郷土の森観光情報センター（郷土の森観光物産館）は、観光客の誘致を図り、にぎわいと魅力のあるまちづくりを推進することを目的とした施設で、市の観光情報の発信の場です。市内の観光情報の収集や提供、観光に関する相談及び案内を行っています。
- ・観光情報センターは、市役所隣の大國魂神社境内に設置されています。観光マップやパンフレットなどの配布及び販売の他、ボランティアによる観光ガイドツアーも実施しています。
- ・郷土森観光情報センターは、多くの観光客が訪れる郷土の森博物館に隣接しており、新たな観光拠点として地元農産物や市内特産品・観光関連グッズの販売を行っています。また、施設内には、地産地消レストランもあります。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
観光情報センター	H17	2005	8年	182㎡	RC造	不要	不要	民	市	直営	
郷土の森観光情報センター	H23	2011	2年	183㎡	S造	不要	不要	市	市	直営	

【施設配置図】

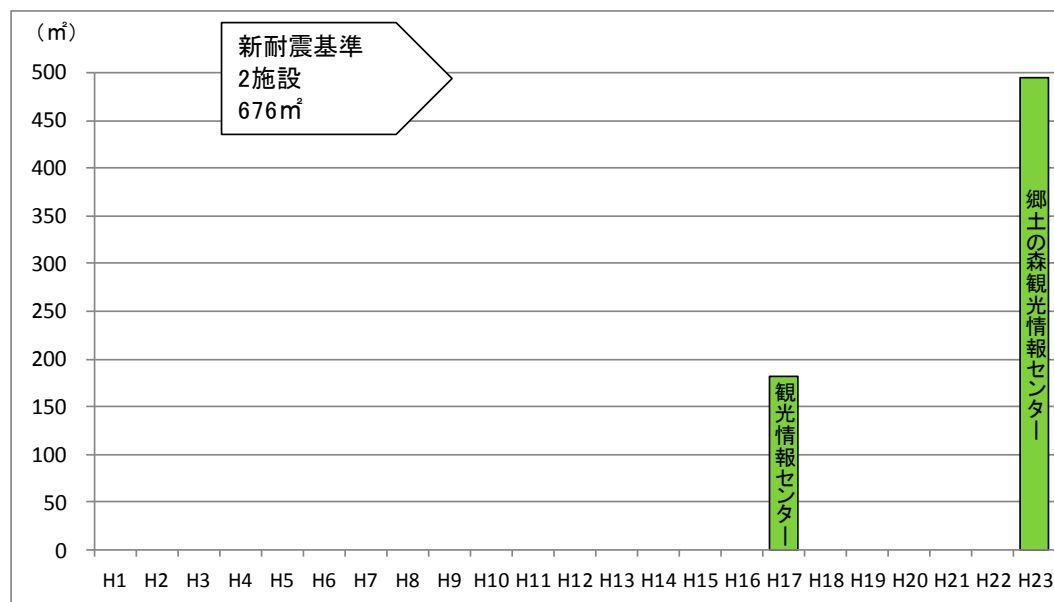


(2) 施設状況

①施設規模

- ・観光情報センター、郷土の森観光情報センターとも新耐震基準の建物です。

【築年度別整備状況】



(3) 運営状況

①運営形態

- ・観光情報センターと郷土の森観光情報センターの通常業務は、委託業者が行っています。観光情報センターは常時1名、郷土の森観光情報センターは常時2名の体制となっています。

②運営日数及び時間

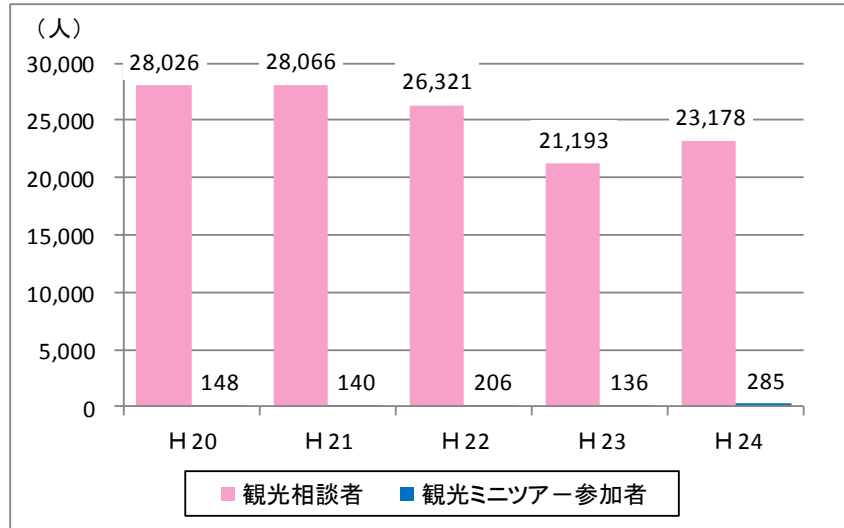
- ・運営日数は、観光情報センターが307日、郷土の森観光情報センターが330日でした。
- ・運営時間は、観光情報センターが9:00～17:00、郷土の森観光情報センターが、季節により変更はありますが、基本的には10:00～18:00です。

	(日)		
	平日	土日・休日	計
観光情報センター	193	114	307
郷土の森観光情報センター	254	76	330

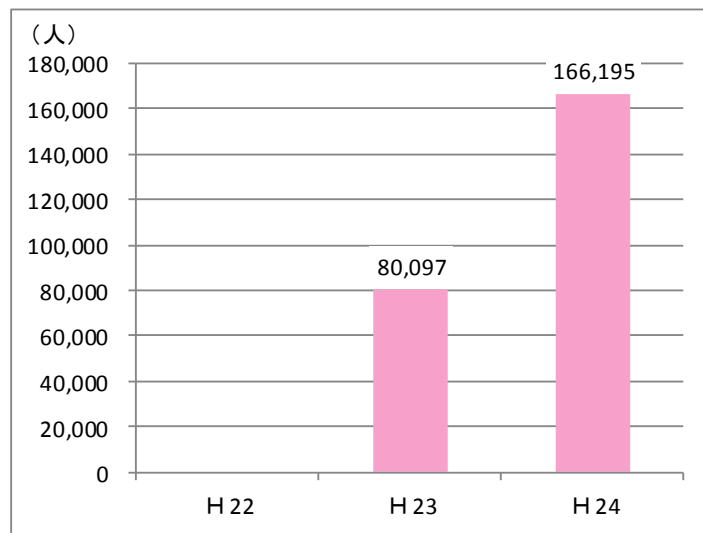
(4) 利用状況

- ・観光情報センターの利用者は、平成23年度は東日本大震災の影響により、前年度に比べて大きく減少しました。平成24年度は、観光ミニツアーの参加者は、震災以前よりも増加しましたが、観光相談者は以前ほどの利用者にはなっていません。
- ・郷土の森観光情報センターの平成23年度の利用者は、開館後の平成23年11月から平成24年3月までの利用者数です。

【観光情報センター利用者数の推移】



【郷土の森観光情報センター利用者数の推移】



(5) コスト状況

・観光情報センターと郷土の森観光情報センターのコストは、合計約 3,003 万円でした。そのうち、事業運営に係るコストは、約 1,074 万円 (36%)、施設管理に係るコストは、約 1,509 万円 (50%)、減価償却費相当額が約 419 万円 (14%) です。

・観光情報センターのコストは約 888 万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約 375 万円 (42%)、施設管理に係るコストが約 400 万円 (45%)、減価償却費相当額が約 113 万円 (13%) です。

・郷土の森観光情報センターのコストは、約 2,151 万円でした。そのうち、事業運営に係るコストが約 639 万円 (33%)、施設管理に係るコストが約 1,110 万円 (51%)、減価償却費相当額が約 306 万円 (14%) です。

【施設別コスト一覧表：観光情報センター等】

【収益の部】

(千円)

	観光情報センター	郷土の森観光情報センター	合計
使用料	0	847	847
その他	0	473	473
収益 計	0	1,320	1,320

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	0	580	580
	施設修繕費	252	294	546
	光熱水費	1,682	2,254	3,937
	建物管理委託費	2,061	7,970	10,031
	管理に係るコスト 計	3,995	11,099	15,094
事業運営に係るコスト	人件費	0	0	0
	業務運営等委託費	3,542	6,557	10,099
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	その他物件費	208	433	641
	運営に係るコスト 計	3,750	6,990	10,740
現金収支を伴うコスト 計		7,745	18,088	25,834

II. 現金収支を伴わないもの

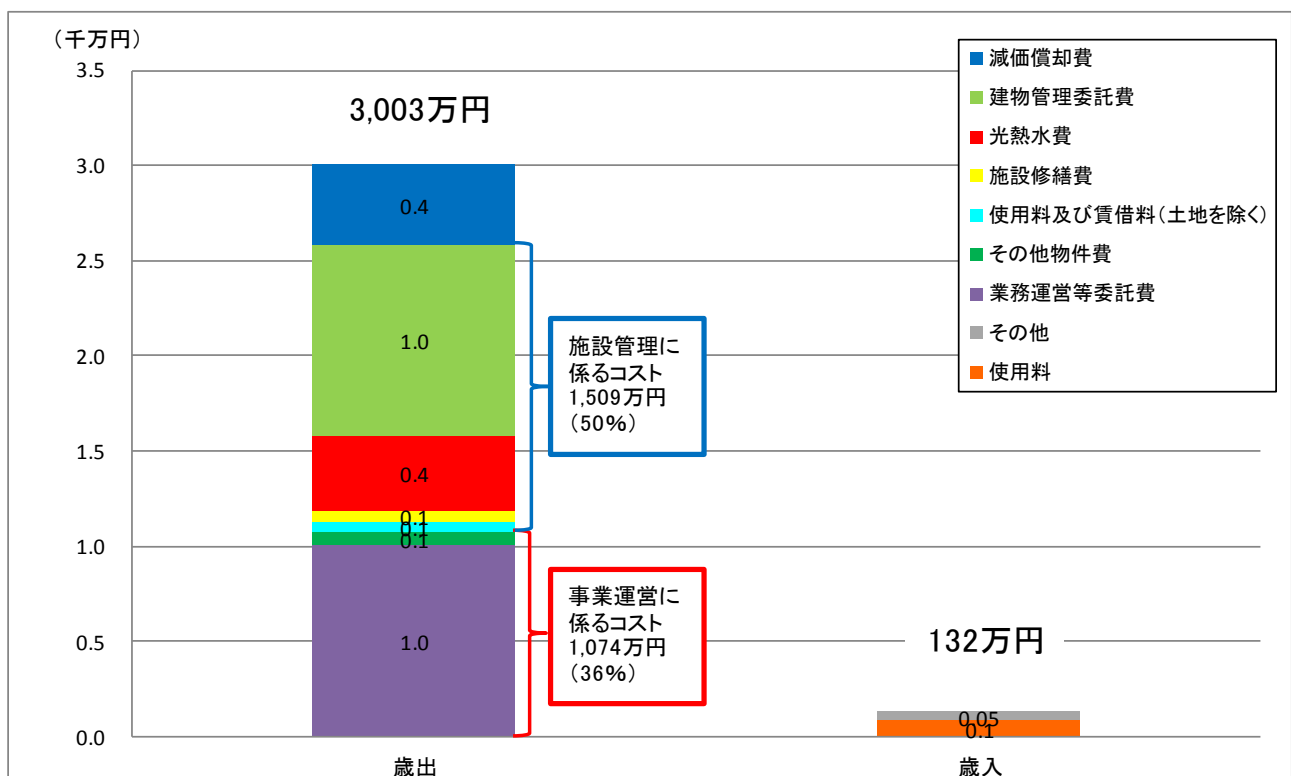
減価償却費相当額	1,130	3,063	4,193
----------	-------	-------	-------

III. 総括

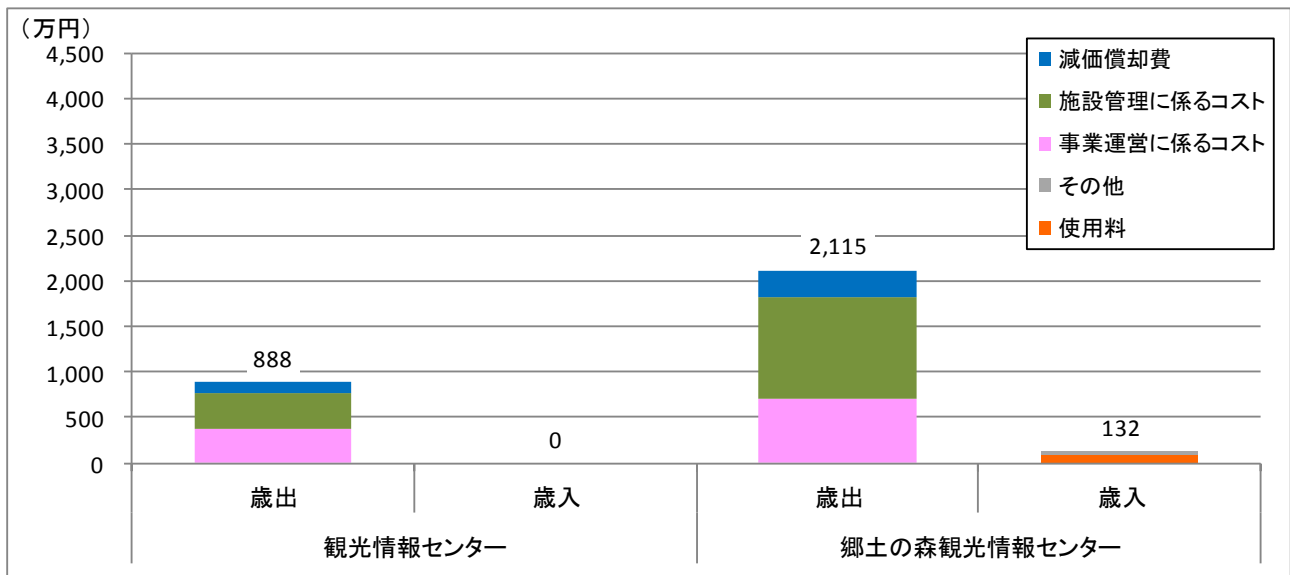
合計(トータルコスト)	8,876	21,151	30,027
-------------	-------	--------	--------

【収支差額】

収益－コスト	-8,876	-19,831	-28,707
--------	--------	---------	---------



【施設別コスト：観光情報センター等】



11-1 府中の森市民聖苑

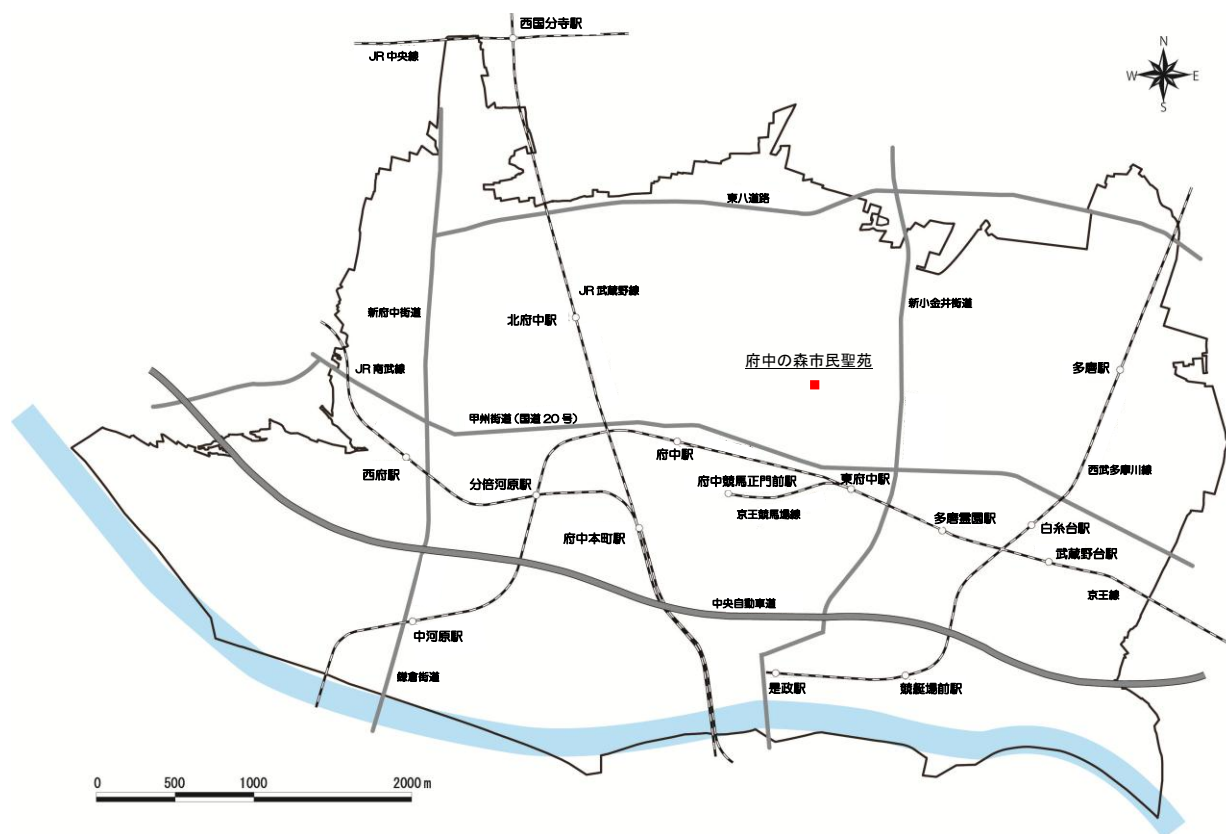
(1) 概要

- ・府中の森市民聖苑は、通夜や告別式、火葬、法要などが全て行える施設です。
- ・原則府中市民専用の施設で、利用できるのは、①死亡した方が、死亡時に府中市において住民基本台帳に登録されていた場合、②死亡した方が市民以外であっても、その方の葬儀を行う方（喪主）が府中市民であり、故人からみて2親等以内の親族である場合、③その他災害等により市長が特に必要と認める場合です。
- ・宗教宗派の制限はありません。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営
								土地	建物	
府中の森市民聖苑	H8	1996	17年	9,873㎡	RC造	不要	不要	国	市	直営

【施設配置図】



(2) 施設状況

- ・施設内には、式場4つ、火葬室4基、待合室5室、告別室2室、収骨室2室、霊安室2室、法要室4室を備えています。
- ・式場は50人用から140人用まで、法要室は30人用から60人用まで備えており、様々な規模の葬儀に対応することができます。
- ・各式場には、会葬者や遺族、僧侶などの控室、湯沸室があります。

【施設の内容】

区分		内容
式場	第1式場	90人用（椅子席） 祭壇を常設
	第2式場	90人用（椅子席） 祭壇を常設
	第3式場	140人用（椅子席） 祭壇を常設
	第4式場	50人用（椅子席） 祭壇を常設
火葬室		4基
待合室		5室（30人用、和室18畳）
告別室		2室
収骨室		2室
霊安室		2室
法要室	法要室	30人用 会席用（椅子席）
	法要洋室	60人用 会席用（椅子席）
	法要和室1	30人用 会席用（和室24畳）
	法要和室2	30人用 会席用（和室24畳）

(3) 利用状況

①使用料

- ・使用料は、次のとおりです。
- ・法要室は、使用時間が2時間を超えた場合は、1時間の延長につき市民は1,500円、市民以外の3,000円の使用料が必要となります。

【式場、火葬室、霊安室の使用料】

		使用料
第1、第2式場	通夜、または告別式1回	各25,000円
第3式場	通夜、または告別式1回	各50,000円
第4式場	通夜、または告別式1回	各15,000円
火葬室	-	無料
霊安室	棺1回(24時間)	2,000円
霊安室(延長)	延長12時間ごとに	1,000円

【法要室の使用料】

		使用料	
		市民	市民以外
法要室	1回2時間	3,000円	6,000円
法要洋室	1回2時間	3,000円	6,000円
法要和室1	1回2時間	3,000円	6,000円
法要和室2	1回2時間	3,000円	6,000円

②利用時間

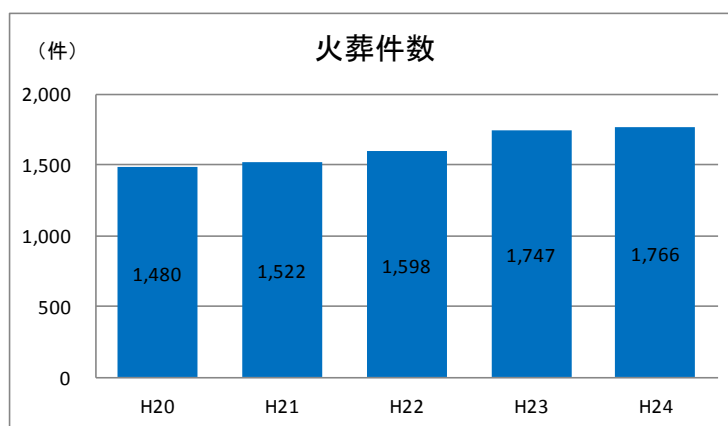
- ・式場の利用時間は、通夜を行う場合は、15:30～21:00 です。告別式を行う場合は、8:30～15:00 です。
- ・火葬室の利用時間は、10:30～17:00 です。
- ・霊安室は、使用許可を受けた時間から火葬開始時間まで利用できます。

【利用時間】

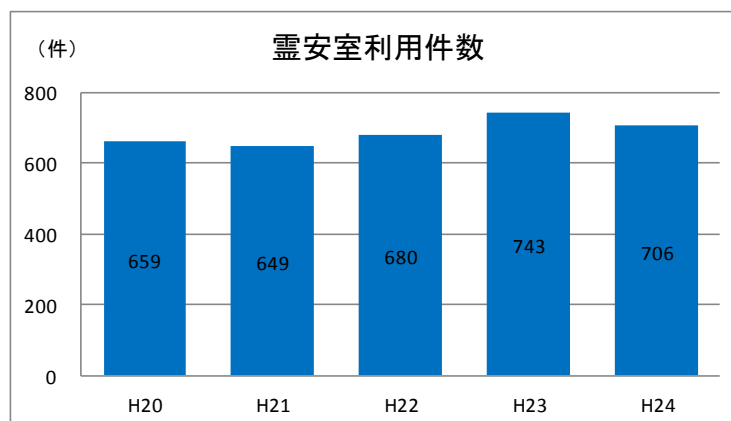
式場	通夜	15:30～21:00
	告別式	8:30～15:00
火葬室	10:30～17:00 (ただし、火葬開始時から火葬終了時まで)	
霊安室	使用許可を受けた時間から火葬開始時間まで (式場を使用する場合は、終了時間に変更があります)	

③利用状況

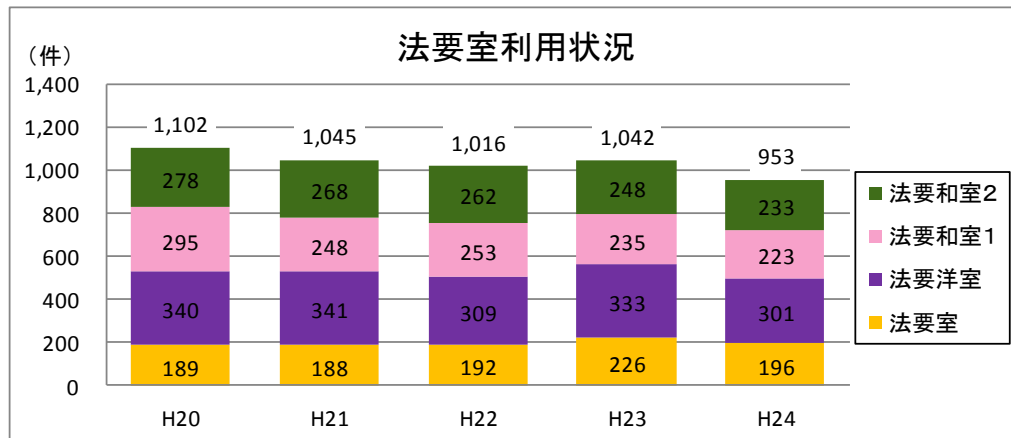
- ・火葬件数は 1,766 件でした。火葬件数は、一貫して増加傾向となっています。



- ・霊安室の利用件数は 706 件でした。微増傾向でしたが、平成 24 年度は、減少しました。

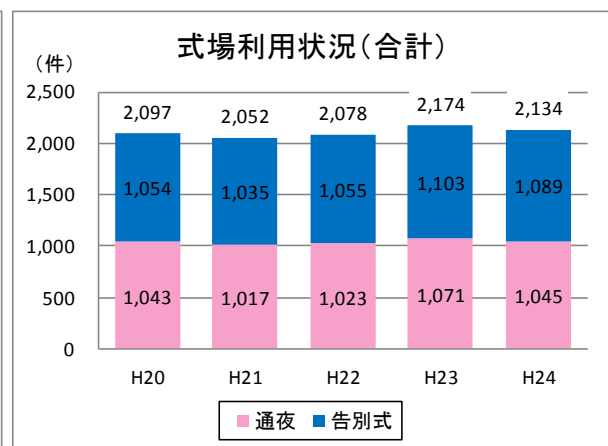
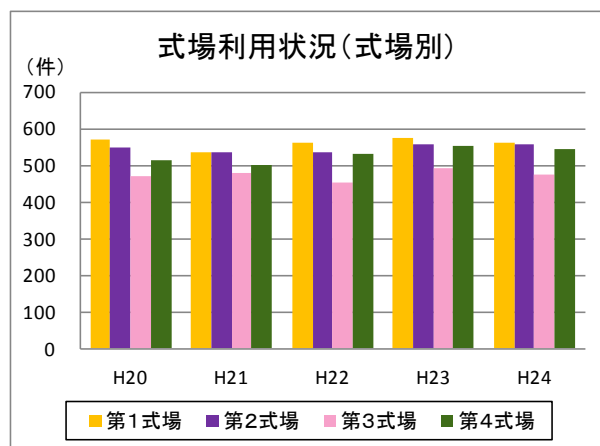


- ・法要室全体の利用件数は 953 件でした。そのうち法要室が 196 件、法要洋室が 301 件、法要和室 1 が 223 件、法要和室 2 が 233 件です。法要室全体の利用は平成 17 年度から減少が続いています。



- ・式場の利用件数は、通夜が 1,045 件、告別式が 1,089 件でした。
- ・年度によって若干の増減はありますが、全体的には増加傾向となっています。

	第1式場		第2式場		第3式場		第4式場		合計		
	通夜	告別式	通夜	告別式	通夜	告別式	通夜	告別式	通夜	告別式	合計
H20	283	285	272	275	235	235	253	259	1,043	1,054	2,097
H21	267	270	266	270	238	239	246	256	1,017	1,035	2,052
H22	277	284	264	271	224	228	258	272	1,023	1,055	2,078
H23	286	288	276	280	246	247	263	288	1,071	1,103	2,174
H24	278	282	273	282	232	241	262	284	1,045	1,089	2,134



(4) コスト状況

- ・市民聖苑のコストは約 3 億 1,393 万円でした。そのうち、事業運営に係るコストは約 6,987 万円 (22%)、施設管理に係るコストは約 1 億 8,286 万円 (58%)、減価償却費相当額は約 6,120 万円です。
- ・市民聖苑の歳入は、使用料などの収入で合計約 8,129 万円した。

【施設別コスト一覧表：府中の森市民聖苑】

【収益の部】

(千円)

	府中の森市民聖苑
使用料	70,430
その他	10,865
収益 計	81,295

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	242
	施設修繕費	36,669
	光熱水費	56,236
	建物管理委託費	89,712
	管理に係るコスト 計	182,859
事業運営に係るコスト	人件費	21,948
	業務運営等委託費	41,934
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	5,991
	運営に係るコスト 計	69,873
現金収支を伴うコスト 計		252,732

II. 現金収支を伴わないもの

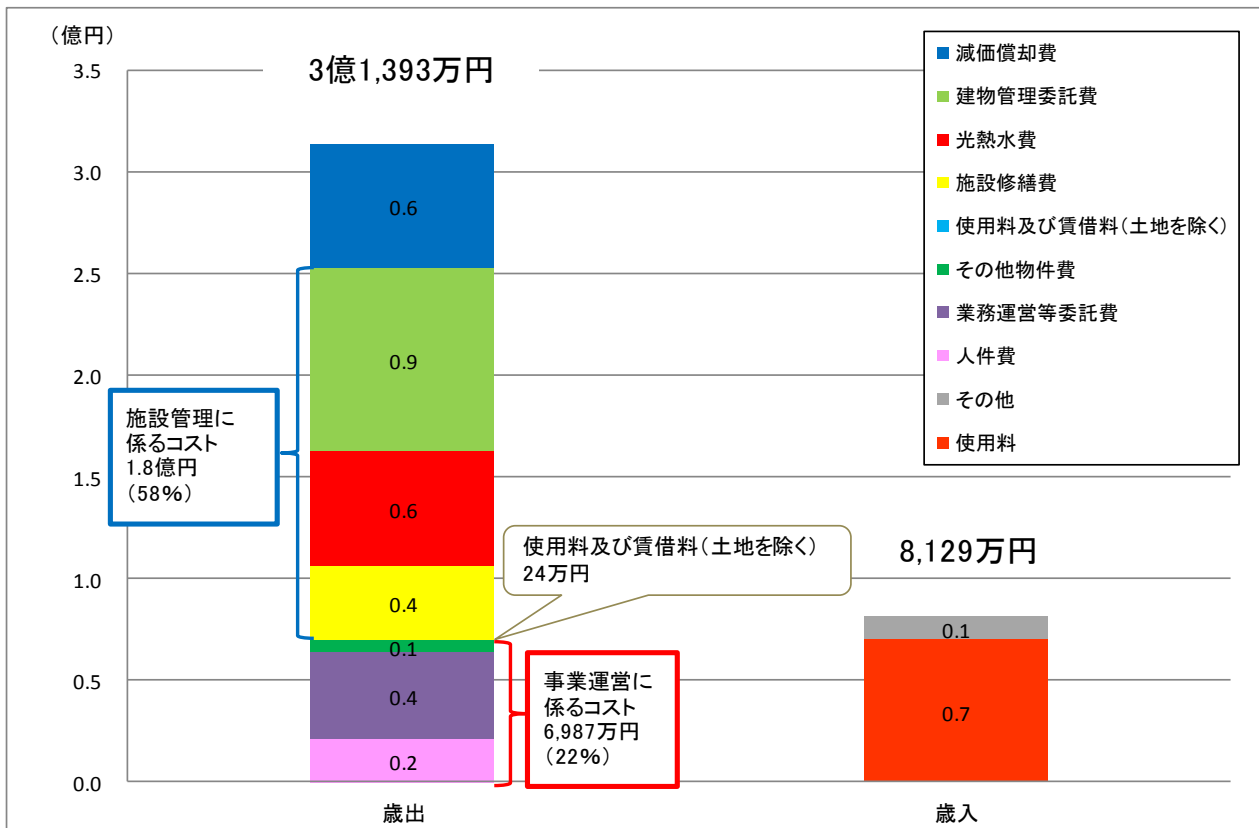
減価償却費相当額	61,203
----------	--------

III. 総括

合計(トータルコスト)	313,934
-------------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-232,640
--------	----------



1 1 - 2 駐車場、自転車駐車場

(1) 概要

- ・屋内駐車場として整備された施設は、府中駅南口市営駐車場と平和島モーターボート競走場立体駐車場の2か所があります。
- ・自転車駐車場は、府中駅北自転車駐車場、東府中駅南自転車駐車場、西府駅北自転車駐車場、西府駅南自転車駐車場及び多磨霊園駅北自転車駐車場の5か所があります。

【施設一覧】

	建築年度		建築後 経過年数 (H24年度末)	延床面積	主たる 構造	耐震 診断	耐震 補強	所有		運営	併設施設・備考
								土地	建物		
府中駅南口市営駐車場	H7	1995	18年	19,347㎡	SRC造	不要	不要	市	市	指定 管理者	
平和島モーターボート競走場 立体駐車場	S60	1985	28年	31,080㎡	S造	不要	不要	市	市	直営	
府中駅北自転車駐車場	H3	1991	22年	2,651㎡ (建物全体 9,362㎡)	S造	不要	不要	市	市	直営	府中駅北第2庁舎と併設
東府中駅南自転車駐車場	H6	1994	19年	1,455㎡ (建物全体 4,468㎡)	SRC造	不要	不要	市	市	直営	しみずがおか高齢者在宅 サービスセンターと併設
西府駅北自転車駐車場	H20	2008	5年	635㎡	S造	不要	不要	市	市	直営	
西府駅南自転車駐車場	H20	2008	5年	-	-	-	-	市	-	直営	屋外の自転車駐車場
多磨霊園駅北自転車駐車場	H2	1990	23年	995㎡	S造	不要	不要	市	市	直営	

【施設配置図】

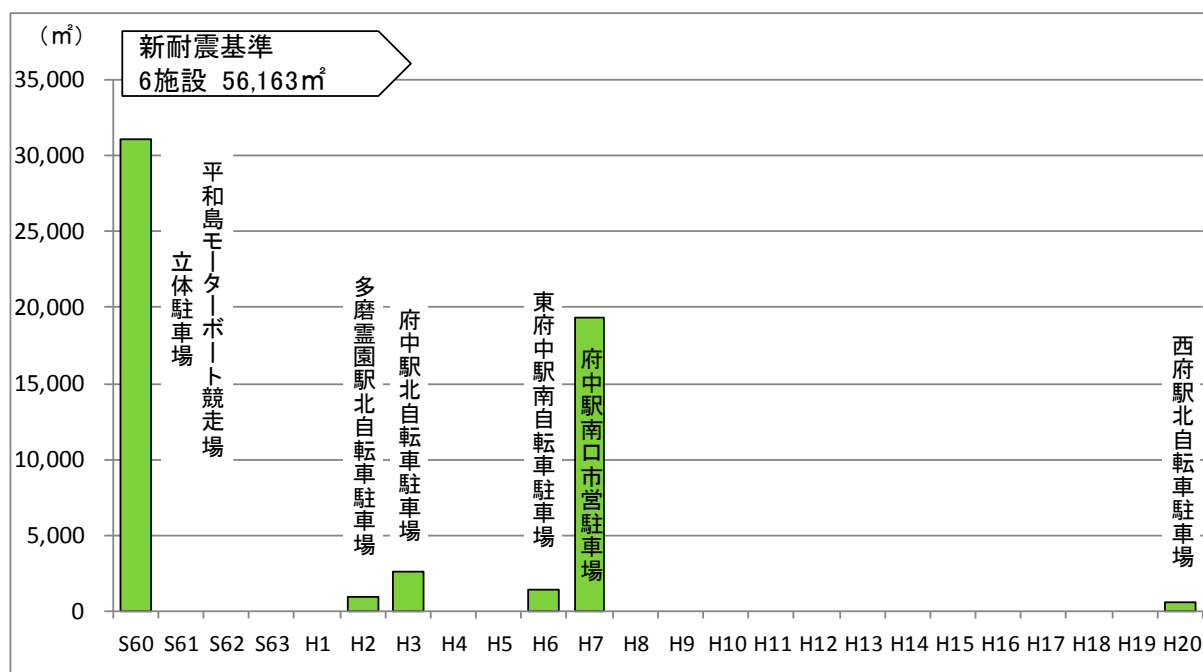


(2) 施設状況

①施設規模

- ・駐車場及び自転車駐車場は、全て新耐震基準の建物です。

【築年度別整備状況】



※西府駅南自転車駐車場は、屋外施設のため除く。

②施設状況

- ・各施設の収容台数は、次のとおりです。

	施設名	区分	収容台数
駐車場	府中駅南口市営駐車場	-	425台
	平和島モーターボート競走場立体駐車場	-	955台
自転車	府中駅北自転車駐車場	自転車定期利用	2,187台
		自転車一時利用	227台
	東府中駅南自転車駐車場	自転車定期利用	992台
		自転車一時利用	167台
		バイク(50cc以下)定期利用	11台
		バイク(50cc以下)一時利用	9台
	西府駅北自転車駐車場	自転車定期利用	256台
		自転車一時利用	195台
		バイク(125cc以下)定期利用	8台
		バイク(125cc以下)一時利用	2台
	西府駅南自転車駐車場	自転車定期利用	201台
		自転車一時利用	175台
		バイク(125cc以下)定期利用	13台
		バイク(125cc以下)一時利用	6台
	多磨霊園駅北自転車駐車場	自転車定期利用	935台
		自転車一時利用	364台
		バイク(50cc以下)定期利用	28台
		バイク(50cc以下)一時利用	5台

(3) 利用状況

①使用料及び運営時間

- ・使用料及び運営時間は次のとおりです。
- ・自転車駐車場は、24 時間利用することができますが、地階部分に自転車を入出することができる時間は、6：00～23：00 です。

【利用料金】

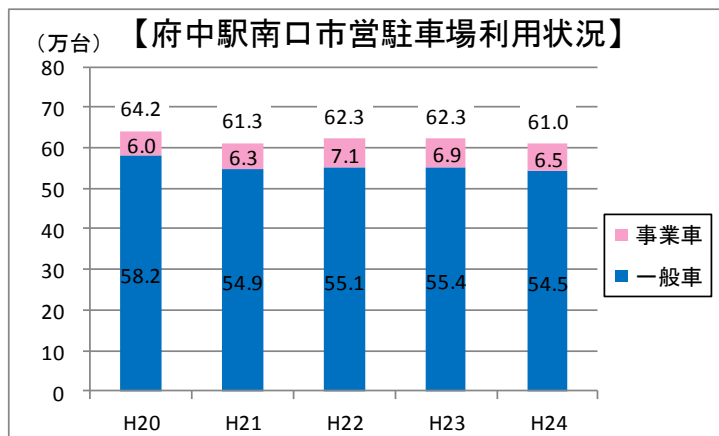
	施設名	区分		料金
駐車場	府中駅南口市営駐車場			最初の1時間400円、以降30分毎に200円加算 平日は利用料金が最大1,200円 23:00～翌8:00は30分ごとに50円 市民で身体障害者手帳の所持者は1回1時間分が無料
	平和島モーターボート競走場立体駐車場			自場開催(平日)500円／日、(日・祝日)1,000円／日 場外販売日 500円／日
自転車 駐車場	府中駅北自転車駐車場	自転車	定期	1,600円～2,000円／月
			一時	100円／日・1回
	東府中駅南自転車駐車場	自転車	定期	1,600円～2,000円／月
			一時	100円／日・1回
		バイク	定期	2,500円／月
			一時	150円／日・1回
	西府駅北自転車駐車場	自転車	定期	1,600円～2,000円／月
			一時	100円／日・1回
		バイク	定期	2,500円～3,000円／月
			一時	150円～200円／日・1回
	西府駅南自転車駐車場	自転車	定期	2,000円／月
			一時	100円／日・1回
		バイク	定期	2,500円～3,000円／月
			一時	150円～200円／日・1回
	多磨霊園駅北自転車駐車場	自転車	定期	800円～2,000円／月
			一時	100円／日・1回
		バイク	定期	2,500円／月
			一時	150円／日・1回

【運営時間】

	駐車場名	運営時間
駐車場	府中駅南口市営駐車場	24時間(入場:8:00～22:00、出場:8:00～23:00)
	平和島モーターボート競走場立体駐車場	9:00～22:00
自転車 駐車場	府中駅北自転車駐車場	24時間
	東府中駅南自転車駐車場	24時間
	西府駅北自転車駐車場	24時間
	西府駅南自転車駐車場	24時間
	多磨霊園駅北自転車駐車場	24時間

②利用状況

・府中駅南口市営駐車場の利用状況は、一般利用台数 54.5 万台、事業者利用台数 6.5 万台の合計 61 万台です。近年は、60 万台から 64 万台で推移しています。

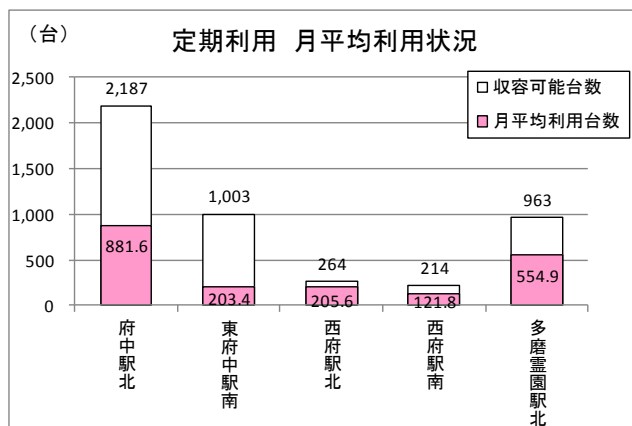


・定期契約の台数が最も多いのは、府中駅北自転車駐車場（1 万 579 台）ですが、1 か月の平均利用率が最も高いのは、西府駅北自転車駐車場（77%）です。

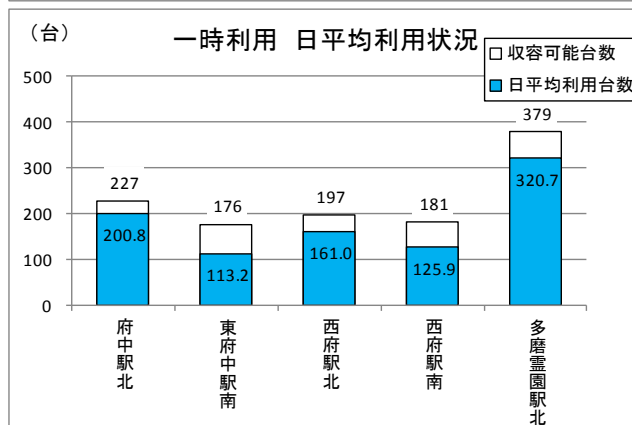
・一時利用の台数が最も多いのは、多磨霊園駅北自転車駐車場（11 万 4,144 台）ですが、1 日の平均利用率が最も高いのは、府中駅北自転車駐車場（88%）です。

【自転車駐車場利用状況】

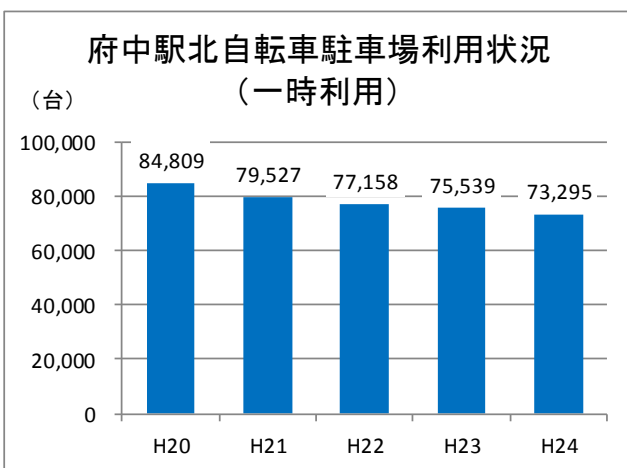
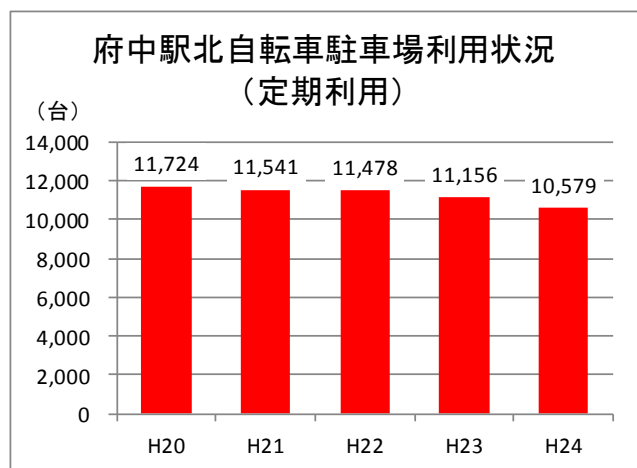
平成24年度 定期利用	府中駅北 自転車 駐車場	東府中駅南 自転車 駐車場	西府駅北 自転車 駐車場	西府駅南 自転車 駐車場	多磨霊園駅北 自転車 駐車場
収容可能 台数(台)	2,187	1,003	264	214	963
年間契約 台数(台)	10,579	2,441	2,467	1,461	6,659
月平均利用 台数(台)	881.6	203.4	205.6	121.8	554.9
月平均 利用率	40%	20%	78%	57%	58%



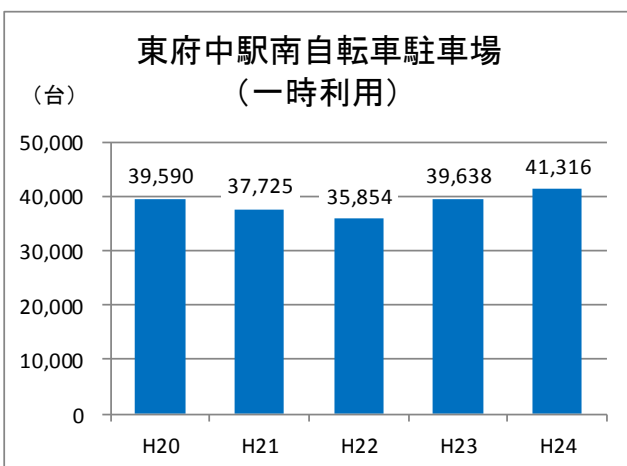
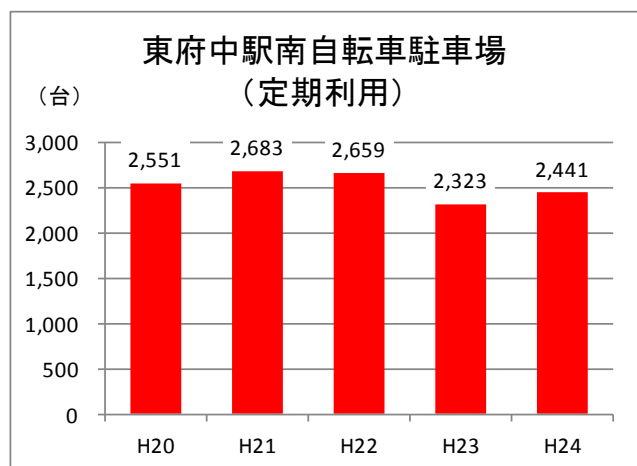
平成24年度 一時利用	府中駅北 自転車 駐車場	東府中駅南 自転車 駐車場	西府駅北 自転車 駐車場	西府駅南 自転車 駐車場	多磨霊園駅北 自転車 駐車場
収容可能 台数(台)	227	176	197	181	379
年間利用 台数(台)	73,295	41,316	58,757	45,946	117,038
日平均利用 台数(台)	200.8	113.2	161.0	125.9	320.7
日平均 利用率	88%	64%	82%	70%	85%



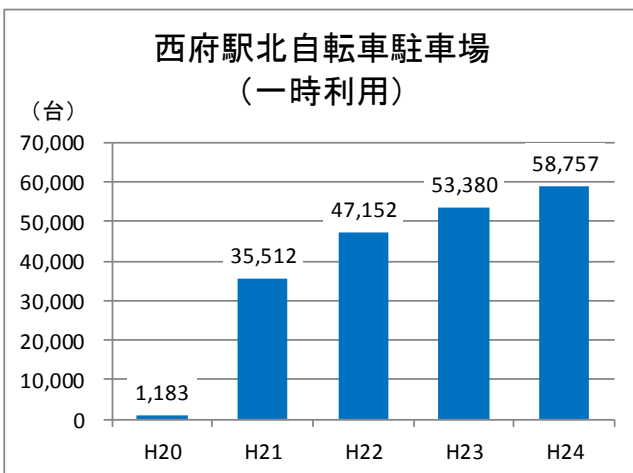
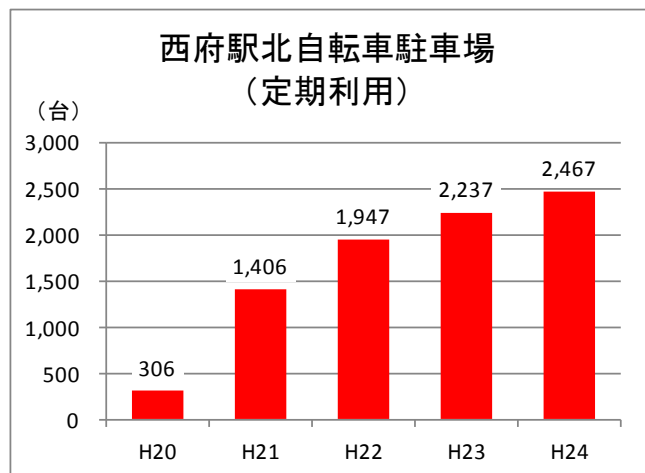
- ・府中駅北自転車駐車場は、定期利用、一時利用ともに、利用台数が若干減少傾向です。



- ・東府中駅南自転車駐車場は、定期利用台数は、約 2,400 台から約 2,600 台の間で大きな増減はありません。一時利用台数は、平成 22 年度を底に増加傾向にあります。

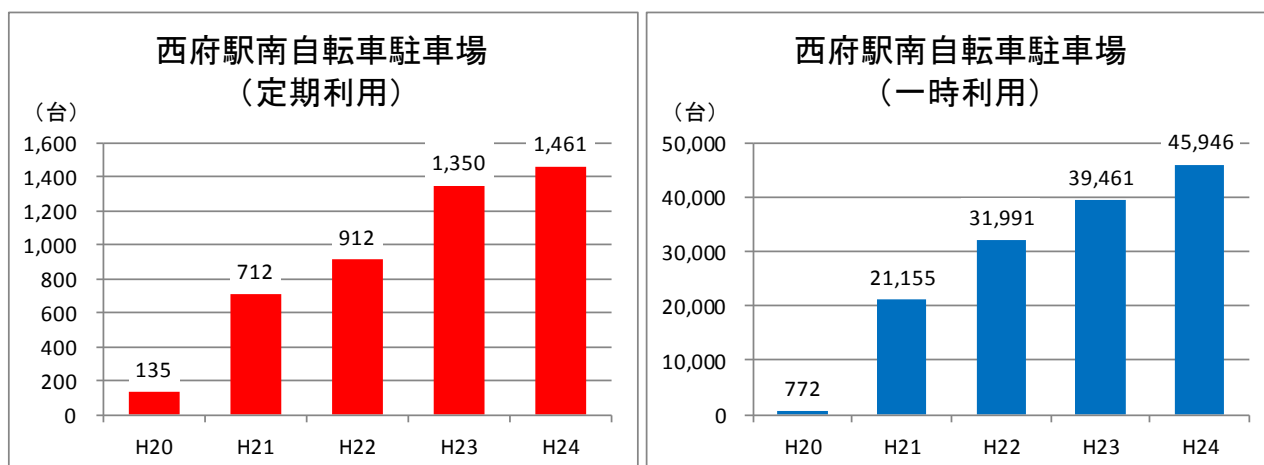


- ・西府駅北自転車駐車場は、平成 21 年 3 月に開設されたため平成 20 年度の利用台数は少ないですが、それ以降、利用台数が毎年増加しています。



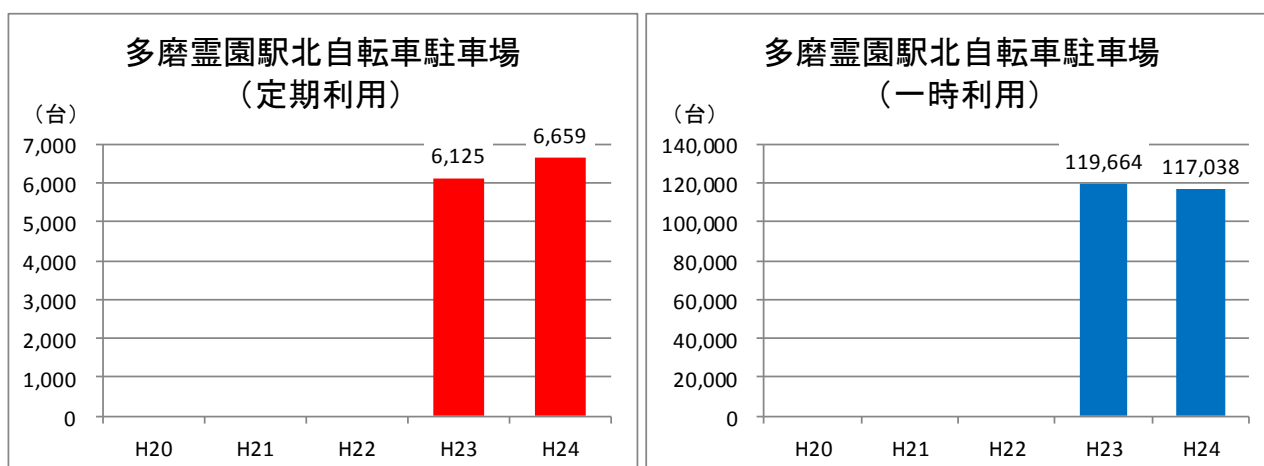
※ 平成 20 年度～平成 22 年度の利用台数は、バイク利用台数を含まず、自転車の利用台数のみです。

・西府駅南自転車駐車場も平成 21 年 3 月に開設されたため、平成 20 年度の利用台数は少ないですが、平成 21 年度以降、利用台数が毎年増加しています。



※ 平成 20 年度～平成 22 年度の利用台数は、バイク利用台数を含まず、自転車の利用台数のみです。

・多磨霊園駅北自転車駐車場は、平成 23 年度より市の直営の施設となりましたが、一時利用の利用台数は、他の自転車駐車場と比べ、非常に多くなっています。



(4) コスト状況

・府中駅南口市営駐車場は、府中駐車場管理公社が指定管理者として運営していますが、その運営にかかるコストは全て駐車場の利用料金でまかなわれているため、市の支出は発生していません。

・平和島競艇場立体駐車場のコストは、約 2 億 3,096 万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約 2,780 万円 (12%)、事業運営に係るコストは約 1,049 万円 (5%)、減価償却費相当額は約 1,927 万円 (83%) です。

・自転車駐車場のコストの合計は、約 1 億 3,476 万円でした。そのうち、施設管理に係るコストは約 1,441 万円 (11%)、事業運営に係るコストは約 8,479 万円 (63%)、減価償却費相当額は約 3,556 万円 (26%) です。

【施設別コスト一覧表：平和島モーターボート競走場立体駐車場】

【収益の部】

(千円)

	平和島モーターボート 競走場立体駐車場
その他	48,390
収益 計	48,390

【コストの部】

I.現金収支を伴うもの

施設管理 に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	0
	施設修繕費	1,438
	光熱水費	3,140
	建物管理委託費	23,223
	管理に係るコスト 計	27,801
事業運営 に係るコスト	人件費	9,681
	業務運営等委託費	0
	負担金、補助及び交付金	0
	その他物件費	809
	運営に係るコスト 計	10,490
現金収支を伴うコスト 計		38,290

II.現金収支を伴わないもの

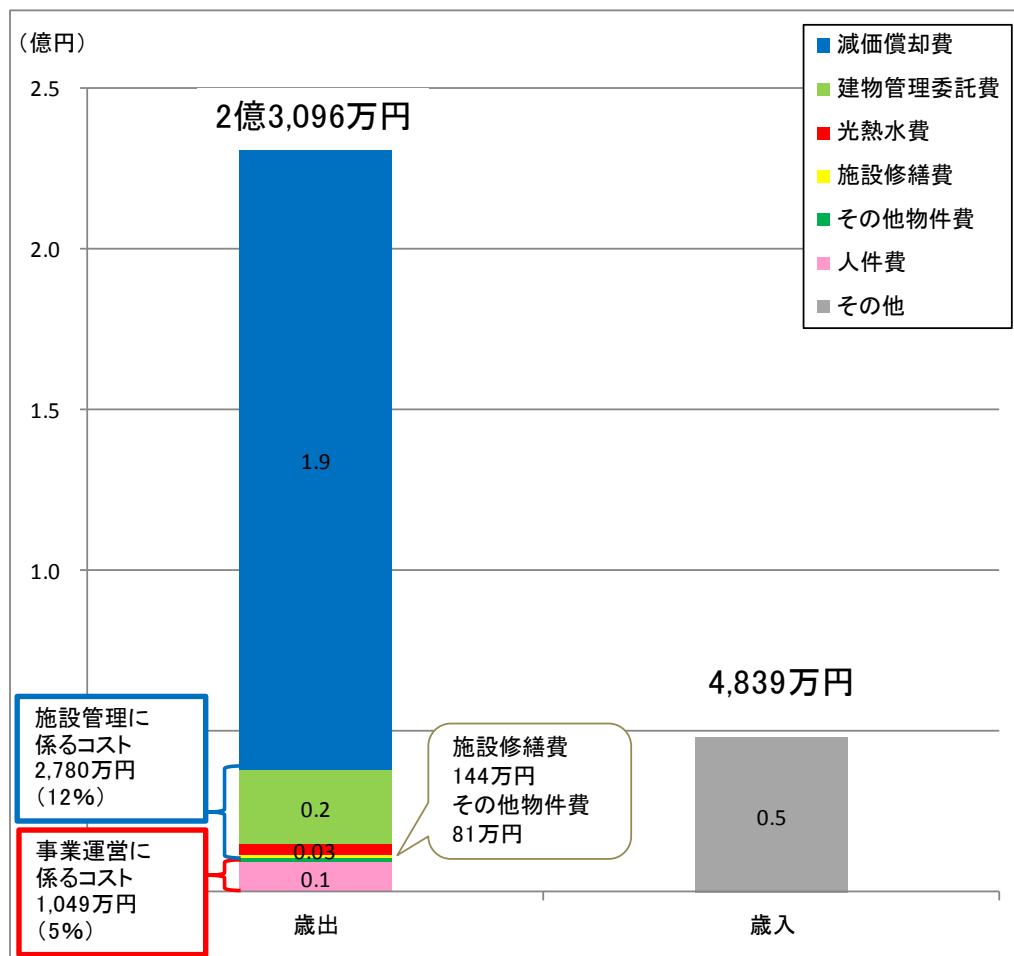
減価償却費相当額	192,674
----------	---------

III.総括

合計(トータルコスト)	230,964
-------------	---------

【収支差額】

収益－コスト	-182,574
--------	----------



【施設別コスト一覧表：自転車駐車場】

【収益の部】

(千円)

	府中駅北 自転車駐車場	東府中駅南 自転車駐車場	西府駅北・南 自転車駐車場	多磨霊園駅北 自転車駐車場	合計
使用料	24,058	7,832	17,407	20,440	69,737
収益 計	24,058	7,832	17,407	20,440	69,737

【コストの部】

I. 現金収支を伴うもの

施設管理 に係るコスト	使用料及び賃借料(土地を除く)	0	0	0	0	0
	施設修繕費	397	2,623	39	19	3,078
	光熱水費	2,552	1,438	732	698	5,421
	建物管理委託費	2,907	2,941	34	28	5,911
	管理に係るコスト 計	5,856	7,003	805	746	14,410
事業運営 に係るコスト	人件費	5,780	5,780	11,559	5,780	28,898
	業務運営等委託費	19,915	10,506	9,408	15,751	55,581
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	0
	その他物件費	47	47	134	86	315
	運営に係るコスト 計	25,742	16,333	21,101	21,617	84,794
現金収支を伴うコスト 計		31,598	23,336	21,907	22,363	99,204

II. 現金収支を伴わないもの

減価償却費相当額	16,434	9,020	3,937	6,168	35,559
----------	--------	-------	-------	-------	--------

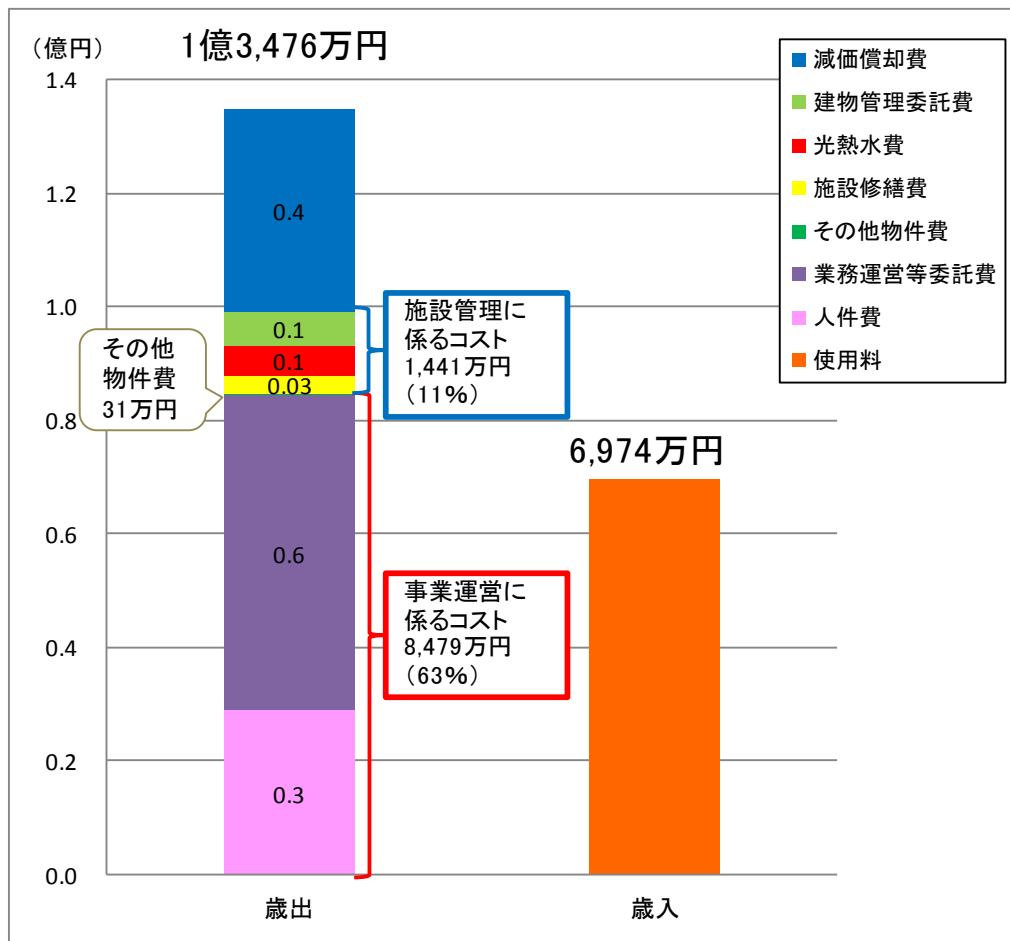
III. 総括

合計(トータルコスト)	48,033	32,356	25,843	28,531	134,763
-------------	--------	--------	--------	--------	---------

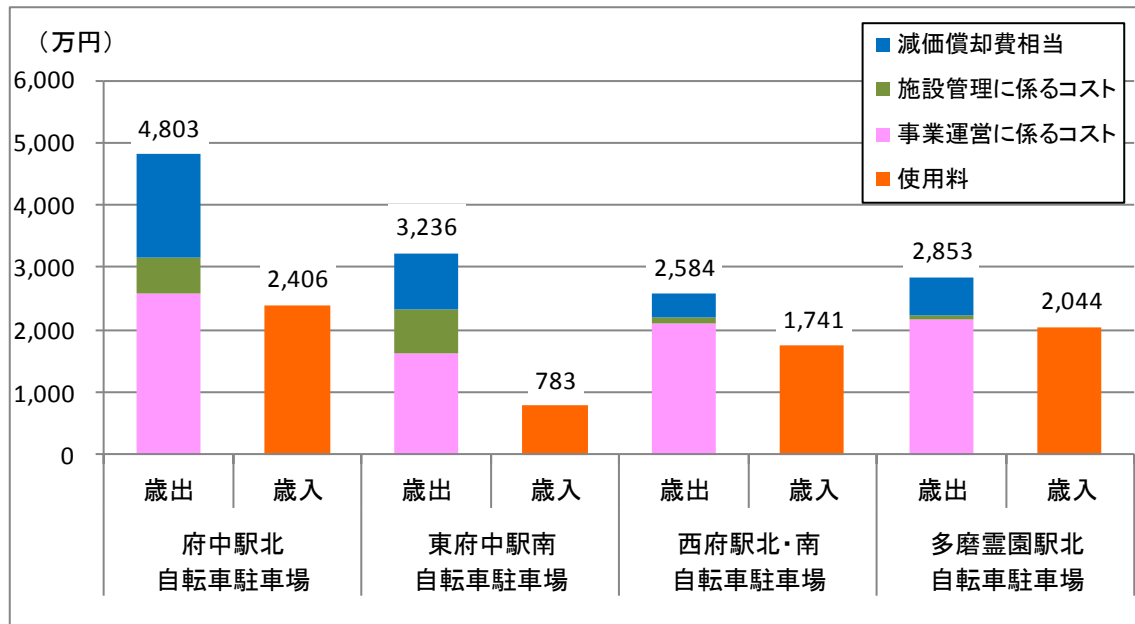
【収支差額】

収益－コスト	-23,975	-24,524	-8,436	-8,091	-65,026
--------	---------	---------	--------	--------	---------

【自転車駐車場合計コスト】



【施設別コスト：自転車駐車場】



府中市公共施設マネジメント白書(平成24年度版)

発 行 日 平成26年6月

編集・発行 府中市行政管理部建築施設課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電 話 042-364-4111(代表)

042-335-4358(直通)

FAX 042-366-7752

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp>